

令和5年度  
国分寺市動植物調査報告書  
(本編)

令和6年3月

国分寺市

# 令和5年度 国分寺市動植物調査報告書（本編） 目次

<b>I 調査の目的及び概要</b>	
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
<b>II 基礎調査</b>	
1. 国・東京都・市の関連計画に係る情報の整理	2
2. 文献調査	9
3. ヒアリング調査	15
4. 踏査地	20
<b>III 専門員調査</b>	
1. 評価方法	25
2. 植物	28
3. 鳥類	48
4. 哺乳類・は虫類・両生類	55
5. 昆虫類・クモ類	60
6. 水生生物	79
<b>IV 環境団体等参加による調査の支援</b>	
1. 概要	85
2. 観察会の状況	85
3. アンケート結果	87
<b>V 動植物調査報告会の実施支援</b>	
1. 概要	92
2. 参加者からの質疑・応答	92
<b>VI 調査結果のまとめ（専門員の考察）</b>	
1. 確認種について	97
2. 希少種について	98
3. 各調査地における専門員の考察及び管理の提案	101
<b>VII 今後の展開</b>	
1. 専門員調査	113
2. 生物多様性地域戦略策定に向けた基礎データとしての活用	114
3. 本市における生物多様性の保全に係る具体的施策等の展開に関する基本方針	115
<b>引用・参考文献及びウェブサイト</b>	
	120

## 資料編

・資料 1	国分寺市内で採集したカミキリムシ科標本リスト：市民による資料提供	124
・資料 2	国分寺市内で確認したコウチュウ目標本リスト：市民による資料提供	125
・資料 3	浜野栄次昆虫標本コレクション／国分寺市内採集標本抜き出しリスト	127
・資料 4	国分市内で確認した植物の学名	128
・資料 5	国分市内で確認した鳥類の学名	140
・資料 6	国分市内で確認した哺乳類の学名	141
・資料 7	国分市内で確認したは虫類の学名	141
・資料 8	国分市内で確認した両生類の学名	141
・資料 9	国分市内で確認した昆虫類の学名	142
・資料 10	国分市内で確認したクモ類の学名	153
・資料 11	国分市内で確認した水生生物（昆虫類）の学名	155
・資料 12	国分市内で確認した水生生物（魚類）の学名	155
・資料 13	国分市内で確認した水生生物（その他生物類）の学名	156
・その他資料	国分寺市動植物調査 市民団体による拠点調査支援 資料	157

本編

# I 調査の目的及び概要

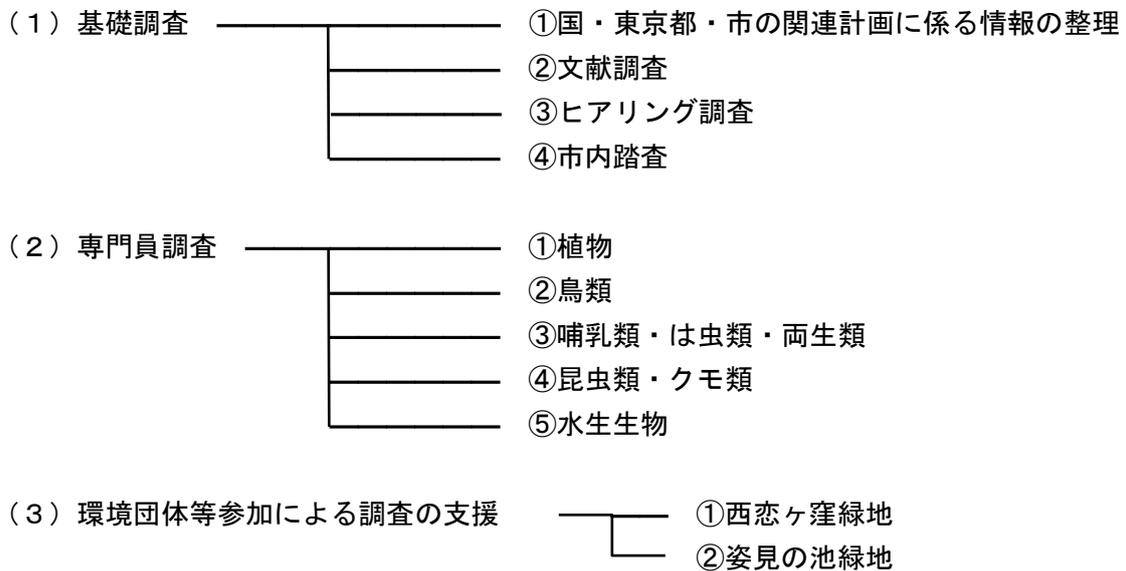
## 1. 調査の目的

国分寺市内の動植物の生育・生息に係る情報の収集・整理することにより、令和5年度から検討を行う第三次国分寺市環境基本計画における基礎情報とするとともに、生物多様性基本法(平成20年法律第58号)に基づく、生物多様性の保全等に係る市の具体施策等の展開に関する基本方針を取りまとめることを目的とする。

## 2. 調査の概要

調査の概要を図I-2-1に示す。

基礎調査、専門員調査、環境団体等参加による調査の支援の3つに大別される。



図I-2-1 国分寺市動植物調査の概要

## Ⅱ 基礎調査

### 1. 国・東京都・市の関連計画に係る情報の整理

第三次国分寺市環境基本計画を検討するために、生物多様性に関する昨今の国内外の動向や、各種法改正、国及び東京都の上位計画の施策や目標等の情報を整理する。

#### 1) 国の施策

##### (1) 生物多様性基本法

2008（平成20）年6月に施行された法律である。生物多様性の保全と持続可能な利用に関連した施策を総合的・計画的に進めることにより、豊かな生物多様性の保全とその恵みを将来にわたって享受することのできる、自然と共生する社会を実現することを目的としている。

生物多様性基本法では、国が推進すべき13の基本施策の考え方が示されており、さらに地方公共団体や事業者、国民・民間団体の責務と、都道府県及び市町村の生物多様性地域戦略の策定の努力義務が規定されている。

##### (2) 生物多様性国家戦略 2023-2030

2022（令和4）年12月に開催された、生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で採択された2030（令和12）年までの世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」をもとに、国が2023（令和5）年3月31日に閣議決定を行った国家戦略である。

戦略内では、2050（令和32）年ビジョンの「自然と共生する社会」を目指し、2030（令和12）年までにネイチャーポジティブ（自然再興）の実現のための5つの基本戦略を掲げている。さらに基本戦略には15の状態目標と25の行動目標があり、行動計画において行動目標ごとに関係府省庁の具体的施策のほか、指標と目標値が定められている。

##### (3) 昆明・モントリオール生物多様性枠組

新たな生物多様性に関する世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」は、2012（平成24）年～2020（令和2）年の期間で制定されていた愛知目標に代わる新たな世界目標であり、2022（令和4）年から2030（令和12）年までを実施の期間としている。枠組では、2050（令和32）年を見据えたビジョンとグローバルゴール、短期的な2030（令和12）年までのミッションとグローバルターゲットを定めており、特に日本が重視している30by30や自然を活用した解決策（NbS）等の要素に加えて、進捗を明確化するための8個の数値目標が定められている。

表Ⅱ－１－１ 生物多様性に係る国の施策

国		
	制定・策定期	内容
生物多様性基本法	平成20年6月	目的:生物多様性の保全と持続可能な利用の関連した施策を総合的、計画的に進めることにより、豊かな生物多様性の保全と、その恵みを将来にわたって享受することのできる自然と共生する社会を実現すること  地方公共団体の生物多様性地域戦略の策定の努力義務の記載
生物多様性国家戦略 2023-2030	令和5年3月	2030年のネイチャーポジティブ(自然再興)の実現を目指し、地球の持続可能性の土台であり人間の安全保障の根幹である生物多様性・自然資本を守り活用するための戦略  基本戦略1 生態系の回復 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決(NbS) 基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現 基本戦略4 生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動 基本戦略5 生物多様性に係る取り組みを支える基盤整備と国際連携の推進

## 2) 東京都の施策

### (1) 東京都環境基本計画

2022(令和4)年10月20日に策定されたこの基本計画では、2030(令和12)年までに「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」を目指し、3つの戦略と具体的な行動について定められている。

生物多様性については戦略2「生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現」で述べられており、戦略内ではより具体的な行動目標を掲げている。

また、計画内では区市町村内での生物多様性地域戦略の策定・改定を推進していくことが定められている。

### (2) 東京都生物多様性地域戦略

生物多様性基本法第13条第1項に基づいて2022(令和4)年12月26日に策定した生物多様性地域戦略であり、将来にわたって生物多様性の恵みを享受できる豊かな都市を目指して、現在の東京における4つの危機から、2030(令和12)年のネイチャーポジティブの目標実現に向けての3つの基本戦略と10の行動方針など具体的な施策が定められている。

国分寺市関連では、エコロジカルネットワークの具体例として国分寺崖線が挙げられている。また、開発などにより失われるおそれのある、既存のみどりを確保すべきなどとして国分寺市の恋ヶ窪用水路周辺緑地が挙げられている。

表Ⅱ－１－２ 生物多様性に係る東京都の施策

東京都		
	策定期期	内容
東京都環境基本計画	令和4年10月	<p>2030年までに「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」を目指す計画</p> <p>戦略0 危機を契機とした脱炭素化とエネルギー安全保障の一体的実現                      戦略1 エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現                      戦略2 生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現                      戦略3 都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現</p> <p>※生物多様性については戦略2が該当</p>
東京都生物多様性地域戦略	令和4年12月	<p>生物多様性基本法に基づく、都内における「生物多様性の保全及び持続的な利用」に関する基本的な計画</p> <p>2030年の実現に向けた基本戦略                      I 生物多様性の保全と回復を進め、東京の豊かな自然を後世につなぐ                      II 生物多様性の恵みを持続的に利用し、自然の機能を都民生活の向上にいかす                      III 生物多様性の価値を認識し、都内だけでなく地球規模の課題にも対応した行動にかえる</p> <p>戦略ごとの行動目標                      I 生物多様性バージョンアップエリア10,000+ 新たな野生絶滅ZEROアクション                      II Tokyo-NbSアクションの推進                      III 生物多様性都民行動100%</p>

### 3) 国分寺市の施策

#### (1) 国分寺市総合ビジョン

国分寺市総合ビジョンは、「魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺」の実現に向け、まちづくりの方向性を定めていく市の最上位計画である。このビジョンは、基本構想である『国分寺市ビジョン』と実現のための具体的な取り組みを定めた『国分寺市ビジョン実行計画』から構成されており、2021（令和3）年3月に「国分寺市ビジョン後期実行計画」が策定されている。

生物多様性については21項目「自然環境・生活環境」分野において「(仮称)生物多様性地域戦略」の策定を計画に位置付けている。

#### (2) 第二次国分寺市環境基本計画

国分寺市環境基本条例第7条に基づき2014（平成26）年3月に策定され、2024（令和6）年度までの計画期間で定められた計画である。この計画では自然環境の分野において、在来生物や生態系など、生物多様性の保全に向けた取組の推進について定めている。

### (3) 国分寺市緑の基本計画 2011

都市緑地法第4条に基づく法定計画であり、緑全般についての将来像を見据えるとともに、実現に向けた様々な取り組みを行い、緑地の保全及び緑化を計画的、効率的に推進していくための計画である。この計画を展開するための具体的な実施計画があり、現在は『国分寺市緑の基本計画実施計画（令和3年度～6年度）』が運用されている。

表Ⅱ－1－3 生物多様性に係る国分寺市の施策

国分寺市			
	策定期期	実施期間	内容
国分寺市総合ビジョン (国分寺市総合ビジョン後 期実行計画)	平成29年4月	平成29年度 ～令和6年度  (後期:令和3年度 ～令和6年度)	まちづくりの最上位計画として位置づけられている、持続可能なまちづくりを目指した「総合ビジョン」 ※21項目に「(仮称)生物多様性地域戦略」の策定予定について記述あり
第二次国分寺市 環境基本計画	平成26年3月	平成26年度 ～令和6年度	国分寺市環境基本条例第7条の規定に基づき策定する、環境分野における基本となる計画  基本方針1 緑と水が調和した潤いのあるまち 基本方針2 安心・安全に暮らせるまち 基本方針3 環境に配慮した良好な都市空間を形成するまち 基本方針4 資源が循環し、エネルギーが有効に利用される地球にやさしいまち 基本方針5 地域に学び、人のつながりや活動を生み出すまち
国分寺市緑の基本計画 2011	平成23年3月	平成23年度 ～令和12年度	都市緑地法第4条に規定されている、国分寺市の緑全般についての将来像の実現に向けた様々な取り組みについて、市民、事業者等、市が一体となって推進していくための指針となるための法定計画
国分寺市緑の基本計画実 施計画(令和3年度～令和 6年度)	令和3年3月	令和3年度 ～令和6年度	国分寺市緑の基本計画2011で掲げられた施策を計画的、かつ効果的に推進するため定めた4年間の短期計画

表Ⅱ－１－４ 地域における生物多様性に関係する計画（都内区市の策定状況）

自治体名	計画名称	策定年度	計画期間	改定予定年度
千代田区	ちよだ生物多様性推進プラン	平成24年度	平成25年度～令和32年度	令和4年度
港区	港区環境基本計画	令和3年度	令和3年度～令和8年度	令和8年度
新宿区	新宿区みどりの基本計画(改定)	平成29年度	平成30年度～令和9年度	令和9年度
文京区	文京区生物多様性地域戦略	平成30年度	平成31年度～令和10年度	令和10年度
墨田区	墨田区第二次緑の基本計画～墨田区生物多様性地域戦略～	令和3年度	令和4年度～令和22年度	令和12年度
江東区	江東区環境基本計画(後期)	令和元年度	令和2年度～令和6年度	令和3年度
品川区	品川区生物多様性地域戦略	令和4年度	令和5年度～令和9年度	未定
目黒区	目黒区生物多様性地域戦略「ささえあう生命(いのち)の輪野鳥のすめるまちづくり計画」	平成25年度	平成26年度～令和14年度	未定
大田区	大田区環境アクションプランに包含	令和3年度	令和4年度～令和6年度	令和6年度
世田谷区	世田谷区みどりの基本計画	平成29年度	平成30年度～令和9年度	令和9年度
	生きものつながる世田谷プラン～生きもの元気！ひと元気！生物多様性地域戦略～	平成28年度	平成29年度～令和14年度	未定
豊島区	豊島区環境基本計画	平成30年度	令和元年度～令和12年度	令和6年度
北区	北区緑の基本計画2020	令和元年度	令和2年度～令和11年度	令和11年度
足立区	足立区生物多様性地域戦略	令和3年度	令和4年度～令和6年度	令和7年度
葛飾区	葛飾区環境基本計画(第3次) ※第2次生物多様性かつしか戦略を内包	令和3年度	令和4年度～令和13年度	令和14年度
立川市	立川市緑の基本計画(改定)	令和2年度	令和2年度～令和6年度	令和7年度
武蔵野市	武蔵野市生物多様性基本方針	平成29年度	方針であり計画期間の明記なし	
青梅市	青梅ひとと生き物イキイキプラン	平成30年度	平成30年度～令和9年度	令和9年度
府中市	第3次府中市環境基本計画 ※府中市生物多様性地域戦略を内包	令和4年度	令和5年度～令和12年度	令和11年度～令和12年度
昭島市	昭島市環境基本計画 ※「昭島市生物多様性地域戦略」を内包	令和3年度	令和4年度～令和13年度	令和13年度
町田市	第3次町田市環境マスタープラン ※「町田生きもの共生プラン」を内包	令和3年度	令和4年度～令和13年度	令和14年度
小金井市	第3次小金井市環境基本計画(個別計画は環境基本計画の中に集約)	令和2年度	令和3年度～令和12年度	令和12年度
小平市	小平市第三次環境基本計画 ※小平市生物多様性ビジョンを内包	令和2年度	令和3年度～令和12年度	令和12年度
日野市	ひの生きものプラン	平成29年度	平成29年度～令和8年度	令和9年度
狛江市	狛江市生物多様性地域戦略	平成31年度	令和2年度～令和11年度	令和11年度
清瀬市	清瀬すみどりの基本計画	平成10年度	令和3年度～令和12年度	令和13年度
東久留米市	東久留米市第三次緑の基本計画・生物多様性戦略	令和4年度	令和5年度～令和14年度	令和9年度
稲城市	生物多様性いなぎ戦略	平成26年度	平成27年度～令和6年度	未定
羽村市	羽村市環境とみどりの基本計画	平成25年度	平成26年度～令和5年度	令和5年度
あきる野市	生物多様性あきる野戦略	平成26年度	平成26年度～令和5年度	令和5年度
西東京市	西東京市第3次環境基本計画	令和5年度	令和6年度～令和15年度	未定

※ ECO ネット東京 62 ホームページより参照（一部加工）

北多摩地区においては、小平市や狛江市などが生物多様性地域戦略を個別に計画している。府中市や昭島市などは環境基本計画に内包している。

表Ⅱ－１－５ 生物多様性に係る近年の主な動向（平成20年以降～）

年度	世界	国	都・国分寺市
平成20年		「生物多様性基本法」制定	
平成22年	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)「愛知目標」合意	「生物多様性国家戦略2010」閣議決定 「生物多様性地域連携推進法」制定	
平成23年			「国分寺市緑の基本計画2011」策定
平成24年		「生物多様性国家戦略2012-2020」閣議決定 第四次環境基本計画閣議決定	「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」策定
平成26年	国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)「パリ協定」合意		「第二次国分寺市環境基本計画」策定
平成28年			東京都「環境基本計画2016」策定
平成29年			「国分寺市総合ビジョン」策定
平成30年		第五次環境基本計画閣議決定	
令和2年		2050年カーボンニュートラル表明	
令和3年	G7サミット「2030年自然協約」合意 30by30		「国分寺市緑の基本計画実施計画(令和3年度～令和6年度)」策定
令和4年	生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)「昆明・モンリオール生物多様性枠組」合意		「東京都環境基本計画」策定
令和5年		「生物多様性国家戦略2023-2030」閣議決定	「東京都生物多様性地域戦略」策定 「東京都生物多様性地域戦略アクションプラン」策定

#### 4) 昨今の生態系保全における潮流

##### (1) ネイチャーポジティブ（自然再興）

2021（令和3）年に公表された「A Nature-Positive World: The Global Goal for Nature」では2020年を基準として、2030（令和12）年までに自然の損失を食い止め、回復させることを目指すと述べられている。この考え方がネイチャーポジティブであり、2021（令和3）年6月に開催されたG7サミットの「2030年自然協約」においても世界的

な使命であるとされ、世界各国でネイチャーポジティブを実現させるための行動がとられている。COP15 で採択された「昆明・モンテリオール生物多様性枠組み」にもその考え方が組み込まれている。国においても、環境省はネイチャーポジティブ経済の実現に向けて「ネイチャーポジティブ経済移行戦略（仮称）」を策定するとしており、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー（循環経済）に続く世界の潮流としてネイチャーポジティブの考え方が拡大している。

## （２）TCFD から TNFD へ

TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）は、2015（平成 27）年にパリ協定の採択を受けて金融安定理事会（FSB；Financial Stability Board）が設立した。これに基づき民間企業は、気候変動が社会の安定や企業の業績にどのように影響するか情報開示をすることが求められていた。

しかし近年、ネイチャーポジティブの国際合意により、生物多様性が社会や企業にどのように影響があるか情報を開示する必要性が述べられている。それを受けて 2021（令和 3）年 6 月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）、国連開発計画（UNDP）、世界自然保護基金（WWF）、英環境 NGO グローバル・キャノピーが TNFD（Task Force on Nature-related Financial Disclosures）を設立した。このフレームワークにより、市場関係者や民間企業など組織が自然の損失を防ぐための行動に乗り出し、金融の流れが自然にとってポジティブな効果を生み出すことが期待されている。この流れを受けて、TCFD は 2023（令和 5）年 10 月をもって解散している。

## （３）30by30

G 7 サミットで約束されたネイチャーポジティブの達成に向けて、2030（令和 3）年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として、効果的に保全を目指すことを目的として定めた目標である。2021（令和 3）年時点では陸域 20.5%、海域 13.3% が保護地域として指定されている。この保護地域の指定を拡大していくことで、持続可能な環境を作り上げ、自然の豊かな恵みを取り戻すことが期待されている。

## （４）自然共生サイト

国が定める民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域のことを指す。自然共生サイトは 2022（令和 4）年の試行期間を経て 2023（令和 5）年より正式に設立された。自然共生サイトに申請し、登録することで 30by30 の拡充と国際データベースの OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）への登録が行われる。保護地域だけでなく、民間が管理する森林や都市内の緑地、社寺林など身近な自然が登録対象であることが特徴である。自然共生サイトの登録地域を増やすことで、保護地域内外を問わず生物多様性の価値の維持、質の向上が促され、ネイチャーポジティブの実現や 30by30 目標の達成に貢献すると同時に、生物多様性の保全活動が広がっていくことが期待される。

国分寺市内においては、日立製作所国分寺サイト 協創の森（15.8ha）が 2023（令和 5）年に登録されている。

## 2. 文献調査

市内の自然環境の調査報告書や動植物に関するデータが記載されている既存の調査資料や市民からの情報提供等から、国分寺市の自然環境や動植物の生育・生息状況等についての情報収集・整理を行った。

資料の一覧を表Ⅱ－２－１に示す。

表Ⅱ－２－１ 文献調査の資料と概要 (1/5) (敬称略。以下同じ)

通 No.	関連自治 体等	発行年 月	資料属性	文献名／書名／媒体名等	著者・編者	掲載書籍等	該当 ページ または 総ページ 数	主な対象種						
								植物	昆虫 類	鳥類	クモ その 他	水生	菌類	
1	国分寺市	1988	調査記録	国分寺市 水と緑の実態調査 報告書	国分寺市	国分寺市 水と緑の実態調査 報告書	p.123	○	○	○				
2	国分寺市	1991	広報	国分寺自然ガイドブック	国分寺市環境部環境緑地 課	国分寺自然ガイドブック	—	○	○	○				
3	国分寺市	2000	調査記録	国分寺市 水と緑の実態調査 報告書	国分寺市	国分寺市 水と緑の実態調査 報告書	p.150	○						
4	国分寺市	2004	調査報告書	はけのいきもの調査2004	高橋利行	はけのいきもの調査2004	p.10	○	○	○		○		
5	国分寺市	2004	調査記録	国分寺崖線の植物目録(国 分寺市内) 2004年度採集報告	ハケの自然を守る会	国分寺崖線の植物目録(国 分寺市内) 2004年度採集報告	p.26	○						
6	国分寺市	199203	文献資料	国分寺市の万葉植物	国分寺市教育委員会	国分寺市の万葉植物	—	○						
7	国分寺市	199605	文献資料	国分寺の歴史と自然	東京国分寺ロータリーク ラブ 創立30周年記念誌出版 委員会	国分寺の歴史と自然	p.171	○	○	○	○			○
8	国分寺市	200304	管理／活動資料	エックス山へようこそ	エックス山等市民協議会	—	p.2							
9	国分寺市	200312	調査報告書	野川上流の真姿の池湧水の 水循環解析	安藤義久ほか	総合都市研究 第82号	p.45-p.55							
10	国分寺市	200503	文献資料	こころのふるさとエックス山の 植物たち	こころのふるさとエックス山 の植物たち編集委員会	こころのふるさとエックス山の 植物たち	p.65	○						
11	国分寺市	200604	管理／活動資料	姿見の池「無用の水」が「恵 みの水」に!	渡邊一成	土木学会誌vol.91 no.4 April 2006	p.62-p.63							
12	国分寺市	200612	調査報告書	東京都国分寺市でジャコウア ゲハを撮影・目撃	和田武久	「うすばしろ」第33号	p.4		○					
13	国分寺市	200702	管理／活動資料	西恋ヶ窪緑地整備計画方針	国分寺市都市建設部緑と 水と公園課	西恋ヶ窪緑地整備計画方針	p.13							
14	国分寺市	200912	調査報告書	ヒゲトハナムグリの住宅地 における採集例	和田武久	「うすばしろ」第39号	p.22		○					
15	国分寺市	201003	調査記録	国分寺崖線の植物目録(国 分寺市内) 追補 2005年-2009年度	ハケの自然を守る会	国分寺崖線の植物目録(国 分寺市内) 追補 2005年-2009年度	p.11	○						
16	国分寺市	201203	調査報告書	国分寺市恋ヶ窪でベニハハ ナカミキリの生息を確認	和田武久	「うすばしろ」第42号	p.18		○					
17	国分寺市	201203	調査報告書	国分寺市戸倉でカッコウメダ カカミキリを採集	和田武久	「うすばしろ」第42号	p.22		○					
18	国分寺市	201502	調査報告書	国分寺市でヨツボシチビヒラ タカミキリを採集	和田武久	「うすばしろ」第46号	p.20		○					
19	国分寺市	201502	調査報告書	国分寺市でヒメシガミキリを 採集	和田武久	「うすばしろ」第46号	p.21		○					
20	国分寺市	201507	調査報告書	トウキョウトラカミキリを東京 国分寺市で採集	和田武久	「月刊むし」No.533	p.58		○					

表Ⅱ-2-1 文献調査の資料と概要 (2/5)

通No.	関連自治体等	発行年月	資料属性	文献名／書名／媒体名等	著者・编者	掲載書籍等	該当ページまたは総ページ数	主な対象種					
								植物	昆虫類	鳥類	クモその他	水生	菌類
21	国分寺市	201512	調査報告書	東京都国分寺市のカミキリムシ	和田武久	「うすばしろ」第47号	p.6-p.16	○					
22	国分寺市	201512	調査報告書	国分寺市のヨツボシデビヒラタカミキリ(続報)	和田武久	「うすばしろ」第47号	p.18	○					
23	国分寺市	201512	調査報告書	国分寺市でフタオビミドリトラカミキリを目撃	和田武久	「うすばしろ」第47号	p.20	○					
24	国分寺市	201512	調査報告書	国分寺市でムネアカセンチュウガネを採集	和田武久	「うすばしろ」第47号	p.20	○					
25	国分寺市	201603	調査報告書	平成27年度 国分寺市動植物調査報告書	株式会社生態計画研究所	平成27年度 国分寺市動植物調査報告書	p.141	○	○	○	○	○	
26	国分寺市	201605	調査報告書	「東京都国分寺市のカミキリムシ」の訂正	和田武久	「うすばしろ」第48号	p.13	○					
27	国分寺市	201611	調査報告書	西国分寺西恋ヶ窪緑地(通称エックス山)の甲虫	和田武久	「うすばしろ」第49号	p.1-p.17	○					
28	国分寺市	201701	調査報告書	市内初記録と思われるカミキリ2種を東京都国分寺市で採集	和田武久	「うすばしろ」第50号	p.13	○					
29	国分寺市	201701	調査報告書	国分寺市泉町でチャバネセセリを観察	長田庸平	「うすばしろ」第50号	p.19	○					
30	国分寺市	201701	調査報告書	リンゴカミキリを東京都国分寺市で採集	和田武久	「うすばしろ」第50号	p.20	○					
31	国分寺市	201701	調査報告書	ヒメトラカミキリがオニグルミ材から羽脱	和田武久	「うすばしろ」第50号	p.22	○					
32	国分寺市	201712	調査報告書	東京都国分寺市における甲虫類4種の記録	新里達也	「神奈川虫報」第193号	p.82-p.84	○					
33	国分寺市	201811	調査報告書	東京都国分寺市でナガサキアゲハが羽化	和田武久	「うすばしろ」第54号	p.17	○					
34	国分寺市	201811	調査報告書	東京都国分寺市でラミーカミキリを採集	和田武久	「うすばしろ」第54号	p.19	○					
35	国分寺市	201903	調査報告書	東京都国分寺市のカミキリムシ(続報1)	和田武久	「うすばしろ」第55号	p.10-p.12	○					
36	国分寺市	202103	調査報告書	国分寺市のカミキリムシ、5種追加で50種に	和田武久	「うすばしろ」第62号	p.14-p.17	○					
37	国分寺市	202103	調査報告書	都立武蔵国分寺公園 武蔵の池の大規模清掃で確認した昆虫類	内田大貴ほか	「うすばしろ」第62号	p.26-p.27	○					
38	国分寺市	202201	広報	お鷹の道 湧水園 武蔵国分寺資料館・旧本多家長屋門	国分寺市教育委員会 ふるさと文化財団	—	p.29	○	○	○			
39	国分寺市	202204	広報	「フリートーク:国分寺市の動植物について」	国分寺市環境ひろば事務局 国分寺市まちづくり部まちづくり計画課	環境ひろば国分寺 第169号 令和4年9月11日	p.2						
40	国分寺市	202211	調査報告書	シロスジカミキリの生息を東京都国分寺市で確認	和田武久	「うすばしろ」第68号	p.8	○					
41	国分寺市	202211	調査報告書	ヨツボシモンシテムシを東京都国分寺市で採集	和田武久	「うすばしろ」第68号	p.10	○					
42	国分寺市	202211	調査報告書	シラホシハナムグリを国分寺市で採集	和田武久	「うすばしろ」第68号	p.12	○					
43	国分寺市	202212	管理／活動資料	屋敷林や胎内影堀跡をたどって「国分寺産線の始まりを歩く」	エックス山等市民協議会	—	p.7						
44	国分寺市	202308	調査記録	アライグマ・ハクビシン防除委託業務	—	—	—				○		
45	国分寺市	202311	調査報告書	アカアシオアオカミキリの屋間の活動を目撃	和田武久	「うすばしろ」第71号	p.6	○					

表Ⅱ-2-1 文献調査の資料と概要 (3/5)

通 No.	関連自治 体等	発行年月	資料属性	文献名／書名／媒体名等	著者・編者	掲載書籍等	該当 ページ または 総ページ 数	主な対象種						
								植物	昆虫 類	鳥類	クモ その 他	水生	菌類	
46	国分寺市	202311	調査報告書	ホタルカミキリを国分寺市で 採集	和田武久	「うすばしろ」第71号	p.22	○						
47	国分寺市	20230424	調査記録	姿見の池緑地保全地域、地 区別調査結果	姿見の池 緑の会	—	—	○						
48	国分寺市	—	文献資料	主な国分寺市の地域資料	国分寺市立図書館	主な国分寺市の地域資料	p.5							
49	国分寺市	—	標本資料	浜野栄次昆虫標本コレクショ ン(仮)	浜野栄次	国分寺市民俗資料室保管	—	○						
50	小平市	2019	広報	玉川上水 花マップ(春・夏・ 秋・冬)	ちいさな虫やいきものたち を支える会	—	—	○	○	○	○			
51	小平市	200811	広報	玉川上水 水辺の生き物 ニュース	特定非営利活動法人生態 工房	—	p.2						○	
52	小平市	200903	調査報告書	玉川上水におけるカメ類の分 布と個体群構造調査	佐藤方博(特定非営利活 動法人生態工房理事)	玉川上水におけるカメ類の分 布と個体群構造調査	p.17					○		
53	小平市	201312	調査報告書	玉川上水中流部におけるア ライグマと中型哺乳類の生息 状況	片岡友美(特定非営利活 動法人生態工房理事)	玉川上水中流部におけるア ライグマと中型哺乳類の生息 状況	p.32						○	
54	小平市	201411	管理／活動資料	武蔵野台地の風土や課題な どを読み解くための散策コー スづくりの地調査	福田恵一(小平市立小平 第三中学校 社会科教諭)	武蔵野台地の風土や課題な どを読み解くための散策コー スづくりの地調査	p.20							
55	小平市	201703	調査報告書	2015「玉川上水・小平地域に おける植生調査」報告書(全 体)	ちいさな虫やいきものたち を支える会	「玉川上水・小平地域におけ る植生調査」	p.25	○						
56	小平市	202003	調査報告書	生物保全の廊下としての 玉川上水の動植物調査	高槻成紀(東京大学総合 研究博物館)	生物保全の廊下としての 玉川上水の動植物調査	p.26					○		
57	小平市	202103	調査報告書	小平市市民参加型生き物調 査事業業務委託報告書	特定非営利活動法人 NPO birth	小平市市民参加型生き物調 査事業業務委託報告書	p.7							
58	小平市	—	広報	こだいらの生きものを探しに いこう!	小平いきいき協働事業	—	p.2	○	○	○				
59	小平市	202004	広報	こだいら生き物マップ	小平市環境部環境政策課 水と緑と公園課 特定非営利活動法人 NPO birth	—	p.2	○	○	○				
60	小金井市	2001	調査報告書	野川第一調節池センサス調 査	高橋利行(小金井自然観 察会)	野川第一調節池センサス調 査	p.8					○		
61	小金井市	2004	調査報告書	小金井市におけるツバメの営 巣について(2004年調査結果 報告)	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	小金井市におけるツバメの営 巣について(2004年調査結果 報告)	p.15						○	
62	小金井市	197507	調査報告書	小金井市タンボ調査報告 - 1975-	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	小金井市タンボ調査報告 - 1975-	p.8						○	
63	小金井市	198802	調査報告書	野川公園の野鳥	清水徹男・大石征夫(小金 井自然観察会)	野川公園の野鳥	p.20						○	
64	小金井市	199009	文献資料	小金井市鳥類目録 1990	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	小金井市鳥類目録	p.28						○	
65	小金井市	199705	調査報告書	小金井市におけるカッコウ -1996年の記録-	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	小金井市におけるカッコウ - 1996年の記録-	p.34						○	
66	小金井市	200004	調査報告書	小金井市のアオバズク -1999年の記録-	高橋利行(小金井自然観 察会)	小金井市のアオバズク -1999 年の記録-	p.11						○	
67	小金井市	200307	文献資料	小金井市鳥類目録(改訂第2 版) 2003	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	小金井市鳥類目録(改訂第2 版)	p.58						○	
68	小金井市	200606	調査報告書	野川公園の野鳥 -15年間の観察の記録-	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	野川公園の野鳥 -15年間の 観察の記録-	p.21						○	
69	小金井市	201601	文献資料	多摩霊園探鳥会とはじめ	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	多摩霊園探鳥会とはじめ	p.17						○	
70	小金井市	202008	広報	ハケの森と野川と草原の生 態系	—	—	p.1	○	○	○	○			
71	小金井市	202203	調査報告書	冬の野川の野鳥 -22年間の 調査結果の報告-	清水徹男(小金井自然観 察会会長)	冬の野川の野鳥 -22年間の 調査結果の報告	p.28						○	

表Ⅱ-2-1 文献調査の資料と概要 (4/5)

通 No.	関連自治 体等	発行年 月	資料属性	文献名／書名／媒体名等	著者・编者	掲載書籍等	該当 ページ または 総ページ 数	主な対象種						
								植物	昆虫 類	鳥類	クモ その 他	水生	菌類	
72	府中市	201509	調査報告書	府中市自然環境調査(平成26年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(平成26年度)報告書	p.28	○	○	○				
73	府中市	201608	調査報告書	府中市自然環境調査(平成27年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(平成27年度)報告書	p.34	○	○	○				
74	府中市	201707	管理／活動資料	府中事業所いきものガイド	東芝インフラシステムズ (株)府中事業所	府中事業所いきものガイド	p.44	○	○	○				
75	府中市	201708	調査報告書	府中市自然環境調査(平成28年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(平成28年度)報告書	p.35	○	○	○				
76	府中市	201811	調査報告書	府中市自然環境調査(平成29年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(平成29年度)報告書	p.38	○	○	○				
77	府中市	202003	調査報告書	府中市自然環境調査(平成30年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(平成30年度)報告書	p.46	○	○	○				
78	府中市	202007	管理／活動資料	市民協働による生物多様性 保全のための武蔵台緑地植 生管理ガイドライン	吉川正人(東京農工大学 植生管理学研究室)	市民協働による生物多様性 保全のための武蔵台緑地植 生管理ガイドライン	p.28							
79	府中市	202107	調査報告書	府中市自然環境調査(令和2 年度)報告書	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	府中市自然環境調査(令和2 年度)報告書	p.34	○	○	○				
80	府中市	202301	管理／活動資料	生き物がそこにいる意味-生 物多様性の考え方-	吉川正人(東京農工大学 植生管理学研究室)	生き物がそこにいる意味-生 物多様性の考え方-	p.26							
81	府中市	—	管理／活動資料	府中市自然環境調査員によ る自然環境調査方法につい て	府中市自然環境調査委員会 議 府中市生活環境部環境 政策課自然保護係	—	p.1							
82	国立市	2018	調査報告書	水生植物の多様性の評価と 保全に関する基礎的研究〜 上流域と下流域の種組成の 比較〜	石井裕一・山崎正夫・橋本 旬也・安藤晴夫・木瀬晴 美・田辺一憲・棚島智恵子	東京都環境科学研究所年報 2018年報	p.60-p.61	○						
83	国立市	200810	文献資料(写真 集)	平兵衛新田むかし・現在 〜写真と歴史年表で知る光 町〜	光商業会・記念誌制作委 員会	平兵衛新田むかし・現在 〜写真と歴史年表で知る光 町〜	—							
84	国立市	199608	調査報告書	矢川における水生植物の年 間変化と分布状況	矢川水質調査会	水草研究会報 No58	p.1-p.17	○						
85	国立市	199703	調査報告書	水草から見た矢川の保全に ついて	矢川水質調査会	水草から見た矢川の保全に ついて	p.50	○						
86	国立市	200910	調査報告書	くにたちしらべ「くにたちの水」	くにたち地域資料ボラン ティア	くにたちしらべ「くにたちの水」	p.5							
87	国立市	201212	文献資料	平成24年度 秋季企画展 くにたちの河岸段丘 ハケ展	くにたち郷土文化館	平成24年度 秋季企画展 くにたちの河岸段丘 ハケ展	p.45							
88	その他	198811	文献資料	雑木林を残すために	畔上能力	多摩のあゆみ 第53号	p.52-p.59	○						
89	その他	198811	文献資料	雑木林の獣たち	金井郁夫	多摩のあゆみ 第53号	p.71-p.81				○			
90	その他	199011	文献資料	魚からみた野川の環境 一魚にもすみやすい野川を求 めて一	君塚芳輝	多摩のあゆみ 第61号	p.42-p.51					○		
91	その他	199011	文献資料	野川源流の村	大嶋一人	多摩のあゆみ 第61号	p.99- p.105							
92	その他	200405	文献資料	トンボに見る多摩の環境の多 様性	須田真一	多摩のあゆみ 第114号	p.34-p.43		○					
93	その他	200405	文献資料	多摩のカミキリムシ	武智昭一 筒井謙	多摩のあゆみ 第114号	p.54-p.63		○					
94	その他	200405	文献資料	荒れた森林環境を逆手に 取ったオオオハバタルの生態 について	小俣軍平	多摩のあゆみ 第114号	p.64-p.71		○					
95	その他	200605	文献資料	北多摩住宅地の鳥たち一そ の移り変わりと現状一	清水徹男	多摩のあゆみ 第122号	p.18-p.27			○				
96	その他	201208	文献資料	青柳段丘崖下の小川に生息 する魚や昆虫たち	斉藤由里加	多摩のあゆみ 第147号	p.28-p.37		○	○	○	○		
97	その他	201405	文献資料	動物の道としての玉川上水	辻村千尋	多摩のあゆみ 第154号	p.26-p.31				○			

表Ⅱ－２－１ 文献調査の資料と概要 (5/5)

通 No.	関連自治 体等	発行年 月	資料属性	文献名／書名／媒体名等	著者・编者	掲載書籍等	該当 ページ または 総ページ 数	主な対象種						
								植物	昆虫 類	鳥類	クモ その 他	水生	菌類	
98	その他	201405	文献資料	都市・府中に残る自然環境と、そこに来る野鳥	中村武史	多摩のあゆみ 第154号	p.32-p.41			○				
99	その他	201405	文献資料	狭山丘陵の春のハエから見る自然環境	笹井剛博	多摩のあゆみ 第154号	p.42-p.51		○					
100	その他	202003	広報	野川マップ 生きもの観察のすすめ	流域6自治体 環境関係政策部署	野川マップ 生きもの観察のすすめ	p.5	○	○	○	○	○		
101	その他	202003	広報	野川マップ おすすめスポット	流域6自治体 環境関係政策部署	野川マップ おすすめスポット	p.5							
102	その他	202104	広報	地域の水辺や生き物を調べてみた！ 2020	東京・生活者ネットワーク	—	p.1						○	
103	その他	202305	調査報告書	令和3年度河川水辺の国勢調査[河川版](生物調査編)	国土交通省河川水辺の国勢調査	令和3年度河川水辺の国勢調査[河川版](生物調査編)	p.21						○	
104	その他	202809	広報	野川のいきものガイドブック	野川流域連絡会事務局 東京都北多摩南部建設事務所工事第二課	—	p.32	○	○	○	○	○		
105	その他	—	調査記録	01魚類調査記録「河川水辺の国勢調査」/多摩川水系・野川沿い	国土交通省河川水辺の国勢調査	—	—						○	
106	その他	—	調査記録	01陸生昆虫調査記録「河川水辺の国勢調査」/多摩川水系・野川沿い	国土交通省河川水辺の国勢調査	—	—						○	
107	環境省	2020	文献資料	環境省レッドリスト2020	環境省	—	—	○	○	○	○	○	○	○
108	環境省	201610	文献資料	Red Data Book 2014・5 昆虫類 日本の絶滅の恐れのある野生生物	環境省	Red Data Book 2014 5 昆虫類 日本の絶滅の恐れのある野生生物	p.509		○					
109	東京都	202305	文献資料	東京都レッドデータブック(本土部)2023	東京都環境局自然環境部	東京都レッドデータブック(本土部)2023	p.880	○	○	○	○	○	○	○

### 1) 文献資料整理

国分寺市内における過去の調査報告等の文献資料においては、国分寺市を代表する自然環境として国分寺崖線の植生調査報告が中心ということが特色だが、市内北部の文献資料が少ない状況である。

国分寺市を含め多摩地域全域をカバーする「多摩のあゆみ」では、生物に限らず、湧水に関してなど歴史的な事象をからめ広く扱っており興味深い資料が記録されている。

周辺自治体を概観すると、小金井市だけでなく国立市や小平市などでも見られるような市民団体による自然調査の記録集や、府中市の東芝インフラシステムズ(株)の「府中事業所生きものガイド」といった企業が関わったものなどそれぞれ特色がある。

上記表中の文献については基本的に公開データであり、書籍・冊子等の媒体のほかインターネット上で公開されているものを扱っている。

なお現在では、閲覧しやすいPDF形式でインターネット上にデータが公開されている例も多く、さまざまな情報が得られた。立川市ではインターネット上で市民から投稿写真を募集し、webデータづくりにウェイトを置いて生きものデータベースを整理している。

## 2) 市民から提供された資料

今回の調査期間中、市内在住で自然に関わる活動をされている和田武久氏より、多年に渡って採集された昆虫類（主にカミキリムシ科を中心にしたコウチュウ類）の標本資料について貴重なデータの提供をいただいた。このうち、カミキリムシ科を見てみると48種の記録であった。前回調査及び今年度調査で記録できたカミキリムシ科の累計種数は10種であり、この中で記録が重複しているものを整理し合算してみると、国分寺市内で確認できたカミキリムシ科の総数は49種となることがわかった。

このように、地元で活動されている方のデータを突き合わせることにより、限られた期間での調査結果を補完できるという好例となった。

なお、整理したものを巻末「資料編」に収録した。

## 3) 浜野栄次昆虫標本コレクション

国分寺市民俗資料室より、昆虫写真家浜野栄次氏（1923～1992）の昆虫標本コレクションについて情報提供をいただいた。資料室に贈与された貴重な資料である。

この贈与された資料は標本箱171箱に収納されている。国外産の種が大部分を占めているが、国内で採集したのも40箱ほどある。今回、保管された標本資料を実地確認させていただき、その40箱の中から国分寺市内で記録されたものを抜き出した。

このうち1975（昭和50）年9月1日に市内採集のクツワムシの標本が現存しているのを確認した。現在この昆虫は市内での分布が見られないため貴重な標本である。

なお、抜き出して整理したデータは巻末「資料編」に収録した。

### 3. ヒアリング調査

令和5年度国分寺市動植物調査の結果を基に、11月から1月にかけて専門家・学識者へのヒアリングを行い、調査結果に対する各分類群の評価、報告書のとりまとめ方、生物多様性の保全に係る具体的施策等の展開に関する基本方針についての助言を得た。

#### 1) ヒアリング協力者（ヒアリング実施日順）

- ・竹内 大悟氏（早稲田大学 総務部自然環境調査室）
- ・佐々木 均氏（酪農学園大学名誉教授）
- ・新海 栄一氏（市議会議員）
- ・矢口 直生氏、金本 敦志氏、齋田 滉大氏（都立武蔵国分寺公園指定管理者・特定非営利活動法人 NPO birth）

#### 2) ヒアリング項目

##### (1) 令和5年度の調査結果について

- ・調査結果に対する評価
- ・注目すべき種（国分寺市における指標生物）
- ・各調査地の環境ポテンシャル、保全管理方針について
- ・報告書のとりまとめ方について

##### (2) 調査報告書とその利用方法について

- ・希少種の生育生息状況の取り扱い
- ・特定外来種の防除対策等
- ・研究者などへの情報提供の可能性
- ・市民へ向けての利用方法

##### (3) 次年度以降の調査について

- ・調査の頻度と回数について
- ・調査場所について
- ・調査方法について
- ・専門員調査について
- ・ボランティアや地元の方、学生、企業との連携の可能性

##### (4) 生物多様性の地域戦略の策定に向けた留意事項等について

- ・生物多様性の保全の取組について
- ・生物多様性地域の策定に向けて
- ・理念について※地域住民がイメージできる「将来的な理想像」
- ・国分寺市の生物多様性の保全とその課題
- ・その他

### 3) ヒアリング結果

表Ⅱ-3-1 令和5年度の調査結果について

<p><b>調査結果に対する評価</b></p> <p>○生物全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査精度については、限られた日数・時間内なので、記録されない種があるのは仕方ない。</li> <li>・網羅的な結果については、市内の希少種等を記録できている。この記録は、生物多様性を理解する上で重要なものである。</li> <li>・希少種の保護の理由、保護方法を書いても良いのでは。</li> </ul> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希少種の記録に関して、元から存在している自生種なのか、移植された栽培種なのか分からないため、「在来種・移入種の扱い」の判断が難しい。</li> </ul> <p>○哺乳類・両生類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・哺乳類と両生類の記録が少ない。例えば、前回調査では両生類ではアズマヒキガエルの生息が確認されている。現在も確実に生息しているが、今回の調査では未確認の種。その結果をどう扱うべきか検討する必要がある。</li> </ul> <p>○昆虫類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫類については、偏りが見られるので、以後調査で弱い部分(地表徘徊性甲虫)を補強していくとよい。</li> </ul> <p>○クモ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿見の池で、オオシロカネグモやアダンソンハエトリも確認している。クサグモが最近減少しているようだ。</li> </ul>
<p><b>注目すべき種(国分寺市における指標生物)</b></p> <p>○クモ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿見の池で記録されたトゲグモは珍しい。</li> </ul> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺崖線には湧き水が多いので、水生植物に焦点を当てて調査しても良い。 カヤツリグサ、ミクリ、抽水植物(根は水底の土壌中にあり、葉や根の一部または大部分が空気中に伸びている植物)、キクモ、ウキゴケ、シダ類など。</li> </ul>
<p><b>各調査地の環境ポテンシャル、保全管理方針について</b></p> <p>○環境ポテンシャル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クモ類では、土壌性種の多いサラグモ科がまだいるはず。 今回の調査法の限界(目視中心のルート調査)なので、詳細な調査を行うことを期待したい。</li> </ul> <p>○雑木林の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に適切に管理されているが、雑木林の樹木が大木かつ老木が多いので、ナラ枯れの倒木の危険がある。</li> <li>・下草の管理ではササを刈りすぎると、風通しがよくなりナラ枯れを進行させてしまう。</li> <li>・雑木林の保全是、萌芽更新するしかない。予算と時間がかかるため、どこまでやるのかを検討する必要がある。</li> </ul>
<p><b>調査報告書のとりまとめ方について</b></p> <p>○全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各調査地の規模感として面積の記載があると理解しやすい。</li> <li>・レッドリストの表記は「北多摩」に該当することを記載する。</li> <li>・外来生物の区分についての説明をもう少し詳細に記載する。</li> <li>・専門員調査の結果か団体等からの文献か区別してのせるべき。</li> <li>・同定のための科学的根拠として標本を残していくとよい。</li> </ul> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希少種の評価については、「自生種」と「栽培種」を分けて評価する必要がある。</li> </ul> <p>○哺乳類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の調査では全体的に哺乳類の記録は少ないが、武蔵国分寺公園でも記録があるので、その他の周辺の都市公園での生きもの調査のデータを収集できると良い。</li> </ul> <p>○クモ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスト作成についてはさまざまな研究者のものがあるが、クモ類の分類では「篩板(しばん):腹部下面に糸を出す器官」を基本に見ていくと良い。</li> </ul>

表Ⅱ－３－２ 調査報告書とその利用方法について

<p><b>希少種の生育生息状況の取り扱い</b></p> <p>○公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盗掘、盗採が行われないよう、情報の公開については慎重に対応すべき。</li> <li>・適切な範囲できちんと公表し、市民に共有した方がよい。</li> <li>・東京都が所持している希少種リストも利用するとよいのではないか。</li> </ul>
<p><b>特定外来種の防除対策等</b></p> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オオカワヂシャの対策については、根気よく抜くしかない。</li> <li>・一方的に排除の方向にもっていくのではなく、特に子どもに対しては「命の大切さ」とともに伝えられるとよい。</li> </ul>
<p><b>研究者などへの情報提供の可能性</b></p> <p>○情報提供の推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者に情報を提供してよいが、その目的や意図を明確化してストーリー立てて行う必要がある。</li> <li>・研究者や研究機関との情報共有を行う。</li> </ul>
<p><b>市民へ向けての利用方法</b></p> <p>○概要版の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要版の発行は良いことであり、前回調査との比較を入れると市民に対してわかりやすく、アピールしやすいのではないか。</li> </ul>

表Ⅱ－３－３ 次年度以降の調査について（1/2）

<p><b>調査の頻度と回数について</b></p> <p>○全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査頻度は可能であれば、毎年の実施が好ましい。</li> <li>・国分寺崖線の特徴となる湧水などの水辺環境は、特に変化の度合いが高いので調査頻度を上げたい。</li> </ul> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間では、現状の3季（春・夏・秋）実施で良い。</li> <li>・雑木林は植物の遷移が緩やかなため、調査頻度は3～5年に1回で良い。ただし、ナラ枯れにより急激に遷移が進む可能性もあるので留意する。</li> </ul> <p>○クモ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低でも年4回（冬期に土壤性種調査など）が望ましい。</li> </ul>
<p><b>調査場所について</b></p> <p>○全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の南に偏ってしまっているのもう少し範囲を広くしたほうが良い。</li> <li>・追加地点としては、けやき公園、殿ヶ谷戸庭園、黒鐘公園、伝鎌倉街道、リオン株式会社裏側の崖線沿い中央。</li> <li>・日立中央研究所内の緑地で調査が望まれる。</li> <li>・都市公園にも着目して調査してはどうか。</li> <li>・水辺をもっと重点的に調査すると良い。民地にも湧水環境があるかもしれないため、調べてほしい。</li> </ul> <p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の調査地は雑木林の地点を減らしても構わないので、湧水環境を追加できると良い。</li> </ul>

表Ⅱ－３－３ 次年度以降の調査について (2/2)

調査方法について
<p>○植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自生と植栽を分けて調査した方が良い。土地由来のものかDNA鑑定できると良い。</li> <li>・水生植物をもっと重点的に調査しても良い。</li> </ul> <p>○哺乳類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーカメラによる調査を追加したい。</li> </ul> <p>○昆虫類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状はルート調査中心で目視できる種が主な調査対象なので不十分である。</li> <li>・例えば、ポイントを絞り「地表徘徊性種調査(ベイトトラップ)」、「夜間のライトトラップ」といった方法を実施できると良い。</li> </ul> <p>○クモ類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌性クモ類(サラゲモなど中心)に重点を置くために、シフティング(篩がけ法)なども有効である。土壌性種であれば、冬期調査も視野に入るであろう。</li> </ul>
専門員調査について
<p>○調査人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査員は1人ではなく、1回の調査で複数人で行えると見落としも少なくて良い。</li> </ul>
ボランティアや地元の方、学生、企業との連携の可能性
<p>○大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の活動団体との協働。例えば、東京経済大学や東京学芸大学といった教育機関の学生たち。</li> <li>・留意点として、大学生は4年間で卒業するので世代交代によって取組の熱心度熱量に変化が生じるので、生物が好きな先生などの中心人物との人脈を築けると良い。</li> <li>・ともすれば「自然環境保全」「生物多様性の保全」ではなく、「自然愛護」に偏りがちなこともあるので、それをうまく誘導できるような施策も必要ではないか。</li> </ul> <p>○企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と企業に相互利益の関係がないと難しい。</li> </ul> <p>○市民参加型の活動・調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が採集して同定しても良いのでは。精度を高めたいのであれば、専門家が同定チェックすればよい。</li> <li>・市民参加型の外来種駆除活動など。</li> <li>・市民参加型のクモ類調査を企画できると良い。草原性種や、樹林性種、あるいは屋内性種といった特徴あるクモ類を対象とするのはどうか。</li> </ul>

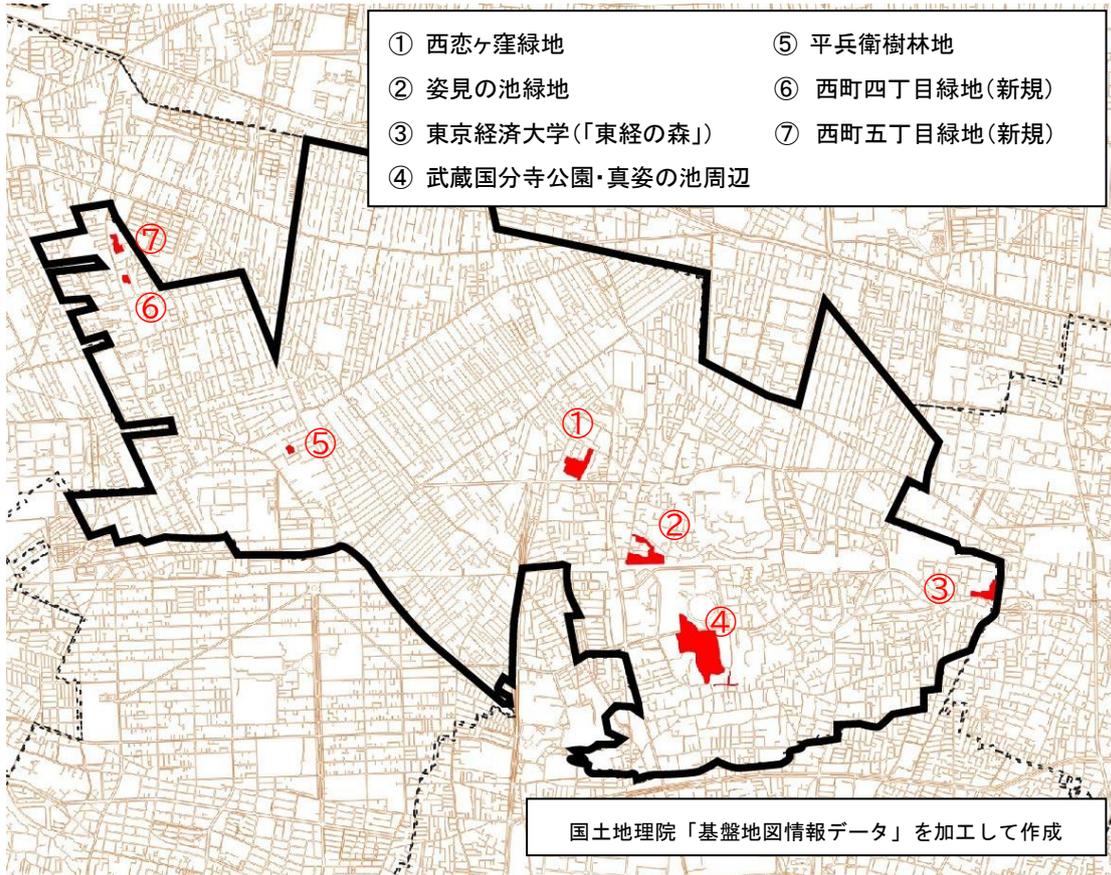
表Ⅱ－３－４ 生物多様性地域戦略の策定に向けた留意事項について

<p><b>生物多様性の保全の取り組みについて</b></p> <p>○評価すべき取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵国分寺公園内の武蔵池でのかいぼりをした際、地域住民の合意を得て外来種のコイを除去することができた。地域戦略の活動の一環として組み込みたい。</li> </ul> <p>○今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑は繋がっているので立川市や小金井市など近隣自治体と連携し、生物多様性などの情報を共有できるとよい。</li> <li>・国分寺を代表する多様な自然環境としての「ハケ」、国分寺崖線を重視したい。</li> <li>・地域レベルで種を植えてもらい緑を増やす。</li> </ul>
<p><b>生物多様性地域の策定に向けて</b></p> <p>○注目すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野川の源流であるという点を踏まえると、国分寺市独自の視点が盛り込められると思われる。</li> <li>・良質な環境を保全するためには、多様な生物種・生物相が重要であることをアピールする。</li> <li>・生物多様性地域戦略の策定後、その運用が大事となる。</li> <li>・「国分寺ならでは」といった点でいえば、市内に残された屋敷林内も注目すべき。</li> <li>・すべてに取り組むのは難しいので、集中と選択が必要ではないか。</li> </ul> <p>○注目すべき環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知名度のある国分寺崖線の魅力をもっと活用すべきである。</li> </ul>
<p><b>理念について ※地域住民がイメージできる「将来的な理想像」</b></p> <p>○湧き水のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺や池の環境(＋隣接する森)</li> </ul>
<p><b>国分寺市の生物多様性の保全とその課題</b></p> <p>○生物多様性の意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が生物多様性に関する意識を持つように、知名度のある国分寺崖線を活用すべき</li> <li>・普及教育のためにイベントを実施できると良い(水田や埋蔵種子実験など)。その際は生物ありきではなく、国分寺市の歴史・文化の視点からも取組を考えると良い。</li> <li>・国分寺の歴史を知ることや学ぶことに繋がるので、まずは魅力についてストーリーをつくり、整理する必要がある。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>○注目すべき文献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青木純一氏が国立市内で実施した「土壌生物の調査記録(土壌性のクモ類あり)」</li> <li>・新海栄一氏作成中の「国分寺のクモ」(東京蜘蛛談話会)</li> <li>・「八王子市のクモ」(日本私学教育研究所調査資料72:45-56)</li> </ul>

#### 4. 踏査地

市内の自然環境の概況を把握し、動植物調査地を設定するための踏査を、令和5年3月15日及び17日に行った。

踏査は、前回調査（平成27年度）の調査地5か所、西恋ヶ窪緑地、姿見の池緑地、東京経済大学、武蔵国分寺公園及び真姿の池周辺、平兵衛樹林地の他に、西町四丁目緑地と西町五丁目緑地について行った。その結果、西町四丁目緑地のうち1か所は、スギ・ヒノキの人工林であることから除き、計7か所を調査地として選定した。



図Ⅱ－４－１ 調査地の位置

<調査地>

①西恋ヶ窪緑地（調査対象面積：約 1.37ha）



- ・所在地：西恋ヶ窪三丁目
- ・概要：通称「エックス山」と呼ばれる市内最大の雑木林である。かつての林の姿を取り戻し、市民が憩える場所とするため、市と環境団体が林内の通路や、林の若返りの樹木更新などの整備を行っている。前回調査（平成27年度）と比べると、区画整理による計画的な樹木更新がなされ、環境に変化が見られた。

②姿見の池緑地（調査対象面積：約 1.5ha）



- ・所在地：西恋ヶ窪一丁目
- ・概要：東京都の「国分寺姿見の池緑地保全地域」に隣接する、湿地、用水路、水辺、林等を含めた池周辺地域が整備され、市が環境団体と協働して維持管理をしている。東京都名湧水 57 選の一つである。「国分寺姿見の池緑地保全地域」を調査地に含む。

③東京経済大学（「東経の森」）（調査対象面積：約 0.85ha）



森の回廊



新次郎池

- ・所在地：南町一丁目
- ・概要：東京経済大学の敷地内にある新次郎池及びその周辺の雑木林が、令和2年に「東経の森」として整備された。新次郎池は、国分寺市の一番東側にある湧水で、東京都名湧水 57 選の一つである。

④武蔵国分寺公園・真姿の池周辺（調査対象面積：約 5.51ha）



野鳥の森



管理区域



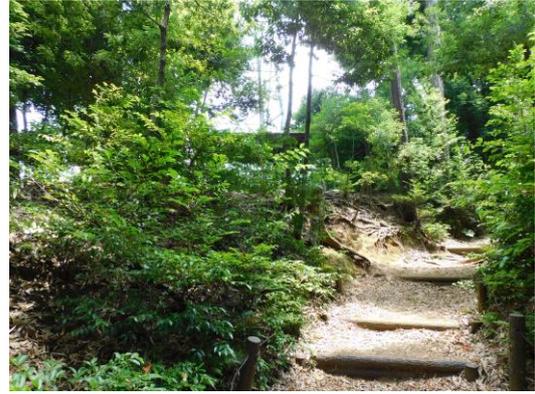
真姿の池湧水群



おたかの道湧水園

- ・所在地：泉町二丁目・西元町一、二丁目・東元町三丁目
- ・概要：都立武蔵国分寺公園と「お鷹の道・真姿の池湧水群」を含む地域である。お鷹の道・真姿の池湧水群は、環境省が選定している全国名水百選の一つであり、東京都名湧水 57 選にも選ばれている。  
※調査は私有地の真姿の池を除く湧水部分で実施。

⑤平兵衛樹林地（調査対象面積：約0.15ha）



- ・所在地：光町一丁目
- ・概要：「ハケ」と呼ばれる国分寺崖線上にある住宅地に囲まれた樹林地である。市立光町もみじ公園に隣接する。

⑥西町四丁目緑地（調査対象面積：0.15ha）



- ・所在地：西町四丁目
- ・概要：国分寺崖線緑地保全地域の一つに指定されているコナラ・クヌギ林である。

⑦西町五丁目緑地（調査対象面積：約0.39ha）



- ・所在地：西町五丁目
- ・概要：国分寺崖線緑地保全地域の一つに指定されているコナラ・クヌギ林と、東京都の保存樹林地であるコナラ・モウソウチク林からなる。

### Ⅲ 専門員調査

#### 1. 評価方法

確認種の中から希少種及び外来種の抽出を行い、市内の動植物相の考察を行った。

##### 1) 希少種

環境省が作成しているレッドリストの「環境省レッドリスト 2020」（以下、「国 RL」という。）と、東京都が作成しているレッドリストの「東京都レッドリスト（本土部）2020 年見直し版」（以下、「都 RL」という。）に記載されているカテゴリーのうち、ランク外を除いた種を「希少種」とし、種の抽出を行った。なお、国分寺市の地域区分は「北多摩」に該当する。

表Ⅲ－１－１に各カテゴリーの概念を示す。

表Ⅲ－１－１ 国及び都レッドリストのカテゴリー概念（1/2）

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅	EX	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下を含めずで絶滅したと考えられるもの
野生絶滅	EW	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられるもの
絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
情報不足	DD	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
留意種	*	<p>東京都が定める基準 現時点では準絶滅危惧のレベルではないが、相対的に数が少ない種であり、次の理由（選定理由①～⑥）のいずれかにより容易に個体数が減少することがあり得るため、その動向に留意する必要があるもの</p> <p>&lt;選定理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生息・生育環境が減少もしくは悪化することで、個体数が減少するおそれがある。</li> <li>② 生息地の限定もしくは分断による個体群の縮小あるいは孤立化により、個体数が減少するおそれがある。</li> <li>③ 人為的な環境配慮により個体群が維持されているが、人為的な環境配慮が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。</li> <li>④ 外来種の影響により、個体数が減少するおそれがある。</li> <li>⑤ 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている種であり、これら特殊な環境が失われた場合、個体数が減少するおそれがある。</li> <li>⑥ かつて悪化していた環境の回復にともない個体群規模が戻ったが、その状況は不安定であり、環境が変化すれば個体数が減少するおそれがある。</li> </ul>

表Ⅲ－１－１ 国及び都レッドリストのカテゴリー概念（2/2）

カテゴリー名称	表示	基本概念
ランク外 （都RLのみ）	○	当該地域で生育・生息が確認されているが、上記カテゴリーに該当しないもの
データ無し （都RLのみ）	－	当該地域において生育・生息している(していた)可能性があるが、確実な記録や情報が得られなかったもの
非分布 （都RLのみ）	・	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの。但し、鳥類では、確認記録があっても当該地域が主たる生息域でないと判断される場合は、非分布として扱った。

## 2) 外来種

外来種の中でも、特に注意が必要な種として、環境省及び農林水産省が作成した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（以下、「生態系被害防止外来種リスト」という。）に記載されている種の抽出を行った。この中には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（以下、「外来生物法」という。）で指定された特定外来生物<sup>※1</sup>や条件付特定外来生物<sup>※2</sup>も含まれる。

表Ⅲ－１－２に各カテゴリーの概念を示す。

※1 特定外来生物：外来生物（海外起源の外来種）であり、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される。生きているものに限られ、個体だけでなく、卵、種子、器官なども含まれる。飼育、栽培、保管及び運搬、輸入が原則禁止されている。また、野外へ放つ、植える及びまくこと、譲渡し、引渡しなどをすることが禁止され、許可を受けて飼養等をする場合は個体識別等の措置を講じる義務がある。

※2 条件付特定外来生物：外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、通常の特特定外来生物の規制の一部を、当分の間、適用除外とする（規制の一部が掛からない）生物の通称である。外来生物法第4条（飼養等：飼養、栽培、保管、運搬の禁止）と第8条（譲渡し等：譲渡し、譲受け、引渡し、引受けの禁止）に関する規制の一部が適用除外となり、一般家庭等での飼養等や少数の相手への無償での譲渡し等については許可無しで行うことができる。ただし、業として飼養等する場合は飼養等基準を遵守する必要がある。一方で、販売・頒布を目的とした飼養等、販売・頒布・購入、輸入、野外への放出等については原則として通常の特特定外来生物と同様の規制がかかる。現時点で「条件付特定外来生物」に指定される生物は、アメリカザリガニとアカミミガメの2種のみである。

表Ⅲ－１－２ 生態系被害防止外来種リストのカテゴリー概念

カテゴリー名称	基本概念
(1) 定着を予防する外来種 (定着予防外来種)	国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。
(i) 侵入予防外来種	国内に未侵入の種。特に導入の予防、水際での監視、バラスト水対策等で国内への侵入を未然に防ぐ必要がある。
(ii) その他の定着予防外来種	侵入の情報はあがるが、定着は確認されていない種。
(2) 総合的に対策が必要な外来種 (総合対策外来種)	国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、国、地方公共団体、国民等各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。
(i) 緊急対策外来種	「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方(※)に基づき、被害の深刻度に関する基準①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。
(ii) 重点対策外来種	「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方(※)に基づき、被害の深刻度に関する基準として①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。
(iii) その他の総合対策外来種	総合対策外来種のうち、緊急対策外来種、重点対策外来種に該当しないもの。
(3) 適切な管理が必要な産業上 重要な外来種 (産業管理外来種)	産業又は公益的役割において重要であり、代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。利用にあたっては種ごとに示す利用上の留意事項に沿って適切に管理を行うことを呼びかけるもの。

(※) 緊急対策外来種、重点対策外来種における対策の優先度の考え方：  
(被害の深刻度に関する基準)

- ① 生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
- ② 生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
- ③ 絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
- ④ 人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす(対策の実効性、実行可能性)
- ⑤ 防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

## 2. 植物

### 1) 調査方法

#### (1) 調査時期・期間・時間

- ・各調査地において、春期（4月）、夏期（7、8月）、秋期（10月）に調査を行った。実施日を表Ⅲ－2－1に示した。
- ・時間は午前9時から午後4時までの間とした。

表Ⅲ－2－1 植物調査の実施日

調査期	調査日	調査地	天候
春期	4月5日	西恋ヶ窪緑地、平兵衛樹林地、西町四丁目緑地	曇り
	4月11日	東京経済大学、姿見の池緑地	晴れ
	4月18日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	曇り
	4月28日	姿見の池緑地、西恋ヶ窪緑地、西町五丁目緑地	晴れ
夏期	7月5日	武蔵国分寺公園	曇り
	7月7日	真姿の池周辺	晴れのち曇り
	7月10日	姿見の池緑地	晴れ
	7月12日	東京経済大学	晴れ
	7月14日	西恋ヶ窪緑地	雨のち曇り
	7月19日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	曇りのち晴れ
	8月15日	西町五丁目緑地、西恋ヶ窪緑地	曇りのち雨
	8月16日	武蔵国分寺公園	曇り
秋期	8月22日	東京経済大学、姿見の池緑地	曇りのち晴れ
	10月4日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	雨のち曇り
	10月5日	東京経済大学	晴れ
	10月16日	西恋ヶ窪緑地	晴れ
	10月24日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	10月25日	姿見の池緑地	曇り

#### (2) 調査手法

- ・調査地を専門員1～2名が踏査し、維管束植物（シダ植物、種子植物）を目視で確認し、記録を行った。対象は、自生種と植栽種とした。
- ・種名が分からない場合は持ち帰り、押し葉標本を作成し後日同定した。希少で標本が採集できない場合は、デジタルカメラで撮影し同定を行った。
- ・希少種、外来種、調査地の植生概況などを記録した。希少種と特定外来生物、地域を特徴づける種<sup>※3</sup>については、生育範囲、株数、位置を記録した。

※3 地域を特徴づける種：武蔵野の自然を代表する以下の8種の草本類を選定した。

ヒトリシズカ、フタリシズカ、ムサシアブミ、ウラシマソウ、シュンラン、サイハイラン、カントウタンポポ、ワレモコウ

## 2) 調査結果

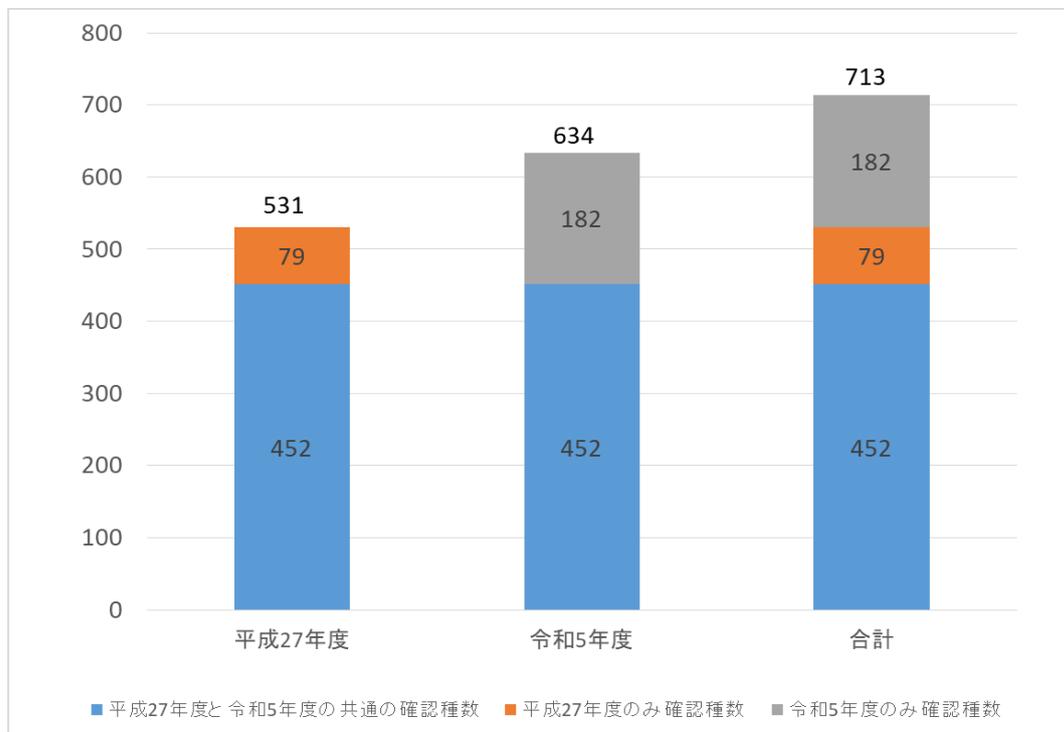
### (1) 確認種の概要

秋期までの調査で 634 種を確認した。亜種<sup>※4</sup>、変種<sup>※5</sup>、品種<sup>※6</sup>と種レベル以下の分類も含む。前回調査の 531 種と比較すると 103 種多かった。これまでの調査の合計は 127 科 713 種となった（図Ⅲ－2－1）。

新たに確認された種は、イネ科、キク科の草本や、植栽種が多かった。

確認種が増加した理由として、前回調査に比べ調査地が 2 地点増えたことや、公園などで新たに植栽された種が増えたことなどが考えられる。

確認種数は、姿見の池緑地が 401 種で最も多く、次いで武蔵国分寺公園・真姿の池周辺 389 種、西恋ヶ窪緑地 281 種、東京経済大学 280 種、西町五丁目緑地 198 種、平兵衛樹林地 119 種、西町四丁目緑地 117 種であった。



図Ⅲ－2－1 確認された植物の推移

※<sup>4</sup> **亜種**：多くの個体については同じ種と区別できるが、わずかな中間形によって連続するような場合に用いられる。はっきりと分布地域が異なるような変種を亜種とすることもある。

※<sup>5</sup> **変種**：基本的には同じ種の他の個体と同じだが、大きさや毛の有無などで区別できる個体をいう。変種は独自の分布域をもっているのが普通である。

※<sup>6</sup> **品種**：基本的には同じで、花の色の違いなどごく一部のみの違いがある個体を品種という。普通は独自の分布域をもたない。

表Ⅲ－２－２ 国分寺市内で確認した植物（令和５年度）（1/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
イワヒバ科	1	イヌカタヒバ				●				●	●	国RL:VU、植栽
ハナヤスリ科	2	オオハナワラビ			●			●	●	●	●	
トクサ科	3	スギナ		●	●	●	●		●	●	●	
	4	トクサ		●						●	●	
	5	イヌドクサ								●	●	
	6	オオトクサ		●						●	●	
ゼンマイ科	7	ゼンマイ		●		●				●	●	
カニクサ科	8	カニクサ			●	●			●	●	●	
コバノイシカゲマ科	9	フモトシダ				●				●	●	
	10	ワラビ								●	●	
イノモトソウ科	11	ホウライシダ				●				●	●	
	12	イワガネソウ				●				●	●	
	13	オオバノイノモトソウ		●	●	●				●	●	
	14	イノモトソウ				●				●	●	
チャセンシダ科	15	トラノオシダ				●				●	●	
ヒメシダ科	16	ゲジゲジシダ			●	●				●	●	
	17	イヌケホシダ		●	●	●				●	●	
	18	ミゾシダ			●	●				●	●	
	19	ヒメワラビ			●	●				●	●	
	20	ミドリヒメワラビ		●	●	●				●	●	
メシダ科	21	イヌワラビ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	22	オオシケンシダ属の一種								●	●	
	23	ホソバシケンシダ		●						●	●	
	24	シケンシダ			●	●				●	●	
コウヤワラビ科	25	クサソテツ		●		●				●	●	
オンシダ科	26	リョウメンシダ			●	●				●	●	
	27	ナガバヤブソテツ		●	●	●				●	●	
	28	オニヤブソテツ		●	●	●				●	●	
	29	ヤブソテツ			●	●				●	●	
	30	テリハヤブソテツ			●	●				●	●	
	31	ベニシダ		●	●	●	●		●	●	●	
	32	オオイタチシダ			●	●				●	●	
	33	オクマワラビ			●	●				●	●	
	34	アイアスカイノデ				●				●	●	都RL:VU
	35	イノデ			●	●				●	●	
ウラボシ科	36	クロノキシノブ				●				●	●	
	37	ノキシノブ				●				●	●	
ソテツ科	38	ソテツ						●		●	●	
イチヨウ科	39	イチヨウ			●	●				●	●	
マツ科	40	ヒマラヤスギ			●					●	●	
	41	ドイツトウヒ				●				●	●	
	42	アカマツ			●	●				●	●	
	43	クロマツ				●				●	●	アイグロマツを含む
マキ科	44	イヌマキ			●					●	●	
	45	ラカンマキ				●			●	●	●	
ヒノキ科	46	ヒノキ		●			●			●	●	
	47	サワラ	●	●		●	●			●	●	
	48	ヒムロ				●				●	●	
	49	スギ		●	●	●				●	●	
	50	カイヅカイブキ					●			●	●	
	51	ビャクシン属の一種				●				●	●	
	52	ヒノキ科の一種								●	●	
イチイ科	53	イヌガヤ				●				●	●	
	54	イチイ								●	●	都RL:非分布、植栽
	55	キヤラボク				●	●			●	●	
	56	カヤ		●	●					●	●	
マツブサ科	57	シキミ				●	●			●	●	
	58	サネカズラ	●	●	●	●		●		●	●	
センリョウ科	59	ヒトリシズカ	●	●	●	●				●	●	
	60	フタリシズカ	●	●	●	●				●	●	
	61	センリョウ			●	●			●	●	●	
ドクダミ科	62	ドクダミ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	63	ハンゲショウ				●				●	●	都RL:データなし、植栽
ウマノスズクサ科	64	ウマノスズクサ				●				●	●	都RL:VU、植栽
	65	フタバアオイ			●					●	●	
モクレン科	66	ユリノキ								●	●	
	67	タイサンボク			●					●	●	
	68	コブシ	●	●	●	●		●		●	●	
	69	シモクレン								●	●	別名:モクレン
	70	ホオノキ		●		●				●	●	
	71	シデコブシ								●	●	国RL:NT、植栽
ロウバイ科	72	ロウバイ								●	●	
クスノキ科	73	クスノキ	●		●	●			●	●	●	
	74	ニッケイ				●				●	●	国RL:NT、植栽
	75	ヤブニッケイ	●	●		●				●	●	
	76	ヤマコウバシ	●	●				●		●	●	
	77	クロモジ			●					●	●	
	78	タブノキ	●	●	●					●	●	
	79	シロダモ	●	●	●				●	●	●	
ショウブ科	80	セキショウ		●	●	●				●	●	
サトイモ科	81	ムサシアブミ	●	●	●	●				●	●	
	82	カントウマムシグサ				●				●	●	ムラサキマムシグサを含む
	83	ウラシマソウ		●		●			●	●	●	
	84	サトイモ				●				●	●	

表Ⅲ-2-2 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（2/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考	
サトイモ科	85	オランダカイウ				●				●	●		
	86	コンニャク				●				●	●	植栽	
	87	カラスビシャク	●	●		●		●	●	●	●		
ヤマノイモ科	88	オオハンゲ	●			●				●	●		
	89	ヤマノイモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	90	ナガイモ	●			●				●	●		
イヌサフラン科	91	オニドコロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	92	イヌサフラン			●					●	●		
サルトリイバラ科	93	ホウチャクソウ		●	●	●	●			●	●		
	94	サルトリイバラ	●	●		●	●	●	●	●	●		
	95	タチシオデ				●		●		●	●		
ユリ科	96	シオデ	●	●		●	●			●	●		
	97	ヤマユリ	●	●		●	●			●	●		
	98	オニユリ	●		●	●				●	●		
	99	テッポウユリ		●						●	●		
	100	シンテッポウユリ					●			●	●	その他の総合対策外来種	
	101	タイワンホトギス				●				●	●	国RL: CR、植栽	
	102	ホトギス属の一種		●		●				●	●		
ラン科	103	チューリップ		●						●	●	植栽	
	104	シラン				●				●	●	国RL: NT、植栽	
	105	ギンラン				●				●	●	都RL: EN	
	106	キンラン				●				●	●	国RL: VU、都RL: NT	
	107	ササバギラン				●				●	●	都RL: NT	
	108	サイハイラン	●	●	●	●				●	●		
	109	シュラン	●		●	●	●		●	●	●		
	110	マヤラン								●	●	国RL: VU	
	111	タシロラン				●				●	●	国RL: NT	
	アヤメ科	112	ヒメオウギズイセン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他の総合対策外来種
		113	ヒメオウギ					●			●	●	
114		ハナショウブ								●	●		
115		ヒメシャガ				●				●	●	国RL: NT、都RL: 非分布 植栽	
116		シャガ		●		●			●	●	●		
117		カキツバタ								●	●	国RL: NT、都RL: CR 植栽	
118		キシウブ		●		●				●	●	重点対策外来種	
119		イチハツ		●						●	●		
ワスレグサ科		120	ノカンゾウ				●				●	●	都RL: NT
	121	ヤブカンゾウ	●	●		●	●	●	●	●	●		
ヒガンバナ科	122	ノビル	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	123	ハナニラ	●	●		●	●	●	●	●	●	その他の総合対策外来種	
	124	スノーフレーク	●	●		●	●	●	●	●	●		
	125	ヒガンバナ	●		●	●	●			●	●		
	126	キツネノカミソリ				●				●	●	都RL: VU	
	127	スイセン	●	●		●		●		●	●		
	128	ハタケニラ								●	●		
クサスギカズラ科	129	ハラン			●	●				●	●		
	130	ツルボ	●	●			●			●	●		
	131	オオバギボウシ				●				●	●		
	132	コバギボウシ				●				●	●		
	133	ツリガネズイセン		●		●		●		●	●		
	134	ヤブラン	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	135	ムスカリ	●							●	●		
	136	ノシラン		●	●	●			●	●	●		
	137	ジャノヒゲ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	138	ナガバジャノヒゲ		●	●	●	●	●	●	●	●		
	139	オオバジャノヒゲ		●	●	●				●	●		
	140	オオアマナ	●		●	●				●	●		
	141	ナルコユリ		●				●		●	●		
	142	アマドコロ								●	●	都RL: EN、植栽	
	143	キチジョウソウ		●	●	●			●	●	●		
	144	オモト		●	●	●		●		●	●		
	145	イトラン属の一種								●	●	その他の総合対策外来種	
ヤシ科	146	シュロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他の総合対策外来種	
ツユクサ科	147	ツユクサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	148	ヤブミョウガ		●	●	●				●	●		
	149	ノハカタカラクサ		●	●	●				●	●	重点対策外来種	
	150	ミョウガ		●		●	●			●	●		
ショウガ科	151	ガマ		●					●	●			
ガマ科	152	コガマ		●					●	●			
ミクリ科	153	ミクリ				●			●	●	国RL: NT、都RL: NT 植栽		
イグサ科	154	イグサ		●					●	●			
	155	コウガイゼキショウ		●					●	●			
	156	ホソイ				●			●	●		都RL: NT、植栽	
	157	スズメノヤリ								●	●		
カヤツリグサ科	158	エナンヒコクサ	●	●		●				●	●		
	159	ヒメカンスゲ		●	●	●	●		●	●	●		
	160	オニスゲ		●						●	●		
	161	アゼナルコ		●						●	●		
	162	カサスゲ		●						●	●		
	163	マスクサ			●	●			●	●	●		
	164	ヒカゲスゲ	●	●	●	●	●		●	●	●		
	165	ナキリスゲ	●	●	●	●	●		●	●	●		

表Ⅲ-2-2 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（3/9）

科名	No.	種名	西恣ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考	
カヤツリグサ科	166	メアオスゲ			●					●	●		
	167	ヒメシラスゲ			●	●		●		●	●		
	168	ミヤマシラスゲ		●						●	●		
	169	ヤブスゲ			●					●	●		
	170	スゲ属の一種									●		
	171	ヤワラスゲ				●				●	●		
	172	コゴメガヤツリ	●							●	●		
	173	メリケンガヤツリ		●						●	●	重点対策外来種	
	174	カヤツリグサ								●	●		
	175	イガガヤツリ		●						●	●		
	176	カンガレイ				●				●	●	都RL:VU、植栽	
	177	フトイ		●						●	●		
	178	メリケンカルカヤ	●			●		●		●	●	その他の総合対策外来種	
	イネ科	179	コバナグサ		●						●	●	
		180	トダシバ								●	●	
		181	カラスムギ								●	●	
		182	コバンソウ						●		●	●	
183		イヌムギ	●	●	●	●		●	●	●	●		
184		キツネガヤ				●				●	●		
185		ジュズダマ	●	●		●				●	●		
186		ギョウギシバ		●						●	●		
187		カモガヤ	●							●	●	産業管理外来種	
188		ノガリヤス	●	●			●	●	●	●	●		
189		メシバ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
190		コメシバ		●	●	●	●	●	●	●	●		
191		アキメシバ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
192		イヌビエ		●						●	●		
193		ヒメイヌビエ	●	●	●	●				●	●		
194		オヒシバ	●	●	●	●				●	●		
195		アオカモジグサ						●	●	●	●		
196		カモジグサ	●		●	●				●	●		
197		カゼクサ	●	●	●	●				●	●		
198		ウシノケグサ属の一種			●					●	●		
199		ニワホコリ				●				●	●		
200		トボシガラ		●					●	●	●		
201		チガヤ				●				●	●		
202		ケナシチガヤ		●						●	●		
203		サヤヌカグサ				●				●	●		
204		ササガヤ	●	●		●	●	●	●	●	●		
205		オニウシノケグサ	●	●						●	●	産業管理外来種	
206		ホソムギ		●					●	●	●	産業管理外来種	
207		アシボソ	●	●	●		●	●	●	●	●		
208		ヒメアシボソ								●	●		
209		オギ				●				●	●		
210		ススキ	●	●	●	●	●		●	●	●		
211		コネズミガヤ	●	●						●	●		
212		コチヂミザサ		●	●		●	●	●	●	●		
213		ケチヂミザサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
214		ヌカキビ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
215		シマスズメノヒエ		●		●				●	●	その他の総合対策外来種	
216		スズメノヒエ			●	●	●			●	●		
217		チカラシバ		●		●				●	●		
218		モウソウチク				●	●	●	●	●	●	産業管理外来種	
219		マダケ		●	●	●	●	●	●	●	●		
220		アズマネザサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
221		メダケ		●					●	●	●		
222		ミゾイチゴツナギ	●	●		●				●	●		
223		アオスズメノカタビラ	●	●		●				●	●		
224		スズメノカタビラ	●	●	●	●				●	●		
225		ナガハグサ		●						●	●		
226	オオスズメノカタビラ		●						●	●			
227	ヒエガエリ		●						●	●			
228	ヤダケ		●		●			●	●	●			
229	クマザサ	●	●	●	●				●	●			
230	コクマザサ	●	●		●				●	●			
231	アズマザサ				●				●	●	都RL:NT、植栽		
232	アズマザサ属の一種								●	●			
233	イヌアワ		●		●				●	●			
234	アキノエノコログサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
235	コツブキンエノコロ								●	●			
236	キンエノコロ		●					●	●	●			
237	エノコログサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
238	オオエノコロ	●	●	●					●	●			
239	トウチク		●		●				●	●			
240	セイバンモロコシ		●		●				●	●	その他の総合対策外来種		
241	アブラスキ		●					●	●	●			
242	オオアブラスキ		●						●	●			
243	ネズミノオ								●	●			
244	マコモ		●						●	●			
245	コウライシバ								●	●			
ケシ科	246	クサノオウ	●	●		●			●	●			
	247	ジロポウエンゴサク								●	●		
	248	キケマン								●	●	都RL:非分布、植栽	
	249	ムラサキケマン	●	●	●	●				●	●		
	250	シラユキゲシ				●				●	●		

表Ⅲ-2-2 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（4/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
ケシ科	251	タケニグサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	252	ケナシチヤンバギク			●	●				●	●	
	253	ナガミヒナゲシ	●		●	●		●	●	●	●	
アケビ科	254	アケビ	●	●	●	●		●	●	●	●	
	255	ミツバアケビ	●	●	●		●	●	●	●	●	
	256	ゴヨウアケビ		●						●	●	
	257	ムベ							●	●	●	
ツツラフジ科	258	アオツツラフジ	●	●	●		●	●	●	●		
メギ科	259	ホソバヒラギナンテン		●		●				●	●	
	260	ヒラギナンテン	●	●	●	●		●	●	●	●	その他の総合対策外来種
	261	メギ				●				●	●	
	262	ナンテン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
キンボウゲ科	263	ニリンソウ				●				●	●	都RL:NT
	264	シュウメイギク				●				●	●	
	265	ボタンヅル					●			●	●	
	266	コボタンヅル	●			●				●	●	
	267	センニンソウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	268	セリバヒエンソウ	●	●	●	●				●	●	
	269	キクザキリュウキンカ								●	●	
	270	ケキツネノボタン		●	●					●	●	
	271	アキカラマツ	●	●						●	●	
	ハス科	272	ハス								●	●
ツゲ科	273	フッキソウ		●		●				●	●	
マンサク科	274	ヒュウガミズキ								●	●	
	275	トサミズキ				●				●	●	国RL:NT、植栽
	276	アカバナトキワマンサク								●	●	別名:ベニバナトキワマンサク
ユズリハ科	277	ユズリハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ユキノシタ科	278	ユキノシタ								●	●	
ベンケイソウ科	279	コモチマンネングサ				●				●	●	
ブドウ科	280	ノブドウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	281	ヤブガラシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	282	ツタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	283	エビヅル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	284	アメリカフウロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
フウロソウ科	285	ゲンノショウコ	●							●	●	
ミツバウツギ科	286	ゴンズイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
キブシ科	287	キブシ		●						●	●	
ミソハギ科	288	ミソハギ		●						●	●	
	289	ザクロ		●						●	●	
アカバナ科	290	ミズタマソウ								●	●	
	291	メマツヨイグサ		●		●				●	●	
	292	ユウゲショウ		●	●				●	●	●	
マメ科	293	ネムノキ	●	●	●					●	●	
	294	ヤブマメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	295	ハナズオウ					●			●	●	
	296	アレチヌスビトハギ		●	●	●			●	●	●	その他の総合対策外来種
	297	ツルマメ				●				●	●	
	298	フジカンゾウ	●	●						●	●	
	299	ヌスビトハギ	●	●	●	●			●	●	●	
	300	マルバヤハズソウ								●	●	
	301	ヤハズソウ	●			●				●	●	
	302	ヤマハギ	●	●					●	●	●	
	303	メドハギ	●							●	●	
	304	ネコハギ								●	●	
	305	タイワンハギ		●						●	●	
	306	イヌハギ				●				●	●	国RL:VU、都RL:EN、植栽
	307	イヌエンジュ	●							●	●	
	308	クズ		●	●	●	●		●	●	●	
	309	トキリマメ				●				●	●	
310	エンジュ			●		●			●	●		
311	ムラサキツメクサ		●						●	●		
312	シロツメクサ		●		●				●	●		
313	スズメノエンドウ			●					●	●		
314	ヤハズエンドウ	●	●	●	●		●	●	●	●		
315	ナンテンハギ		●						●	●		
316	フジ		●	●	●				●	●		
バラ科	317	ヒメキンミズヒキ	●	●						●	●	
	318	キンミズヒキ	●	●		●			●	●	●	
	319	アズキナン					●			●	●	
	320	エドヒガン				●				●	●	都RL:非分布、植栽
	321	ヤマザクラ	●	●	●	●			●	●	●	
	322	カスミザクラ								●	●	
	323	オオヤマザクラ								●	●	
	324	サトザクラ				●				●	●	
	325	サクラ属の一種				●		●	●	●	●	
	326	オオシマザクラ				●				●	●	
	327	ソメイヨシノ		●	●	●	●			●	●	
	328	クサボケ	●		●					●	●	
	329	ボケ								●	●	
	330	ビワ		●	●	●	●	●		●	●	産業管理外来種
	331	ダイコンソウ		●						●	●	
	332	ヤマブキ	●	●	●	●		●		●	●	

表Ⅲ－２－２ 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（5/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考	
バラ科	333	コゴメウツギ								●	●		
	334	イヌザクラ	●		●	●				●	●		
	335	ウワミズザクラ	●		●	●				●	●		
	336	カナメモチ	●			●	●			●	●		
	337	キジムシロ	●	●					●	●	●		
	338	ミツバツチグリ	●	●				●		●	●		
	339	ヘビイチゴ	●		●	●			●	●	●		
	340	ヤブヘビイチゴ	●	●	●	●				●	●		
	341	カマツカ	●	●					●	●	●		
	342	アズ										●	
	343	ニワウメ				●					●	●	
	344	ウメ		●		●					●	●	
	345	ユスラウメ				●					●	●	
	346	カリン		●		●					●	●	
	347	タチバナモドキ										●	その他の総合対策外来種
	348	シャリンバイ		●	●	●			●		●	●	
	349	シロヤマブキ				●					●	●	国RL:EN、植栽
	350	ノイバラ	●	●	●	●	●	●	●		●	●	
	351	フユイチゴ				●					●	●	
	352	クサイチゴ		●		●			●		●	●	
	353	ニガイチゴ				●	●				●	●	
	354	ナワシロイチゴ	●	●	●	●	●	●			●	●	
	355	カジイチゴ	●					●			●	●	
	356	ワレモコウ	●			●					●	●	
	357	ナナカマド										●	
	358	コデマリ				●					●	●	
	359	ユキヤナギ		●		●					●	●	
	グミ科	360	ツルグミ		●					●	●	●	
		361	ナツグミ		●			●		●	●	●	
		362	トウグミ		●	●					●	●	
		363	ナワシログミ	●	●		●				●	●	
	クロウメモドキ科	364	ナツメ				●				●	●	
	ニレ科	365	アキニレ				●				●	●	
		366	ケヤキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	アサ科	367	ムクノキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
368		エノキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クワ科	369	カナムグラ		●	●	●				●	●		
	370	ヒメコウゾ	●	●	●	●				●	●		
	371	クワクサ	●	●	●	●				●	●		
	372	イチジク		●							●		
	373	イヌビワ	●			●					●	●	
	374	ホソバインビワ				●					●		
	375	マダウ									●	●	
	376	ヤマグワ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	
イラクサ科	377	ヤブマオ	●		●	●		●		●	●		
	378	アオカラムシ	●	●		●			●	●	●		
	379	カラムシ		●						●	●		
	380	メヤブマオ	●								●	●	
	381	トキホコリ									●	●	国RL:VU、都RL:CR
	382	アオミズ									●	●	
ウリ科	383	アマチャヅル		●	●	●				●	●		
	384	カラスウリ	●	●	●	●			●	●	●		
	385	キカラスウリ		●	●	●				●	●		
	386	スズメウリ		●					●	●	●		
	387	クリ	●	●							●	●	
	388	スダジイ									●	●	
ブナ科	389	マテバシイ									●		
	390	クヌギ	●	●	●	●				●	●		
	391	アラカシ		●	●	●		●		●	●		
	392	シラカシ	●	●	●	●				●	●		
	393	コナラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	394	オニグルミ	●	●	●	●				●	●		
	カバノキ科	395	ハンノキ				●				●	●	都RL:VU、植栽
		396	クマシデ		●						●	●	
		397	アカシデ		●	●			●		●	●	
398		イヌシデ	●	●		●	●			●	●		
399		ツルウメモドキ		●		●	●	●		●	●		
ニシキギ科	400	ニシキギ	●	●	●	●				●	●		
	401	マサキ	●	●	●	●				●	●		
	402	ツリバナ	●	●						●	●		
	403	マユミ	●	●	●	●		●	●	●	●		
	404	イモカタバミ	●	●				●		●	●		
	405	ハナカタバミ		●						●	●		
	406	カタバミ	●	●	●	●	●			●	●		
カタバミ科	407	ウスアカカタバミ	●	●		●			●	●	●		
	408	アカカタバミ			●	●				●	●		
	409	ムラサキカタバミ			●	●		●		●	●		
	410	オツタチカタバミ	●	●	●	●		●	●	●	●		
	411	サンカクカタバミ		●						●	●		
	トウダイグサ科	412	エノキグサ	●	●	●	●			●	●	●	
		413	タカトウダイ	●							●	●	
		414	コニシキノウ			●		●			●	●	
415		オオニシキノウ		●						●	●		
416		アカメガシフ	●	●	●	●		●	●	●	●		
417		ヤマアイ				●				●	●		
418		シラキ					●			●	●		
419		ナンキンハゼ	●						●	●	●	その他の総合対策外来種	

表Ⅲ-2-2 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（6/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
オトギリソウ科	420	ビヨウヤナギ				●				●	●	
	421	キンシバイ				●				●	●	
スミレ科	422	タチツボスミレ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	423	アオイスミレ	●			●			●	●	●	
	424	コスミレ				●			●	●	●	
	425	マルバスマレ							●	●	●	別名:ケマルバスマレ
	426	アメリカスミレサイシン	●	●		●		●		●	●	
	427	ツボスミレ				●				●	●	
	428	ノジスミレ	●							●	●	
ヤナギ科	429	イイギリ	●	●	●	●	●			●	●	
	430	シダレヤナギ		●						●	●	
	431	タチヤナギ		●						●	●	
アブラナ科	432	セイヨウアブラナ		●						●	●	
	433	ナズナ	●	●	●					●	●	
	434	ミチタネツケバナ	●							●	●	
	435	タネツケバナ		●		●				●	●	
	436	マメゲンバイナズナ								●	●	
	437	オオバタネツケバナ				●				●	●	
	438	オランダガラシ		●						●	●	重点対策外来種
	439	シヨクサイ		●	●	●		●		●	●	
	440	イヌガラシ								●	●	
ウルシ科	441	ヌルデ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	442	ツタウルシ				●				●	●	
	443	ハゼノキ			●					●	●	
ムクロジ科	444	オオモミジ			●	●				●	●	
	445	トウカエデ		●		●				●	●	
	446	ミツデカエデ						●		●	●	
	447	イロハモミジ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	448	オニタヤ						●		●	●	
	449	トチノキ								●	●	
	450	ムクロジ								●	●	
ニガキ科	451	ニワウルシ		●						●	●	重点対策外来種
センダン科	452	センダン	●	●	●	●	●	●		●	●	
ミカン科	453	ミカン属の一種		●	●	●				●	●	
	454	ユズ				●				●	●	
	455	ガラスザンショウ								●	●	
	456	ザンショウ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	457	イヌザンショウ				●				●	●	
コミカンソウ科	458	コミカンソウ			●			●		●	●	
	459	ナガエコミカンソウ	●		●	●				●	●	
アオイ科	460	カラスノコマ	●		●		●			●	●	
	461	アオギリ						●		●	●	
	462	フヨウ			●					●	●	その他の総合対策外来種
	463	ムクゲ		●						●	●	
	464	ゼニアオイ								●	●	
タデ科	465	イタドリ		●	●	●				●	●	
	466	ミスヒキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	467	オオイスタデ								●	●	
	468	イヌタデ	●	●	●	●		●		●	●	
	469	ヤノネグサ		●						●	●	
	470	ハナタデ	●	●		●	●			●	●	
	471	アキノウナギツカミ		●						●	●	
タデ科	472	ミゾソバ		●						●	●	
	473	ミチヤナギ				●				●	●	
	474	ヒメスイバ		●						●	●	その他の総合対策外来種
	475	アレチギシギシ		●		●				●	●	
	476	ナガバギシギシ	●	●	●					●	●	その他の総合対策外来種
	477	ギシギシ				●				●	●	
	478	エゾノギシギシ								●	●	その他の総合対策外来種
ナデシコ科	479	オランダミミナグサ	●	●		●		●		●	●	
	480	ハマツメクサ		●						●	●	
	481	ノミノフスマ								●	●	
	482	ウシハコベ	●	●		●		●		●	●	
	483	コハコベ	●	●	●	●				●	●	
	484	ミドリハコベ	●	●	●	●				●	●	
	485	イヌコハコベ	●							●	●	
ヒユ科	486	イノコヅチ	●		●	●		●		●	●	別名:ヒカゲイノコヅチ
	487	ヒナタイノコヅチ	●	●	●	●	●			●	●	
	488	シロザ	●							●	●	
	489	ゴウシュウアリタソウ								●	●	
ヤマゴボウ科	490	ヨウシュヤマゴボウ	●	●	●	●	●	●		●	●	
オンシロバナ科	491	オンシロバナ		●	●	●				●	●	
ミズキ科	492	ミズキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	493	ハナミズキ					●			●	●	
	494	ヤマボウシ				●				●	●	
	495	クマノミズキ			●					●	●	
	496	サンシュユ				●				●	●	
アジサイ科	497	ウツギ		●	●					●	●	
	498	アジサイ	●	●	●	●				●	●	
	499	ガクアジサイ	●	●	●	●				●	●	
	500	ガクウツギ	●	●	●					●	●	
	501	ヤマアジサイ		●						●	●	
モッコク科	502	サカキ				●	●	●		●	●	
	503	ヒサカキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	504	モッコク				●	●			●	●	

表Ⅲ－２－２ 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（7/9）

科名	No.	種名	西窓ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
カキノキ科	505	カキノキ	●	●	●	●	●		●	●	●	
	506	マメガキ			●					●	●	
サクラソウ科	507	マンリョウ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	508	ヤブコウジ					●				●	
	509	ヌマトランノオ				●					●	都RL: VU、植栽
	510	コナスビ	●	●					●	●	●	
ツバキ科	511	ヤブツバキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	512	オトメツバキ			●	●				●	●	
	513	サザンカ		●	●	●	●			●	●	
	514	チャノキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	515	ヒメシヤラ							●	●	●	
ハイノキ科	516	サワフタギ	●	●	●	●				●	●	
エゴノキ科	517	エゴノキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	518	ハクウンボク					●				●	
マタタビ科	519	キウイフルーツ		●		●			●	●	●	産業管理外来種
リョウブ科	520	リョウブ	●								●	
ツツジ科	521	ドウダンツツジ				●					●	
	522	アセビ		●	●	●				●	●	
	523	サツキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	524	ヤマツツジ	●	●	●	●					●	
	525	ユキグニミツバツツジ			●						●	
	526	コハノミツバツツジ									●	
	527	ツツジ属の一種(アザレア)		●							●	栽培品種
	528	セイヨウシヤクナゲ		●		●					●	
	529	キリシマツツジ									●	
	530	ヒラドツツジ	●	●	●	●			●	●	●	栽培品種: オオムラサキツツジ
	531	ナツハゼ			●						●	
アオキ科	532	ヒメアオキ		●							●	
	533	アオキ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	534	フィリアオキ	●	●	●	●					●	
アカネ科	535	キクムグラ				●					●	都RL: データなし
	536	ヤエムグラ	●		●	●			●	●	●	
	537	ハンカグサ			●	●				●	●	
	538	ヨツバムグラ				●				●	●	
	539	クチナン			●	●	●	●		●	●	
	540	ヘクソカズラ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	541	アカネ				●					●	
	542	ハクチョウゲ				●					●	国RL: EN、植栽
キョウチクトウ科	543	ガガイモ	●		●	●			●	●	●	
	544	テイカカズラ	●		●	●	●			●	●	
	545	ツルニチニチソウ	●		●	●	●				●	重点対策外来種
	546	カモメツルの一種				●					●	
ムラサキ科	547	ハナイバナ	●		●	●		●	●	●	●	
	548	キュウリグサ	●	●	●	●			●	●	●	
ヒルガオ科	549	コヒルガオ		●		●					●	
	550	アイノコヒルガオ	●		●	●					●	
	551	アオイゴケ属の一種									●	
	552	マルバルコウ	●	●		●					●	重点対策外来種
	553	アサガオ	●								●	重点対策外来種
	554	マルバアサガオ									●	
ナス科	555	ホオズキ		●		●			●	●	●	
	556	クコ		●		●				●	●	
	557	ウルナスビ		●	●	●				●	●	
	558	アメリカイヌホオズキ	●	●	●	●				●	●	
	559	ヒヨドリジョウゴ	●	●	●	●			●	●	●	
	560	イヌホオズキ		●		●					●	
	561	タマサンゴ	●								●	
	562	ジャガイモ		●							●	
モクセイ科	563	ヒトツバタゴ									●	国RL: VU、植栽
	564	シナレンギョウ	●	●							●	
	565	チオウセンレンギョウ									●	
	566	セイヨウトネリコ							●	●	●	
	567	ヤマトアオダモ	●	●						●	●	
	568	ネズミモチ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	569	トウネズミモチ	●	●	●	●	●	●		●	●	重点対策外来種
	570	オオバイボタ									●	
	571	イボタノキ	●	●	●	●					●	
	572	キンモクセイ		●	●	●					●	
	573	ギンモクセイ	●			●					●	
	574	ヒイラギ		●		●	●		●	●	●	
	575	ヒイラギモクセイ		●		●					●	
オオバコ科	576	オオバコ	●	●		●					●	
	577	ヘラオオバコ			●	●			●	●	●	
	578	ツボミオオバコ									●	
	579	オオカワヂシャ		●							●	緊急対策外来種 (特定外来生物)
	580	タチイヌノフグリ	●		●	●			●	●	●	
	581	オオイヌノフグリ	●		●	●					●	
	582	カワヂシャ				●					●	国RL: NT、都RL: VU
シソ科	583	キランソウ	●	●	●	●		●			●	
	584	コムラサキ				●					●	都RL: DD、植栽
	585	ムラサキシキブ	●	●	●	●	●	●		●	●	
	586	オオムラサキシキブ		●			●				●	
	587	ヤブムラサキ	●								●	
	588	ボタンクサギ				●			●	●	●	
	589	クサギ	●	●	●	●	●	●		●	●	

表Ⅲ-2-2 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（8/9）

科名	No.	種名	西恣ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
シソ科	590	トウバナ							●	●		
	591	ナギナタクウジュ	●							●		
	592	カキドオシ	●	●	●	●				●	●	
	593	ヤマハッカ		●						●	●	
	594	ホトケノザ	●							●	●	
	595	ヒメオドリコソウ	●	●	●	●		●		●	●	
	596	メハジキ				●				●	●	
	597	シロネ				●				●	●	都RL:VU、植栽
	598	ヒメシロネ				●				●	●	都RL:VU、植栽
	599	イヌコウジュ	●	●	●	●		●	●	●	●	都RL:VU、植栽
	600	シソ									●	
	601	エゴマ		●	●							
	602	ハナトラノオ									●	別名:カクトラノオ
	603	ガラニチカセージ		●						●	●	
	604	アキノタムラソウ	●	●						●	●	
	605	イヌゴマ		●		●				●	●	
サギゴケ科	606	サギゴケ		●						●	●	
	607	トキワハゼ				●				●	●	
ハエドクソウ科	608	ハエドクソウ	●	●	●	●		●	●	●	●	
	609	ナガバハエドクソウ		●		●		●		●	●	
キリ科	610	キリ			●					●	●	
ハマウツボ科	611	ナンバンギセル				●				●	●	植栽
キツネノマゴ科	612	キツネノマゴ	●	●	●	●			●	●	●	
タマツツラ科	613	ヤナギハナガサ				●				●	●	その他の総合対策外来種
モチノキ科	614	イヌツゲ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	615	モチノキ		●	●	●				●	●	
	616	タラヨウ				●				●	●	
	617	ソヨゴ				●				●	●	
	618	クロガネモチ	●		●	●	●	●	●	●	●	
	619	ウメモドキ		●		●				●	●	
キキョウ科	620	ツリガネニンジン	●	●						●	●	
	621	ホタルブクロ	●	●						●	●	
	622	キキョウ									●	国RL:VU、都RL:DD 植栽
キク科	623	マルバフジバカマ					●			●	●	その他の総合対策外来種
	624	ブタクサ	●	●	●	●				●	●	
	625	オオブタクサ	●	●	●	●				●	●	重点対策外来種
	626	ヨモギ	●	●	●	●			●	●	●	
	627	シロヨメナ	●	●						●	●	
	628	ノコンギク		●						●	●	
	629	シラヤマギク	●	●				●		●	●	
	630	シオン属の一種		●		●				●	●	
	631	カントウヨメナ		●	●					●	●	
	632	アメリカセンダングサ		●			●			●	●	その他の総合対策外来種
	633	アイノコセンダングサ	●			●				●	●	
	634	コシロノセンダングサ	●	●						●	●	
	635	コセンダングサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	636	ヤブタバコ		●						●	●	
	637	リュウノウギク					●			●	●	
	638	タイアザミ		●						●	●	別名:トネアザミ
	639	アメリカオニアザミ	●	●		●				●	●	その他の総合対策外来種
	640	アザミ属の一種	●	●		●				●	●	
	641	セイヨウフジバカマ		●						●	●	
	642	キバナコスモス		●						●	●	
	643	ベニバナボロギク	●	●	●					●	●	
	644	ヤクシソウ	●					●	●	●	●	
	645	アメリカタカサブロウ								●	●	
	646	ダンドボロギク	●		●	●	●	●	●	●	●	その他の総合対策外来種
	647	ヒメジョオン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	その他の総合対策外来種
	648	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	649	ハルジオン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	650	オオアレチノギク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	651	フジバカマ				●				●	●	国RL:NT、都RL:CR 植栽
	652	ヒョドリバナ		●						●	●	
	653	ツツブキ	●	●	●	●	●			●	●	
	654	ハキダメギク	●	●	●	●			●	●	●	
	655	ウラジロチチヨグサ		●	●					●	●	
	656	チチヨグサモドキ	●		●					●	●	
	657	ヒマワリ属の一種								●	●	
	658	キクイモ		●		●				●	●	
	659	キツネアザミ	●			●			●	●	●	
	660	ブタナ	●							●	●	
	661	オグルマ				●				●	●	都RL:CR、植栽
	662	ニガナ		●						●	●	
	663	オオジシバリ	●							●	●	
	664	イワニガナ					●			●	●	
	665	アキノノゲシ	●	●		●		●	●	●	●	
	666	ヤブタビラコ			●	●				●	●	
	667	フキ	●	●	●	●		●	●	●	●	
	668	コウゾリナ	●							●	●	
	669	ハハコグサ							●	●	●	
	670	ノボロギク	●							●	●	
	671	コメナモミ					●	●		●	●	
	672	セイタカアワダチソウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	重点対策外来種
	673	オニノゲシ	●	●	●				●	●	●	
	674	ノゲシ	●	●	●			●		●	●	

表Ⅲ－２－２ 国分寺市内で確認した植物（令和5年度）（9/9）

科名	No.	種名	西恋ヶ窪 緑地	姿見 の池	東京 経済 大学	武蔵 国分寺 公園・真姿 の池周辺	平兵衛 樹林地	西町 四丁目 樹林地	西町 五丁目 樹林地	令和 5年 度	平成 27年 度	備考
キク科	675	シロバナタンポポ	●							●	●	
	676	セイヨウタンポポ	●	●	●	●		●	●	●	●	重点対策外来種
	677	アイノコセイヨウタンポポ			●					●	●	重点対策外来種
	678	カントウタンポポ	●	●		●				●	●	
	679	サワオグルマ										都RL:EX、植栽
ガマズミ科	680	オニタビラコ	●	●	●	●			●	●	●	
	681	ニワトコ	●	●					●	●	●	
	682	ガマズミ	●	●	●	●			●	●	●	
	683	ハクサンボク			●					●	●	
	684	サンゴジュ		●		●	●			●	●	
スイカズラ科	685	ガマズミ属の一種			●					●	●	
	686	ハナソノツクバネウツギ		●		●				●	●	
	687	ウグイスカグラ	●	●		●			●	●	●	
	688	ヤマウグイスカグラ				●				●	●	
	689	スイカズラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	690	オトコエシ									●	
	691	ハコネウツギ			●					●	●	
ウコギ科	692	ニシキウツギ			●					●	●	
	693	ウド	●	●		●			●	●	●	
	694	タラノキ	●	●	●	●	●		●	●	●	
	695	メダラ	●		●	●				●	●	
	696	カクレミノ		●	●	●			●	●	●	
	697	オカウコギ		●		●				●	●	
	698	ヤマウコギ	●	●						●	●	
	699	ヤツデ		●	●	●	●	●	●	●	●	
	700	カナリーキツタ			●		●			●	●	
	701	キツタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	702	ノチドメ									●	
	703	チドメグサ									●	
	704	ヒメチドメ				●				●	●	
	705	ハリギリ				●				●	●	
トベラ科	706	トベラ			●				●	●		
セリ科	707	ノダケ		●						●	●	
	708	アシタバ	●	●	●	●	●		●	●	●	
	709	ミツバ	●	●	●	●				●	●	
	710	セリ		●	●	●				●	●	
	711	ヤブニンジン			●	●				●	●	
	712	ウマノミツバ			●					●	●	
	713	オヤブジラミ	●	●		●				●	●	
127		713							634	531		

※植物は季節による生育状況の変化は少ないと考えられるため、一覧表には調査期（春期・夏期・秋季）を分けずに示した。

(2) 希少種 ※盗掘や盗採がされないよう、確認場所が特定されないように記載しています。

国 RL の掲載種は 3 種 (植栽含め 13 種)、都 RL の掲載種は 9 種 (植栽含め 26 種) であった。確認した希少種の一覧を表Ⅲ-2-3 に示す。

なお、非分布種・園芸品として流通している種・花壇に植えられている種のうち、植栽されたと思われる種については「○」、自生と思われる種については「●」と表記した。

国 RL に指定されているイヌカタヒバ、台湾ンホトトギス、トサミズキ、シロヤマブキ、ハクチョウゲはいずれも自然分布は関東以南のため、植栽された種と考えられ、希少性は低いと思われる。

自生のうち、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、キツネノカミソリの多くは緑地の管理者によって保全され、個体数も比較的多かった。ギンランとササバギンランの花期は調査日より早いので、今回確認されなかった調査地でも見つかる可能性がある。アイアスカイノデとニリンソウは、前回調査に引き続き確認された。

今回初めて記録されたタシロラン、キクムグラ、カワヂシャの 3 種は、個体数はそれほど多くない。タシロランは地上茎が現れる期間が短く、生育状況の正確な把握が難しいが、合わせて 10 本ほどを確認することができた。キクムグラは北多摩で「データなし」だが、本土部としては絶滅危惧 I B 類 (EN) となっている。カワヂシャは、後述する外来種であるオオカワヂシャと近接して生育しており、交雑が懸念される。

表Ⅲ-2-3 国分寺市内で確認した希少種 (植物)

科名	種名	自生	植栽	国RL	都RL (北多摩)
イワヒバ科	イヌカタヒバ		○	VU	
オシダ科	アイアスカイノデ	●			VU
ドクダミ科	ハンゲショウ		○		データなし
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ		○		VU
ユリ科	台湾ンホトトギス		○	CR	
ラン科	シラン		○	NT	
	ギンラン	●	○		EN
	キンラン	●		VU	NT
	ササバギンラン	●			NT
	タシロラン	●		NT	
アヤメ科	ヒメジャガ		○	NT	非分布
ワスレグサ科	ノカンゾウ	●	○		NT
ヒガンバナ科	キツネノカミソリ	●			VU
ミクリ科	ミクリ		○	NT	NT
イグサ科	ホソイ		○		NT
カヤツリグサ科	カンガレイ		○		VU
イネ科	アズマザサ		○		NT
キンボウゲ科	ニリンソウ	●			NT
マンサク科	トサミズキ		○	NT	
マメ科	イヌハギ		○	VU	EN
バラ科	エドヒガン		○		非分布
	シロヤマブキ		○	EN	
カバノキ科	ハンノキ		○		VU
サクラソウ科	ヌマトラノオ		○		VU
アカネ科	キクムグラ	●			データなし
	ハクチョウゲ		○	EN	
オオバコ科	カワヂシャ	●		NT	VU
シソ科	コムラサキ		○		DD
	メハジキ		○		VU
	シロネ		○		VU
	ヒメシロネ		○		VU
キク科	フジバカマ		○	CR	CR
	オグルマ		○		CR
23	33	10	25	3(13)	9(26)

●:自生 ○:植栽

※()は植栽種も含めた数

※植栽種は希少性の評価の対象ではないため、市内の生物多様性の評価としては自生種のみを取り扱う。



ニリンソウ(都 RL:NT)



アイアスカイノデ(都 RL:VU)



キンラン(国 RL:VU、都 RL:NT)



ギンラン(都 RL:EN)



タシロラン(国 RL:NT)



カワヂシャ(国 RL:NT、都 RL:VU)



ノカンゾウ(都 RL:NT)



キツネノカミソリ(都 RL:VU)

(3) 外来種

確認された生態系被害防止外来種リスト掲載種は 39 種であった。一覧を表Ⅲ－２－４に示す。

そのうち、緊急対策外来種として 1 種、オオカワヂシャを確認した。オオカワヂシャは、希少種カワヂシャと交雑し、雑種ホナガカワヂシャを形成する。すでに水路に沿ってオオカワヂシャの分布を広げているところもあり、その対策が急がれる。

その他、重点対策外来種は 13 種、その他の総合対策外来種は 19 種、産業対策外来種は 6 種確認された。

全調査地で重点対策外来種のトウネズミモチと、国内由来のその他の総合的対策外来種であるシュロが確認された。

表Ⅲ－２－４ 国分寺市内で確認した生態系被害防止外来種（植物）

生態系被害防止外来種リストカテゴリ	種名	西恋ヶ窪緑地	姿見の池	東京経済大学	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	平兵衛樹林地	西町四丁目緑地	西町五丁目緑地	備考
緊急対策外来種	オオカワヂシャ		●						
	オランダガラシ		●						
重点対策外来種	ニワウルシ		●						
	トウネズミモチ	●	●	●	●	●	●	●	
	ツルニチニチソウ	●		●		●			
	マルバルコウ	●	●		●				外来ノアサガオ類として記載
	アサガオ	●							
	オオフタクサ	●			●				
	セイタカアワダチソウ	●	●	●	●	●		●	
	セイヨウタンポポ	●	●	●	●		●	●	外来性タンポポ種群として記載
	アイノコセイヨウタンポポ			●					
	キシウブ		●		●				
	ノハカタカラクサ		●	●					
	メリケンガヤツリ		●						
	総合対策外来種	シンテツボウユリ					●		
ヒメスイバ			●						
ナガバギンギン		●	●	●					
ヒイラギナンテン		●	●	●	●			●	
ナンキンハゼ		●						●	
ヤナギハナガサ					●				
アメリカオニアザミ		●	●		●				
ヒメジョオン		●	●	●	●		●	●	
ダンドボロギク		●		●	●	●		●	
ハナニラ		●	●		●		●		
ヒメオウギズイセン		●	●	●	●		●	●	
メリケンカルカヤ		●			●		●		
セイバンモロコシ			●		●				
シマスズメノヒエ			●		●				
アレチヌスビトハギ			●	●	●			●	
フヨウ				●					
マルバフジバカマ							●		
アメリカセンダングサ			●			●			
シュロ		●	●	●	●	●	●	●	国内由来
産業対策外来種		キウイフルーツ		●		●			●
	ビワ		●	●	●	●	●		
	カモガヤ	●							
	オニウシノケグサ	●	●						
	ホソムギ		●					●	
	モウソウチク					●		●	
	39	19	26	15	21	9	9	13	



オオカワヂシャ(緊急対策外来種)  
7月10日 姿見の池緑地



トウネズミモチ(重点対策外来種)  
4月5日 西恋ヶ窪緑地



ツルニチニチソウ(重点対策外来種)  
4月11日 東京経済大学



キショウブ(重点対策外来種)  
4月28日 姿見の池緑地



ノハタカラクサ(重点対策外来種)  
7月12日 東京経済大学



メリケンガヤツリ(重点対策外来種)  
7月12日 姿見の池緑地



シュロ(国内由来の外来種)  
7月14日 西恋ヶ窪緑地



キウイフルーツ(産業対策外来種)  
4月28日 西町五丁目緑地

#### (4) 各調査地の概況

##### ①西恋ヶ窪緑地

281種を確認した（平成27年度：248種）。

平坦地に形成された、クヌギとコナラを主体とする雑木林である。高木としてはクリやイヌシデ、ヤマザクラなどの落葉樹が、亜高木から低木としてはネズミモチ、イボタノキ、カマツカ、ガマズミなどが生育する。林床では、低茎のアズマネザサと混生してヌスビトハギやフジカンゾウ、キンミズヒキ、ヤマユリなど多様な草本が生育している。シダ類は少なく、イヌワラビの1種のみである。

雑木林に特徴的な種として、ヒトリシズカやフタリシズカ、サイハイラン、シュンランなどが確認された。サイハイランとヤクシソウは本調査地のみでの確認であった。また、明るい草地を好むワレモコウとタカトウダイも本調査地のみで確認された。

主な外来種では、つる性草本のツルニチニチソウが南側の入口で広範囲に生育し、少し離れた林内にも入り込んでいた。また、調査地の南東部でトウネズミモチが開花、結実していた。樹林の外縁に近く、皆伐後間もない第3期区と第5期区では、荒地を好むヨウシュヤマゴボウやセイタカアワダチソウ、ヒメジョオンといった外来草本が目立った。



図Ⅲ-2-2 西恋ヶ窪緑地 エリアの呼称(※国分寺市ホームページ参照)

## ②姿見の池緑地

401種を確認した（平成27年度：298種）。

段丘上の雑木林と、姿見の池周辺の湿地帯、平坦な樹林からなる緑地である。

雑木林の西側はクヌギとコナラの広葉樹林で、ゴンズイ、マユミ、エゴノキなども生育する明るい森である。林床はアズマネザサが優占するが、低茎に抑えられた区域では、早春にはヒトリシズカやフタリシズカ、夏期にはヒヨドリバナやホタルブクロ、ナルコユリといった雑木林に特徴的な草本が生育していた。雑木林の東側は、高木にヒノキやサワラ、低木にチャノキが植栽された比較的暗いエリアで、林床植生は多くないが、アキノタムラソウやウラシマソウ、ムサシアブミなどが生育していた。

姿見の池及び隣接する湿地は造成地である。湿地にはミソハギ、オニスゲ、ガマといった湿性植物が生育している。湿地の奥にも樹林がある。

水路沿いでは、緊急対策外来種のオオカワヂシャのほか、重点対策外来種のキシノウブ、ノハカタカラクサ、オランダガラシ、メリケンガヤツリが散見された。オオカワヂシャは、種子による下流への影響が懸念されるため、種子をこぼさないようビニール袋に入れるなどしながら抜き取り駆除をする必要がある。

東京都環境局の保全地域の指定状況によれば、北側の平坦な樹林はウメの樹園であったとされる。地域を特徴づける種としてカントウタンポポが確認された。

### ③東京経済大学（「東経の森」）

280 種を確認した（平成 27 年度：232 種）。

大径木<sup>\*7</sup>が残る斜面林で、湧水を水源とする新次郎池を有する。大径木はコナラ、クヌギ、エノキ、ケヤキが多く、その他高木ではミズキ、クマノミズキ、ムクノキなどがある。林縁ではハウチャクソウ、ヤブニンジン、ヤブミョウガなどが目立ち、水路沿いではオクマワラビやベニシダ、ミゾシダなどのシダ類が多く生育していた。林内はアズマネザサが優占し、特に「どんぐりの森」、「みどりのトンネル」では1mほどの高さとなっていた。また「どんぐりの森」、「みどりのトンネル」の一部と「さえずりの森」では、外来種のノハカタカラクサやカナリーキヅタがマット状に地表を覆っていた。

雑木林に特徴的な種として、林内でフタリシズカとサイハイランを確認し、水路沿いではムサシアブミを1株確認した。

本調査地は2020年に整備され、池周辺の植物には移植されたものも多い。フタバアオイは本調査地のみでの記録だが、植栽である。また「さえずりの森」の園路沿いのガマズミやサクラ類なども、自生のように見えるが植栽とのことである。



図Ⅲ-2-3 東京経済大学の調査地呼称

<sup>\*7</sup>大径木：幹の直径が70cm以上の樹木

#### ④武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

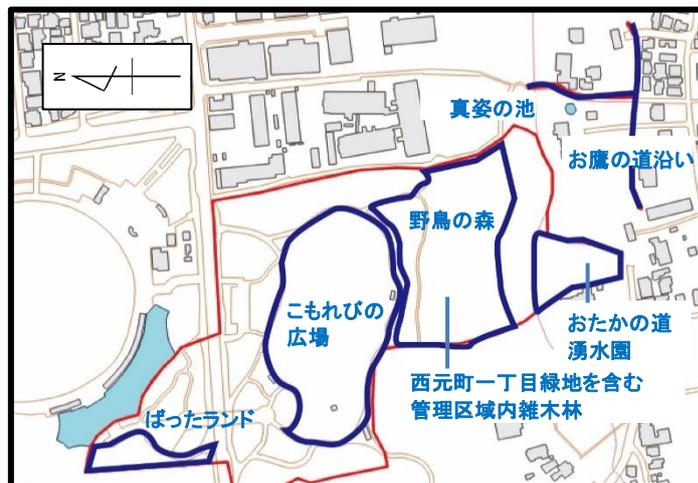
389種を確認した（平成27年度：347種）。

調査範囲は、武蔵国分寺公園では「であい広場」にある『ばったランド』、公園南側に広がる「野鳥の森」、武蔵国分寺公園に隣接する西元町一丁目緑地を含む管理区域内の雑木林とした。武蔵国分寺公園外では、お鷹の道沿いと、おたかの道湧水園を範囲とした。前回調査では、民有地にある真姿の池と国分寺崖線の上にある武蔵国分寺公園「こもれび広場」が調査範囲に含まれていたが、今回は調査範囲には含めなかった。

野鳥の森は平坦地で、景観は雑木林だが、樹木や一部の草本は植栽由来である。林床は、日当たりの良い西側ではカントウタンポポやヤマユリ、外来種のセリバヒエンソウなどが生育していた。日陰となる中央部から東側では、アズマネザサとヤブミョウガが多く、外来種のオオブタクサやボタンクサギが優占するエリアもあった。

野鳥の森内の管理区域は、地形や植生から4つのエリアに大別され、①シラカシとヒサカキの常緑樹林、②クヌギとコナラの広葉樹林、③ムクノキとモウソウチクからなる斜面林、④西元町一丁目緑地の平坦な樹林である。このうち②ではシュンランなどが出現していた。③では湿った林内に生育するムサシアブミやウラシマソウが見られ、特にムサシアブミは斜面下部に多く100株以上の確認となった。

お鷹の道沿いでは多様なシダ類が確認された。イワガネソウとフモトシダはこの場所のみでの記録である。おたかの道湧水園では、池の周辺は上記③の植生が地続きとなり、ムサシアブミが多く確認された。



図Ⅲ-2-4 武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

※国土地理院「基盤地図情報データ」を加工して作成

#### ⑤平兵衛樹林地

119 種を確認した（平成 27 年度：107 種）。

シラカシ、ヒノキ、サワラからなる樹林である。隣地よりモウソウチクが侵入している。下層はヒサカキとムラサキシキブが多く、サカキ、チャノキ、イヌツゲも見られる。土壌が固結、流出し、木本類の根が露出しているためか、林床植生は少ない。疎らに生育するアズマネザサのほか、クズやオニドコロなどのつる性植物や、ヒメカンスゲなどが確認された。

雑木林に特徴的な種としては、シュンランが確認された。

#### ⑥西町四丁目緑地

117 種を確認した。（平成 27 年度：調査範囲外）

元々はコナラとクヌギの雑木林であるが、ナラ枯れ被害に伴う伐採によるものかコナラは若齢木のみであった。クヌギが多く、ケヤキとエノキの大木も見られる。アオキとヤブツバキが自然樹形で生育していることが特徴的である。春期はタチツボスミレが開花し、ミツバツチグリ、ナルコユリといった雑木林の種も確認されたが、数は多くない。夏期はやや薄暗い環境となり、アズマネザサやハエドクソウなどが目立った。

人為的な影響も考えられ、植栽からの逸出として、ツリガネズイセンやジャガイモ、その他の総合対策外来種であるハナニラなどが確認された。道路に面した日当たりの良いエリアでは、コバンソウやアカメガシワの実生など、外来種が生育していた。

#### ⑦西町五丁目緑地

198 種を確認した。（平成 27 年度：調査範囲外）

コナラ林とモウソウチク林からなる樹林である。コナラ林では、下層はヒサカキとムラサキシキブ、エゴノキ、イヌツゲが多く、所々にガマズミやウグイスカグラなども見られた。

樹林地の中心からモウソウチク林に至るまでの間には、イタヤカエデの亜種オニイタヤの大木が生育していた。オニイタヤの記録はこの場所のみである。モウソウチク林内に植物は少ないが、隣接する畑との林縁にクサイチゴや雑木林の種であるウラシマソウなどが生育していた。

主な外来種では、緑地入口の開けた空間で先駆種のアカメガシワが高密度に生育していた。トウネズミモチの実生も緑地全体で複数確認された。また、植栽から逸出したキウイフルーツも、隣接する「西町しばざくら公園」近くで生育していた。

### 3. 鳥類

#### 1) 調査方法

##### (1) 調査時期・期間・時間

- ・各調査地において、鳥類調査では一般的に適期とされる春期・夏期・秋期・冬期の4回の調査を行う。1期あたり計3日程度の調査を行った。実施日の一覧は表Ⅲ-3-1に示す。
- ・調査時間は、鳥類の活動が活発な早朝として午前7時から実施し、おおむね午前中には終了した。
- ・各調査地で、1時間程度の踏査を行ったが、調査地の面積や鳥類の出現情報などに応じて、時間を調整した。
- ・この他に、他の分類群の専門調査員調査時や環境団体参加の拠点調査時の記録も含め、集計した。

表Ⅲ-3-1 鳥類調査の実施日

調査期	調査日	調査地	天候
春期	4月27日	姿見の池緑地、東京経済大学	晴れ
	4月28日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	5月1日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
夏期	6月12日	姿見の池緑地、東京経済大学	晴れ
	6月13日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺 西恋ヶ窪緑地	晴れ
	6月22日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	曇り時々晴れ
秋期	10月11日	姿見の池緑地、東京経済大学	曇り
	10月16日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	10月18日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
冬期	1月10日	姿見の池緑地、東京経済大学 武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	1月13日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ

##### (2) 調査手法

- ・調査地を専門員1名が踏査し、目視や鳴き声により確認した種について、おおよその個体数を記録するとともに、希少種については、おおよその位置も記録した。特徴的な行動（繁殖行動や採食行動など）が見られた場合には、それも記録した。
- ・落ちていた羽などは参考記録として扱った。

##### (3) 道具

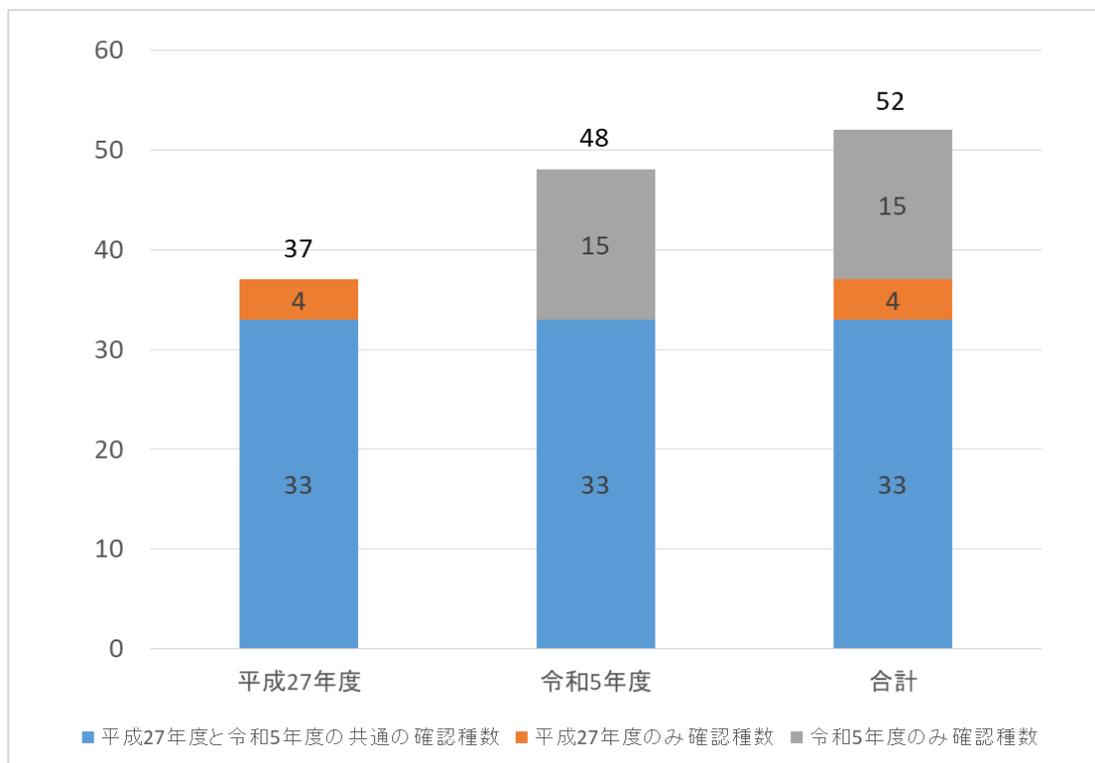
- ・調査時には、8倍の双眼鏡を用いるほか、記録用に焦点距離600mm相当のデジタルカメラにて記録を取るようにした。

## 2) 調査の結果

### (1) 確認種の概要

13目27科48種の鳥類を確認し、前回調査の37種と比較すると11種多かった(種レベルまで同定できなかったものも含んでいる)。渡りの時期に一時的に立ち寄るエゾビタキやオオルリなどを確認できたためである。なお、これまでの調査の合計は13目27科52種となった。これを図Ⅲ-3-1、表Ⅲ-3-2に示す。

確認種としては、キジバト、ハシブトガラス、オナガ、ヒヨドリ、スズメなど、いわゆる「都市鳥」と呼ばれる種が多かったが、アオゲラやヤマガラ、エナガなどの樹林性の種も目立つ。水辺の鳥としては、コガモやカルガモなどのカモ類や、アオサギやコサギなどのサギ類、カイツブリ、カワセミなどが確認されたが、個体数はいずれも少なかった。



図Ⅲ-3-1 確認された鳥類の推移

表Ⅲ-3-2 国分寺市内で確認した鳥類の一覧（令和5年度）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考						
			春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期	夏期	秋期	冬期	春期				夏期	秋期	冬期			
カモ	カモ	オシドリ																							●		国RL:DD、都RL:VU					
		マガモ																									●					
		カルガモ					●	●	●					●	●	●											●	●				
		コガモ																									●	●				
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ												●												●		都RL:VU				
ハト	ハト	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
		アオバト														●													●	都RL:NT		
		ドバト	●				●									●	●												●			
カツオドリ	ウ	カワウ																								※2	●	上空通過				
ペリカン	サギ	アオサギ																										●	●			
		コサギ																											●	●		
ツル	クイナ	クイナ																										●		都RL:DD		
カッコウ	カッコウ	ツツドリ																										●		都RL:非分布		
		カッコウ																											●	●	都RL:VU	
タカ	タカ	ツミ																										●	●	都RL:VU		
		ハイタカ属の一種																											●			
		オオタカ																											●	●	国RL:NT、都RL:VU	
		サシバ																											●		国RL:VU、都RL:CR	
フクロウ	フクロウ	コノハズク																										●		都RL:非分布		
		フクロウ																											●		都RL:VU	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ																										●	●	都RL:NT		
キツツキ	キツツキ	コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		アオゲラ																											●	●	都RL:ランク外	
スズメ	モズ	モズ																										●	●	都RL:VU		
		カラス																											●	●	都RL:NT	
	ハシボソガラス	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	シジュウカラ	ヤマガラ																											●		都RL:ランク外	
		シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ツバメ	ツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	ウグイス	ウグイス		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	都RL:ランク外	
	エナガ	エナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	メジロ	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	ムクドリ	ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	ヒタキ	シロハラ																											●	●		
		ツグミ	●			●	●																						●	●		
		ルリビタキ																											●			
		ジョウビタキ																											●	●		
		エゾヒタキ																											●	●		
		コサメビタキ																											●	●	都RL:VU	
		キビタキ																											●	●		
		ヒタキ類の一種																											●	●		
オオルリ																											●	●	都RL:NT			
スズメ	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	セキレイ																											●	●			
アトリ	ハクセキレイ																											●	●			
	キクセキレイ																											●	●			
ホオジロ	カワラヒワ	●	●																									●	●			
	シメ																											●	●			
チメドリ	アオジ																											●	●			
	ガビチョウ																											●	●	重点対策外来種 (特定外来生物)		
インコ	インコ																										●	●	その他の 総合対策外来種			
13	27	52																					48	37								

※1 市民による情報提供：姿見の池緑地で確認されたジョウビタキ、エゾビタキ、キビタキについては、専門員調査の際、市民等から調査当日に撮影した鳥類の画像の掲示を受けて種を確認することができたため、参考記録として扱った。

※2 上空を通過する群れであり、緑地への依存度は低いと考えられる。

(2) 希少種 ※確認場所が特定されないように記載しています。

希少種としては、鳥類では15種を確認した。(国RL:2種、都RL:15種)。

国RL掲載種では、絶滅危惧Ⅱ類のサシバが上空を5羽で飛翔していた。準絶滅危惧のオオタカは秋期に確認された。

都RL掲載種では、絶滅危惧ⅠA類が1種(サシバ)、絶滅危惧Ⅱ類が7種(カイツブリ、カッコウ、ツミ、オオタカ、フクロウ、モズ、コサメビタキ)、準絶滅危惧種が5種(アオバト、コサギ、カワセミ、オナガ、オオルリ)、情報不足種が1種(クイナ)、非分布(ツツドリ)を確認した。



カイツブリ (都RL:VU)



ツミ (都RL:VU)



サシバ (国RL:VU、都RL:CR)



フクロウ (都RL:VU)



モズ (都RL:VU)



オオルリ (都RL:NT)

### (3) 外来種

外来種としては、ドバト、ホンセイインコ（亜種ワカケホンセイインコ）、ガビチョウの3種を確認した。これらすべての種は、平成27年度の調査でも確認されていた。

そのうち、外来生物法で定める特定外来生物としては、ガビチョウが平兵衛樹林地と西町五丁目緑地を除く5か所で確認された。ガビチョウは在来鳥類や捕食する昆虫類への影響が懸念される。

生態系被害防止外来種リストで、総合的に対策が必要な外来種の中の「その他の総合対策外来種」であるホンセイインコが6か所（姿見の池緑地、東京経済大学、武蔵国分寺・真姿の池周辺、平兵衛樹林地、西町四丁目緑地、西町五丁目緑地）で確認された。



ガビチョウ(特定外来生物)  
4月27日 東京経済大学



ホンセイインコ(亜種ワカケホンセイインコ)  
(その他の総合対策外来種)  
5月1日 西町四丁目緑地

### (4) 各調査地の概況

#### ①西恋ヶ窪緑地

18種を確認した（平成27年度：21種）。

雑木林では、ハシボソガラスが営巣していた他、エナガの巣材集め、コゲラの餌運び行動、シジュウカラの幼鳥への給餌行動なども確認された。開けた草地は、ムクドリの子鳥連れが採食に利用していた。

前回調査では、猛禽類が確認されたが、今回の調査では確認されなかった。



ハシボソガラスの幼鳥(左)  
6月13日 西恋ヶ窪緑地

## ②姿見の池緑地

30種を確認した（平成27年度：26種）。

東側の雑木林ではエナガの巣立ち雛、当地で育ったと考えられるシジュウカラの幼鳥も確認された。

姿見の池では、アオサギやカルガモ等の水鳥も確認された。



エナガの雛

4月27日 姿見の池緑地

## ③東京経済大学

28種を確認した（平成27年度：16種）。

東側にある水路沿いのササヤブでは、ウグイスの幼鳥連れが確認され、東経の森で繁殖したと考えられる。一方で、同様の環境を好む特定外来種のガビチョウもササヤブに定着していた。

樹林性の種が多く、繁殖期にはヒヨドリやエナガ、シジュウカラの幼鳥が確認され、秋の渡りの時期にはキビタキやヒタキ類等も飛来した。

調査範囲の東経の森以外にも、シジュウカラが1号館の配線ボックスを営巣場所として利用していた。



ヒヨドリの幼鳥

6月23日 東京経済大学

## ④武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

36種を確認した（平成27年度：28種）。今回の調査では最も確認種数が多かった。

武蔵国分寺公園の「武蔵の池」では、カルガモの親子が人工浮島で確認された。そのほかにも、マガモやコガモ等の水鳥が確認され、草地ではツグミやハクセキレイ等が見られた。



カルガモの親子

6月13日 武蔵国分寺公園

⑤平兵衛樹林地

15種を確認した（平成27年度：15種）。今回の調査では最も確認種数が少なかった。

夏期にアオゲラの幼鳥2羽を含む3羽が周辺の緑地と行き来していた。



アオゲラ

6月23日 平兵衛樹林地

⑥西町四丁目緑地

20種を確認した（平成27年度：調査範囲外）。

調査面積は狭いが、メジロやシロハラなどの樹林性の種や、開けた環境を好むジョウビタキが確認された。



ジョウビタキ

1月13日 西町四丁目緑地

⑦西町五丁目緑地

17種を確認した（平成27年度：調査範囲外）。

夏期にシジュウカラやヒヨドリ、ハシブトガラスの幼鳥が確認された。猛禽類に襲われたと思われるドバトの死体が竹林内で見つかった。



猛禽類に襲われたと考えられる

ドバトの羽

1月13日 西町五丁目緑地

#### 4. 哺乳類・は虫類・両生類

##### 1) 調査方法

##### (1) 調査時期・期間・時間

- ・哺乳類及びは虫類・両生類の調査では、春から秋期（哺乳類のみ冬期含む）までの各地点での植物、鳥類、昆虫類・クモ類、水生生物などの専門員調査に併せて行った。
- ・調査時間は、哺乳類は他の分類群の調査時間内に併せて実施したが、は虫類や両生類については活動が活発となる日中に実施した。
- ・各調査地で、1～数時間程度の踏査を行った。
- ・この他に、環境団体等参加による観察会時の記録も含めた。

表Ⅲ－４－１ 哺乳類・は虫類・両生類調査の実施日

調査期	調査日	調査地	天候
春期	4月5日	西恋ヶ窪緑地、平兵衛樹林地、西町四丁目緑地	曇り
	4月11日	東京経済大学、姿見の池緑地	晴れ
	4月17日	平兵衛樹林地、西町四丁目緑地、西町五丁目緑地	晴れ一時雨のち晴れ
	4月18日	東京経済大学、西恋ヶ窪緑地、武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	曇り
	4月27日	姿見の池緑地、東京経済大学	晴れ
	4月28日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地、姿見の池緑地、西町五丁目緑地	晴れ
	5月1日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
	5月25日	西恋ヶ窪緑地	曇り
	5月27日	姿見の池緑地	曇り
夏期	6月12日	姿見の池緑地、東京経済大学	晴れ
	6月13日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	6月22日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	曇り時々晴れ
	7月5日	武蔵国分寺公園	曇り
	7月7日	真姿の池周辺	晴れのち曇り
	7月10日	姿見の池緑地	晴れ
	7月12日	東京経済大学	晴れ
	7月14日	西恋ヶ窪緑地	雨のち曇り
	7月19日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	曇りのち晴れ
	7月25日	姿見の池緑地	晴れ
	7月27日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	8月15日	西町四・五丁目緑地、西恋ヶ窪緑地	曇り
	8月16日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	曇り
8月22日	東京経済大学、姿見の池緑地	曇りのち晴れ	
秋期	10月4日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	雨のち曇り

	10月5日	東京経済大学、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	10月11日	東京経済大学、姿見の池緑地	曇り
	10月16日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	10月17日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
	10月18日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
	10月24日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	10月25日	姿見の池緑地	曇り
	10月23日	西恋ヶ窪緑地	晴れ
	10月29日	姿見の池緑地	曇り一時雨
冬期	1月10日	姿見の池緑地、東京経済大学、武蔵国分寺公園・真姿の池周辺、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	1月13日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ

## (2) 調査手法

- ・調査地内を専門員1名が調査し、目視や鳴き声、足跡・糞・食痕などのフィールドサインにより確認した種について、おおよその個体数を記録するとともに、希少種については、おおよその位置も記録した。
- ・特徴的な行動（繁殖行動や採食行動など）が見られた場合には、それも記録した。
- ・年齢が分かる場合には、成体・幼体の区別も行った。

## (3) 道具

- ・他の分類群の調査時に使用するものを用いた。鳥類調査時に併せて、8倍の双眼鏡を用いているほか、記録用に焦点距離600mm相当のデジタルカメラにて記録を取るようにした。また、水生生物調査時に併せて、タモ網なども利用した。

## 2) 調査結果

### (1) 確認種の概要

哺乳類は3目3科3種を確認した（平成27年度：1種）。これを表Ⅲ-4-2に示す。

哺乳類はアズマモグラのモグラ塚、ハクビシンと思われる中型哺乳類の糞のほか、8月の夕刻に確認したアブラコウモリを記録として入れた。

は虫類は2目3科3種確認した（平成27年度：8種）。これを表Ⅲ-4-3に示す。

両生類は確認できなかった（平成27年度：1種）。

潜在的には、調査地域内に夜行性である哺乳類のほかニホンヤモリやアズマヒキガエルなども存在すると思われる。

記録の少なさは、昆虫類その他の分類群調査と同時に昼間調査を行ったため、限られた調査日程・時間内という調査精度の限界が考えられる。

表Ⅲ－４－２ 国分寺市内で確認した哺乳類の一覧（令和５年度）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和５年度	平成２７年度	備考			
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期						
モグラ	モグラ	1	アズマモグラ				●	●	●	●	●	●	●	●										●	●					
コウモリ	コウモリ	2	アブラコウモリ											●										●						
ネコ	ジャコウネコ	3	ハクビシン						●		●	●												●		黄、重点対策外来種				
3	3		3	0	0	0	1	1	2	1	2	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	
				0			2			2			2			0			0											

表Ⅲ－４－３ 国分寺市内で確認したは虫類の一覧（令和５年度）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和５年度	平成２７年度	備考
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期			
カメ	インガメ	1	クサガメ																						●		
	ヌマガメ	2	ミシシippアカミミガメ				●																		●	●	緊急対策外来種 (条件付特定外来生物)
	スッポン	3	ニホンスッポン																						●		国RL: DD 都RL: CR+EN
トカゲ	ヤモリ	4	ニホンヤモリ																						●	●	都RL: ランク外
	トカゲ	5	ヒガシニホントカゲ										●												●	●	都RL: VU
	カナヘビ	6	ニホンカナヘビ										●												●	●	都RL: VU
	ナミヘビ	7	アオダイショウ																						●	●	都RL: NT
		8	ヒバカリ																						●	●	都RL: VU
2	7		8																					3	8		

(2) 希少種 ※確認場所が特定されないように記載しています。

希少種としては、都 RL 掲載種を 2 種確認した。いずれもは虫類である。

ニホンカナヘビ（都 RL : VU）、ヒガシニホントカゲ（都 RL : VU）を確認した。



ヒガシニホントカゲ(都 RL: VU)



ニホンカナヘビ(都 RL: VU)

### (3) 外来種

外来種としては、アカミミガメ（亜種ミシシippアカミミガメ）を姿見の池において確認した。これらの個体は、飼育個体が放棄されたものと考えられる。

本種は令和5（2023）年6月1日より外来生物法で「条件付特定外来生物」に指定されている。

### (4) 各調査地の概況

#### ①西恋ヶ窪緑地

哺乳類は確認できなかった（平成27年度：1種）。は虫類1種を確認した（平成27年度：2種）。

#### ②姿見の池緑地

哺乳類2種（平成27年度：1種）、は虫類2種を確認した（平成27年度：7種）。

哺乳類では姿見の池緑地内の林床でアズマモグラのモグラ塚を確認した。

は虫類ではアカミミガメ（亜種ミシシippアカミミガメ）は池で繁殖していると考えられる。

#### ③東京経済大学

哺乳類2種（平成27年度：1種）、は虫類2種を確認した（平成27年度：2種）。

哺乳類では林床にあるモグラ塚によってアズマモグラを確認できた。また、新次郎池周辺の木道上で、ハクビシンのものと思われる中型哺乳類の糞を確認した。ハクビシンは、アライグマと並んで、国分寺市内において近年その姿がよく確認されている。

#### ④武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

哺乳類2種（平成27年度：1種）、は虫類1種を確認した（平成27年度：4種）。

哺乳類ではアズマモグラのモグラ塚を確認した。8月の夕刻に、「こもればい広場」上空を飛翔するアブラコウモリを確認している。



アズマモグラ モグラ塚  
4月28日 武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

#### ⑤平兵衛樹林地

哺乳類は確認できなかった（平成27年度：0種）。は虫類1種を確認した（平成27年度：0種）

⑥西町四丁目緑地（平成 27 年度：調査範囲外）  
哺乳類、は虫類、両生類は確認できなかった。

⑦西町五丁目緑地（平成 27 年度：調査範囲外）  
哺乳類、は虫類、両生類は確認できなかった。

## 5. 昆虫類・クモ類

### 1) 調査方法

#### (1) 調査時期・期間・時間

- ・昆虫類調査に適期とされる春期から秋期に調査日を設定し、各調査地計3回の調査を行った。1期あたり計4日程度の調査を行った。
- ・調査時間は、各調査地およそ3時間程度とした。
- ・調査時間帯は午前9時からの実施を基本としたが、1日に2か所調査を実施する場合や、水生生物調査と同日に実施する場合は午後に実施した。
- ・この他に、他の分類群の専門員調査時や環境団体参加による拠点調査時の記録も含めた。

表Ⅲ－5－1 昆虫類・クモ類調査の実施日

調査期	調査日	調査地	天候
春期	4月17日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ一時雨のち晴れ
	4月18日	東京経済大学、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	4月27日	姿見の池緑地	晴れ
	4月28日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
夏期	7月11日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
	7月12日	東京経済大学、西恋ヶ窪緑地	晴れ
	7月25日	姿見の池緑地	晴れ
	7月27日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	8月15日	西町四・五丁目緑地、西恋ヶ窪緑地	曇り
	8月16日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	曇り
秋期	10月5日	東京経済大学、西恋ヶ窪緑地	曇り
	10月17日	平兵衛樹林地、西町四・五丁目緑地	晴れ
	10月24日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	10月25日	姿見の池緑地	曇り

#### (2) 調査手法

- ・調査地内を専門員1名が踏査し、目視による確認と、捕虫網による捕獲での掬い捕り法を用いている。採集個体は同定作業後、基本的には元の生息場所に戻した。ただし現地での同定が困難なものについては一部採集し、同定用サンプルとした。

#### (3) 道具

- ・調査時には、径35cm枠の捕虫網を使用し、8倍の双眼鏡を用いているほか、記録用にデジタルカメラにて記録を撮るようにした。
- ・その場において同定の困難な種、微小な種等については、必要最小数を採集した。大型

種については殺虫・防腐用に酢酸エチルを用いた容器に収容した。微小種やクモ類については70%エタノール入りスクリー管瓶に収容した。

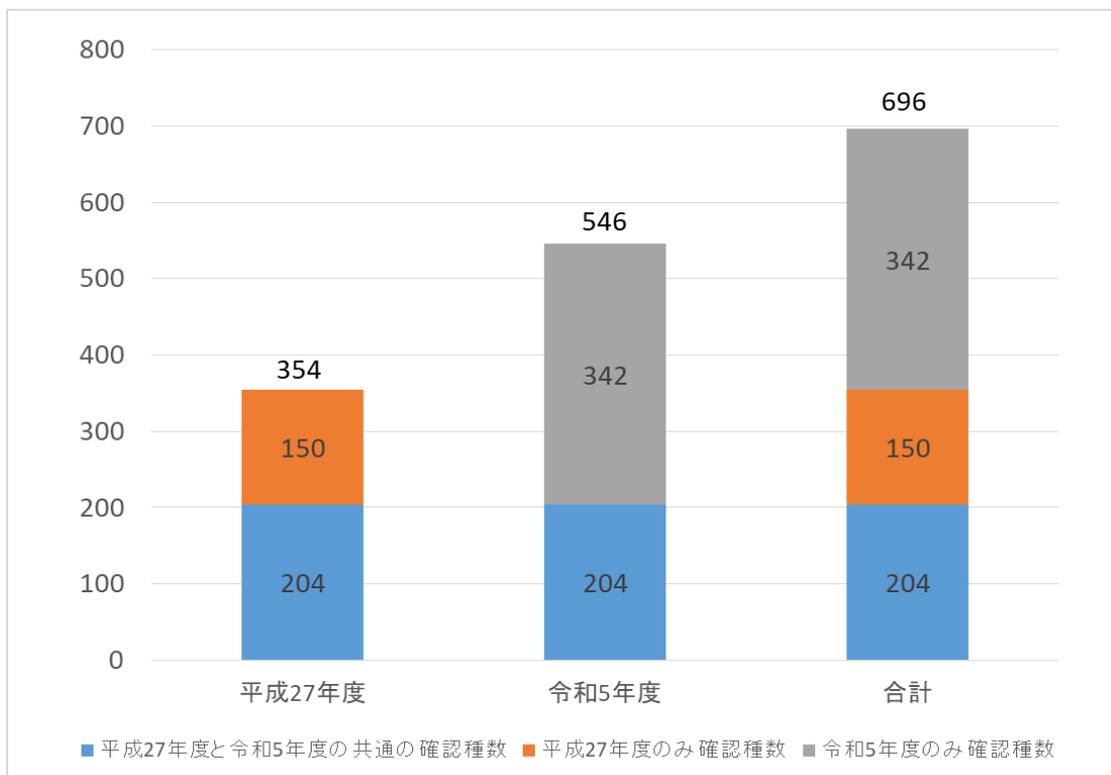
## 2) 調査結果

### (1) 確認種の概要

昆虫類は17目158科546種（平成27年度：17目132科354種。種レベルまで同定できなかったものも含む。）を確認した。前回調査からの累積種数は696種となった。種の一覧を表Ⅲ-5-2に示す。

※昆虫の確認種数については、後述する水生生物調査で確認された水生昆虫を含む。

また、同時に行ったクモ類の調査では16科64種（平成27年度：60種。種名まで同定できなかったものも含んでいる）を確認した。これを表Ⅲ-5-3に示す。



図Ⅲ-5-1 確認された昆虫類の推移

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（1/10）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地		姿見の池緑地		東京経済大学		武蔵国分寺公園・真姿の池周辺		平兵衛樹林地		西町四丁目緑地		西町五丁目緑地		令和5年度	平成27年度	備考					
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期				秋期	春期	夏期	秋期	
カゲロウ	カゲロウ	1	カゲロウ科の一種			●	●											●		幼虫(水生)					
トンボ	アオイトトンボ	2	アオアオイトトンボ																●						
		3	オツネイトトンボ属の一種																	●					
		4	ハグロトンボ				●		●												●	都RL:ランク外			
	イトトンボ	5	ホソミイトトンボ			●	●				●									●	●				
		6	アジアイトトンボ					●													●				
		7	イトトンボ科の一種					●													●	幼虫(水生)			
	ヤンマ	8	ギンヤンマ					●												●	●				
		9	クロスジギンヤンマ					●													●				
		10	ヤブヤンマ属の一種						●												●	幼虫(水生)			
	サナエトンボ	11	コオニヤンマ					●													●				
		12	ヤマサナエ									●									●	都RL: VU			
		13	サナエトンボ科の一種																		●	幼虫(水生)			
	オニヤンマ	トンボ	14	オニヤンマ				●		●	●	●									●	●			
			15	アキアカネ					●		●											●	●		
16			コシメトンボ									●									●	●			
17			マユタテアカネ																			●	都RL: NT		
18			コシアキトンボ				●	●				●										●	●		
19			ショウジョウトンボ									●										●	●		
20			ウスバキトンボ																			●	●		
21			シオカラトンボ					●	●				●									●	●		
22			オシオカラトンボ						●				●									●	●		
ゴキブリ			ゴキブリ	23	クロゴキブリ	●	●				●	●	●										●	●	
	24	ヤマトゴキブリ										●										●	●		
カマキリ	カマキリ	25	モリチャバネゴキブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
		26	ハラビロカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		27	コカマキリ																				●	●	
		28	オオカマキリ					●		●													●	●	
シロアリ	ミゾガシラシロアリ	29	ヤマトシロアリ					●													●	●			
ハサミムシ	マルムネハサミムシ	30	ハマベハサミムシ					●													●	●			
		31	アキハサミムシ							●												●	●		
		32	ヒゲジロハサミムシ																				●	●	
カワゲラ	オナシカワゲラ	33	オナシカワゲラ科の一種				●			●	●	●								●	●	幼虫(水生)			
バッタ	コロギス	34	ハネナシコロギス																			●	●		
		35	ヤブキリ								●											●	●		
		36	クサキリ																				●	●	
		37	クビキリギス					●	●				●										●	●	
	ツユムシ	ツユムシ	38	ホシササキリ																			●	●	
			39	ササキリ																			●	●	
			40	ツユムシ																			●	●	
			41	セスジツユムシ					●				●											●	●
	コオロギ	コオロギ	42	クダマキモドキ属の一種																				●	●
			43	エンマコオロギ					●				●											●	●
			44	モリオカメコオロギ					●				●											●	●
			45	ハラオカメコオロギ									●											●	●
	マツムシ	マツムシ	46	ツツレサセコオロギ							●	●												●	●
			47	クマスズムシ																				●	●
48			コオロギ科の一種							●													●	●	
49			アオマツムシ					●	●	●	●	●											●	●	
ヒバリモドキ	ヒバリモドキ	50	ヤマトヒバリ							●	●											●	●		
		51	キンヒバリ					●	●														●	●	
		52	クサヒバリ																				●	●	
		53	ウスグモスズ																				●	●	
		54	ヤチスズ							●													●	●	
		55	マダラスズ					●	●		●												●	●	
		56	シバズ																				●	●	
		56	シバズ																				●	●	
カネタタキ	カネタタキ	57	カネタタキ					●	●	●											●	●			
アリツカコオロギ	アリツカコオロギ科の一種	58	アリツカコオロギ科の一種																			●	●		
ノミバッタ	ノミバッタ	59	ノミバッタ																			●	●		
ヒシバッタ	ヒシバッタ	60	トゲヒシバッタ					●														●	●		
		61	ハラヒシバッタ																				●	●	
オンブバッタ	オンブバッタ	62	オンブバッタ					●	●	●	●	●										●	●		
		63	ツチイナゴ																					●	●
		64	コバネイナゴ																					●	●
		65	ショウリョウバッタ																					●	●
		66	ショウリョウバッタモドキ																					●	●
		67	ヒナバッタ																					●	●
		68	トノサマバッタ																					●	●
		69	クルマバッタモドキ																					●	●
		70	イボバッタ																					●	●
		ナナフシ	ナナフシ	71	ナナフシモドキ					●															●
72	トビナナフシ																							●	●
73	エダナナフシ																							●	●

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（2/10）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地		西町四丁目緑地			西町五丁目緑地		令和5年度	平成27年度	備考	
			春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋				
チャタテムシ	ケチャタテ	74	ヨツモンホソチャタテ																						
	ホソチャタテ	75	ホソチャタテ	●																			●		
		76	ホソチャタテ科の一種																				●		
	チャタテ	77	クロミヤクチャタテ														●								●
		78	チャタテ科の一種																						●
	ウロコチャタテ	79	ウロコチャタテ科の一種	●																					●
コチャタテ	80	コチャタテ科の一種																						●	
カメムシ	コガシラウンカ	81	アカフコガシラウンカ																				●	●	
	ハネナガウンカ	82	アカハネナガウンカ																					●	
	アオバハゴロモ	83	アオバハゴロモ	●			●	●		●	●		●	●			●	●						●	
		84	ベッコウハゴロモ				●			●															●
	ハゴロモ	85	アミガサハゴロモ	●			●			●															●
		86	アミガサハゴロモ近似種				●										●								●
		87	ハゴロモ科の一種				●																		●
	マルウンカ	88	クサビウンカ亜科の一種	●																				●	
	グンバイウンカ	89	ミドリグンバイウンカ																						●
		90	ヒラタグンバイウンカ																						●
	セミ	91	クマゼミ																						●
		92	アブラゼミ	●			●										●								●
		93	ツクツクボウシ	●																					●
		94	ミンミンゼミ	●			●			●															●
		95	ニイニイゼミ	●			●			●							●								●
		96	ヒグラシ	●																					●
	アワフキムシ	97	ホシアワフキ																					●	
	コガシラアワフキムシ	98	コガシラアワフキ																					●	
	ヨコバイ	99	ツマグロオオヨコバイ	●	●					●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
100		オオヨコバイ	●			●			●						●									●	
101		フチミヤクヨコバイ																						●	
102		クワキヨコバイ																						●	
103		クロヒラタヨコバイ				●																		●	
104		ヒトツメヨコバイ																						●	
105		クロスジホソサジヨコバイ							●															●	
106		クワキヨコバイ類の一種																						●	
107		オビヒメヨコバイ類の一種																						●	
108		ヒメヨコバイ類の一種																						●	
キジラミ	109	ヤツデキジラミ							●														●		
アブラムシ	110	キョウチクトウアブラムシ	●			●																		●	
	111	エゴノネコアシアブラムシ																						●	
	112	クリオアアブラムシ																						●	
	113	イバラヒゲナガアブラムシ	●			●																		●	
	114	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ																						●	
	115	キスゲフクレアブラムシ																						●	
	116	ケヤキトスジワタムシ	●																					●	
	117	タケノアブラムシ		●																				●	
	118	ミカンクロアブラムシ	●																					●	
	119	ミツバツギフクレアブラムシ																						●	
	120	ケクダアブラムシ亜科の一種	●																					●	
	121	アブラムシ科の一種	●																					●	
カタカイガラムシ	122	ミカンヒメワタカイガラムシ	●																				●		
123	ヒモワタカイガラムシ																						●		
ワタフキカイガラムシ	124	オオワラジカイガラムシ	●			●			●														●		
サシガメ	125	ヨコヅナサシガメ				●																		●	
	126	アカサシガメ				●																		●	
	127	アカシマサシガメ							●															●	
	128	オオトビサシガメ																						●	
	129	シマサシガメ																						●	
	130	ヤニサシガメ																						●	
グンバイムシ	131	エグリグンバイ				●			●															●	
	132	アワダチソウグンバイ																						●	
	133	ヤブガラシグンバイ																						●	
	134	ヘクソカズラグンバイ																						●	
	135	ナンシグンバイ																						●	
	136	ツツジグンバイ	●																					●	
	137	トサカグンバイ																						●	
カスミカメムシ	138	ケバキベリナガカスミカメ	●			●			●															●	
	139	キアシクロホソカスミカメ				●																		●	
	140	クスギトビカスミカメ	●			●																		●	
	141	ウスモンミドリカスミカメ																						●	
	142	イネホソミドリカスミカメ	●																					●	
	143	カスミカメムシ科の一種		●						●														●	

表Ⅲ-5-2 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和5年度）（3/10）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地		姿見の池緑地		東京経済大		武蔵国分寺公園・真姿の池周辺		平兵衛樹林地		西町四丁目緑地		西町五丁目緑地		令和5年度	平成27年度	備考	
			春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏				秋
カメムシ	マキバサシガメ	144	●																	
	オオホシカメムシ	145				●														
	ホソヘリカメムシ	146	●			●														
		147					●													
	ヘリカメムシ	148																		
		149																		
		150	●																	
		151																		
		152																		
		153																		
		154																		
	ヒメヘリカメムシ	155																		
		156																		
	イトカメムシ	157	●			●														
	ナガカメムシ	158																		
		159	●																	
		160																		
		161																		
		162																		
		163																		
		164	●																	
		165																		
		166																		
		167																		
168																				
メダカナガカメムシ		169																		
	170																			
	171																			
	172																			
	173																			
	ツノカメムシ	174	●			●														
		175																		
		176	●																	
		177	●																	
		178	●																	
ツチカメムシ	179				●															
	180																			
181																				
ノコギリカメムシ	182																			
カメムシ	183																			
	184	●																		
	185																			
	186	●																		
	187																			
	188																			
	189																			
	190																			
	191	●	●																	
	192																			
	193	●	●																	
	194																			
	マルカメムシ	195																		
	キンカメムシ	196																		
	クヌギカメムシ	197	●																	
198																				
アメンボ	199	●																		
	200																			
	201																			
	202																			
	203																			
マツモムシ	204																			
アザミウマ	—	205																		
アミメカゲロウ	ヘビトンボ	206																		
	センブリ	207																		
	ラクダムシ	208																		
	クサカゲロウ	209																		
		210																		
		211	●																	
		212																		
		213																		
		214																		
	ヒメカゲロウ	215																		
	ウスバカゲロウ	216																		
		217	●	●																

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（4/10）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考	
			春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋				
トビケラ	ニンギョウトビケラ	218	ニンギョウトビケラ科の一種																					●			幼虫(水生)
	カクツツトビケラ	219	コカクツツトビケラ属の一種																					●			幼虫(水生)
	ケトビケラ	220	グマガトビケラ類の一種																					●			幼虫(水生)
チョウ	ヒゲナガガ	221	クロハネシロヒゲナガ																					●			
	ミノガ	222	ネグロミノガ																					●			
		223	チャミノガ																					●	●		
		224	シハミノガ																					●			
		225	マダラマルハヒロスコガ																					●	●		
	ヒロスコガ	225	マダラマルハヒロスコガ																					●	●		
	ニセマイコガ	226	シロテンクロマイコガ																					●			
	ヒゲナガキバガ	227	キベリハイヒゲナガキバガ																					●			
	ハマキガ	228	アトキハマキ																					●			
		229	ミダレカクモンハマキ																					●			
		230	ピロードハマキ																					●			
		231	ヘリオビヒメハマキ																					●	●		
		232	サンカクモンヒメハマキ																					●			
		233	チャハマキ																					●			
		234	ハマキガ科の一種																					●			
		234	ハマキガ科の一種																					●			
	セミヤドリガ	235	セミヤドリガ																					●			
	イラガ	236	アカイラガ																					●			
		237	ヒメクワイラガ																					●			
	マダラガ	238	タケノホソクロバ																					●			
		239	シロシタホタルガ																					●			
		240	ホタルガ																					●			
		241	ミノウスバ																					●			
	セセリチョウ	242	ダイモウセセリ																					●			
		243	キマダラセセリ																					●			
		244	イチモンジセセリ																					●			
	アゲハチョウ	245	クロアゲハ																					●			
		246	ナガサキアゲハ																					●			
		247	ジャコウアゲハ																					●			
248		ナミアゲハ																					●	●			
249		カラスアゲハ																					●				
250		アオスジアゲハ																					●				
シロチョウ	251	キタキチョウ																					●	●			
	252	ツマキチョウ																					●				
	253	モンシロチョウ																					●				
シジミチョウ	254	ウラギンシジミ																					●				
	255	ムラサキシジミ																					●				
	256	ムラサキツバメ																					●				
	257	ミスイロオナガシジミ																					●				
	258	アカシジミ																					●				
	259	ウラナミアカシジミ																					●				
	260	ベニシジミ																					●				
	261	ウラナミシジミ																					●				
	262	ヤマトシジミ																					●	●			
	263	ルリシジミ																					●				
264	ツバメシジミ																					●					
タテハチョウ	265	テングチョウ																					●				
	266	ツマグラヒョウモン																					●	●			
	267	コムスジ																					●				
	268	ホシミスジ																					●				
	269	キタテハ																					●				
	270	ヒオドシチョウ																					●				
	271	ルリタテハ																					●				
	272	アカタテハ																					●				
	273	コムラサキ																					●				
	274	ゴマダラチョウ																					●				
	275	アカボシゴマダラ																					●				
	276	ヒカゲチョウ																					●	●			
	277	クロヒカゲ																					●				
	278	サトキマダラヒカゲ																					●				
279	ヒメジャノメ																					●					
280	クロコマチョウ																					●					
281	ヒメウラナミジャノメ																					●					
282	ジャノメチョウ亜科の一種																					●					
トリバガ	283	ブドウトリバ																					●				

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（5/10）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考
			春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋			
チョウ	ツトガ	284 シロモンノメイガ																						●		
		285 モモノゴマダラノメイガ																							●	
		286 モンキクノメイガ																							●	
		287 マメノメイガ			●					●															●	●
		288 ヨスジノメイガ							●																●	●
		289 マエアカスカシノメイガ																							●	
		290 シバツトガ													●										●	
		291 コガタシロモンノメイガ																								●
		292 キムジノメイガ																								●
		293 シロオビノメイガ				●					●			●								●			●	●
		294 ノメイガ亜科の一種			●																					●
		295 ツトガ科の一種			●																					●
		メイガ	296 キベトリガリメイガ																							●
			297 メイガ科の一種									●		●												●
		カギバガ	298 アカウラカギバ																			●				●
			299 ヤマトカギバ				●																			●
		シャクガ	300 マユミトガリバ		●																					●
			301 オカモトゲエダシャク		●																					●
			302 ヨモギエダシャク																							●
			303 コヨツメアオシャク								●				●											●
			304 ヒロオビトンボエダシャク																				●			●
			305 ウスミドリナミシャク																				●			●
			306 チャハネフユエダシャク																							●
			307 シロジマエダシャク																							●
			308 ナミガタエダシャク																							●
309 モンキキナミシャク			●																					●		
310 チャノウンモンエダシャク													●											●		
311 ヒロバフユエダシャク			●																					●		
312 アトジロエダシャク									●			●												●		
313 シロトゲエダシャク										●														●		
314 マエキオエダシャク																				●				●		
315 ニセオレクギエダシャク																								●		
316 フタナミトビヒメシャク																								●		
317 ウスキクロテンヒメシャク																								●		
318 マエキヒメシャク																								●		
319 ナミスジヒメシャク																								●		
320 コベニスジヒメシャク																								●		
321 ニトベエダシャク		●							●		●												●			
322 ウスバフユシャク類の一種																							●			
323 ベニスジヒメシャク類の一種																							●			
324 エダシャク亜科の一種																							●			
325 シャクガ科の一種																							●			
カイコガ	326 クワコ		●				●																	●		
ヤマムユガ	327 オオミズアオ																							●		
スズメガ	328 ウンモンズズメ																							●		
	329 サザナミズズメ																							●		
シャチホコガ	330 ホシホウジャク																							●		
	331 クチバスズメ																							●		
	332 シモフリスズメ																							●		
ヒトリガ	333 ホソバシャチホコ																							●		
	334 ツマキシャチホコ																							●		
ドクガ	335 オオアオシャチホコ																							●		
	336 ヒトリガ科の一種																							●		
ヤガ	337 キアシドクガ																							●		
	338 マイマイガ																							●		
	339 ヒメシロモンドクガ																							●		
ヤガ	340 ドクガ科の一種																							●		
	341 オオシマカラスヨトウ																							●		
	342 マダラツマキヨトウ																							●		
	343 コシロシタバ																							●		
	344 エゾギクキンウワバ																							●		
	345 オオタバコガ																							●		
	346 ナミテンアツバ																							●		
	347 アオアツバ																							●		
	348 ヒメネジロコヤガ																							●		
	349 ウンモンクチバ																							●		
	350 オオウンモンクチバ																							●		
	351 マダラキヨトウ																							●		
	352 ヒメエグリバ																							●		
	353 アカバキリガ																							●		
	354 シロヘリキリガ																							●		
	355 チャイロキリガ																							●		
	356 スモモキリガ																							●		
	357 アウヨトウ																							●		
	358 トビイロトラガ																							●		

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（6/10）

目名	科名	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考	
			春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋				
チョウ	ヤガ	359 ナシケンモン	●																								
		360 キバラモクメキリガ							●													●					
		361 フトガリアオイガ									●																
		362 キシタアツバ類の一種																									●
		363 アツバ亜科の一種						●																			●
		364 ヨトウガ亜科の一種																									●
		365 キリガ亜科の一種										●															●
		366 タバコガ亜科の一種																									●
367 ヤガ科の一種																									●		
ハエ	ガガンボ	368 ベッコウガガンボ																									●
		369 ホリカワクシヒゲガガンボ																									●
		370 キイロホソガガンボ																									●
		371 マダラガガンボ																									●
		372 ガガンボ亜科の一種																									●
		373 ガガンボ科の一種																									●
		374 ヒメガガンボ科の一種																									●
	ユスリカ	375 ユスリカ科の一種																									●
	カ	376 ヒトスジシマカ																									●
		377 シマカ類の一種																									●
		378 カ科の一種																									●
	ブユ	379 アシマダラブユ属の一種																									●
	ホソカ	380 ホソカ科の一種																									●
	ケバエ	381 ハグロケバエ																									●
		382 ケバエ科の一種																									●
	タマハエ	383 エノキトガリタマハエ																									●
		384 エゴタマハエ																									●
		385 アオキミタマハエ																									●
		386 イヌツゲタマハエ																									●
	ミズアブ	387 アメリカミズアブ																									●
		388 ネグロミズアブ																									●
	アブ	389 アブ属の一種																									●
	ムシヒキアブ	390 アオメアブ																									●
		391 チャイロムシヒキ																									●
		392 ウスグロムシヒキ																									●
		393 アメイロホソムシヒキ																									●
		394 ナミマダラケムシヒキ																									●
		395 ナガトミヒメムシヒキ																									●
		396 シオヤアブ																									●
	ツリアブ	397 コウヤツリアブ																									●
		398 クロバナツリアブ																									●
	アシナガバエ	399 ウデゲヒメホソアシナガバエ																									●
		400 アシナガキンバエ類の一種																									●
	ハナアブ	401 ツマグロコシボソハナアブ																									●
		402 マダラコシボソハナアブ																									●
		403 クロヒラタアブ																									●
		404 フタスジヒラタアブ																									●
		405 ヘリヒラタアブ																									●
		406 ホソヒラタアブ																									●
		407 ハナアブ																									●
		408 フタホシヒラタアブ																									●
		409 ナミホシヒラタアブ																									●
		410 スズキフタモンハナアブ																									●
411 アンフトハナアブ																										●	
412 タカサゴハラフトハナアブ																										●	
413 ミナミヒメヒラタアブ																										●	
414 オオフタホシヒラタアブ																										●	
415 マドヒラアブ																										●	
416 コシボソハナアブ類の一種																										●	
417 ハイジマハナアブ類の一種																										●	
418 ヒメヒラタアブ属の一種																									●		
419 ツヤヒラタアブ属の一種																									●		
420 ヒラタアブ亜科の一種																									●		
421 ハナアブ科の一種																									●		
メバエ	422 ムネグロメバエ																									●	
	ショウジョウバエ	423 キイロショウジョウバエ																								●	
		424 マダラメイトイ亜属の一種																								●	
		425 ショウジョウバエ科の一種																								●	
ベッコウバエ	426 ベッコウバエ																								●		
	ミギワバエ	427 ミナミカマバエ																							●		
428 ミギワバエ科の一種																									●		
シマバエ	429 ヒラヤマシマバエ																								●		
トゲアシモグリバエ	430 カトウトゲアシモグリバエ																								●		
ヒロクチバエ	431 キマダラヒロクチバエ																								●		

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（7/10）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地		姿見の池緑地		東京経済大		武蔵国分寺公園・真姿の池周辺		平兵衛樹林地		西町四丁目緑地		西町五丁目緑地		令和5年度	平成27年度	備考		
				春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏				春	夏
				期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期				期	期
ハエ	ミバエ	432	ミツボシハマダラミバエ																			
		433	ムラクモハマダラミバエ	●															●			
		434	ミスジミバエ	●		●						●						●		●		
		435	ハマダラミバエ亜科の一種					●												●		
	ハナバエ	436	クロオビハナバエ																		●	
		クロハエ	437	ホホアカクロハエ																		●
	438		トウキョウキンバエ							●											●	
	439		ヒロスキンバエ																		●	
	440		ツマガロキンバエ	●		●		●					●		●						●	
	441		キンバエ類の一種			●		●					●								●	
	442		クロハエ科の一種			●		●		●	●	●				●					●	
	イエバエ	443	イエバエ					●	●				●			●					●	
		444	イエバエ科の一種					●	●				●			●					●	
	ニクバエ	445	ニクバエ科の一種	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ヤドリバエ		446	ヨコスジオオハリバエ																		●	
	447	セスジハリバエ類の一種								●										●		
コウチュウ	オサムシ	448	ヤドリバエ科の一種	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		449	マルガタゴミムシ																		●	
		450	ゴミムシ		●																●	
		451	メダカチビカワゴミムシ										●								●	
		452	アオオサムシ																		●	
		453	ヨリモナゴミムシ						●												●	
	ハンミョウ	454	ゴモクムシ亜科の一種																		●	
		455	トウキョウヒメハンミョウ					●	●	●	●						●	●			●	●
	エンマムシ	456	ハンミョウ科の一種									●									●	
		457	ヒメツヤエンマムシ																		●	
	シテムシ	458	コエンマムシ										●								●	
		459	オオヒラタシテムシ						●	●											●	●
	ハネカクシ	460	アリガタハネカクシ亜科の一種			●															●	
		461	ハネカクシ科の一種																		●	
クワガタムシ	462	コクワガタ	●																	●		
	463	ノギリクワガタ		●			●					●		●						●	●	
	464	ヒラタクワガタ																		●		
コガネムシ	465	センチコガネ					●													●		
	466	カブトムシ					●				●									●	●	
	467	アオドウガネ					●				●						●			●	●	
	468	ヒラタアオコガネ							●											●		
	469	ヒメコガネ																		●	●	
	470	ヒゲトハナムグリ				●			●											●		
	471	セマダラコガネ																		●	●	
	472	アシナゴコガネ							●		●									●		
	473	ビロウドコガネ										●	●							●		
	474	ヒメビロウドコガネ	●								●	●								●		
	475	コフキコガネ										●						●		●	●	
	476	コブマルエンマコガネ					●													●	●	
	477	コアオハナムグリ										●								●	●	
	478	マメコガネ					●				●									●	●	
479	シロテンハナムグリ	●				●			●			●		●					●	●		
480	カナブン	●				●				●			●						●	●		
481	クロカナブン																		●	●		
タマムシ	482	ハナムグリ類の一種						●												●		
	483	ヒシモンナガタマムシ																		●		
	484	ヒメアサギナガタマムシ																		●		
	485	アサギナガタマムシ	●																	●		
	486	アオグロナガタマムシ																		●		
	487	ヤマトタマムシ										●								●	●	
	488	ムネアカチビナカボソタマムシ													●					●		
	489	クスノチビタマムシ							●	●	●							●		●	●	
	490	コウゾチビタマムシ									●									●		
	491	ナミガタチビタマムシ													●					●		
492	ソーンダースチビタマムシ																		●			
493	ヤノナミガタチビタマムシ								●										●			
コメツキムシ	494	サビキコリ	●									●	●							●	●	
	495	クシコメツキ																		●		
	496	アカヒゲヒラタコメツキ																		●		
	497	コハナコメツキ																		●		
	498	コメツキムシ科の一種	●									●								●		
499	ナガコメツキダマシ																		●	●		
500	セボシジョウカイ								●										●			
501	ムネクリイロポタル																		●			
502	ヒメマルカツオブシムシ																		●			
503	ツマキアオジョウカイモドキ	●																	●			

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（8/10）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考	
				春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋				
コウチュウ	テントウムシ	504	ハラグロオオテントウ			●																		●				
		505	ムーアシロホシテントウ	●																							●	
		506	シロジュウシホシテントウ							●																	●	
		507	ヒメアカホシテントウ																									●
		508	アカホシテントウ			●																						●
		509	ナナホシテントウ	●			●																					●
		510	トホシテントウ																									●
		511	オオニジュウヤホシテントウ																									●
		512	ルイヨウマダラテントウ																									●
		513	ナミテントウ	●	●	●		●	●																			●
		514	フタホシテントウ																									●
		515	キイロテントウ			●																						●
		516	ダンドラテントウ																									●
		517	ヨツボシテントウ																									●
		518	ヒメカメノコテントウ																									●
		519	クビアカヒメテントウ																									●
		520	ベダリアテントウ																									●
		521	クロヒメテントウ																									●
		522	クロスジヒメテントウ																									●
		523	シロホシテントウ			●																						●
		524	モンクヂビルテントウ			●																						●
		525	シロホシテントウ類の一種																									●
		526	ヒメテントウ類の一種																									●
		527	ヨツボシテントウダマシ																									●
		オオキノコムシ	528	ヒメオビオオキノコ																								●
			529	ミヤマオビオオキノコ			●																					●
		オオキスイムシ	530	ムナビロオオキスイ																								●
		ケシキスイ	531	キボシコオニケシキスイ																								●
532	アカマダラケシキスイ																									●		
533	ヨツボシケシキスイ				●																					●		
534	デオケシキスイ亜科の一種				●																					●		
535	ケシキスイ科の一種																									●		
アリモドキ	536	ホソクビアリモドキ																								●		
	537	アリモドキ科の一種																								●		
カミキリモドキ	538	アオカミキリモドキ																								●		
アカハネムシ	539	アカハネムシ	●																							●		
ハナノミダマシ	540	クロフナガタハナノミ属の一種	●																							●		
ゴミムシダマシ	541	ハムシダマシ																								●		
	542	ヒゲブトハムシダマシ																								●		
	543	ナミクチキムシ	●																							●		
	544	トビイロクチキムシ																								●		
	545	ミツノゴミムシダマシ																								●		
	546	エグリゴミムシダマシ																								●		
	547	キマワリ			●																					●		
	548	セスジナガキマワリ			●																					●		
	549	サトユミアシゴミムシダマシ			●																					●		
	550	ナガキマワリ亜科の一種																								●		
カミキリムシ	551	ゴマダラカミキリ																								●		
	552	アカアシオオアカカミキリ																								●		
	553	フタオビミドリトラカミキリ																								●		
	554	キンケトラカミキリ																								●		
	555	ニジマチビカミキリ																								●		
	556	ナガゴマフカミキリ			●																					●		
	557	ノギリカミキリ																								●		
	558	キボシカミキリ																								●		
559	アトジロサビカミキリ																								●			
ハムシ	560	アカガネサルハムシ																								●		
	561	ハンノキハムシ																								●		
	562	ヘリグロテントウノミハムシ																								●		
	563	ウリハムシ	●																							●		
	564	クロウリハムシ			●																					●		
	565	アオハネサルハムシ																								●		
	566	ヤナギハムシ																								●		
	567	サクラサルハムシ																								●		
	568	バラリリツツハムシ																								●		
	569	クロボシツツハムシ	●																							●		
	570	マダラアラゲサルハムシ																								●		
	571	クワハムシ																								●		
	572	ヤツボシハムシ	●																							●		
	573	クトロゲハムシ																								●		
	574	ヨツモンカメノコハムシ																								●		
	575	キバラリクビボシハムシ																								●		
	576	ヤマモハムシ																								●		
	577	キイロビナガハムシ																								●		

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（9/10）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考
				春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋			
コウチュウ	ハムシ	578	ルリマルノミハムシ	●						●													●	●			
		579	コマルノミハムシ																							●	
		580	ブタクサハムシ								●			●												●	
		581	ヤナギリハムシ																							●	
		582	サンゴジュハムシ		●			●																●		●	
		583	エノキハムシ										●													●	
		584	ドウガネサルハムシ		●									●	●											●	
		585	イチモンジカメノコハムシ								●													●	●	●	
		586	クズクビボソハムシ																						●	●	
		587	カミナリハムシ類の一種		●																					●	
		588	カサハラハムシ属の一種						●					●										●	●	●	
		589	サルハムシ亜科の一種						●			●		●												●	
		590	ノミハムシ亜科の一種																							●	
		591	エゴヒゲナガゾウムシ		●			●					●												●	●	
		592	カオジロヒゲナガゾウムシ																							●	
		オトシブミ	593	ヒメクロオトシブミ		●			●																	●	
			594	オトシブミ										●												●	
			595	マルムネチョッキリ		●								●												●	
			596	ミヤマクビチョッキリ											●											●	
			597	エゴツルクビオトシブミ		●			●						●										●	●	
	598		カシリオトシブミ																						●		
	599		ハイロチョッキリ		●									●											●		
	600		アシナガオトシブミ																						●		
	ゾウムシ		601	コナラシギゾウムシ								●													●	●	
		602	エゴシギゾウムシ								●														●		
		603	コフキゾウムシ																					●	●		
		604	マツアナキゾウムシ								●														●		
		605	コカシクチフトゾウムシ								●														●		
		606	オジロアシナガゾウムシ										●	●		●									●		
		607	ヒレルクチフトゾウムシ											●										●	●		
		608	スグリゾウムシ		●	●						●													●		
		609	サビヒョウタンゾウムシ																						●		
		610	ヒゲボソゾウムシ類の一種																						●		
		611	ヒメゾウムシ類の一種																						●		
		612	ゾウムシ科の一種																						●		
	ナガキクイムシ	613	カシノナガキクイムシ																					●			
	オサゾウムシ	614	トホシオサゾウムシ																					●			
	ー	615	小型コウチュウ類の一種																					●			
	ハチ	ミフシハバチ	616	チュウレンジハチ			●					●												●	●		
			617	ルリチュウレンジ								●				●	●		●		●				●	●	
		ハバチ	618	ハグロハバチ																						●	
			619	セグロカブラハバチ													●									●	
			620	ニホンカブラハバチ																						●	
			621	イヌフグリハバチ									●													●	
			622	カブラハバチ																						●	
			623	キイロハバチ																						●	
			624	チャイロハバチ																						●	
			625	ハバチ科の一種		●					●									●			●			●	
			ヒラタハバチ	626	ヒラタハバチ科の一種								●	●												●	
		ヒメバチ	627	ホウネンタワラチビアメバチ																						●	
			628	シロフオナガバチ																						●	
			629	フタスジヒメバチ類の一種																						●	
			630	コンボウアメバチ亜科の一種																						●	
			631	ヒメバチ亜科の一種																						●	
			632	ヒメバチ科の一種		●																				●	
		タマバチ	633	クヌギハケタマバチ			●																		●		
		アリバチ	634	アリバチ科の一種																					●		
		クモバチ	635	ナミメクモバチ																					●		
			636	オオモンクロクモバチ																					●		
637		クモバチ科の一種																						●			
ツチバチ		638	ヒメハラナガツチバチ			●			●															●	●		
		639	オオハラナガツチバチ																						●		
		640	キンケハラナガツチバチ			●																		●	●		
		641	キオビツチバチ																						●		
アリ		642	オオハリアリ																						●		
		643	ヒメアリ			●				●															●		
		644	アシナガアリ								●														●		
		645	クロナガアリ																						●		
		646	トビロシワアリ		●	●		●	●	●	●	●					●	●			●	●	●	●	●		
	647	ハリフトシリアゲアリ		●			●					●	●										●	●			
	648	テラニシリアゲアリ																						●			
	649	キイロシリアゲアリ																						●			
	650	ムネボソアリ																						●			
	651	アメメアリ		●																				●			

表Ⅲ－５－２ 国分寺市内で確認した昆虫類の一覧（令和５年度）（10/10）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地		姿見の池緑地		東京経済大学		武蔵国分寺公園・真姿の池周辺		平兵衛樹林地		西町四丁目緑地		西町五丁目緑地		令和5年度	平成27年度	備考		
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期				秋期	春期
ハチ	アリ	652	クロヤマアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
		653	サムライアリ																			
		654	トビロケアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
		655	ヒラアシクサアリ					●				●				●						
		656	アメイロアリ				●		●		●	●						●	●			
		657	サクラアリ								●											
		658	クロオオアリ		●	●	●	●		●	●	●	●	●		●		●				
		659	ムネアカオオアリ																			●
		660	ヨツボシオオアリ																			●
		661	ホソウメマツオオアリ																			●
		662	ウメマツオオアリ					●				●										●
		663	ケアリ属の一種																			●
		スズメバチ	664	エントツドロバチ												●						●
			665	スズメバチ		●			●		●											●
	666		ナミカバドロボチ		●																●	
	667		ムナグロチビドロバチ																		●	
	668		セグロアシナガバチ									●									●	
	669		キアシナガバチ				●				●										●	
	670		コアシナガバチ				●			●		●									●	
	671		コガタスズメバチ		●	●	●	●		●		●		●		●		●			●	
	672		オオスズメバチ	●		●		●	●	●		●		●		●	●	●			●	
	673		キイロスズメバチ									●									●	
	674		クロスズメバチ									●	●	●							●	
	675		トックリバチ属の一種															●			●	
	676		ハムシドロバチ属の一種											●							●	
	677		ドロバチ亜科の一種																		●	
	セナガアナバチ	678	サトセナガアナバチ												●					●		
	アナバチ	679	サトジガバチ						●											●		
		680	ミカドジガバチ																	●		
	ギングテバチ	681	ナミツチスガリ																	●		
	コハナバチ	682	コハナバチ科の一種						●											●		
	ハキリバチ	683	ヤトガリハナバチ						●						●					●		
		684	オオハキリバチ		●															●		
		685	ヒメハキリバチ																	●		
		686	ハキリバチ科の一種														●			●		
	ミツバチ	687	キムネクマバチ			●			●		●	●	●	●		●				●		
		688	ダイヨウキマダラハナバチ								●									●		
		689	ナンモンキマダラハナバチ										●							●		
		690	シロスジヒゲナガハナバチ																	●		
		691	トラマルハナバチ										●							●		
		692	コマルハナバチ																	●		
		693	セイウミツバチ							●	●		●			●				●		
		694	キマダラハナバチ類の一種									●				●				●		
		695	ヒゲナガハナバチ類の一種										●							●		
		696	小型ハナバチ類の一種							●		●								●		
	18	179		696														546	354			

表Ⅲ－５－３ 国分寺市内で確認したクモ類の一覧（令和５年度）（1/2）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和5年度	平成27年度	備考			
				春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋						
クモ	シグモ	1	シグモ																						●					
	トタテグモ	2	キノウエトタテグモ										●													●	●		国RL:NT、都RLNT	
	ヒメグモ	3	シロカネイソウロウグモ											●	●															
		4	オナガグモ											●																
		5	シモフリミジグモ																											
		6	ヒメグモ	●				●						●		●											●	●		
		7	オオヒメグモ						●						●												●	●		
		8	ハンゲツオスナキグモ			●																					●			
		9	コアカクロミジグモ						●																		●			
		10	ミジグモ亜科の一種							●																	●			
		コガネグモ	11	ハツリグモ																										
			12	ビジョオニグモ	●											●												●		
	13		マルツメオニグモ																											
	14		カラオニグモ																											
	15		オニグモ												●												●			
	16		ナガコガネグモ	●	●																						●	●		
	17		コガタコガネグモ																								●	●		
	18		ギンメツキゴミグモ	●	●			●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	19		ゴミグモ	●				●																			●	●		
	20		マルゴミグモ																								●	●		
	21		トゲグモ																								●			
	22		シロスジショウジョウグモ													●											●	●		
	23		ワキグロサツマノミダマン						●							●											●	●		
	24		コゲチャオニグモ	●																							●	●		
	25	ヤマシロオニグモ													●											●				
	26	サツマノミダマン	●	●																						●	●			
	27	ジョロウグモ	●					●	●					●	●		●	●								●	●			
	28	アオオニグモ属の一種																								●				
	アシナガグモ	29	オオシロカネグモ																							●	●			
		30	メガネドヨウグモ						●																	●				
		31	ヤサガタアシナガグモ													●										●	●			
		32	アシナガグモ						●	●					●	●										●	●			
		33	ウロコアシナガグモ						●	●																●	●			
	34	サラグモ科の一種																								●				
	35	チリグモ		ヒラタグモ																										
	ウズグモ	36	マネキグモ																							●	●			
		37	カタハリウズグモ																							●	●			
		38	ウズグモ科の一種																							●				
	タナグモ	39	クサグモ																											
		40	コクサグモ	●																						●	●			
		41	シモフリヤチグモ																							●				
		42	クサグモ類の一種																							●				
	ハグモ	43	ネコハグモ	●																						●	●			
		44	ハグモ科の一種																							●				
	45	ササグモ																							●	●				
	46	キンダグモ																							●	●				
	コモリグモ	47	ウツキコモリグモ																							●	●			
		48	キクツキコモリグモ																							●				
		49	カイゾクコモリグモ属の一種																							●				
		50	ハリゲコモリグモ類の一種																							●	●			
		51	コモリグモ科の一種																							●	●			
	カニグモ	52	キハダカニグモ	●																						●	●			
		53	ハナグモ																							●	●			
		54	ワカバグモ	●																						●	●			
		55	アズチグモ																							●	●			
		56	セマルトラフカニグモ																							●	●			
		57	ヤミロカニグモ																							●	●			
		58	カニグモ属の一種																							●	●			
		59	フクログモ		フクログモ科の一種	●																				●	●			
	ワシグモ	60	クロチャケムリグモ																						●					
		61	ワシグモ科の一種	●																						●				
	エビグモ	62	アサヒエビグモ																							●	●			
		63	シャコグモ																							●	●			
		64	エビグモ科の一種																							●	●			

表Ⅲ－５－３ 国分寺市内で確認したクモ類の一覧（令和５年度）（２/２）

目名	科名	No.	種名	西恋ヶ窪緑地			姿見の池緑地			東京経済大学			武蔵国分寺公園・真姿の池周辺			平兵衛樹林地			西町四丁目緑地			西町五丁目緑地			令和５年度	平成２７年度	備考			
				春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋						
クモ	ハエトリグモ	65	シラホシコゲチャハエトリ																						●					
		66	ネコハエトリ	●			●			●	●	●														●	●			
		67	マミジロハエトリ				●	●		●			●	●	●												●	●		
		68	ウデブトハエトリ																								●			
		69	ヨダンハエトリ																								●			
		70	ヤハズハエトリ											●	●	●											●			
		71	シラヒゲハエトリ												●		●										●	●		
		72	ヤガタアリグモ																								●			
		73	ヤサアリグモ																							●	●	●		
		74	アリグモ				●	●					●	●	●		●										●	●		
		75	イナズマハエトリ																								●			
		76	チャイロアサヒハエトリ																								●			
		77	メガネアサヒハエトリ												●	●											●			
		78	メスジロハエトリ								●				●											●	●	●		
		79	デーニツツハエトリ				●		●		●			●	●									●			●	●	●	
		80	ミスジハエトリ																								●			
		81	アオオビハエトリ								●			●													●	●		
82	ヤハズハエトリ属の一種																								●					
83	コゲチャハエトリグモ属の一種																								●					
1	18		83																						64	60				

(2) 希少種 ※確認場所が特定されないように記載しています。

希少種としては、昆虫類では令和5(2023)年度は7種(平成27年度:10種)、クモ類では令和5(2023)年度は2種確認した(平成27年度:1種)。

昆虫類では、ヤマサナエ(都RL:VU)、ヤマトクロスジヘビトンボ(都RL:NT)、ネグロセンブリ(都RL:VU)、コシロシタバ(国RL:NT 都RL:NT)、ヤマトタムシ(都RL:NT)、アカアシオオアオカミキリ(都RL:NT)、ヤナギハムシ(都RL:EN)を確認した。

クモ類ではトゲグモ(都RL:DD)、キシノウエトタテグモ(国RL:NT、都RL:NT)を確認した。



ヤマサナエ(都RL:VU)



ネグロセンブリ(都RL:VU)



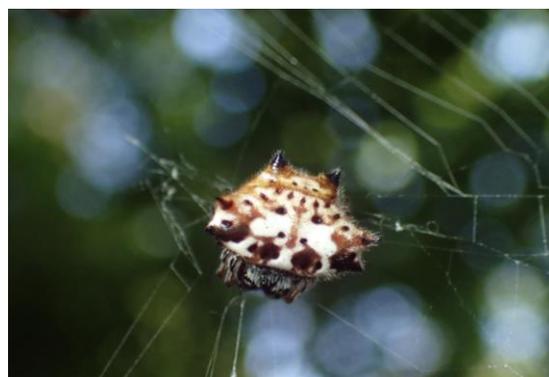
コシロシタバ(国RL:NT 都RL:NT)



アカアシオオアオカミキリ(都RL:NT)



ヤナギハムシ(都RL:EN)



トゲグモ(都RL:DD)

### (3) 外来種

外来種については、昆虫類では令和5（2023）年度はアオマツムシ、アミガサハゴロモ近似種、ヨコヅナサシガメ、セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ、キマダラカメムシ、アカボシゴマダラ、アメリカミズアブ、ベダリアテントウ、モンクチビルテントウ、クズクビボソハムシ、セイヨウミツバチの11種を確認した（平成27年度：7種）。

このうち、アカボシゴマダラは生態系被害防止外来種リストの掲載種「特定外来生物」に指定されている。

クモ類では外来種は確認されなかった。



キマダラカメムシ  
（外来種）  
7月11日 西町五丁目緑地



アカボシゴマダラ  
（特定外来生物）  
7月11日 西町四丁目緑地

#### (4) 各調査地の概況

##### ①西恋ヶ窪緑地

昆虫類 183 種（平成 27 年度：156 種）、クモ類 19 種を確認した（平成 27 年度：17 種）。

昆虫類では、春期調査ではミノウスバの幼虫が目立った。林内ではヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲといった雑木林の昆虫を確認した。

そのほか、クヌギの樹液に来ていたノコギリクワガタや、樹木の隙間に潜むサトユミアシゴミムシダマシといったコウチュウ類が見られた。

その他の昆虫類としては、ヒグラシも確認した。

クモ類ではコゲチャオニグモなど里山的な樹林に生息する種を確認している。

##### ②姿見の池緑地

昆虫類 209 種（平成 27 年度：138 種）を確認した、クモ類 26 種（平成 27 年度：26 種）を確認した。

姿見の池は、南側が樹林に接しており枝葉が一部水面を覆うが、比較的開けた水域である。

昆虫類は、水路沿いでは春期調査時にキンヒバリを確認した。水域周辺の植生を好む種で、オギやアシなどの繁茂する水路沿いに生息している。南側の樹林では、7月の環境団体参加の観察会の際にミズイロオナガシジミを確認した。クヌギ・コナラ等の落葉樹を主とした林内に生息する昆虫類である。

また、池畔の樹幹でラクダムシを確認した。

クモ類では、コガタコガネグモやアシナガグモ等を確認した。

##### ③東京経済大学

昆虫類 164 種（平成 27 年度：134 種）、クモ類 27 種（平成 27 年度：21 種）を確認した。

昆虫類ではハグロトンボ、オニヤンマを確認した。これらはともに、成熟するまでのあいだ近隣の緑地や樹林地で過ごす種である。春期調査ではヒゲブトハナムグリ、マツアナアキゾウムシを確認している。

クモ類では、新次郎池周辺で流水上に張られたオオシロカネグモの網が目立っていた。



マツアナアキゾウムシ  
4月18日 東京経済大学

#### ④武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

昆虫類 227 種（平成 27 年度：146 種）、クモ類 34 種（平成 27 年度：31 種）を確認した。

泉地区では武蔵の池周辺でショウジョウトンボを確認した。ばったランドではショウリョウバッタモドキを確認した。林縁ではヤマトヒバリが聞かれ、またクワ類につくキボシカミキリを確認した。そのほかコナラでは、揺らんを作るオトシブミやミヤマイクビチョッキリや、エゴノキにつくエゴツルクビオトシブミなどを確認した。

クモ類では、ビジョオニグモ、オニグモといった大型の網を張る種が見られた。



ショウリョウバッタモドキ 7月27日  
武蔵国分寺公園・真姿の池周辺



キボシカミキリ 7月27日  
武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

#### ⑤平兵衛樹林地

昆虫類 94 種（平成 27 年度：76 種）、クモ類 11 種（平成 27 年度：28 種）を確認した。

小規模なサワラ・ヒノキを主とした樹林であり、バッタ類ではトノサマバッタの幼虫を、その他にオオフタホシヒラタアブを確認している。

シラカシの樹液にはシロテンハナムグリが多く飛来しており、樹下にノコギリクワガタの死骸が見られた。



オオフタホシヒラタアブ  
4月17日 平兵衛樹林地

#### ⑥西町四丁目緑地（平成 27 年度調査範囲外）

昆虫類 97 種、クモ類 12 種を確認した。

クモ類では、マルゴミグモを確認している。

⑦西町五丁目緑地（平成 27 年度調査範囲外）

昆虫類 122 種、クモ類 18 種を確認した。コナラを中心とした雑木林で成り立つ緑地であり、北側には草地も見られる。

クモ類ではカラオニグモを確認した。



カラオニグモ  
4月 17 日 西町五丁目緑地

## 6. 水生生物

### 1) 調査方法

#### (1) 調査時期・期間・時間

- ・水生生物調査に適期とされる春から秋期まで調査を実施した。昆虫・クモ類調査の実施日の午後、おおむね半日程度の調査を行った。
- ・調査時間は、各調査地とも午後1時頃から実施し、およそ3時間程度とした。
- ・調査地点について、真姿の池自体では行わず、武蔵国分寺公園閉鎖区域の湧水と、それを水源とする「おたかの道湧水園」、お鷹の道・真姿の池湧水群、元町用水の一部を対象とした。
- ・姿見の池では、池と恋ヶ窪用水の細流を対象とした。

表Ⅲ－6－1 水生生物調査の実施日

調査期	調査日	調査地	天候
春期	4月27日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	4月28日	姿見の池緑地	曇り
夏期	7月25日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	7月27日	姿見の池緑地	晴れ
秋期	10月24日	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺	晴れ
	10月25日	姿見の池緑地	曇り

#### (2) 調査手法

- ・調査地内の水域（池、湧水、用水）を対象とし、専門員1名がタモ網を用いた追い出し法で採集した。採集個体は同定作業後、基本的に元の生息場所に戻した。ただし現地での同定が困難なものについては一部採集し、同定用サンプルとした。

#### (3) 道具

- ・調査時には、タモ網を使用した。また記録用にデジタルカメラにて記録を取るようにした。
- ・その場において同定の困難な種、微小な種等については必要最小な数を採集するため、微小種については70%エタノール入りスクリーン管瓶に収容した。

## 2) 調査結果

### (1) 確認種の概要

以下、水生昆虫類、魚類、その他の水生生物類の3項目として記述する。

水生昆虫類としては7目18科24種(平成27年度:19種)を確認した。今回初記録としてヤマサナエ(都RL:VU)の確認があった。丘陵地の水域に生息する種である。ネグロセンブリ(都RL:VU)の幼虫は緩やかな流れを中心に生息している種である。

魚類では3目4科7種(平成27年度:7種)を確認した。前回調査に確認したジュズカケハゼ類を今回も確認している。そのほか今回初記録のカワムツの確認があった。もともと東海地方以南に生息するコイ科の魚類で、近年関東圏で増えている種である。

その他の水生生物類では6目12科14種(平成27年度:12種)を確認した。スジエビ、ヌカエビとも都RLでは要注目種となっている。

外来種としては、条件付特定外来生物に指定されたアメリカザリガニと、北米原産のフロリダミズヨコエビを確認した。これは近年多摩川水系での確認例が増えている種である。

春期のお鷹の道・元町用水調査については、用水路周辺で遊ぶ子どもの利用者が多かったため、配慮して未踏査とした。

確認種の一覧を表Ⅲ-6-2~4に示す。

表Ⅲ-6-2 国分寺市内で確認した水生生物(昆虫類)の一覧(令和5年度)

目名	科名	No.	種名	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺									令和5年度	平成27年度	備考	
				姿見の池緑地			お鷹の道・真姿の池湧水群・元町用水			閉鎖区域・おたかの道湧水園						
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期				
カゲロウ	コカゲロウ	1	コカゲロウ科の一種	●	●	●							●	●		
トンボ	カワトンボ	2	ハグロトンボ				●						●		都RL:ランク外	
	イトトンボ	3	イトトンボ科の一種			●							●			
	ヤンマ	4	ヤンマ科の一種			●							●			
	サナエトンボ	5	コオニヤンマ			●								●		
		6	ヤマサナエ				●							●		都RL:VU
	7	サナエトンボ科の一種			●								●			
	8	オニヤンマ			●				●	●	●		●	●		
9	シオカラトンボ												●			
カワゲラ	オナシカワゲラ	10	オナシカワゲラ科の一種		●				●	●	●	●	●	●		
カメムシ	アメンボ	11	アメンボ		●	●							●	●		
		12	ヤスマツアメンボ	●	●								●	●		
		13	ヒメアメンボ	●										●	●	
		14	シミアメンボ	●		●		●			●	●		●	●	
	15	マツモムシ	●										●			
アミメカゲロウ	ヘビトンボ	16	ヤマトクロスジヘビトンボ				●						●	●	都RL:NT	
	センブリ	17	ネグロセンブリ				●						●	●	都RL:VU	
トビケラ	ナガレトビケラ	18	ムナグロナガレトビケラ											●		
	ニンギョウトビケラ	19	ニンギョウトビケラ科の一種	●	●	●							●	●		
	カクツツトビケラ	20	カクツツトビケラ属の一種				●	●	●				●	●		
	エグリトビケラ	21	エグリトビケラ科の一種											●		
	ケトビケラ	22	グマガトビケラ類の一種				●						●			
	-	23	トビケラ目の一種												●	
ハエ	ガガンボ	24	マダラガガンボ								●		●			
		25	ガガンボ科の一種			●							●	●		
	ユスリカ	26	ユスリカ科の一種	●		●		●		●	●		●	●		
	ブユ	27	アシマダラブユ属の一種	●										●		
		28	ブユ科の一種												●	
	ホソカ	29	ホソカ科の一種	●							●		●			
	-	30	ナガレアブ科の一種												●	
7	23	30										24	19			

表Ⅲ－6－3 国分寺市内で確認した水生生物（魚類）の一覧（令和5年度）

目名	科名	No.	種名	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺									令和5年度	平成27年度	備考
				姿見の池緑地			お鷹の道・真姿の池 湧水群・元町用水			閉鎖区域・おたかの道湧水園					
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期			
コイ	コイ	1	コイ	●								●	●		
		2	カワムツ			●						●	●		
		3	アブラハヤ					●					●	●	都RL:NT
		4	モツゴ		●	●							●	●	
	ドジョウ	5	ドジョウ					●					●	●	国RL:NT、都RL:DD
		6	カラドジョウ										●	●	その他の総合対策外来種
ダツ	メダカ	7	メダカ類の一種	●	●	●						●	●		
スズキ	ハゼ	8	ジュズカケハゼ類の一種		●	●						●	●		
3	4		8										7	7	

※カラドジョウについて：平成27年度調査では「カラドジョウ属」としたが、改めて当時の写真資料を確認しカラドジョウと同定した。その結果、カラドジョウが生態系被害防止外来種リストの「その他の総合対策外来種」に指定されているため、平成27年度調査の水生生物（魚類）の上記外来種の確認種数を0→1に訂正した。

表Ⅲ－6－4 国分寺市内で確認した水生生物（その他生物類）の一覧（令和5年度）

目名	科名	No.	種名	武蔵国分寺公園・真姿の池周辺									令和5年度	平成27年度	備考			
				姿見の池緑地			東京経済大学 お鷹の道・真姿の池 湧水群・元町用水			閉鎖区域・おたかの道湧水園								
				春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期						
ウズムシ	サンカクアタマウズムシ	1	ナミウズムシ									●	●	●	●	●		
ナガミミズ	イトミミズ	2	イトミミズ類の一種			●									●	●		
		3	ツリミミズ科の一種													●		
		4	フトミミズ科の一種														●	
		5	ナガミミズ目の一種											●		●	●	
ニナ	タニシ	6	ヒメタニシ	●	●										●			
	カワニナ	7	チリメンカワニナ			●				●					●			
		8	カワニナ		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	
ワラジムシ	ミズムシ	9	ミズムシ						●			●	●	●	●	●		
ヨコエビ	マミズヨコエビ	10	フロリダマミズヨコエビ			●									●		その他の総合対策外来種	
	—	11	ヨコエビ亜目の一種	●	●				●						●	●		
エビ	テナガエビ	12	スジエビ						●						●		都RL:留意種	
	ヌマエビ	13	ヌカエビ						●						●	●	都RL:留意種	
		14	カワリヌマエビ属の一種	●	●	●				●			●	●	●	●	●	
	アメリカザリガニ	15	アメリカザリガニ	●	●	●					●	●			●	●	緊急対策外来種 (条件付 特定外来生物)	
	サワガニ	16	サワガニ						●						●	●	都RL:留意種	
6	14		16										14	12				

## (2) 希少種

希少種については、都 RL 掲載種のうち5種を確認した。

昆虫類ではヤマサナエ (都 RL : VU)、ヤマトクロスジヘビトンボ (都 RL : NT)、ネグロセンブリ (都 RL : VU) の3種を確認した。

魚類ではドジョウ (国 RL : NT、都 RL : DD) のほか、アブラハヤ (都 RL : NT) の2種を確認した。

また甲殻類のスジエビ、ヌカエビ、サワガニについてはいずれも都 RL においては留意種とされている。

### ※メダカについての扱い

これまでメダカと呼ばれていた種は複数種に分けられ、関東圏在来の種はミナミメダカ (国 RL : VU、都 RL : CR+EN) とされている。ただし、放流などにより同定が困難であることから、ここではメダカとして扱った。



ヤマサナエ(都 RL:VU)



ネグロセンブリ(都 RL:VU)



アブラハヤ(都 RL:NT)



サワガニ(都 RL:留意種)

### (3) 外来種

外来種についてはアメリカザリガニを姿見の池、お鷹の道湧水群及び元町用水の両地点で確認した。本種は令和5（2023）年6月1日より、「条件付特定外来生物」に指定されている。

このほかカワリヌマエビ属の一種を確認しているが、これについては前回調査当時、国内由来のミナミヌマエビとして記録していたものである。カワリヌマエビ属は、現状東アジア（中国、台湾等）に広く分布している複数種を包含したグループ（ミナミヌマエビも含まれる）であり、属以下の種同定は難しい。飼育していたものが逸出して増加したのと考えられ、在来種ヌカエビと競合し広く定着している。



アメリカザリガニ  
(条件付特定外来生物)  
4月27日 姿見の池緑地



カワリヌマエビ属  
4月27日 姿見の池緑地

### (4) 各調査地の概況

#### ①姿見の池緑地

昆虫類18種、魚類7種、その他の水生生物類9種を確認した。

池には沈水性の水生植物類はほとんどなく、水面が広がっている。タモ網を用いた採集法で、池ではモツゴの若魚、ジュズカケハゼ類を確認した。また、人為的に移入されたコイ（ニシキゴイ）が目立った。

他の生物としてヌカエビとカワリヌマエビ属の一種を確認したが、これらは再造成された時に入り込んだ可能性が高い。特にカワリヌマエビ属の一種は23年ほど前から関東圏で見られるようになったとされ、小河川では在来種だったヌカエビの衰退と相対して増加傾向にある。

そのほかアメリカザリガニ（条件付特定外来生物）を確認した。姿見の池ではトンボ類の幼虫（いわゆるヤゴ）が少な



ジュズカケハゼ類  
7月27日 姿見の池緑地

かったが、アメリカザリガニとコイ（ニシキゴイ）の捕食圧の影響を受けている可能性が高い。

### ②武蔵国分寺・真姿の池周辺／お鷹の道・真姿の池湧水群／元町用水

昆虫類 6 種、魚類 2 種、その他の水生生物類 6 種を確認した。

野川水域の源流の一つである。砂礫の多い底質で、清らかな流れではシマアメンボのほか水生昆虫ではコカゲロウ類、ニンギョウトビケラ類やコカクツツトビケラ類といった種を確認した。元町用水ではハグロトンボを確認した。周辺水域に定着しており、安定的に生息していると思われる。

### ③武蔵国分寺公園・真姿の池周辺／おたかの道湧水園

昆虫類 10 種、魚類 2 種、その他の水生生物類 7 種を確認した。

武蔵国分寺跡資料館敷地内に併設されたおたかの道湧水園の池は、閉鎖区内にある国分寺崖線の湧水を源泉としている。池から流れ出る細流は元町用水へと合流する。

おたかの道湧水園の池は、前回調査以降に改修作業が行われたようで、底泥の状態はヘドロ臭もなく良好であり、魚類では野川で増加傾向のあるカワムツが見られた。

閉鎖区内の湧水部分ではオニヤンマを確認した。これらは樹林内の流水環境を好む種であり、湧水に依っているものと考えられる。ただし、湧水域の細流ではカルガモが採餌行動をとっており、その捕食圧が憂慮される。

## IV 環境団体等参加による調査の支援

### 1. 概要

市内2か所（西恋ヶ窪緑地及び姿見の池緑地）の調査地点にて、環境団体等を対象に、専門員の指導による動植物調査を観察会形式で実施した。

各調査日に配布した資料は、巻末に別添資料として示す。

表IV-1-1 観察会の実施状況(令和5年度)

調査期	実施日	調査地点	対象分野	参加人数
春期	5月25日(木)午前10時～正午	西恋ヶ窪緑地	鳥類・昆虫類	8人
	5月27日(土)午前10時～正午	姿見の池緑地	鳥類・昆虫類	6人
秋期	10月23日(月)午前10時～正午	西恋ヶ窪緑地	植物・昆虫類	6人
	10月29日(日)午前10時～正午	姿見の池緑地	植物・昆虫類	20人(親子参加含む)

### 2. 観察会の状況

#### ■ 5月25日(木) 西恋ヶ窪緑地

・概要：緑地内にて、鳥類及び昆虫類の調査方法について講義を行ったあと、調査実習を行った。鳥類では地図への記載の練習をしながら、鳴き声を頼りに確認種の識別を行った。昆虫類では生きものを見つけるたびに、その種の生態や識別箇所について解説した。

#### ・観察した鳥類・昆虫類

鳥類では、キジバト、コゲラ、ハシブトガラス、オナガ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、スズメを確認した。

昆虫類では、ナミアゲハ、ジャコウアゲハ、ムーアシロホシテントウなどを確認した。

#### ■ 5月27日(土) 姿見の池緑地（国分寺姿見の池緑地保全地域を含む）

・概要：第1回目と同じ参加者が多かったことから、講義よりも実習を重視して実施した。実習は、池周辺と雑木林の2地点にて、生きものを探すコツを伝えた。最後に、時間内で得られた調査結果をもとに、姿見の池緑地の生物多様性や環境の評価を行った。

#### ・観察した鳥類・昆虫類

鳥類では、カルガモ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハシブトガラス、オナガ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、スズメ、ハクセキレイを確認した。

昆虫類では、サトキマダラヒカゲやオオミズアオなどのチョウ類、クロオオアリやトビイロケアリなどのアリ類を確認した。なお、観察会后、ミズイロオナガシジミを確認した。



5月25日 西恋ヶ窪緑地



5月27日 姿見の池緑地  
(国分寺姿見の池緑地保全地域を含む)

■10月23日(月) 西恋ヶ窪緑地

・概要：植物及び昆虫類の調査について講義を行ったあと、植物班と昆虫班に分かれて調査実習を行った。

・観察した植物・昆虫類

植物では、ヌマトラノオ、ヤマハギ、シャリンバイ、ジュズダマなどを確認した。

昆虫類では、キタキチョウやツヤアオカメムシを確認し、クモ類ではジョロウグモを確認した。

■10月29日(日) 姿見の池緑地(国分寺姿見の池緑地保全地域を含む)

・概要：親子で参加される方がいたため、クイズ形式を多く取れ入れるなどの工夫を行った。

・観察した植物・昆虫類

植物では、ムラサキシキブ、マンリョウ、シラヤマギクなどを確認した。

昆虫類では、ホシホウジャク、ヒメジャノメ、ナミテントウ、ダンダラテントウを確認した。



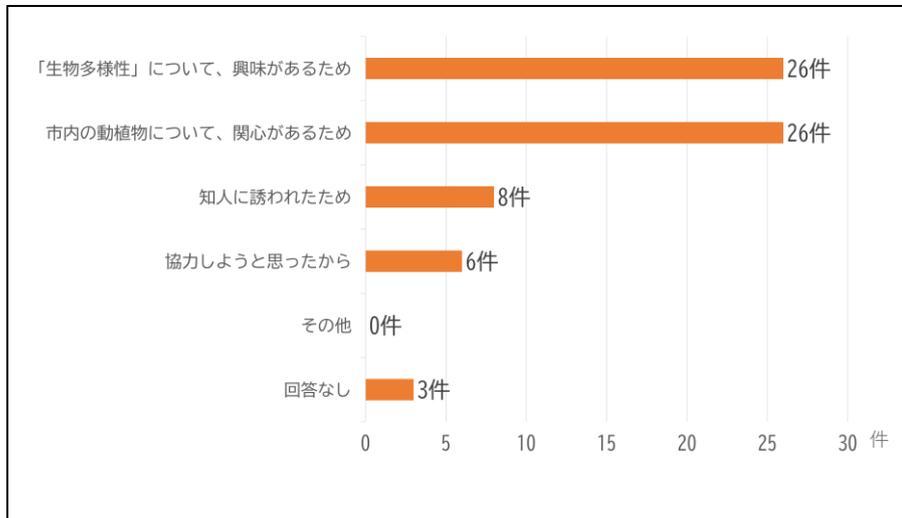
10月23日 西恋ヶ窪緑地



10月29日 姿見の池緑地  
(国分寺姿見の池緑地保全地域を含む)

### 3. アンケート結果

1) 今回参加しようと思われた動機を教えてください。該当する箇所にチェックをお願いします。(複数回答可)



図IV-3-1 参加動機に関するアンケートの集計結果

2) 観察会について感想をお聞かせください

(1) 調査時期や回数、調査時間

- ・説明の時間があるので実際の観察が短く感じた。もっと長い方がいい(4件)。
- ・とても楽しく興味深いものであった。ぜひ定期的に観察会を実施してほしい。
- ・説明いただいたものが実際に見られて、とても面白かった。
- ・四季各1回が良い。
- ・年2回あると良い。
- ・もう少し早い方がいいと思う(4月)。
- ・とてもタイミング良く参考になった。
- ・主婦でも参加しやすい。
- ・楽しかった。

選択肢	回答数	割合
1 大変良い	22件	61.1%
2 良い	12件	33.3%
3 普通	0件	0.0%
4 少し不満	2件	5.6%
5 不満	0件	0.0%
6 回答無し	0件	0.0%
全体	36件	

図IV-3-2

調査時期や回数、調査時間に対する感想の集計結果

(2) 調査対象とした場所

- ・両方ともよかった(2件)。
- ・鳥と昆虫を別々に実施した方が良い。
- ・野川沿いも見たい。
- ・他の場所でも見てみたい。

- ・多様性があった。
- ・興味深いエリアで良い場所であった。
- ・知っているところでの観察ができて良かった。
- ・日頃よく散歩しているので関心がある。
- ・場所を増やしてほしい。
- ・やはり姿見の池は自然が豊かであった。

選択肢		回答数	割合
1	大変良い	23件	63.9%
2	良い	13件	36.1%
3	普通	0件	0.0%
4	少し不満	0件	0.0%
5	不満	0件	0.0%
6	回答無し	0件	0.0%
全体		36件	

図Ⅳ－３－３

調査対象とした場所に対する感想の集計結果

### (3) 調査対象種

- ・色々種類が見られてよかった（2件）。
- ・鳥と昆虫は、別々に実施した方が良い。
- ・植物もお願いしたい。
- ・時間が足りない。忙しい。
- ・池の中、湿地も見たい。
- ・水生も見たい。
- ・鳥もやりたかった。

選択肢		回答数	割合
1	大変良い	19件	52.8%
2	良い	14件	38.9%
3	普通	2件	5.6%
4	少し不満	0件	0.0%
5	不満	1件	2.8%
6	回答無し	0件	0.0%
全体		36件	

図Ⅳ－３－４

調査対象種に対する感想の集計結果

### (4) 調査の進め方

- ・時間が足りない（3件）。
- ・とてもよかったが、もっと時間が多く取ればさらに良い。また参加したい。
- ・楽しかった。
- ・後学習もお願いしたい。
- ・初めての参加で勉強になった。
- ・みなさん楽しんでいました。
- ・クイズがあり、わかりやすかった。
- ・資料が抜けていた。
- ・グループに分けたのは、時間が十分あって良い。

選択肢		回答数	割合
1	大変良い	20件	55.6%
2	良い	13件	36.1%
3	普通	0件	0.0%
4	少し不満	1件	2.8%
5	不満	0件	0.0%
6	回答無し	2件	5.6%
全体		36件	

図Ⅳ－３－５

調査の進め方に対する感想の集計結果

3) 今回の観察会の全般に対し、よかったと思われる点、不足していたと思われる点はありますか。

(1) よかった点

- ・専門の方と歩くと、分かりやすく勉強になりました (11 件)。
- ・レクチャーを受けながら実物を見つけることができたので楽しかった! (3 件)。
- ・今までと違った見方ができて良かった (2 件)。
- ・クイズ形式もよかったし、具体的な実践も多く楽しかった (2 件)。
- ・実際に観察しながら説明を受けられとても楽しかった。専門家の方からお聞きする話は面白く、ひきこまれた。生物多様性がつながりあっていることがよくわかる会だった。
- ・日頃見ていた鳥・鳴き声の説明が聞けて良かった。
- ・知らない植物、昆虫などを知ることがよかった。
- ・身の回りの草花の生態が分かり嬉しかった。
- ・木の種類をしぼって、その中の動植物の関係を説明してくれたこと。
- ・様々な生物がいた。
- ・初心者として調査というものを理解できた。
- ・ありがとうございました。
- ・2 班に分かれてより専門的にできたところ。
- ・参加人数が適当だと思う。
- ・また来て自然観察をしようと思った。

(2) 不足していた点

- ・時間が足りない (8 件)。
- ・場所がたまたま植物も昆虫も同じだったので変えて欲しかった。
- ・この場所に特化した話題。
- ・地球温暖化の問題との関係を説明してもらいたかった。
- ・私自身の知識。名前も種類も不明だった。

4) 今回の観察会で行った調査を、今後の貴団体の活動等に取り入れることは可能ですか。

(1) はい

- ・できれば取り入れたい (4 件)。
- ・わかりやすいところは児童に伝えたい (3 件)。
- ・昆虫や鳥の観察プログラムも子供たちに実施するので、参考になる。
- ・まず記録を取るようになる。
- ・樹木名、草本名も掲示できるようにする。
- ・日々、草木を伐採しているから、その植物の意味を考えたい。
- ・もう一度改めて観察に来て撮影をしたい。
- ・調査リストを作成する。
- ・自然塾で取り入れたい。

(2) いいえ

- ・主に植生（下草刈り等）の維持管理のため。
- ・あまりに雑ぱく。

5) 今後どのような生きものに関するイベントがあったら参加しますか。下記にご記入ください。

- ・野鳥の観察会を希望する（5件）。
- ・水中の生きもの（3件）。
- ・また参加したい。
- ・楽しいイベント。
- ・緑地保全。
- ・季節ごとにあると良い（専門家に案内していただく観察会）。

6) 今後、動植物調査について、市に期待することは何かありますか、また、具体的な提案はありますか。

- ・毎年何回か観察会を実施して欲しい（5件）。
- ・春にして欲しい（2件）。
- ・この様な専門家の説明会をもっと開いてほしい。
- ・定期的な実践。
- ・より詳細な調査。
- ・実態調査の結果写真（実物）を入れて公表してほしい。
- ・多いに市民に参加していただき、市と市民の間で（生きものの）発見を共有できればと思う。

7) 環境団体同士の連携・ネットワークの構築を図るためには、何が必要だと思われるか。（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 市による連絡会開催などの機会の設定	12件
<input type="checkbox"/> 団体が交流等を目的として自主的に集まれるよう場所や情報の提供	9件
<input type="checkbox"/> 各団体の活動情報などを一覧できるような仕組み	11件
<input type="checkbox"/> その他（具体的にご記入ください。）	0件

図IV-3-6 選択肢一覧とその回答数

8) 動植物調査を含め、環境施策について、ご意見・ご提案等がございましたらご記入ください。

- ・環境を壊さないような工事を望む（新次郎池の工事）。
- ・もう少し時間があればよかった。鳥の声などを知ることができ、もう少し勉強したい。
- ・ハシボソガラスの捕食を見ることができて良かった。
- ・ありがとう。

以上のアンケート結果から、専門家のお話が聞けてよかったという声が多数あった。特に、今まで知らなかった植物や昆虫の名前や生きもの同士の繋がりについて、興味深く楽しかったという意見が多く好評であった。今後もこの取り組みを持続するとともに、要望のあった野鳥や水生生物の調査も実施できると良い。

改善点としては、「鳥類と昆虫類」「植物と昆虫類」と2つの分類群を一度に観察したためか「時間が短い」という意見が多数見受けられた。今後実施する際には「時間を長くする」「テーマを絞る」「実施回数を増やす」などの対応を検討したい。

## V 動植物調査報告会の実施支援

### 1. 概要

令和5年度動植物調査の結果を市民と共有し、身近な自然や生きものへの関心を高めるとともに、今後の生物多様性地域戦略に向けて市の取組を周知するため、報告会を実施した。当日は、スライドや調査結果の概要版（配布資料）を用いながら、市職員から全体概要を説明した後、各専門員から専門員調査の結果概要を説明し、質疑応答後、今後の改善策の説明を行った。

表V-1-1 報告会の実施状況 ※午前の部・午後の部、同内容

回数	実施日	会場	参加人数
午前の部	3月24日（日）午前10時～正午	市役所プレハブ会議室第一	5人
午後の部	3月24日（日）午後2時～午後4時	同上	13人



報告会の様子（その1）



報告会の様子（その2）

### 2. 参加者からの質疑・応答

#### ■午前の部

#### <植物について>

- ・シードバンク（埋蔵種子）はどのくらいもつのか。
- （専門員）種は落ちた後、その年に生えなくても生きている。植物の種類によって変わるが、約50年間は生きて発芽できる。

#### <鳥類について>

- ・国分寺市では、オシドリがつかいでいることが少なく、オスが多数。
- （専門員）オシドリは木の洞で子育てをするため、そういうところがあると今後繁殖するかもしれない。
- ・コサギとダイサギの違いの見分け方を教えてほしい。
- （専門員）足指が黄色だとコサギで、黒色だとダイサギになる。ダイサギの嘴は季節で色が変わるので足の色で判断すると良い。また、足の動きが速いのがコサギで、じっくり構えているのがダイサギになる。

・西町でツミ（鷹の仲間）が鳩を食べたのか、羽が落ちていたが、そのままにしても大丈夫なのか。

→（専門員）ツミは獲物を捕らえたらネコなどに横取りされないように自分の解体場所にもっていく傾向がある。森と開けたところが両方あるところを好む習性があるので、西町では結構な確率で捕食された死骸が見つまっている。基本的にはそのままにして大丈夫。

・市内で去年3月までクイナ（鳥類）の観察ができたが、今季は見られなかった。

→（専門員）本来クイナはとても警戒心が強く、ひっそりとしたところにいる。今季は見えない場所で活動していたのかもしれない。環境的には、水辺の人が隠れるくらいの葦原を好む。観察できなかつたからといって別の場所に移動したと断言はできない。

#### <哺乳類・昆虫類・水生生物等について>

・魚類のカワムツとアブラハヤの見分け方や生息場所を教えてください。

→（専門員）色味を見て鱗の並々模様がしっかりしているのがカワムツである。鱗（うろこ）が細かく、目視で鱗が見えないのが、アブラハヤである。背中から見た場合、カワムツには背びれ付近に赤い（オレンジ）模様がある。アブラハヤにはそれがない。また、アブラハヤの方が、警戒心が強いため、人が近寄ると隠れる傾向にある。姿見の池の用水路部分は全体的にはほぼアブラハヤだった。

・黒鐘公園に池があって、オニヤンマ等が飛んでいたが、調査範囲に入っていない。

→（専門員）新しい調査ポイントとして、広げていけたらと思う。

・蛍の幼虫は確認されなかったのか。

→（専門員）蛍の幼虫は確認できなかった。土の奥深く潜るので、なかなか見つけにくい。

・ゴマダラカミキリは外来種か。庭のバラの根本の茎が切られて、とても迷惑している。

→（専門員）ゴマダラカミキリは在来種であり、イチジクやクワの木などで、立ち枯れになるかならないかの木を好む。

#### <全体を通して>

・湧水の流量が減っているとの話があったが、どの辺りのことか。

→（専門員）武蔵国分寺公園の南側閉鎖区域の湧水のこと、前回調査よりも減っている印象だった。また、史跡ガイドさんも同じことを話していた。

・小学校のコミュニティスクールでいろいろやっているが、中学校や高校でも地域と連携して何かできれば、もっと生物多様性に興味関心をもってもらえると思う。

・今回の調査で、姿見の池の外来種のニシキゴイが問題になっているのが明らかになったが、それを取り除く方法が知りたい。かいぼりをすれば良いと思っている、このことで水生生物が増え、在来の植物の種子が残り繁殖するということがわかった。それを実現するにはどうすれば良いか。

→（専門員）ニシキゴイについて、市民の中にはコイが生息していた方が良いという人もいるかもしれない。その場合、例えば、網や柵などで池の一部をゾーニングして囲い、コイが生息できる範囲を限定する方法が考えられる。ただし、生きものを狭い場所に閉じ込めているという見え方もするので工夫が必要になる。どのように対応するのか関係者との合意形成を図る必要がある。

- (専門員) かいぼりについて、かいぼりをすると外来種だけでなく、在来種も捕獲後に死んでしまうことも多くある。それを踏まえて市民の方の理解が必要になってくると思う。また、かいぼりをどの段階までやるのか、何を目標とするのかということが重要になる。ただかいぼりをやるのではなく、到着地点を市民の方に理解していただくことが必要になると思う。
- ・確認種一覧には、外来種でシャガやクレソンが確認できていないようだが、どのような扱いになるのか。
- (専門員) シャガに関しては、今回確認しているが、生態系被害防止外来種リストには該当していない。クレソンに関しては、オランダガラシという種名で、重点対策外来種として掲載している。
- ・確認種一覧の中で、鳥類と昆虫類などの種は季節ごとに記載があるが、植物に季節の記載がない。何か理由はあるか。
- (専門員) 季節ごとによって確認できるものとできないものがあり、植物については、全季節を通して記載している。報告書に掲載する際には、どうして鳥類や昆虫類が季節を分けて記載しているのか、理由を一文入れ、分かりやすくする。

#### ■午後の部

##### <植物について>

- ・史跡公園に植物が多くて生育して良いと思うが、数年前に咲いていたミツバツツジが草刈に合わせて切られてしまった。なぜ刈ってしまったのか、外来種対策のためか。
- (市) 史跡武蔵国分寺跡のことか。どのような経緯で刈ってしまったのか、可能な限り担当課へ確認してみる。後ほど詳しい場所を教えてほしい。
- ・外来種のクレソンについて、これも駆除した方が良いか。
- (専門員) クレソンは繁殖力の強い外来種になるので、少しある分には良いが、増えてしまうと在来種を圧迫してしまう。有効活用できる駆除の方法があれば良い。

##### <鳥類について>

- ・国分寺市内にツバメはいないのか。
- (専門員) 各調査地点で確認をしている。ツバメは飛ぶ昆虫をよく食べるので、飛ぶ昆虫がいること、巣づくりにする泥があればツバメは棲みつく。
- ・外来種のガビチョウが定着した理由は何か。
- (専門員) 最初は江戸時代に中国大陸から持ち込まれた飼育用個体が逃げ出して、山から内陸に進出して増えた。
- ・鳥類調査の時間帯を教えてほしい。
- (専門員) 早ければ早いほど良いので、朝7時から開始し、午前中に調査が終わるようにしていた。なぜ早い方が良いかというと、鳥たちは飛ぶために体重を軽くしなければならない。朝すぐ行動するので、早朝調査した方が見つけやすい。また、人が活動しない時間帯はよく鳴き、人が行動する時間帯は姿を見せなくなる傾向があるので、日の出から調査するのが理想である。
- ・笹を刈ってガビチョウをどけた場合、そのガビチョウはどこに行くのか。

→ (専門員) ムクドリも同じで、この場にはいなくなるが、他の場所に移動する。問題は、ウグイスもガビチョウと同じ場所が好きなので、笹を全部なくさずにウグイスが棲める環境を作らなければいけない。庭のエサ台に野鳥が来ているようなら、エサ籠の隙間を狭くしてガビチョウが入れないようにするという事はできると思う。

#### <哺乳類・は虫類・両生類・昆虫類・水生生物等について>

・ヒグラシはスギなどの林でよく見られる。針葉樹がないような雑木林でもヒグラシは成長することができるのか。境界木だった古いサワラが切られてしまったが、そういった針葉樹がない樹林地でもヒグラシは繁殖できるのか。

→ (専門員) ヒグラシに関しては、日照と湿気が重要になる。元々ヒグラシはスギ林などの暗い場所を好むが、そこが明るくなった場合、そこに生息できるかどうかは分からない。

・他の種類に比べてヒグラシの生息地が少ないことが心配である。

→ (専門員) 国分寺市で、ヒグラシの生息が確認できているところには、一定の暗さがある。姿見の池は管理ができているので、明るい森になる。西恋ヶ窪緑地も樹木更新して明るい森になりつつあると思う。これからヒグラシがどうなっていくのか追っていくのは良い視点だと思う。

#### <全体を通して>

・毎年調査をやっても良いと思うが、なぜ5年に1度に行うのか。ルールがあるのか。

→ (市) 毎年の変化を調査することが理想だが、市の予算や他の事業等の関係があり、3～5年を目安に動植物調査を行えればと考えている。先進自治体の杉並区では、既に8次の調査を行っており、こうした事例の調査頻度を参考にしながら、おおむね5年を目安にしている。

前回調査が平成27年度なので、本来であれば、5年後の令和2年に実施したかったのですが、新型コロナウイルス等の影響もあり実施できず、今回8年ぶりの調査となった。次回の調査についても、おおむね5年以内に実施することを考えている。

・お金をかけなくても調査は実施できると思うが。

→ (市) 将来的には、市民の方の情報提供や企業・大学の関係者の方にご協力いただきながら、なるべく費用がかからない形で実施できればと思う。また、市民の方の協力が非常に重要になっている。最近の他自治体の事例では、精度や種類の偏りの課題はあるものの、携帯のアプリを通じて情報を集める市民参加型の調査もある。

・外来種のアメリカザリガニを駆除するために、積極的に食材にした方が良いと思うが、どのように調理したら良いか。

→ (専門員) 北米原産でアメリカザリガニは元々食用だった。戦時中ウシガエルを養殖する際のエサとしてアメリカザリガニを仕入れたのが、アメリカザリガニもウシガエルも売れなくなり、アメリカザリガニが捨てられたため全国に広がった。日本でもザリガニを食用にということは聞くし、食べたこともあるが、エビと変わらない。ただ、身が少なく、人によっては泥臭さを感じるので、1週間程度泥抜きをしなければならない。殻が厚くて剥きにくいという特徴もあるが、火を通せば食べることができる。食用として広がれば、外来種の有効活用ができると思う。唐揚げにするとおいしい。また、砕いて肥料にする活用方法もある。

・今回の調査の7地点の中で、そのうち2か所が東京都の管理になっている。管理面の違いが調査の中で感じられた点があれば教えてほしい。

→（専門員）管理者から委託された業者のレベルと労力があるので、武蔵国分寺公園については、常駐のレンジャーの方がおり、公園としてももとのポテンシャルが高い上により良い管理がされているという点で評価が高い。東京経済大学については、鳥が良かったが、管理によってはさらに良いものができると思った。

昆虫類についても、面積に比例して確認種は多い傾向である。平兵衛樹林地は面積が小さく植生が単一化されたサワラやスギが多いため、単調な印象で、対して西町緑地は面積がそこまで大きくないが、色んな樹種があるため、確認種数が多かった。

植物で言うと、エックスの山、姿見の池、武蔵国分寺は、何を目的に活動しているのかが明確になっている。守るべきものを決めており、それに向けた管理をしているような印象を受ける。東京経済大学については、池の近くをメインに管理していて、奥にどんぐりの森と呼ばれる林があるが、そこが手つかずになり、外来種もそのままになっていた。西町緑地等、何を守るかどう活用するかを決めて管理の方針を決めることで、確認種は増えるのではと思った。

・公園の手入れについて、具体的に市として、今後どのように進めていこうと考えていますか。

→（市）今回の調査結果を踏まえて、公園・緑地の管理がどのようにできるのか。管理する側からすると、一律剪定した方が管理しやすいという側面があるが、生物多様性の保全に配慮した管理という面では、武蔵国分寺公園のばったランドのようなバッタが生息できるように下草を一部意図的に残している管理方法が取り組まれている例もある。今回の調査結果を庁内関係課と共有しながら、外来種の防除をどうしていくのかを含め、今後、協議調整して方針と立てながら管理していければと思う。

・武蔵国分寺公園やエックス山はどこが管理をしているのか。

→（市）都立武蔵国分寺公園は東京都が所有し、指定管理者が管理をしている。一方で西恋ヶ窪緑地は市の緑と公園課が所管課であり、市民協働として環境団体の方と一緒に管理している。

・どこがどのように管理をしているのか分かるような発信等があると興味を持ちやすい。

→（市）市民の方に関心をもってもらえるよう、効果的な情報発信について検討していきたい。

## VI 調査結果のまとめ（専門員の考察）

### 1. 確認種について

各分類群の調査結果を以下に表VI-1-1～2にまとめる。

今回の調査では、すべての分類群を合わせて1,300種以上の動植物が市内に生育・生息していることを把握することができた。最も種数が多い分類群は植物の634種であり、ついで昆虫類の546種、クモ類の64種であった。

また、平成27年度以降、8年ぶりに第2回目となる市内の動植物調査を実施したことで、新たに580種の生物を記録することができた。生息種数は多いが、体サイズが小さく比較的発見しにくい地表徘徊性昆虫類やクモ類、移動の際に短期間の立ち寄りもある鳥類などは、今後も調査を継続することで確認種数が増えることが十分に予想され、環境の変化も把握することができる。

表VI-1-1 国分寺市動植物調査で確認した種数などの一覧 その1

分類群	確認種数	希少種		外来種
		国RL	都RL	生態系被害防止 外来種リスト
植物	634 (531)	3 (3)	9 (7)	39 (29)
鳥類	48 (37)	2 (2)	15 (10)	2 (2)
哺乳類	3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
は虫類	3 (8)	0 (1)	2 (7)	1 (1)
両生類	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
昆虫類	546 <sup>※</sup> (354)	1 (0)	7 <sup>※</sup> (10)	1 (1)
クモ類	64 (60)	1 (1)	2 (1)	0 (0)
水生生物	水生昆虫類	24 (19)	0 (0)	3 (2)
	魚類	7 (7)	1 (1)	0 (1)
	その他	14 (12)	0 (0)	3 (1)
合計	1,319 (1,030)	8 (8)	40 (40)	46 (35)

※（ ）は前回平成27年度の確認数。

※昆虫類には水生昆虫も含むため、各合計には水生昆虫類の数を除く。

※希少種の確認種数は、調査時点での国または都のレッドリスト掲載種をカウントした。なお、植物の植栽種は希少性の評価の対象外とした。

※シュロは九州南部に自生するが、それより以北では一般的に生態系被害防止外来種に扱われるため、平成27年度調査のシュロを上記外来種の確認数に含めることとし、28→29に訂正した。

※平成27年度調査で確認された魚類の外来種について、当時の調査では「カラドジョウ属」としたが、改めて当時の写真資料を確認しカラドジョウと同定した。その結果、カラドジョウが生態系被害防止外来種リストの「その他の総合対策外来種」に指定されているため、平成27年度調査の水生生物（魚類）の上記外来種の確認種数を0→1に訂正した。

表VI-1-2 国分寺市動植物調査で確認した種数などの一覧 その2

分類群		令和5年度調査で初めて確認された種数	平成27年度と令和5年度調査総確認種数
植物		182	713
鳥類		15	52
哺乳類		2	3
は虫類		0	8
両生類		0	1
昆虫類		342	696
クモ類		23	83
水生生物	水生昆虫類	11	30
	魚類	1	8
	その他	4	16
合計		580	1,610

## 2. 希少種について

専門員調査で確認された希少種のうち、国 RL 掲載種の一覧を表VI-2-1に、都 RL 掲載種の一覧を表VI-2-2に示す。

### 1) 国 RL 掲載種

国 RL 掲載種では、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧の2カテゴリーに、合計8種が該当していた。

国 RL で最も高いカテゴリーは絶滅危惧Ⅱ類であり、植物はキンランのみであった。キンランは腐葉土の多い樹林の林床に生育する植物である。準絶滅危惧種のタシロランも落ち葉がかなり厚く積もり、湿り気がある場所に生育する。これらラン類は盗掘の恐れもある種が含まれており、生育地の情報の扱いについては慎重であることが望ましい。サシバについては、移動途中の5羽を確認したと考えられるが、北多摩では過去に繁殖記録があることから、生息状況を注視していくことが望まれる。

準絶滅危惧種のおオタカについては、近年では規模の大きな都市公園などでも繁殖が記録されるようになり、市内でも繁殖する可能性がある。

コシロシタバについては、雑木林を代表する種であり、姿見の池緑地のみの確認であった。

キシノウエトタテグモについては、前回調査で記録された調査地では確認できなかった。過度な踏圧による乾燥化が影響を及ぼした可能性がある。

ドジョウについては、かつては都市部の水田地帯に多く生息していたが、開発による生息環境の消滅や、外国系統のドジョウとの競合や交雑が心配される。

哺乳類、両生類、は虫類では、該当種は確認されなかった。

表VI-2-1 国分寺市で確認した国 RL 掲載種の一覧

カテゴリー	植物	鳥類	昆虫類	クモ類	水生生物	合計
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	キンラン	サシバ ◎				2
準絶滅危惧 (NT)	タシロラン ◎ カワヂシャ ◎	オオタカ	コシロシタバ	キシノウエトタゲモ	ドジョウ	6
合計	3(2)	2(1)	1	1	1	8

※ ( ) の数字は今回の調査で初確認された種数。

※植栽種は希少性の評価の対象ではないため、市内の生物多様性の評価としては自生種のみを取り扱う。

## 2) 都 RL 掲載種

### 2) 都 RL 掲載種

都 RL 掲載種では8つのカテゴリーに、合計40種が該当していた。このうち、準絶滅危惧が15種と最も多く、次いで、絶滅危惧Ⅱ類の14種、情報不足と留意種の3種であった。

分類群で最も多いのは、鳥類の15種であった。次いで、植物の9種、昆虫類の7種だった。哺乳類と両生類では該当種は確認されなかった。

絶滅のおそれのある種（絶滅危惧種）について、以下に述べる。

#### ①絶滅危惧ⅠA類

サシバについては、先述の通りである。

#### ②絶滅危惧ⅠB類

ギンランは森林のやや乾いた林床に生育する植物であり、管理者によって保護がされていた。

ヤナギハムシは1か所でのみ確認されたが、ヤナギ類があれば、その他地域でも移動定着する可能性がある。

#### ③絶滅危惧Ⅱ類

アイアスカイノデは低地から低山地にかけての樹林内や林縁に生育する植物である。キツネノカミソリは、明るい林床を好むため、良く管理された里山環境で見られた。カワヂシャは特定外来生物であるオオカワヂシャとの混雑が懸念される。

モズについては、北多摩ではやや回復傾向にあると考えられており、前回調査と比較しても確認地点は多く、繁殖も確認された。

昆虫類ではヤマサナエが注目され、繁殖もしている可能性が高い。

表VI-2-2 国分寺市で確認した都 RL 掲載種の一覧

カテゴリー	植物	鳥類	は虫類	昆虫類	クモ類	水生生物	合計
絶滅危惧 I A類 (CR)		サンバ ◎					1
絶滅危惧 I B類 (EN)	ギンラン			ヤナギハムシ ◎			2
絶滅危惧 II 類 (VU)	アイアスカイノデ キツネノカミソリ カワヂシャ ◎	カイツブリ カッコウ ツミ オオタカ フクロウ ◎ モズ コサメビタキ ◎	ヒガシニホトカゲ ニホンカナヘビ	ヤマサナエ ◎ ネグロセンブリ		ヤマサナエ(幼虫) ◎ ネグロセンブリ(幼虫)	14
準絶滅危惧 (NT)	キンラン ササバギンラン ノカンゾウ ニリンソウ	アオバト ◎ コサギ ◎ カワセミ オナガ オオルリ ◎		ヤマトクロスジヘビ トンボ コシロシタバ ヤマトタムシ ◎ アカアシオオアオカ ミキリ ◎	キシノウエタテグ モ	ヤマトクロスジヘビ トンボ(幼虫) アブラハヤ	15
情報不足 (DD)		クイナ ◎			トゲグモ ◎	ドジョウ	3
留意種 (*)						スジエビ ◎ ヌカエビ サワガニ	3
データ無し (-)	キクムグラ ◎						1
非分布 (.)		ツツドリ ◎					1
合計	9(2)	15(8)	2(0)	7(4)	2(1)	8(2)	40(17)

※ ( ) の数字は今回の調査で初確認された種数。

※ヤマサナエ、ネグロセンブリ、ヤマトクロスジヘビトンボの3種は、昆虫類調査と水生生物調査の両方で確認されているものの、昆虫類としてカウントすることから重複する3種を合計数から除く。

※植栽種は希少性の評価の対象ではないため、市内の生物多様性の評価としては自生種のみを取り扱う。

### 3. 各調査地における専門員の考察及び管理の提案

#### 1) 西恋ヶ窪緑地

##### (1) 植物

確認種は 281 種であり、前回調査の 248 種よりも増加傾向で推移している。希少種は管理者により保全され、個体数を増やしている。外来草本の選択除草も行われていた。

南側入口の斜面は明るい草地になっており、そのような場所を好むカントウタンポポやワレモコウ、タカトウダイなどが確認された。雑木林と隣接する草地として貴重なため、維持したい環境である。

林内の地表は日差しが良く届く良い環境である。ナラ枯れ被害があるが、コナラ、ムクゲ、コウゾ、クヌギなどの次世代の若木が育てられており、良く整備されている。それぞれの区画の環境に適した種を保全し、その位置を把握して保全している点、全体的にアズマネザサを刈り取って生育を抑えている点も評価される。

外来種では、ツルニチニチソウ（重点対策外来種）が前回調査から継続して地表を覆っているほか、外来種のコセンダングサも増加している。ツルニチニチソウは常緑のため、他の草本類の芽生えや生育を阻害しているおそれがあり、目立ちやすい冬期のうちに除草することが望ましい。

その他の外来種の駆除では、草本類や一年草は駆逐が難しいので、ヨウシュヤマゴボウ、セイタカアワダチソウ、トウネズミモチなど選択的に駆除を行う。特にトウネズミモチは高木もあるため切っても良い。また、園芸品種を入れない（植えない）方が、里山としての価値が高いため極力入れないことが望ましい。

緑地の管理は市民団体の方々が大変丁寧に管理をされている。



繁茂するツルニチニチソウ  
(4月28日 西恋ヶ窪緑地)



トウネズミモチの結実  
(10月16日 西恋ヶ窪緑地)

## （２）鳥類

鳥類の確認種は18種であり、前回調査の21種よりも減少し、前回記録された猛禽類は見られなかった。

しかし、エナガやコゲラ、シジュウカラなどの樹林性の種の繁殖行動が確認されるなど、西恋ヶ窪緑地は市内に生息する鳥類にとって貴重な繁殖地と評価される。

樹林の下層は明るく、人の通行も多いことから、緑地の一部の草刈頻度を下げるなどして高茎草地を創出すると、鳥類の隠れ家となる。

## （３）哺乳類・は虫類・両生類

哺乳類については今回の調査では確認できなかった。これは調査精度の問題もあると思われる。

そのほか、哺乳類の情報としては、本市の「令和4年度アライグマ・ハクビシン防除事業」によって、隣接する地域（西恋ヶ窪三丁目）においてアライグマの捕獲記録があった。これは調査対象の西恋ヶ窪緑地を活動範囲とする個体の可能性が高い。

は虫類については、下草が豊かなことや管理作業で出た伐採木の積載等が獲物となる昆虫やクモ類の生活空間となり、これら小動物が安定的に見られることからは虫類の生息環境としては適しているようである。現状行われている管理形態が維持されることが望まれる。

目立った水辺環境がないことから両生類は確認できなかった。周辺の住宅地にまだアズマヒキガエルが生息していれば、小さな池などの水辺があれば繁殖する可能性がある。

## （４）昆虫類・クモ類

昆虫類は183種で、前回調査の156種と比べて微増している。平地の雑木林で見られる種が多く確認されており、良好な管理活動によって雑木林が維持されていることが大きいと思われる。

林内にはノコギリクワガタやカミキリ類などが生息しており、樹木更新された明るい区画ではハムシ科やガ類が見られるなど、環境の多様化によって昆虫類の生息に好影響を与えているようである。

関東地方でカシノナガキクイムシによって目立った被害をもたらされている「ナラ枯れ」であるが、若木よりも大径木が特に被害を受ける上、一度食害を受けた樹木は対処療法的に被害を遅らせる程度の対応しか手がないのが現状である。現在緑地内に残っているコナラの大木については倒木などによる人的被害に注意を払いつつ、立ち枯れするものは自然にまかせ（危険な場合は伐採）、次世代の若木の導入と、これから先の樹木管理について検討できると良い。

クモ類についても昆虫類同様樹林性の種が見られ、良好な樹林が両者の緊密な捕食・被食関係を維持させている。

## 2) 姿見の池緑地

### (1) 植物

確認種は 401 種であった。種数については、前回調査は 298 種であり、増加している。

段丘上の雑木林は、ナラ枯れ被害で伐採された樹木も多く、樹林の乾燥化などに伴う今後の生物相の変遷が注目される。市民団体の方が丁寧に管理されており、各区画で次世代の若木が育てられている。希少種についても位置を細かく落とされている。

姿見の池の湿地には希少な水生植物があるが、植栽と思われるものが多い。その土地由来の植物か DNA 鑑定が望ましい。国分寺市は国分寺崖線により湧き水が多い地域なので、水生植物及び水辺環境は今後注目すべきカテゴリーである。

課題は水路の外来種対策である。中でも急務は、特定外来生物のオオカワヂシャである。種子の伝播による下流への影響が懸念され、かつ水路のみならず隣接する湿地に入り込めば、根絶は難しいと予想される。葉の鋸歯が不明瞭で花が青紫色であれば本種と判断し、種子をこぼさないようビニール袋に入れるなどしながら抜き取る必要がある。

同時に、水路で確認されたオランダガラシ、メリケンガヤツリ、キショウブ、ノハカタカラクサはいずれも重点対策外来種で増えやすいため、これらも抜き取りにより除草することが望ましい。キショウブは植栽からの逸出で湿地帯にも広がっている。

北側の元梅林（東京都環境局の保全地域の指定状況より）は、木本類は植栽のため、樹林というよりはカントウタンポポやサギゴケが生育する低茎草地として維持できると良いと考えられる。セイヨウタンポポはカントウタンポポと交雑するため、セイヨウタンポポが付近で生育していた場合は除草することが望ましい。



オオカワヂシャ(青)  
(4月28日 姿見の池)



繁茂するノハカタカラクサ  
(7月14日 姿見の池)

### (2) 鳥類

鳥類の確認種は 30 種であり、前回調査の 26 種よりも増加傾向であった。

東側の雑木林ではエナガやシジュウカラの幼鳥が確認されており、樹林性の種に繁殖地として利用されていた。

姿見の池では、アオサギやカルガモ等の水鳥が確認されたため、水鳥の食物資源となる小型魚類が一定数生息していると思われる。

### (3) 哺乳類・は虫類・両生類

哺乳類の確認種は2種、は虫類では2種、両生類は確定できなかった。前回調査同様に、雑木林内及び池畔の林床ではアズマモグラの塚を頻繁に確認することができた。食物となる土壌生物相が比較的充実しているものと思われる。林道沿いでは外来種であるハクビシンのものと思われる糞が見られた。外来種に関しては、委託事業の「令和4年度アライグマ・ハクビシン防除事業」で、姿見の池緑地からはやや離れているが同じ町域（西恋ヶ窪一丁目）で、アライグマの捕獲記録があった。この周辺は緑地が多いため活動範囲としていた個体と思われる。おそらく姿見の池緑地周辺も生活圏として利用されている可能性が高い。

今回調査ではミシシippアカミミガメ以外、は虫類・両生類の確認は少なかったが、前回調査の頃から緑地環境に大きな変化は認められないので、潜在的にニホンスッポン、アオダイショウ、ヒバカリ、アズマヒキガエルといった種は生息していると思われる。これらは昼間の目視調査での確認が難しい生物類であり、別途計画的な調査が必要と思われる。特にアズマヒキガエルについては、成体の確認調査に加えて池での繁殖行動が確認できれば調査精度が上がると思われる。

### (4) 昆虫類・クモ類

昆虫類の確認種は209種、前回調査の138種よりもやや増加している。トンボ科やヨコバイ科、ハムシ科、シャクガ亜科などの新たな確認種が増えたことなどが影響していると思われる。雑木林を特徴付ける種も記録されたことから、林内における適切な管理作業の実施を示しているといえる。

クモ類の確認種は26種で、前回調査の26種と同じだった。

昆虫類・クモ類に関しては、引き続き現状の管理が継続されることが望ましい。

### (4) 水生生物

水生昆虫類は18種、魚類は7種、その他の水生生物類は9種であり、前回調査では水生昆虫類7種、魚類7種、その他の水生生物類6種よりもやや増加している。用水路と池を組み合わせた水域を復活させた姿見の池緑地は、武蔵野台地の豊かな水源をもとにして良好な環境を維持している。用水路ではコオニヤンマ、オニヤンマといった大型のトンボ類を新たに確認しており、引き続き良好な水域環境の維持が求められる。

魚類についてはジュズカケハゼ類が前回調査から継続して確認されており、安定的に生息しているものと思われる。池では、東側にある抽水植物の根際にできた狭い窪みがあることによって大型のコイ（ニシキゴイ）の捕食から逃れているようである。

池はコイが優占しており、沈水植物や水生生物類（メダカやモツゴの稚魚等）の捕食や底泥の攪拌による悪影響が懸念される。周辺住民等との兼ね合いもあると思われるが、コイを排除できれば、池における生物相の多様化が期待できる。

### 3) 東京経済大学

#### (1) 植物

植物では、確認種は280種であった。前回調査は232種であり、増加で推移している。

学生や地域住民などが管理作業をしている場所のため、外来種であるトウネズミモチやシュロは少なかった。

今後の課題として林床管理が挙げられる。特に東向きの斜面は薄暗く、耐陰性のあるノハカタカラクサ（重点対策外来種）が地表を覆っている。ノハカタカラクサは常緑のため、葉が目立つ冬期に除草できると良い。引き抜きは容易だが、節から発根するため丁寧に取り除く必要がある。

加えて樹林全体で優占しているアズマネザサやウバメガシの様な常緑樹などを、刈り取りにより高さや密度を抑えることで、希少種やその他の草本類の増加、木本類の実生の発芽生長による階層構造の発達などが期待できる。水辺ではセキショウが繁茂しているため、水面が見えるように間引くことで、その他の草本類の増加が期待できる。

林全体の土壌は乾燥傾向にあり、秋の調査では土を掘り返しても菌糸が見つからなかった。ミズキが多いことから地下には水源があるが、土壌の保水能力が低いと思われる。そのため、ラン類にはいい環境とは言えない。可能であれば、伐採した木や落ち葉などを溜めて腐らせ土壌を作れば、今後改善される可能性がある。

植物相から見ても、さらに多様性の高い林床を形成するポテンシャルは有していると考えられるため、一部の区画だけでも、アズマネザサ等の刈り取りや、落ち葉を利用した土壌の改善などの管理の実施が望まれる。



繁茂するノハカタカラクサ  
(7月12日 東京経済大学)

#### (2) 鳥類

鳥類の確認種は28種であり、前回調査の16種よりも大幅に増加した。

市内では渡りの時期に一時的に通過する種であるヒタキ類が飛来し、渡り鳥の休息地として利用されていた。また、樹林性の種は繁殖地としても利用し、ヒヨドリやエナガ、シジュウカラの繁殖が確認された。

東京経済大学の周辺には庭付きの戸建て住宅が多く、大学に近接する庭と行き来する鳥類も見られた。大学周辺の緑地環境のポテンシャルが高いことも、鳥類の確認種数が多かった要因として挙げられる。

前回調査では冬鳥であったウグイスが、今回調査では通年で見られた。樹林の林床がアズマネザサに覆われ、ウグイスにとって生息しやすい環境になったと思われる。しかしながら、同様の環境を好むガビチョウ（特定外来生物）も定着しているため、ウグイスの繁殖への影響が懸念される。植物の項目でも述べたが、樹林全体で林床に繁茂するアズマネザサなどを刈り取りにより高さや密度を抑えることが望ましい。

### (3) 哺乳類・は虫類・両生類

哺乳類の確認種は2種で、前回調査では1種であり、ほぼ同じであった。南側の国分寺崖線に面した斜面林において、アズマモグラが前回調査同様に見られた。土壌が比較的安定していると思われる。今回の調査では前回調査で記録のなかったハクビシンのものと思われる糞が新次郎池周辺において確認されている。

は虫類は2種であり、前回調査は2種で同じであった。新次郎池周辺は前回調査以後に整備された経緯があり、環境変化が考えられるが、斜面林については大きく変更されていない。新次郎池では数年前にアズマヒキガエルが産卵行動をしていた情報もあるので、潜在的に生息していると思われる。

### (4) 昆虫類・クモ類

昆虫類の確認種は164種であり、前回調査の134種よりもやや増加傾向であった。サトキマダラヒカゲやヒラタアブ類、テントウムシ科など樹林内と林縁で見られる種が目立った。また、新次郎池の池畔では緩やかな小河川を好む種が確認でき、近くを流れる野川水系との連続性も確認できた。

クモ類の確認種は27種であり、前回調査の21種よりもやや増加傾向であった。前回調査に引き続き新次郎池周辺ではオオシロカネグモが安定的に確認できた。林内ではハエトリグモ科が目立っていた。

これら昆虫類・クモ類相を維持するためには、植物の考察で述べたように土壌環境の維持がポイントになると思われる。

## 4) 武蔵国分寺公園・真姿の池周辺

### (1) 植物

植物では、確認種は389種であった。前回調査は347種であり、増加している。

国分寺崖線の斜面上部から下部にかけて一体となったエリアで、湧水も相まって土壌の乾湿が連続し、それに合わせた植生が見られることが特徴である。全体としてカントウタンポポ、シュンラン、ヒトリシズカ、ニリンソウ、今回は確認されなかったがジロボウエンゴサクなど、春に開花する草本類が比較的多いことも特徴であった。

野鳥の森(P46 図Ⅲ-2-4 参照)では在来種保全のための管理(希少種の調査、選択的刈り残し等)が実施されている。ジロボウエンゴサクは調査日が花期とずれたため確認することができなかったと考えられる。外来種では、春期はセリバヒエンソウ、夏期はボタンクサギとオオブタクサ、秋期はアレチヌスビトハギが目立ち、特にオオブタクサが増えているようである。

保護区内はコナラ林・シラカシ林・ケヤキ林と遷移しており、林内には日光がほど良く入るため、シュンラン、ムサシアブミなどの草本類が比較的多かった。

お鷹の道沿いではシダ類が豊富である。湧き水の多い国分寺において、シダ類はその環境を象徴する種である。そのため、今の個体が除草されないよう注意が必要である。一方で、重点対策外来種のキショウブも水路内で確認されたため、こちらは抜き取るのが望ましい。

湧水の多い国分寺には水路や池などが残っているため、残されている水辺環境を調査す

れば、他のシダ類の生育地が見つかる可能性がある。



水路内のキシノウブ  
(4月18日 お鷹の道周辺)

## (2) 鳥類

確認種は36種であり、前回調査の28種よりも増加傾向であった。武蔵国分寺公園には多様な環境があり、規模も大きく、調査を継続すれば確認種数は増加すると思われる。

武蔵の池では、前回調査では記録されなかった水鳥が記録された。また、カルガモの親子が人工浮島で確認されたことから、武蔵の池は公園管理者によって大変良く管理されている。池の管理の好事例として、市内の他の水辺でも同様の管理を行えると良い。

## (3) 哺乳類・は虫類・両生類

哺乳類の確認種は2種で、前回調査の1種と比べほぼ同じであった。広い面積の樹林内ではアズマモグラが安定的に確認できた。良好に保たれた土壌中には生存を支えるための十分な土壌生物相が維持されているようである。今回調査では確認できなかったが、調査地及び周辺の緑地では管理関係団体によるホンダヌキの目撃情報もある。「令和4年度アライグマ・ハクビシン防除事業」では、泉町一丁目、東元町四丁目、西元町三丁目といった、公園を中心とした地域においてアライグマ又はハクビシンの目撃記録があるため、調査地域内で生息している可能性が高いと思われる。

また夏期調査時に、樹冠を飛翔するアブラコウモリを確認している。

は虫類の記録は1種のみで、前回調査の4種と比べて減ったが、環境的にニホンヤモリのほか、ヘビ類が生息している可能性は高いであろう。アズマヒキガエルなど両生類についても同様で、これらを対象とした調査、特にカエル類では繁殖時期を中心とした調査の実施によって確認できると思われる。

## (4) 昆虫類・クモ類

昆虫類の確認種は227種で、前回調査の146種と比べ、増加している。地表性のカメムシ類のほか、小型のガ類（ミノガ科、ツトガ科等）やハナアブ類といった種の新規確認が増加に繋がった。昆虫の確認種数に関しては、潜在的な母数が大きいので、調査の継続によって一定期間この傾向は続くものと思われる。

野鳥の森から閉鎖区域にかけての林相は、シラカシなどの葉を落とさない樹木が目立つことが、西恋ヶ窪緑地や姿見の池緑地と比較した場合の特色であろう。この林相を活かした管理も相まって、樹林性の昆虫相が見られるものと思われる。さらに公園北側には明るい草地のばったランドのような環境もあり、ススキやオギの群落に依存するショウリョウバッタモドキや、様々な花を訪れるハナバチ類といった昆虫を誘致している。

クモ類の確認種は34種で、前回調査の31種と比べ、やや増加傾向であり、昆虫類の存在にほぼ連動し、樹林性のオニグモ類やアシナガグモ科、ハエトリグモ科が目立つ結果となった。ばったランドにおいてもヤハズハエトリといった開放的な環境を好む種が見られ、樹林地と草地といったメリハリのある多様な環境の存在が良い影響をもたらしている。

#### (5) 水生生物

水生昆虫類は12種（お鷹の道水路・元町用水6種、閉鎖区域・おたかの道湧水園10種）で、前回調査の16種（お鷹の道水路・元町用水12種、閉鎖区域・おたかの道湧水園12種）に比べやや減少した。

閉鎖区域内、「おたかの道湧水園」に併設された池では、前回調査実施後に池の改修が行われており、その後は元町用水との接続も良く、ヘドロ化した底泥も除去されており良好な水辺環境となっている。

源泉から池へ流れ込む区間は水深が非常に浅く、樹林に覆われ暗い環境となっているが、こういった水辺はトンボ等の生息環境であり、今回調査でも確認することができた。池については、出来る限り現在の水域環境を維持するために、池上部を覆う樹木からの落葉を定期的に除去することが必要と思われる。

魚類は2種（お鷹の道水路・元町用水2種、閉鎖区域・おたかの道湧水園2種）で、前回調査では1種（お鷹の道水路・元町用水1種、閉鎖区域・おたかの道湧水園0種）の記録だった。

その他の水生生物類は10種（お鷹の道水路・元町用水6種、閉鎖区域・おたかの道湧水園7種）で、前回調査の10種（お鷹の道水路・元町用水6種、閉鎖区域・おたかの道湧水園9種）で大きな変化は見られなかった。

## 5) 平兵衛樹林地

### (1) 植物

植物では、確認種は 119 種であった。種数については、前回調査は 107 種であり、同程度で微増している。

調査地の環境は前回調査と比較して大きな変化はなく、ヒノキとサワラ、シラカシの樹林であり、多様度は高くない。しかしながら、乾燥した林内を好むシュンランが今回初めて確認されたため、今後も追認していけると良い。

林内は全体的に下草が少なく、樹木の根が露出している。その原因として、モウソウチクの葉が地表に溜まっていること、人がよく歩くために地表が固くなり、水が土に染み込まないので土壌や種子が流失していることが挙げられる。公園の隅などの人が入らない箇所には柔らかい土があるが、アズマネザサや外来種が繁茂している。改善策としては、土を柔らかくして土壌に水が入るようにするため、表層の土と下層の土とを入れ替える天地返しが有効だが、コスト面で現実的ではない。アズマネザサや外来種を駆除することで、残された土壌の植物の更新を行うと草本類の増加が期待できる。

緑地は常緑樹のシラカシが優占種となっており、全体的に薄暗い。高木も多く、これ以上成長すると管理が難しくなる。公園も隣接していることから、大木のシラカシをシンボルツリーとして数本を残し、選択的に伐採し、伐採後は野鳥が食べる果樹を植えて利用者が楽しめるようにしても良い。

外来種のモウソウチクが引き続き確認されており、隣地からの侵入のため、竹林に置き換わる前に定期的な管理が望まれる。



樹林に入り込んだモウソウチク  
(4月5日 平兵衛樹林地)



右側は土壌が流出し、根が露出している  
(10月4日 平兵衛樹林地)

### (2) 鳥類

確認種は 15 種であり、前回調査の 15 種と同数であった。確認された種類に関しても、前回と大きな違いはなかった。

平兵衛樹林地は狭いが、まとまった樹林地が隣接するため、周辺緑地のポテンシャルは高い。周辺緑地を行き来する鳥類が多く確認された。

アオゲラの幼鳥が採食場として利用していたが、周辺緑地で巣立ったと考えられる。

### (3) 哺乳類・は虫類・両生類

哺乳類は確認できなかった。モグラ塚などアズマモグラの生活痕は確認できていない。「令和4年度アライグマ・ハクビシン防除事業」では、光町一丁目内の当該樹林地周辺に

においてアライグマもしくはハクビシンの目撃記録があるため、平兵衛樹林地及び隣接する屋敷林が生息域として利用されている可能性がある。

前回調査では、は虫類の記録はできなかったが、今回は1種を記録した。

#### (4) 昆虫類・クモ類

昆虫類の確認種は94種であり、前回調査の76種と比べ、やや増加傾向であった。針葉樹主体の樹林であり昆虫相は単調であるが、林縁の一部に実生木の若木や草本類が生育した空き地的な場所が見られ、クルマバツタモドキや訪花性の小型ハナバチ類など飛翔移動してきた個体が記録できた。林内に生育する数少ないシラカシでは、夏期、樹液にシロテンハナムグリが密集するのが見られた。

クモ類の確認種は11種で、前回調査の28種と比べ、やや減少傾向であった。過度な踏圧による乾燥化が影響を及ぼした可能性がある。

### 6) 西町四丁目緑地 (新規調査地)

#### (1) 植物

植物では、確認種は117種であった。

小さな祠と鳥居が設けられている。雑木林として人為的な影響を受けつつ、鎮守の森のような役割も持つ樹林であったと推察される。クヌギ・コナラ林の保護林だが、クヌギとコナラの本数は少ない。それらもカシノナガキクイムシによる食害もあり、枯損するのは時間の問題と思われる。ただし、林内は成長したエノキ林になっており、野鳥の飛来が期待できる。林床に生えるアズマネザサやトウネズミモチなどの外来種を定期的に駆除することで、草本類が増加する。駆除を行う際は、他の樹木の実生を切らないように気を付けるとなお良い。

コナラ、クヌギ林を保全するのであれば、コナラ・クヌギの実生を育てる一画を設ける必要がある。

近年になって植栽及び逸出したと見られるツリガネズイセンやオモト、ハナニラなどの外来・園芸草本が目立つ。



樹林内のツリガネズイセン(園芸種)  
(4月5日 西町四丁目緑地)

#### (2) 鳥類

鳥類の確認種は20種であった。

西町四丁目緑地は孤立した雑木林で、その周囲には畑地があり、このような林と開けた環境が接する場所は猛禽類等の採食地となる。

特定外来生物のガビチョウは生息していたが、鬱蒼とした樹林ではないため、定着はしていない。

### (3) 哺乳類・は虫類・両生類

今回の調査では哺乳類の記録はなかった。林内は明るい雑木林で、緑地の南側は畑地と接しており、この周縁部にアズマモグラが生息している可能性がある。今後哺乳類を対象とした調査が実施できるのであれば、センサーカメラ等を利用することによって、国分寺崖線でも北端に位置する当該地域における哺乳類相が確認できるであろう。

「令和4年度アライグマ・ハクビシン防除事業」ではやや南に離れてはいるが、西町一丁目から西町三丁目内においてアライグマもしくはハクビシンの目撃記録がある。将来的に当該調査地へも生息範囲を広げる可能性がある。

は虫類の確認はなかったが、住宅地に隣接していることから潜在的にニホンヤモリが生息している可能性がある。両生類については、周辺に繁殖に適した水辺が見られないため確認は困難な可能性が高い。

### (4) 昆虫類・クモ類

今回の調査では97種の昆虫類が見られたが、小型のタマムシ類やオトシブミ科を中心としたコウチュウ類が目立っていた。これらは雑木林に見られる落葉広葉樹を好む種であり、調査地内に見られるエゴノキやヤマザクラ類、コナラ等を利用していると思われる。

クモ類では12種の確認が得られ、樹林地で平均的に見られるヒメグモやギンメッキゴミグモを確認している。

昆虫類、クモ類生息の面からは、引き続き雑木林の維持管理が望まれる。

## 7) 西町五丁目緑地（新規調査地）

### (1) 植物

植物では、確認種は198種であった。

樹林の中央部は明るいコナラ林で、ガマズミやウグイスカグラといった落葉低木が生育する。孤立林ではあるが、土壌は良い状態で残っている。しかし、アズマネザサが繁茂し、樹木の成長によって、薄暗い林になりつつあるため、アズマネザサ刈りやキノコの生えたコナラを伐採し、明るい林にすると良い。また、コナラは成長すると大木になり管理が難しくなるため、中央の明るい場所で次世代のコナラを育て、15年から25年ぐらいの頻度で伐採し更新する方が良い。

南側に進むに従い、常緑樹のヒサカキや林床のアズマネザサが成長し暗い環境となる。

また、北側も常緑樹のシラカシとモウソウチクの薄暗い林となる。常緑樹は高木が多く伐採が難しいため、枝打ちや剪定を行うことで日差しが地表届くようにすると良い。竹林は伐採をしているが、切口に水が溜まってしまいそこから蚊が発生している。人の利用を考えるなら根元から切る必要がある。

樹林全体に外来種のトウネズミモチやアカメガシワ、シュロの実生が目立つため、管理放棄地的な印象も受ける。これらの駆除やアズマネザサの刈り取りなどにより、多様度の向上や、雑木林の景観の維持・拡大を図ることができると考えられる。さらに多様性の高い林床を形成するポテンシャルは有していると考えられるため、一部の区画だけでも外来種の駆除やアズマネザサの刈り取りなどの実施が望まれる。



複数のアカメガシワの実生  
(4月28日 西町五丁目緑地)



本調査地の林縁部  
(7月19日 西町五丁目緑地)

## (2) 鳥類

鳥類の確認種は17種であった。

樹林性の鳥が中心ではあったが、緑地の一部に開放的な草地があるため、開けた環境を好むジョウビタキが見られた。

樹林内では、コゲラが春期に複数羽見られており、食痕も多数見られた。大木で枯損しているものがあれば、コゲラの繁殖や採食に役立つため、可能であれば、あえて残す管理を行えると良い。

## (3) 哺乳類・は虫類・両生類

今回の調査では哺乳類の記録はなかった。林床にアズマネザサが群生しヒトの立ち入りが難しい環境となっている区域が多いが、こういった空間はホンダタヌキやアライグマといった中型哺乳類が利用する可能性があるため、これらを対象とした調査が望まれる。

アライグマまたはハクビシンの記録があったが地域からはやや距離が離れているが、西町四丁目緑地と同様、将来的に当該調査地へも生息範囲を拡げる可能性がある。

は虫類の記録はなかったが、比較的面積のある緑地なので、は虫類が潜在的に生息している可能性が高い。

## (4) 昆虫類・クモ類

昆虫類の確認は122種であった。林内は西町四丁目緑地に比べると下草にアズマネザサが入り込み単調で全体に暗いが、クヌギ等の立ち枯れに集まる寄生蜂（朽木内に生息するカミキリムシ科などの幼虫に産卵）やゴミムシダマシ科、サトキマダラヒカゲ等、樹林性の昆虫が中心に見られた。アズマネザサの繁茂をコントロールし、安全に配慮しながら立ち枯れ木を適切に利用することによって、林内の昆虫相はより多様化できるであろう。また緑地の北側に一部下草を刈り込んだ開放的な草地環境があり、ここではツユムシやヒナバッタ、ベニシジミといった明るい草地を好む種が確認できた。こういったメリハリのある環境状態が両立していることも多様な昆虫類の生息を促している。

クモ類の確認は18種であり、林内ではカラオニグモやジョロウグモといった樹林性のクモ類が見られた。昆虫類とほぼ同様の様相を確認できているので、下草環境を含め、雑木林を維持する管理体制であれば引き続き生息は担保できるであろう。

## VII 今後の展開

### 1. 専門員調査

#### 1) 調査の継続について

本調査期間中において、市内に生育・生息する動植物の状況を把握できた。全体像を把握するには定期的な調査を行うことが重要であり、それにより市内の生物相の変化（希少種や外来種）を把握でき、ひいては市内の自然環境の変化も把握できる。今回の例でいえば、前回調査で記録のなかったヤマサナエの新たな確認、ガビチョウの分布拡大傾向等である。これからすると、8年後にほぼ同様の調査を実施できたことは貴重である。

他自治体の事例において、杉並区などでは5年ごとに調査を実施している。そういった事例を参考に今後もモニタリングを継続する必要がある。

#### 2) 調査地の検討

今回の調査では、公有地を中心に市内7箇所の公園や緑地を調査対象とした。民有地においても、今後関係者などとの調整を行い協力が得られれば、新しい種を確認できる可能性が高く、動植物の生息・生育データの充実とともに、市内の生物相の全体像が把握できるものと考えられる。

また、専門家ヒアリング時に多く聞かれた点として調査地の偏りについて、中央部～南部に偏っているため、これから先も継続的に調査を実施する場合、北部の都市公園、社寺林や屋敷林などとともに、国分寺崖線の特徴となる湧水などの水辺環境の変化も大きいことから、こうしたことを含めて今後はまだ把握できていない地域においても調査地を選定することが必要である。その場合調査対象地が増加するので、調査地を地域ごとに整理し、各年調査（例：A区域数地点を偶数年に実施、B区域数地点を奇数年に実施、など）を実施することも考えられる。

#### 3) 調査方法の検討

前回調査を踏襲し、今回の調査でも目視確認を中心とし、昆虫類や哺乳類を対象とした特別な仕掛けなどは用いなかったため、まだ未発見の種が多いと考えられる。専門家ヒアリング時に多く聞かれた点として、今後は地表徘徊性種を対象としたベイトトラップやピットフォールトラップ、また夜間のライトトラップなどを行えると良いとのことである。哺乳類においてはシャーマントラップなどの仕掛けを用いることでネズミ類など小型種を、センサーカメラを用いることによって夜行性の中型哺乳類を対象にできる。さらに夜間調査ということでは「鳴く虫」や、両生類なども確認が容易になると考えられる。

またアズマヒキガエルなど両生類については、産卵時期がおおよそ絞れるので（2月末から3月上旬）、これらを踏まえ、動植物調査は早春に調査開始を設定することも考慮したい。

#### 4) 調査対象種群の検討

クモ類については、潜在的に見られるはずの一部の種が記録に残らなかったことから、土壌性種を中心にしたクモ類の調査を実施しても良いのでは、との専門家ヒアリング時の意見もあった。このため土壌性生物という事であれば季節を問わず実施できるので、冬期に実施ということも考えられる。

また可能であれば、港区のように菌類や、練馬区のように陸産貝類などについても対象種にすることで、市内の生物多様性を検討するうえでの貴重な資料が得られると考える。

#### 5) 多様な団体との共同調査

市内で活動する団体と共同で調査を実施できれば、多くの人が生きものを探索することで、確認種の増加が期待される。特に、目につきやすい大型の種が多く発見される。アズマヒキガエルの卵塊のような、目立つが出現期間が限られている種の調査については、現地で活動している団体と協力することで大きな成果をあげられる。

また、団体にアカデミックな調査の内容を知ってもらう機会にもなり、市民調査員の育成にも貢献することができる。

## 2. 生物多様性地域戦略策定に向けた基礎データとしての活用

市内の生物多様性の保全や持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進するために、「生物多様性地域戦略」を策定することが求められる。市では第三次国分寺市環境基本計画（令和7年3月策定予定）を検討しており、本調査結果等を活用しながら、この環境基本計画に「生物多様性地域戦略」を包含する形で進めている。

内容に関しては、生物多様性国家戦略2023-2030で掲げた2050（令和32）年ビジョンの「自然と共生する社会」を目指し、2030（令和12）年までにネイチャーポジティブを実現するための5つの基本戦略を考慮した施策を掲載することが求められる。

また、第三次国分寺市環境基本計画を考える上では、策定後の展開が重要である。社会情勢の変化へ柔軟に対応するため、施策や目標の進捗についての点検を定期的に行い、必要に応じ計画の見直しを行う必要がある。本市で策定する「生物多様性地域戦略」に関しては、上位計画を踏まえ、短期目標を2030（令和12）年度、長期目標を2050（令和32）年度を参考に設定する。

### 3. 本市における生物多様性の保全に係る具体的施策等の展開に関する基本方針

令和5・6年度にかけて別途国分寺市環境基本計画の改定作業を進めており、新しい第三次国分寺市環境基本計画（令和7年3月策定予定）に包含した形で、本市の地域特性を踏まえた生物多様性地域戦略を策定することとしている。今後、下記事項を踏まえ、具体的な検討を進めていく。

#### 1) 法的位置づけ

- ・ 生物多様性基本法 13 条第 1 項

「都道府県及び市町村は、生物多様性国家戦略を基本として、単独又は共同により、当該都道府県又は市町村の区域内における生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画（以下、「生物多様性地域戦略」という。）を定めるよう努めなければならない。」と定められている。

#### 2) 地域戦略の意義

- ・ 市内における生物多様性の現状と課題を共有し、国分寺崖線など市の自然環境の成り立ちや自然の恵みなどを再認識しつつ、多くの主体（市民、市民団体、事業者、企業、学校、専門家等）を巻き込みながら、地域の活力で自然を守り育て、自然を使って地域を元気にし、地域課題を解決し、魅力的なまちづくりを進める。

#### 3) 計画期間・将来像・目標設定の検討に向けて

- ・ 計画期間の設定においては、昆明・モンテリオール生物多様性枠組や、国家戦略、東京都戦略の計画期間との整合、国分寺市ゼロカーボン行動計画の計画期間を踏まえ、令和12（2030）年を目標年が望ましい。
- ・ 将来像はできる限りイメージしやすい表現に努める。
- ・ 生物多様性国家戦略 2023-2030 では 2030 年ネイチャーポジティブに向け、5つの基本戦略が掲げられており、地域戦略の目標を設定する際、これらの基本戦略の状態目標・行動目標を参考にすることが必要である。
- ・ 「国分寺の自然」「国分寺崖線」「歴史と自然」「多様性」などのキーワードをもとに、ステークホルダーが共有できるキャッチフレーズを検討する。

#### 4) 対象区域

- ・ 市内全域

#### 5) 地域特性

- ・ 本市は、東京都のほぼ中央部に位置し、面積は 11.46 km<sup>2</sup>で、東西方向に 5.68km、南北方向に約 3.86km の広がりをもっている。
- ・ 市域は、高台上の平坦地である武蔵野段丘と、国分寺崖線を境に一段低い立川段丘で構成されており、市域の西部から東部方向に向かって緩やかに低くなっている。
- ・ 標高は、最も高いところで約 92m（西町五丁目・けやき台付近）、最も低いところで約 55m（東元町一丁目・鞍尾根橋付近）となっている。

- ・本市の地形の特徴である国分寺崖線は、約5万年前、立川台地の形成期に多摩川が武蔵野台地を浸食してできた浸食崖で、立川市の砂川九番周辺から始まり、市内の西町五丁目から光町一丁目、西元町付近へと続き、さらに野川に沿って大田区丸子橋付近まで続く、東京を代表する崖線である。
- ・みどり率は34.8%（平成30年度）であり、国分寺崖線をはじめ、お鷹の道・真姿の池湧水群などの湧水があり、農地が多く点在している。

## 6) 方針案

生物多様性の保全に係る具体的施策について、その方針案を以下に示す。

### (1) 生物多様性に関する情報収集・提供

本市には、多様な生きものが生育・生息している。これらの生きものを守るためには、生きものの生育・生息情報を収集し、評価、解析をする必要がある。

#### ①動植物の生育・生息状況の把握

- ・動植物の生育・生息状況の変化を把握するため、専門調査員による定期的なモニタリング調査（概ね5年おきなど）を実施する。また、補足的に特殊環境に生息する種（土壌生物・地表徘徊性生物・夜行性種など）や、カエルの産卵確認のための調査などを定期的なモニタリング調査の中間時期に実施する。
- ・確認種数等を増やすため、伝鎌倉街道沿いの緑地や民有地の屋敷林などを調査地点の追加を検討する。農地などの民有地や都市公園も調査範囲に含めることができれば、生物多様性の基礎データの充実を図ることができる。
- ・国分寺市の自然環境の大きな特徴である「国分寺崖線・湧水」の生態系においては、水辺環境の変化が大きいことから、水生生物の調査の充実を図る。

#### ②国分寺の地域特性を踏まえた分析・評価

- ・国分寺崖線をはじめとした連結性のある緑や公園・農地・民有地の点で繋がる緑などの特徴を踏まえ、生物多様性の基本方針を定める。

#### ③国分寺版レッドリスト作成

- ・国や東京都の絶滅のおそれのある野生生物の種のリストをもとに、今後も定期的な動植物調査を実施しながら、国分寺版レッドリストを作成する。
- ・レッドリストを公表し、希少種の保全に向けた取組を展開する。

#### ④生物多様性の保全に関する啓発活動

- ・市ホームページのほか、体験型イベントやパネル展示などを実施し、生物多様性の保全に関する啓発活動を展開する。
- ・近隣自治体の取組や環境団体の紹介など、自然環境の保全活動を紹介する。
- ・生物多様性に配慮した生活（花壇やプランター設置など）などの情報提供を行う。

### ⑤市民参加型調査の実施

- ・市民の普及教育を兼ねて、市民参加型の生きもの調査を実施する。多くの人が生きものを探索することで、確認種の増加、生きものへの関心が高まり、地域への愛着も深まることが期待される。
- ・小中学校と連携しながら、次世代を担う子ども達が生きものに関心を持ってもらうようコンテンツを検討する。
- ・国や東京都、市町村（立川市など）で行われている web 環境やスマートフォンのアプリなどを活用して生きもの目撃情報の収集する手法やデータベースなどを検討する。

## （２）生物多様性の保全

本市には多様な動植物の生育・生息が確認され、豊かな生態系が成り立っている。しかしながら、外来種の増加や質の高い緑地の減少等により、今ある自然の生態系が脅かされている。これらの課題を解決するために、適切な維持・管理を行い、保全に向けた取り組みが必要である。

### ①生物多様性に配慮した公園・緑地等の整備及び維持管理

- ・公園や緑地等の新設・改修に当たっては、残された小さな自然や市内各地域の学校に、拠点となる多様な生きものが生息・生育できる環境（ビオトープ）の整備を検討する。
- ・樹林地等の維持管理においては、バッタなどの昆虫類が棲めるよう下草を一部残して刈るなど、生物多様性に配慮した公園・緑地等を整備する。
- ・水辺においては、ヤゴ（トンボの幼虫）などの水生昆虫、アブラハヤやジュズガケハゼなどの小魚が棲めるようにかいぼりを行い、水質の改善を図る。
- ・現状では市民団体による維持管理が行われていない緑地では、生物多様性の質を高める維持管理計画を立て、保全を行う。

### ②希少種の保全

- ・国分寺市には、環境省レッドリストや東京都レッドリスト掲載種を含む貴重種等が生育・生息していることから、希少種に着目した生育地・生息地の保全及び環境の整備を行う。
- ・キンランやギンランなどの生育環境を創出するための樹木更新や、国分寺市内では営巣環境が少ないフクロウのために巣箱設置、湧水に依存する種（オニヤンマ、ヤマサナエ）の保全のためにセキショウなど抽水植物を刈りこみ、開放水面の確保等を行う。

### ③外来種の対策

- ・特定外来種に指定されているアライグマやハクビシンなどの生息情報を把握し、計画的な防除対策を継続的に進めていく。
- ・在来植物の芽生えや生育への阻害が大きい外来植物を優先し、効果的な駆除対策を講じる。特に、特定外来種に指定されているオオカワヂシャは、在来種のカワヂシ

ヤとの交雑や種子の伝播による下流への影響が懸念されるため、早急な対応を検討する。

- ・ 姿見の池など水生生物に影響を与えるアメリカザリガニ、アカミミガメ、コイ（ニシキゴイ）の駆除を検討する。
- ・ 潜在的な脅威となりうる特定外来生物などに関して、侵入しない・させないために市民への広い認知活動を行う。あわせて、一方的な排除ではなく、「命の大切さ」とともに伝える。

#### ④自然共生サイトの登録

- ・ 環境省では「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定する制度を行っている。「自然共生サイト」認定によって、その場所の生物多様性の価値の維持又は質の向上が促進され、日本における 30by30 目標の達成に貢献するとともに、生物多様性の保全にポジティブな効果が波及していくことを期待されるために、自然共生サイトの登録を促進する。

#### ⑤市民協働の支援及び拡大

- ・ 姿見の池緑地や西恋ヶ窪緑地などでは、市民協働による維持管理が行われている。それらを支える市民団体への支援体制や協働関係を構築し、活動の継続及び発展を促進する。
- ・ 生きものの生息・生育空間は、市域に限定されないことから、希少種の保全や特定外来種対策などについて近隣自治体及び地域活動をしている団体と情報交換し、必要に応じて連携した対策（共同イベント、調査など）を講じていく。

### (3) 国分寺市の自然の魅力発信・活用

地域に愛着を持つ人が増えることで、保全活動は推進する。そのために、まずは国分寺の豊かな自然環境への関心を高めることを目指し、自然とふれあう機会の充実及び魅力発信を行う。

#### ①自然環境にふれあう機会の推進

- ・ 幼少期から自然環境や生きものを大切にする心を育むために、自然とふれあう機会（体験型イベント等）の創出・充実を図る。
- ・ 古道（伝鎌倉街道等）を歩きながら、人々が生活した形跡を偲び、武蔵野の自然に親しむような企画を立案する。
- ・ 国分寺市の自然の魅力を発信するため、動画配信などを含め戦略的な情報発信を行う。

#### ②（仮称）自然観察・生きものハンドブックの発行

- ・ 希少種の情報には注意しつつ、動植物調査によって見つかった生きものの情報をマップにまとめ、国分寺市における生物相や自然環境の特色などを整理する。
- ・ 多くの市民に対して、生きものに興味関心を持ってもらうために、写真をできるだけ

け多く取り入れてわかりやすく紹介する。

#### 7) 推進体制の構築

- ・ 地域戦略を推進するための仕組みとして、地域戦略を推進・管理する部署を明確に位置付ける。
- ・ 外来種対策においては、庁内関係課が連携して様々な主体の参加・連携を図り、協働による実施体制の構築につなげるなど、横断的な取組が必要となる。計画の効果的な実施を図るため、近隣自治体等との連携も必要となる。

## 引用・参考文献及びウェブサイト

### 全般

- ・東京都環境局自然環境部 編 (2023) : レッドデータブック東京 2023  
東京都の保護上重要な野生動植物種 (本土部) 解説版, 東京都環境局自然環境部.
- ・国立環境研究所侵入生物データベース  
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/>
- ・生態系被害防止外来種リスト  
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>
- ・東京の名湧水 57 選  
[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/water/conservation/spring\\_water/tokyo/](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/water/conservation/spring_water/tokyo/)
- ・ECO ネット東京 62 「62 市区町村における地球温暖化対策関連計画等の策定状」  
<https://all62.jp/sakutei/sakutei4.html>
- ・立川市「みんなでつくろう! 立川いきものデータベース」  
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/kankyotaisaku/ikimonodatabase.html>

### 植物

- ・東京都環境局 23 国分寺姿見の池緑地保全地域  
[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/natural\\_environment/tokyo/area/23\\_sugatami.html](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/natural_environment/tokyo/area/23_sugatami.html)
- ・特定外来生物の解説: オオカワヂシャ  
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-syo-05.html>
- ・植物和名-学名インデックス YList <http://www.ylist.info/>
- ・神奈川県植物誌調査会編 (2018) : 神奈川県植物誌2018, 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- ・環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 編 (2014) : レッドデータブック 2014  
ー日本の絶滅の恐れのある野生生物ー8 植物 (維管束植物), ぎょうせい.
- ・いがりまさし (1996) : 山溪ハンディ図鑑 6 日本のスミレ, 山と溪谷社.
- ・谷城勝弘 (2007) : カヤツリグサ科入門図鑑, 全国農村教育協会.
- ・木場英久ほか (2011) : イネ科ハンドブック, 文一総合出版.
- ・林将之 (2014) : 山溪ハンディ図鑑 14 樹木の葉, 山と溪谷社.
- ・桶川修 (2020) : くらべてわかるシダ, 山と溪谷社.

### 鳥類

- ・環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 編 (2014) : レッドデータブック 2014  
ー日本の絶滅の恐れのある野生生物ー2 鳥類, ぎょうせい.
- ・日本鳥学会 (2012) : 日本鳥類目録改訂第7版, 日本鳥学会.

### 哺乳類・は虫類・両生類

- ・標準和名選定委員会 (2003) : 日本産爬虫両生類の標準和名の決定, 爬虫両棲類学会報 2003 (1) p. 55-60.
- ・国立研究開発法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター  
(ニホントカゲの中から発見された新種「ヒガシニホントカゲ」の記載について)  
<http://www.nies.go.jp/biology/research/pu/2012/1208.html>
- ・日本爬虫両棲類学会ウェブサイト 日本産は虫両生類標準和名  
<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html>

### 昆虫類・クモ類

- ・上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 編著 (1985) : 原色日本甲虫図鑑Ⅱ, 保育社.
- ・環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 編 (2014) : レッドデータブック 2014  
ー日本の絶滅の恐れのある野生生物ー 7 その他無脊椎動物 (クモ形類・甲殻類等),  
ぎょうせい.
- ・環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 編 (2015) : レッドデータブック 2014  
ー日本の絶滅の恐れのある野生生物ー 5 昆虫類, ぎょうせい.
- ・黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 共著 (1985) : 原色日本甲虫図鑑Ⅲ, 保育社.
- ・酒井香・藤岡昌介 (2007) : 日本産コガネムシ上科図説第2巻食葉群Ⅰ, 昆虫文献 六本脚.
- ・新海栄一 (2006) : ネイチャーガイド 日本のクモ, 文一総合出版.
- ・寺山守・久保田敏・江口克之 (2014) : 日本産アリ類図鑑, 朝倉書店.
- ・日本直翅類学会 編 (2006) : バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑, 北海道大学出版会.
- ・安田守 (2010) : イモムシハンドブック, 文一総合出版.

### 水生生物

- ・環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 編 (2015) : レッドデータブック 2014  
ー日本の絶滅の恐れのある野生生物ー 4 汽水・淡水魚類, ぎょうせい.
- ・豊田幸詞・関慎太郎 (2014) : 日本の淡水性エビ・カニ : 日本淡水産・汽水性甲殻類 102種, 誠文堂新光社.

## 協力環境団体（8団体）

- ・美しい用水の会
- ・エックス山等市民協議会
- ・特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会
- ・国分寺姿見の池緑の会
- ・都市緑化を考える会
- ・野川源流みどりの会
- ・特定非営利活動法人まちづくりサポート国分寺
- ・緑と自然を育てる会

（五十音順）

# 資料編

資料1 国分寺市内で採集したカミキリムシ科標本リスト：市民による資料提供

国分寺産カミキリムシ科標本リスト 標本作成・保管：和田武久 2023.12.14.現在					
No.	科名	亜科名	種名	学名	
1	カミキリムシ	ノコギリカミキリ亜科	ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i> Motschulsky,1857	
2		ハナカミキリ亜科	ヒナルリハナカミキリ	<i>Dinoptera minuta</i> (Gebler,1832)	
3			ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspidoidea</i> (Bates,1873)	
4		カミキリ亜科	キマダラミヤマカミキリ	<i>Aeolesthes (Pseudaolesthes) chrysothrix</i> (Bates)	
5			テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum</i> White,1855	
6			カッコウメダカカミキリ	<i>Stenomalus cleroides</i> Bates,1873	
7			コジマヒゲナガコバネカミキリ	<i>Glaphyra (Glaphyra) Kojimai</i> (Matsushita,1939)	
8			ホタルカミキリ	<i>Dere thoracica</i> White, 1855	
9			アカアシオオアオカミキリ	<i>Chloridolum (parachloridolum) japonicum</i> (Harold,1873)	
10			ベニカミキリ	<i>Purpuricenus (Stenoplistes) temminckii</i> (Guerin-Meneville,1884)	
11			ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i> (Motschulsky,1860)	
12			チャイロホソヒラタカミキリ	<i>Phymatodes (Phymatodes) testateus</i> (Linnaeus,1768)	
13			ヨツボシチビヒラタカミキリ	<i>Phymatodes (Poecilium) quadrimaculatus</i> Gressitt,1935	
14			トラフカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis chinensis</i> (Chevrolat,1852)	
15			タケトラカミキリ	<i>Chlorophorus annularis</i> (Fabricius, 1787)	
16			フタオビミドリトラカミキリ	<i>Chlorophorus muscosus</i> (Bates,1873)	
17			トウキョウトラカミキリ	<i>Chlorophorus yedoensis</i> (Kano,1833)	
18			ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta diminuta</i> (Bates,1874)	
19			キイロトラカミキリ	<i>Grammographus notabilis notabilis</i> (Pascoe,1862)	
20			トゲヒゲトラカミキリ	<i>Demonax transilis</i> Bates,1884	
21			フトカミキリ亜科	カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa (parimesosa) hirsuta hirsuta</i> Bates,1884
22				ナガゴマフカミキリ	<i>Mesosa (Aplocnemia) longipennis</i> Bates,1873
23				シナノクロフカミキリ	<i>Asaperda agapanthina</i> Bates,1873
24		カノコサビカミキリ		<i>Apomecyna naevia naevia</i> Bates,1873	
25		ヒシカミキリ		<i>Microlera ptinoides</i> Bates,1873	
26		ハスオビヒゲナガカミキリ		<i>Cleptomtopus bimaculatus</i> (Bates,1873)	
27		ニイジマチビカミキリ		<i>Egecina (Nijimai) bifasciana bifasciana</i> Matsushita,1933	
28		アトジロサビカミキリ		<i>Pterolophia (Pterolophia) zonata</i> (Bates,1873)	
29		トガリシロオビサビカミキリ		<i>Pterolophia (Pterolophia) caudata</i> (Bates,1873)	
30		アトモンサビカミキリ		<i>Pterolophia (Pterolophia) granulata</i> (Motschulsky,1866)	
31		ハイロヤハズカミキリ		<i>Niphona (Niphona) furucata</i> (Bates,1873)	
32		ゴマダラカミキリ		<i>Anoplophora malasiaca</i> (Thomson,1865)	
33		センノキカミキリ		<i>Acalolepta luxuriosa luxuriosa</i> (Bates,1873)	
34		ピロウドカミキリ		<i>Acalolepta fraudatrix</i> (Bates,1873)	
35		クワカミキリ		<i>Apriona japonica</i> Thomson, 1878	
36		キボシカミキリ		<i>Psacotha hilaris hilaris</i> (Pascoe,1857)	
37		ヒトオビアラゲカミキリ		<i>Rhopaloscelis unifasciatus</i> Blessig,1873	
38		トゲバカミキリ		<i>Rondibilis saperdina</i> (Bates,1884)	
39		ホウノキトゲバカミキリ		<i>Rondibilis sapporensis</i> (Matsushita,1933)	
40		ガロアケシカミキリ		<i>Exocentrus galloisi</i> Matsushita,1933	
41		アトモンマルケシカミキリ		<i>Exocentrus lineatus</i> Bates,1873	
42		クモガタケシカミキリ		<i>Exocentrus fasciolatus</i> Bates,1873	
43		シラオビゴマフケンカミキリ		<i>Exocentrus guttulatus</i> Bates,1873	
44		ケシカミキリ		<i>Sciades (Miaenia) tonsus</i> (Bates,1873)	
45		ラミーカミキリ		<i>Paraglenea fortunei</i> (Sounders,1853)	
46		キクスイカミキリ		<i>Phytoecia (Phytoecia) rufiventris</i> Gautier,1870	
47		リンゴカミキリ		<i>Oberea japonica</i> (Thunberg,1787)	
48		ルリカミキリ		<i>Bacchisa (Bacchisa) fortunei japonica</i> (Gahan,1901)	

資料2 国分寺市内で確認したコウチュウ目標本リスト (1/2) : 市民による資料提供

国分寺産コウチュウ目標本リスト 標本作成・保管: 和田武久				
No.	目名	科名	種名	学名
1	コウチュウ	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i> (Chevrolat, 1829)
2		オサムシ科	トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cylindera kaleea yedoensis</i>
3			アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i> Chaudoir
4			オオゴミムシ	<i>Lesticus magnus</i> (Motschulsky, 1860)
5			ヨリトモナゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i> Bates
6			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis halensis</i>
7			オオクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus nitidus</i>
8			マルガタツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>
9			オオアトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius micans</i>
10			アトワアオゴミムシ	<i>Chlaenius virgulifer</i> Chaudoir
11	エンナムシ科	ヒメツヤエンナムシ	<i>Hister simplicisternus</i> Lewis, 1879	
12		コエンナムシ	<i>Margarinotus niponicus</i>	
13	シデムシ科	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i> (Motschulsky, 1860)	
14	ハネカクシ科	ヘリアカバコガシラハネカクシ	<i>Philonthus tardus</i> Kraatz	
15		アカバハネカクシ	<i>Platydacus bleivicornis</i> (Motschulsky)	
16		クロガネハネカクシ	<i>Platydacus inornatus</i> (Sharp, 1874)	
17	クワガタムシ科	ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>	
18		コクワガタ	<i>Dorcus rectus rectus</i>	
19		ヒラタクワガタ	<i>Dorcus titanus pilifer</i> Snellen van Vollenhoven	
20	ムネアカセンチコガネ科	ムネアカセンチコガネ	<i>Bolbocerosoma nigroplagiatum</i>	
21	センチコガネ科	センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	
22	コガネムシ科	ツヤエンマコガネ	<i>Onthophagus nitidus</i> Waterhouse	
23		クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i> Waterhouse	
24		コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis</i> Waterhouse	
25		クロツツマゲソコガネ	<i>Saprosites japonicus</i> Waterhouse	
26		ヒゲトハナムグリ	<i>Amphicoma pectinata</i>	
27		コクロコガネ	<i>Holotrichia picea</i> Waterhouse	
28		オオクロコガネ?	<i>Holotrichia parallela</i> ?	
29		アシナガコガネ	<i>Hoplia communis</i> Waterhouse	
30		ビロウドコガネ属sp.	<i>Maladera</i> sp.	
31		コイチャコガネ	<i>Adoretus tenuimaclatus</i> Waterhouse	
32		セマダラコガネ	<i>Exmala orientalis</i> (Waterhouse, 1875)	
33		サクラコガネ属sp.	<i>Anomala</i> sp.	
34		ヒラタアオコガネ	<i>Anomara octiescostata</i> Burmeister, 1844	
35		ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i> Motschulsky, 1860	
36		カナブン	<i>Pseudotorynorhina japonica</i> (Hope, 1841)	
37		クロカナブン	<i>Rhomborhina polita</i> Waterhouse	
38		クロハナムグリ	<i>Rhomborhina (Rhomborhina) polita</i> Waterhouse, 1875	
39		コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i> (Faldermann, 1835)	
40	シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis submarumorea</i>		
41	ヒメトラハナムグリ	<i>Lasiotrichius succinctus tokushimus</i> Krajcik		
42		ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>	
43	タマムシ科	ムツボシタマムシ	<i>Chrysobothris succedanea</i> E.Saunders	
44		クロナガタマムシ	<i>Agrilus cyaneoniger</i> E.Saunders, 1873	
45		ヒシモンナガタマムシ	<i>Agrilus discalis</i> E.Saunders, 1873	
46		ケヤキナガタマムシ	<i>Agrilus spinipennis</i> Lewis, 1893	
47	コメツキムシ科	コメツキムシ科sp.	—	
48		サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	
49		トラフコメツキ	<i>Selatosomus onerosus</i>	
50		ヒゲナガコメツキ	<i>Mulsanteus junior junior</i> (Candeze, 1873)	
51		クシコメツキ	<i>Melanotus legatus legatus</i> Candeze	
52	ナガシンクイムシ科	フタトゲナガシンクイ	<i>Sinoxylon japonicum</i> Lesne	
53		セマダラナガシンクイ	<i>Lichenophanes carinipennis</i> (Lewis, 1896)	

資料2 国分寺市内で確認したコウチュウ目標本リスト (2/2) : 市民による資料提供

国分寺産コウチュウ目標本リスト 標本作成・保管:和田武久				
No.	目名	科名	種名	学名
54	コウチュウ	ケンキスイ科	トドデオキスイ	<i>Carpophilus triton</i> Murray
55			マルキマダラケンキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i> Reitter, 1877
56			ケンキスイ科sp.	—
57			ヨツボシケンキスイ	<i>Glischrochilus japonius</i>
58	オオキノコムシ科		ルリオオキノコ	<i>Aulacochilus sibiricus bedeli</i> Harold
59			カタモンオオキノコムシ	<i>Aulacochilus japonicus</i> Crotch, 1873
60			ヒメオビオオキノコムシ	<i>Episcapha fortunii fortunii</i> Crotch
61	ムクゲキスイ科		ハスモンムクゲキスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i> (Wollaston, 1873)
62	テントウムシ科		ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i> (Pallas, 1773)
63			ウスキホシテントウ	<i>Oenopia hirayamai</i> (Yuasa, 1963)
64			シロホシテントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i> (Poda, 1761)
65	キノコムシダマシ科		アヤモンヒメナガクチキムシ	<i>Holostrophus orientalis</i> Lewis
66	コブゴミムシダマシ科		ツヤケシヒメホソカタムシ	<i>Microprius opacus</i> (Sharp, 1885)
67			ベニモンヒメヒラタホソカタムシ	<i>Microsicus rufosignata</i> (Sasaji, 1984)
68			ハナノミ科	ハナノミ亜科sp.
69	ゴミムシダマシ科		ハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i> Marseul
70			ヒゲフトハムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i> (Motschulsky, 1868)
71			ゴミムシダマシ亜科sp.	—
72			キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i> Motschulsky
73			ユミアシゴミムシダマシ	<i>Promethis valgipes valgipes</i>
74			モンキゴミムシダマシ	<i>Diaperis lewisi lewisi</i> Bates, 1873
75			オオクチキムシ	<i>Allecula fuliginosa</i> Maklin
76			トビイロクチキムシ	<i>Borboresthes cruralis</i> (Marseul, 1876)
77			カミキリモドキ科	カミキリモドキ科sp.
78	チビキカワムシ科		ムネアカチビキカワムシ	<i>Lissodema unifasciatum</i> Pic, 1919
79	アリモドキ科		アリモドキ属sp.	<i>Anthicus</i> sp.
80	ハムシ科		ユリクビナガハムシ	<i>Lilloceris meridigera</i> (LINNE)
81			クロボシツツハムシ	<i>Cryptocephalus signaticeps</i> Baly, 1873
82			アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii</i>
83			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis</i> Motschulsky
84			ヒゲナガゾウムシ科	カオジロヒゲナガゾウムシ
85		エゴヒゲナガゾウムシ	<i>Exechesops leucopsis</i> (Jordan, 1928)	
86	オトシブミ科		エゴツルクビオトシブミ	<i>Cycnotrachelus roelofsi</i> (Harold, 1877)
87			ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i> Snellen van Vollenhoven
88	ゾウムシ科		コカシワクチフトゾウムシ	<i>Lepidepistomodes griseoides</i>

資料3 浜野栄次昆虫標本コレクション／国分寺市内採集標本抜き出しリスト

浜野栄次昆虫標本コレクション／国分寺市採集標本抜き出しリスト 国分寺市民俗資料館所蔵の171箱のうち、日本産種を対象とした					
標本箱No	標本箱区分	箱ラベル記載の主な分類	No.	種名	標本詳細情報
133	日本の蛾	スズメガ科	1	コエビガラスズメ	
135	日本の蛾	スズメガ科	2	セスジスズメ	
135	日本の蛾	スズメガ科	3	ホシヒメホウジャク	
135	日本の蛾	スズメガ科	4	オオスカシバ	飼育個体が羽化
138	日本の蛾	シャチホコガ科 ヒトリガ科	5	トビイロトラガ	
138	日本の蛾	シャチホコガ科 ヒトリガ科	6	チャドクガ	
139	日本の蛾	シャクガ科 アゲハモドキ科	7	シロオビフユシャク	
139	日本の蛾	シャクガ科 アゲハモドキ科	8	不明フユシャク類の一種	
141	日本の甲虫	コガネムシ科	9	コフキコガネ	
142	日本の甲虫	クワガタムシ科	10	ノコギリクワガタ	
142	日本の甲虫	クワガタムシ科	11	コクワガタ	採集年月日:1976.JULY
143	日本の甲虫	カミキリムシ科	12	キボシカミキリ	採集年月日:1983.10.11
143	日本の甲虫	カミキリムシ科	13	ピロードカミキリ	
143	日本の甲虫	カミキリムシ科	14	シラフヒゲナガカミキリ	
144	日本の甲虫	カミキリムシ科	15	アトジロサビカミキリ	
146	日本の甲虫	ゴミムシ科	16	ゴミムシ	
146	日本の甲虫	ゴミムシ科	17	オオゴミムシ	
146	日本の甲虫	ゴミムシ科	18	ゴミムシ亜科の一種	
147	日本の甲虫	タマムシ科 コメツキムシ科 シテムシ科	19	サビハネカクシ科の一種	
147	日本の甲虫	タマムシ科 コメツキムシ科 シテムシ科	20	トウキョウヒメハンミョウ	
147	日本の甲虫	タマムシ科 コメツキムシ科 シテムシ科	21	ウバタマムシ	
148	日本の甲虫	ゲンゴロウ科 ゾウムシ科 ハムシ科	22	オジロアシナガゾウムシ	
148	日本の甲虫	ゲンゴロウ科 ゾウムシ科 ハムシ科	23	アカガネサルハムシ	
148	日本の甲虫	ゲンゴロウ科 ゾウムシ科 ハムシ科	24	ヤマイモハムシ	
148	日本の甲虫	ゲンゴロウ科 ゾウムシ科 ハムシ科	25	ヒメアカホシテントウ	
152	日本のトンボ	-	26	コシアキトンボ	
152	日本のトンボ	-	27	シオカラトンボ	
154	日本の昆虫	直翅目	28	ハラヒシバツタ	
155	日本の昆虫	直翅目	29	クツワムシ	採集年月日:1975.9.1
155	日本の昆虫	直翅目	30	サトクダマキモドキ	採集年月日:1975.10.28 ♂♀
156	日本の昆虫	直翅目	31	アオマツムシ	採集年月日:1982.10.8
156	日本の昆虫	直翅目	32	ウスグモスズ	採集年月日:1979.10.28 ♂
156	日本の昆虫	直翅目	33	カナタタキ	
156	日本の昆虫	直翅目	34	クサヒバリ	
156	日本の昆虫	直翅目	35	オンブバツタ	
157	日本の昆虫	カマキリ目	36	コカマキリ	
158	日本の昆虫	カマキリ目 ナナフシ目	37	ハラビロカマキリ	
159	日本の昆虫	直翅目 革翅目 ゴキブリ目	38	クラズミウマ	
160	日本の昆虫	半翅目セミ科	39	アブラゼミ	
163	日本の昆虫	半翅目カメムシ科	40	マルカメムシ	
165	日本の昆虫	半翅目ミズカマキリ科など	41	ミミズク	
166	日本の昆虫	脈翅目 せき翅目	42	ネグロセンブリ	採集年月日:1974.4.28
168	日本の昆虫	双翅目アブ科	43	コシボソハナアブ	
168	日本の昆虫	双翅目アブ科	44	クロバエ科の一種	
168	日本の昆虫	双翅目アブ科	45	ニクバエ科の一種	
168	日本の昆虫	双翅目アブ科	46	カ科の一種	
168	日本の昆虫	双翅目アブ科	47	アメリカミズアブ	採集年月日:1979.8.5
169	日本の昆虫	双翅目	48	マダラガガンボ	
169	日本の昆虫	双翅目	49	ガガンボ科の一種	

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (1/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	イワヒバ科	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i> Hieron.	●	●	国RL: VU、植栽
2	ハナヤスリ科	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.	●	●	
3	トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.	●	●	
4		トクサ	<i>Equisetum hyemale</i> L.	●	●	
5		イヌドクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i> Desf. subsp. <i>ramosissimum</i>		●	
6		オオトクサ	<i>Equisetum hyemale</i>	●		
7	ゼンマイ科	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.	●		
8	カニクサ科	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunb.) Sw.	●		
9	コバノイシカゲマ科	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i> (Panzer ex Houtt.) C.Ohr.	●	●	
10		ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) A. et S.Löve		●	
11	イノモトソウ科	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i> L.	●	●	
12		イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels	●		
13		オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i> L.	●	●	
14		イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i> Poir.	●	●	
15	チャセンシダ科	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.		●	
16	ヒメシダ科	ゲジゲジシダ	<i>Phegopteris decursivopinnata</i> (H.C.Hall) Fée	●	●	
17		イヌケホシダ	<i>Thelypteris dentata</i> (Forssk.) E.P.St.John	●		
18		ミゾシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> (Lag.) C.V.Morton subsp. <i>mollissima</i> (Fisch. ex Kunze) C.V.Morton	●	●	
19		ヒメワラビ	<i>Macrothelypteris torresiana</i> (Gaudich.) Ching var. <i>calvata</i> (Baker) Holttum	●	●	
20		ミドリヒメワラビ	<i>Macrothelypteris viridifrons</i> (Tagawa) Ching	●	●	
21	メンダ科	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i> (Mett.) Y.C.Liu, W.L.Chiou et M.Kato	●	●	
22		オオシケシダ属の一種	<i>Deperia</i> sp.		●	
23		ホソバシケシダ	<i>Deperia conilii</i> (Franch. et Sav.) M.Kato	●		
24		シケシダ	<i>Deperia japonica</i> (Thunb.) M.Kato	●		
25	コウヤワラビ科	クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i> (L.) Hoffm.	●	●	
26	オンダ科	リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i> (T.Moore) Ohwi	●	●	
27		ナガバヤブソテツ	<i>Cyrtomium devexicapulae</i> (Koidz.) Ching	●	●	
28		オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i> (L.f.) C.Presl subsp. <i>Falcatum</i>	●		
29		ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm.	●		
30		テリハヤブソテツ	<i>Cyrtomium laetevirens</i> (Hiyama) Nakaike	●	●	
31		ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze	●	●	
32		オオイタチシダ	<i>Dryopteris hikonensis</i> (H.Itô) Nakaike	●		
33		オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	●	●	
34		アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i> Sa.Kurata	●	●	都RL: VU
35		イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i> (Roem. ex Kunze) C.Presl	●	●	
36	ウラボシ科	クロノキシノブ	<i>Lepisorus nigripes</i> T.Fujiw. et Seriz.	●		
37		ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching	●	●	
38	ソテツ科	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.	●		
39	イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	●	●	
40	マツ科	ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i> (Roxb.) G.Don	●	●	
41		ドイツトウヒ	<i>Picea abies</i> (L.) Karst.	●	●	
42		アカマツ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	●	●	
43		クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i> Parl.	●	●	アイグロマツを含む
44	マキ科	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Sweet		●	
45		ラカンマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Sweet f. <i>macrophyllus</i>	●		
46	ヒノキ科	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	●	●	
47		サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	●	●	
48		ヒムロ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Squarrosa'	●	●	
49		スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D.Don	●	●	
50		カイヅカイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> L. 'Kaizuka'	●	●	
51		ビャクシン属の一種	<i>Juniperus</i> sp.	●		
52		ヒノキ科の一種	<i>Chamaecyparis</i> sp.		●	
53	イチイ科	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K.Koch var. <i>harringtonia</i>	●		
54		イチイ	<i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc.		●	都RL: 非分布、植栽
55		キャラボク	<i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc. var. <i>nana</i> Hort. ex Rehder	●	●	
56		カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Siebold et Zucc.	●	●	
57	マツバサ科	シキミ	<i>Illicium anisatum</i> L. var. <i>anisatum</i>	●		
58		サネカズラ	<i>Kadsura japonica</i> (L.) Dunal	●	●	
59	センリョウ科	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i> (A.Gray) H.Ohba et S.Akiyama	●	●	
60		フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	●	●	
61		センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai	●		
62	ドクダミ科	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	●	●	

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (2/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
63	ドクダミ科	ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	●	●	都RL: データなし、 植栽
64	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.	●		都RL: VU、植栽
65		フタバアオイ	<i>Asarum caulescens</i> Maxim.	●		
66	モクレン科	ユリノキ	<i>Liriodendron tulipifera</i> L.		●	
67		タイサンボク	<i>Magnolia grandiflora</i> L.	●	●	
68		コブシ	<i>Magnolia kobus</i> DC. var. <i>kobus</i>	●	●	
69		シモクレン	<i>Magnolia liliiflora</i> Desr.		●	別名: モクレン
70		ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	●	●	
71		シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.		●	国RL: NT、植栽
72	ロウバイ科	ロウバイ	<i>Chimonanthus praecox</i> (L.) Link		●	
73	クスノキ科	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i> (L.) J.Presl	●	●	
74		ニツケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i> Meisn.		●	国RL: NT、植栽
75		ヤブニツケイ	<i>Cinnamomum yabunikkei</i> H.Ohba	●	●	
76		ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	●	●	
77		クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb. var. <i>umbellata</i>	●		
78		タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i> Siebold et Zucc.	●	●	
79		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. var. <i>sericea</i>	●	●	
80	ショウブ科	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i> Sol. ex Aiton var. <i>gramineus</i>	●	●	
81	サトイモ科	ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott	●	●	
82		カントウマムシグサ	<i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott	●	●	ムラサキマムシグサを含む
83		ウラシマンソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> Blume subsp. <i>urashima</i> (H.Hara) H.Ohashi et J.Murata	●	●	
84		サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott	●	●	
85		オランダカイウ	<i>Zantedeschia aethiopica</i> (L.) Spreng.	●	●	
86		コンニャク	<i>Amorphophallus konjac</i> K.Koch	●		植栽
87		カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	●		
88		オオハンゲ	<i>Pinellia tripartita</i> (Blume) Schott	●		
89	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	●	●	
90		ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i> Turcz.	●	●	
91		オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	●	●	
92	イヌサフラン科	イヌサフラン	<i>Colchicum autumnale</i> L.	●		
93		ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> D.Don ex Schult. et Schult.f. var. <i>sessile</i>	●	●	
94	サルトリイバラ科	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L. var. <i>china</i>	●	●	
95		タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i> Miq.	●		
96		シオデ	<i>Smilax riparia</i> A.DC. var. <i>riparia</i>	●	●	
97	ユリ科	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl. var. <i>auratum</i>	●	●	
98		オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i> Thunb. var. <i>lancifolium</i>	●	●	
99		テップウユリ	<i>Lilium longiflorum</i> Thunb.	●		
100		シンテップウユリ	<i>Lilium x formolongo</i> Hort.	●	●	その他の総合対策外来種
101		タイワンホトギス	<i>Tricyrtis formosana</i> Baker	●	●	国RL: CR、植栽
102		ホトギス属の一種	<i>Tricyrtis</i> sp.	●		
103		チューリップ	<i>Tulipa gesneriana</i> L.	●		植栽
104	ラン科	シラン	<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb.f. var. <i>striata</i>	●	●	国RL: NT、植栽
105		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>erecta</i>	●	●	都RL: EN
106		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	●	●	国RL: VU、都RL: NT
107		ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	●	●	都RL: NT
108		サイハイラン	<i>Crematris appendiculata</i> (D.Don) Makino var. <i>variabilis</i> (Blume) I.D.Lund	●	●	
109		シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i> (Rchb.f.) Rchb.f. var. <i>goeringii</i>	●	●	
110		マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i> Lindl.		●	国RL: VU
111		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i> (D.Don) Lindl.	●		国RL: NT
112	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crococsmia x crocosmiiflora</i> (Lemoine) N.E.Br.	●	●	その他の総合対策外来種
113		ヒメヒオウギ	<i>Anomatheca laxa</i> (Thunb.) Goldblatt	●		
114		ハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>ensata</i>		●	
115		ヒメジャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	●		国RL: NT、 都RL: 非分布、植栽
116		ジャガ	<i>Iris japonica</i> Thunb.	●	●	
117		カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch.		●	国RL: NT、 都RL: CR、植栽
118		キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.	●	●	重点対策外来種
119		イチハツ	<i>Iris tectorum</i> Maxim.	●		
120	ワスレグサ科	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>disticha</i> (Donn ex Ker Gawl.) M.Hotta	●	●	都RL: NT
121		ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel	●	●	
122	ヒガンバナ科	ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge	●	●	
123		ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i> (Graham) Raf.	●	●	その他の総合対策外来種

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (3/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
124	ヒガンバナ科	スノーフレーク	<i>Leucojum aestivum</i> L.	●	●	
125		ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Her.) Herb.	●	●	
126		キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i> Maxim. var. <i>sanguinea</i>	●	●	都RL:VU
127		スイセン	<i>Narcissus tazetta</i> L.	●	●	
128		ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i> (Dryand.) Stearn		●	
129	クサスギカズラ科	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume	●	●	
130		ツルボ	<i>Barnardia japonica</i> (Thunb.) Schult. et Schult.f. var. <i>japonica</i>	●	●	
131		オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl. var. <i>sieboldiana</i>	●	●	
132		コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram	●	●	
133		ツリガネスイセン	<i>Hyacinthoides hispanica</i> (Mill.) Rothm.	●	●	
134		ヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey	●	●	
135		ムスカリ	<i>Muscari neglectum</i> Guss. ex Ten.	●	●	
136		ノシラン	<i>Ophiopogon jaburan</i> (Siebold) Lodd.	●	●	
137		ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>japonicus</i>	●	●	
138		ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.	●	●	
139		オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i> Nakai		●	
140		オオアマナ	<i>Ornithogalum umbellatum</i> L.	●	●	
141		ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray var. <i>falcatum</i>	●	●	
142		アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi		●	都RL:EN、植栽
143		キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i> (Andrews) Kunth	●	●	
144	オモト	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth var. <i>japonica</i>	●	●		
145	イトラン属の一種	<i>Yucca</i> sp.		●		
146	ヤン科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H.Wendl.	●	●	その他の総合対策外来種
147	ツユクサ科	ツユクサ	<i>Gomphila communis</i> L. var. <i>communis</i>	●	●	
148		ヤブヨウガ	<i>Pollia japonica</i> Thunb.	●	●	
149		ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i> Vell.	●	●	重点対策外来種
150	ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe	●	●	
151	ガマ科	ガマ	<i>Typha latifolia</i> L.	●	●	
152		コガマ	<i>Typha orientalis</i> C.Presl	●	●	
153	ミクリ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L. var. <i>erectum</i>	●	●	国RL:NT、 都RL:NT、植栽
154	イゲサ科	イグサ	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai	●	●	
155		コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> R.Br. subsp. <i>leschenaultii</i> (J.Gay ex Laharpe) Kirschner	●	●	
156		ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i> Buchenau var. <i>effusoides</i> Buchenau	●	●	都RL:NT、植栽
157		スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.		●	
158	カヤツリグサ科	エナシヒコクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	●	●	
159		ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i> Boott var. <i>conica</i>	●	●	
160		オニスゲ	<i>Carex dickinsii</i> Franch. et Sav.	●	●	
161		アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i> Steud.	●	●	
162		カサスゲ	<i>Carex dispalata</i> Boott	●	●	
163		マスクサ	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.	●	●	
164		ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i> Boott var. <i>lanceolata</i>	●	●	
165		ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don	●	●	
166		メアオスゲ	<i>Carex candolleana</i> H.Lév. et Vaniot	●	●	
167		ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i> Boott	●	●	
168		ミヤマシラスゲ	<i>Carex confertiflora</i> Boott	●	●	
169		ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i> Franch. et Sav.	●	●	
170		スゲ属の一種	<i>Carex</i> sp.		●	
171		ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i> Boott	●	●	
172		コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i> L.	●	●	
173		メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i> Lam.	●	●	重点対策外来種
174		カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i> Steud.		●	
175		イガガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i> Rottb.	●	●	
176	カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i> (Roxb.) J.Jung et H.K.Choi	●	●	都RL:VU、植栽	
177	フトイ	<i>Schoenoplectus tabernaemontani</i> (C.C.Gmel.) Palla	●	●		
178	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.	●	●	その他の総合対策外来種	
179	イネ科	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	●	●	
180		トダシバ	<i>Arundinella hirta</i>		●	
181		カラスムギ	<i>Avena fatua</i> L.		●	
182		コバンソウ	<i>Briza maxima</i> L.	●	●	
183		イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl	●	●	
184		キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i> (Steud.) Ohwi	●	●	
185		ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i> L.	●	●	

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (4/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
186	イネ科	ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers. var. <i>dactylon</i>	●		
187		カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i> L.	●		産業管理外来種
188		ノガリヤス	<i>Calamagrostis brachytricha</i> Steud. var. <i>brachytricha</i>	●	●	
189		メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	●	●	
190		コメヒシバ	<i>Digitaria radicata</i> (J.Presl) Miq. var. <i>radicata</i>	●	●	
191		アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i> Link var. <i>violascens</i>	●	●	
192		イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>crus-galli</i>	●	●	
193		ヒメイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>praticola</i> Ohwi	●		
194		オヒシバ	<i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	●	●	
195		アオカモシグサ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev var. <i>racemifer</i>	●	●	
196		カモシグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada	●	●	
197		カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P.Beauv.	●	●	
198		ウシノケグサ属の一種	<i>Festuca</i> sp.	●		
199		ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	●		
200		トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i> Steud. var. <i>parvigluma</i>	●	●	
201		チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.	●	●	
202		ケナシチガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg. f. <i>pallida</i> Honda	●		
203		サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi	●		
204		ササガヤ	<i>Microstegium japonicum</i> (Miq.) Koidz. var. <i>somae</i> (Hayata) T.Koyama	●	●	
205		オニウシノケグサ	<i>Lolium arundinaceum</i> (Schreb.) Darbysh.	●		産業管理外来種
206		ホソムギ	<i>Lolium perenne</i> L.	●	●	産業管理外来種
207		アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus	●	●	
208		ヒメアシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus f. <i>wilddenowianum</i> (Nees) Osada		●	
209		オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.	●		
210		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	●	●	
211		コネズミガヤ	<i>Muhlenbergia schreberi</i> J.F.Gmel.	●	●	
212		コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>japonicus</i> (Steud.) Koidz.	●	●	
213		ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>	●	●	
214		ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	●	●	
215		シマズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i> Poir.	●	●	その他の総合対策外来種
216		スズメヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud.	●	●	
217		チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	●	●	
218		モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i> (Carrière) Houz.	●	●	産業対策外来種
219		マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i> (Rupr.) K.Koch	●	●	
220		アズマネザサ	<i>Pleiblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino var. <i>chino</i>	●	●	
221		メダケ	<i>Pleiblastus simonii</i> (Carrière) Nakai var. <i>simonii</i>	●		
222		ミノイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i> Steud. var. <i>acroleuca</i>	●	●	
223	アオスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> subsp. <i>Annua</i> br	●			
224	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L. var. <i>annua</i>	●	●		
225	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i>	●			
226	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> L.	●	●		
227	ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i> Nees ex Steud.	●	●		
228	ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino ex Nakai	●	●		
229	クマザサ	<i>Sasa veitchii</i> (Carrière) Rehder var. <i>veitchii</i>	●	●		
230	コクマザサ	<i>Sasaella kogasensis</i> (Nakai) Nakai ex Koidz. var. <i>gracillima</i> Sad.Suzuki	●			
231	アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino var. <i>ramosa</i>	●		都RL:NT、植栽	
232	アズマザサ属の一種	<i>Sasaella</i> sp.		●		
233	イヌアワ	<i>Setaria chondrachne</i> (Steud.) Honda	●	●		
234	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.	●	●		
235	コソバキンエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i> (Schumacher) Stapf et C.E.Hubb.	●			
236	キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i> (Poir.) Roem. et Schult.	●	●		
237	エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv.	●	●		
238	オオエノコロ	<i>Setaria x pycnocomma</i> (Steud.) Henrard ex Nakai	●	●		
239	トウチク	<i>Disporum cantoniense</i> (Lour.) Merr.	●	●		
240	セイバンモロコシ	<i>Sorghum proproinquum</i>	●		その他の総合対策外来種	
241	アブラススキ	<i>Spodiopogon cotulifer</i> (Thunb.) Hack. var. <i>cotulifer</i>	●	●		
242	オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin.	●			
243	ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> (Steud.) Clayton var. <i>fertilis</i>		●		
244	マコモ	<i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Turcz. ex Stapf	●			
245	コウライシバ	<i>Zoysia pacifica</i> (Goudsw.) M.Hotta et Kuroki		●		
246	ケン科	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H.Hara	●	●	
247		ジロボウエンゴサク	<i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.		●	
248		キケマン	<i>Corydalis heterocarpa</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi		●	都RL:非分布、植栽

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (5/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
249	ケシ科	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	●	●	
250		シラユキゲシ	<i>Eomecon chionantha</i> Hance	●		
251		タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R.Br.	●	●	
252		ケナシチャンバギク	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R.Br. f. <i>glabra</i> H.Okha	●		
253		ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i> L.	●		
254	アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.	●	●	
255		ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz. subsp. <i>trifoliata</i>	●	●	
256		ゴヨウアケビ	<i>Akebia x pentaphylla</i> (Makino) Makino	●	●	
257		ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decne.	●	●	
258	ツツラフジ科	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.	●	●	
259	メギ科	ホソバヒラギナンテン	<i>Berberis fortunei</i> Lindl.	●	●	
260		ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i> (Thunb.) R.Br.	●	●	その他の総合対策外来種
261		メギ	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	●		
262		ナンテン	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	●	●	
263	キンポウゲ科	ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> F.Schmidt	●	●	都RL:NT
264		シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i> (Lemoine) Lemoine var. <i>japonica</i> (Thunb.) Bowles et Stearn	●		
265		ポタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>apiifolia</i>	●	●	
266		コポタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>bitemata</i> Makino	●	●	
267		センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i> DC. var. <i>terniflora</i>	●	●	
268		セリバヒエンソウ	<i>Delphinium anthriscifolium</i> Hance	●	●	
269		キクザキリュウキンカ	<i>Ficaria verna</i> Huds.	●	●	
270		ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.	●	●	
271		アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	●	●	
272	ハス科	ハス	<i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn.	●	●	
273	ツゲ科	フツキシソウ	<i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.	●	●	
274	マンサク科	ヒュウガミズキ	<i>Corylopsis pauciflora</i> Siebold et Zucc.		●	
275		トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i> Siebold et Zucc.	●	●	国RL:NT、植栽
276		アカバナトキワマンサク	<i>Loropetalum chinense</i> (R.Br.) Oliv. var. <i>rubrum</i>	●	●	別名:ベニバナトキワマンサク
277	ユズリハ科	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. subsp. <i>macropodum</i>	●	●	
278	ユキノシタ科	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Curtis		●	
279	ペンケイソウ科	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	●	●	
280	ブドウ科	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.	●	●	
281		ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.	●	●	
282		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.	●	●	
283		エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge var. <i>ficifolia</i>	●	●	
284	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	●	●	
285		ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton	●	●	
286	ミツバウツギ科	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	●	●	
287	キブシ科	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc. var. <i>praecox</i>	●	●	
288	ミソハギ科	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i> (Koehne) Makino	●	●	
289		ザクロ	<i>Punica granatum</i> L.	●		
290	アカバナ科	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.		●	
291		メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> L.	●	●	
292		ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér. ex Aiton	●	●	
293	マメ科	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz. var. <i>julibrissin</i>	●	●	
294		ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) H.Ohashi	●	●	
295		ハナズオウ	<i>Cercis chinensis</i> Bunge	●	●	
296		アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.	●	●	その他の総合対策外来種
297		ツルマメ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohashi	●	●	
298		フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i> (Oliv.) H.Ohashi & R.R.Mill	●	●	
299		ヌスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>japonicum</i>	●	●	
300		マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i> (Maxim.) Makino		●	
301		ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.	●		
302		ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz. var. <i>bicolor</i>	●	●	
303		メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G.Don var. <i>cuneata</i>	●	●	
304		ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.		●	
305		タイワンハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>formosa</i> (Vogel) H.Ohashi	●		
306		イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb.) Siebold ex Maxim.	●	●	国RL:VU、都RL:EN、 植栽
307		イヌエンジュ	<i>Maackia amurensis</i> Rupr. et Maxim. subsp. <i>buengeri</i> (Maxim.) Kitam.	●		
308		クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	●	●	
309		トキリマメ	<i>Rhynchosia acuminatifolia</i> Makino	●		
310		エンジュ	<i>Styphnolobium japonicum</i> (L.) Schott	●	●	
311		ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i> L.	●	●	

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (6/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
312	マメ科	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.	●	●	
313		スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i> (L.) Gray	●	●	
314		ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	●	●	
315		ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i> A.Braun var. <i>unijuga</i>	●	●	
316		フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	●	●	
317	バラ科	ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i> Koidz.	●		
318		キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	●	●	
319		アズキナン	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.	●	●	
320		エドヒガン	<i>Prunus spachiana</i> (Laval. ex H.Otto) Kitam. f. <i>ascendens</i> (Makino) Kitam.	●		都RL: 非分布、植栽
321		ヤマザクラ	<i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz. var. <i>jamasakura</i>	●	●	
322		カスミザクラ	<i>Prunus leveilleana</i> Koehne		●	
323		オオヤマザクラ	<i>Prunus sargentii</i> Rehder var. <i>sargentii</i>		●	
324		サトザクラ	<i>Prunus × lannesiana</i> (Carrière) E.H.Wilson	●		
325		サクラ属の一種	<i>Cerasus</i> sp.	●		
326		オオシマザクラ	<i>Prunus speciosa</i> (Koidz.) Nakai	●	●	
327		ソメイヨシノ	<i>Prunus x yedoensis</i> Matsum.	●	●	
328		クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	●	●	
329		ボケ	<i>Chaenomeles speciosa</i> (Sweet) Nakai		●	
330		ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.	●	●	産業管理外来種
331		ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>	●	●	
332		ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.	●	●	
333		コゴメウツギ	<i>Neillia incisa</i> (Thunb.) S.H.Oh var. <i>incisa</i>		●	
334		イスザクラ	<i>Prunus buergeriana</i> Miq.	●	●	
335		ウワミズザクラ	<i>Prunus grayana</i> Maxim.	●	●	
336		カナメモチ	<i>Photinia glabra</i> (Thunb.) Maxim.	●	●	
337		キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	●	●	
338		ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	●	●	
339		ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i> Yonek. et H.Ohashi	●	●	
340		ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i> (Andrews) Th.Wolf	●	●	
341		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>	●	●	
342		アンズ	<i>Prunus armeniaca</i> L.		●	
343		ニワウメ	<i>Prunus japonica</i> Thunb.	●	●	
344		ウメ	<i>Prunus mume</i> Siebold et Zucc.	●	●	
345		ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i> Thunb.	●	●	
346		カリン	<i>Pseudocodynia sinensis</i> (Thouin) C.K.Schneid.	●		
347		タヌハバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i>		●	その他の総合対策外来種
348		シャリンバイ	<i>Rhaphiolepis indica</i> (L.) Lindl. var. <i>umbellata</i> (Thunb.) H.Ohashi	●		
349		シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	●	●	国RL: EN、植栽
350	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb. var. <i>multiflora</i>	●	●		
351	フユイチゴ	<i>Rubus buergeri</i> Miq.	●	●		
352	クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	●	●		
353	ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i> L.f.	●			
354	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i> L. var. <i>parvifolius</i>	●	●		
355	カジイチゴ	<i>Rubus trifidus</i> Thunb.	●	●		
356	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	●			
357	ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl. var. <i>commixta</i>		●		
358	コデマリ	<i>Spiraea cantoniensis</i> Lour.	●	●		
359	ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i> Siebold ex Blume	●	●		
360	グミ科	ツルグミ	<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb. var. <i>glabra</i>	●		
361		ナツグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>multiflora</i>	●	●	
362		トウグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>hortensis</i> (Maxim.) Servett.	●		
363		ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.	●	●	
364	クロウメモドキ科	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i>		●	
365	ニレ科	アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i> Jacq.	●	●	
366		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	●	●	
367	アサ科	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.	●	●	
368		エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.	●	●	
369		カナムグラ	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.	●	●	
370	クワ科	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i> Hance	●	●	
371		クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	●	●	
372		イチジク	<i>Ficus carica</i> L.	●		
373		イヌビワ	<i>Ficus erecta</i> Thunb. var. <i>erecta</i>	●	●	
374		ホソバイスビワ	<i>Ficus erecta</i> Thunb. var. <i>erecta</i> f. <i>sieboldii</i> (Miq.) Corner	●		

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (7/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
375	クワ科	マグワ	<i>Morus alba</i> L.	●		
376		ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.	●	●	
377	イラクサ科	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> (L.f.) Miq. var. <i>longispica</i> (Steud.) Yahara	●	●	
378		アオカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>concolor</i> Makino	●		
379		カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>nippononivea</i> (Koidz.) W.T.Wang	●		
380		メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i> (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright	●	●	
381		トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i> Franch. et Sav. ex Maxim.		●	国RL: VU、都RL: CR
382		アオミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A.Gray		●	
383	ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	●	●	
384		カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.	●	●	
385		キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.	●	●	
386		スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y.Liu	●		
387	ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	
388		スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba subsp. <i>sieboldii</i>		●	
389		マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai		●	
390		クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.	●	●	
391		アラカン	<i>Quercus glauca</i> Thunb. var. <i>glauca</i>	●	●	
392		シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume	●	●	
393		コナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray	●	●	
394	クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Komatsu) Kitam.	●	●	
395	カバノキ科	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	●	●	都RL: VU、植栽
396		クマシデ	<i>Carpinus japonica</i> Blume var. <i>japonica</i>	●	●	
397		アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	●	●	
398		イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	●	●	
399	ニシキギ科	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>orbiculatus</i>	●	●	
400		ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold var. <i>alatus</i>	●	●	
401		マサキ	<i>Euonymus japonicus</i> Thunb. var. <i>japonicus</i>	●	●	
402		ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>oxyphyllus</i>	●	●	
403		マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume var. <i>sieboldianus</i>	●	●	
404	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i> Savigny	●		
405		ハナカタバミ	<i>Oxalis bowiei</i> W.T.Aiton ex G.Don	●		
406		カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. var. <i>corniculata</i>	●	●	
407		ウスアカカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>atropurpurea</i> (Planch.) Van Houtte ex Hegi	●		
408		アカカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> (Makino) H.Hara	●		
409		ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig	●	●	
410		オウタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.	●	●	
411		サンカクカタバミ	<i>Oxalis triangularis</i> A.St.Hil.	●		
412	トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i> L.	●	●	
413		タカトウダイ	<i>Euphorbia lasiocaula</i> Boiss. var. <i>lasiocaula</i>	●		
414		コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	●	●	
415		オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small	●	●	
416		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i> (L.f.) Müll.Arg.	●	●	
417		ヤマアイ	<i>Mercurialis leiocarpa</i> Siebold et Zucc.	●	●	
418		シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i> (Siebold et Zucc.) Esser	●		
419		ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i> (L.) Small	●	●	その他の総合対策外来種
420	オトギリソウ科	ビヨウヤナギ	<i>Hypericum monogynum</i> L.	●	●	
421		キンバイ	<i>Hypericum patulum</i> Thunb.	●	●	
422	スミレ科	タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i>	●	●	
423		アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu	●	●	
424		コスミレ	<i>Viola japonica</i> Langsd. ex DC.	●		
425		マルバスミレ	<i>Viola keiskei</i> Miq.		●	別名:ケマルバスミレ
426		アメリカスミレサイシン	<i>Viola sororia</i> Willd.	●	●	
427		ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>	●	●	
428		ノジスミレ	<i>Viola yedoensis</i> Makino var. <i>yedoensis</i>	●		
429	ヤナギ科	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.	●	●	
430		シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i> L.	●	●	
431		タチヤナギ	<i>Salix triandra</i> L.	●	●	
432	アブラナ科	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i> L.	●	●	
433		ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	●	●	
434		ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.	●	●	
435		タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i> With.	●	●	
436		マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.		●	
437		オオバタネツケバナ	<i>Cardamine regeliana</i> Miq.	●		

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (8/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
438	アブラナ科	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i> R.Br.	●	●	重点対策外来種
439		シヨカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O.E.Schulz	●	●	
440		イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	●	●	
441	ウルシ科	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T.Yamaz.	●	●	
442		ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> Greene subsp. <i>orientale</i>	●		
443		ハゼノキ	<i>Toxicodendron succedaneum</i> (L.) Kuntze	●		
444	ムクロジ科	オオモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carrière var. <i>amoenum</i>	●	●	
445		トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i> Miq.	●	●	
446		ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i> (Siebold et Zucc.) K.Koch	●		
447		イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	●	●	
448		オニイトナ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i> (Pax) H.Obashi	●		
449		トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume		●	
450		ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.		●	
451	ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	●	●	重点対策外来種
452	センダン科	センダン	<i>Melia azedarach</i> L. var. <i>azedarach</i>	●	●	
453	ミカン科	ミカン属の一種	<i>Citrus</i> sp.	●	●	
454		ユズ	<i>Citrus junos</i> (Makino) Siebold ex Tanaka	●		
455		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> Siebold et Zucc. var. <i>ailanthoides</i>		●	
456		ザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	●	●	
457		イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc. var. <i>schinifolium</i>	●		
458	コミカンソウ科	コミカンソウ	<i>Phyllanthus lepidocarpus</i> Siebold et Zucc.	●		
459		ナガエコミカンソウ	<i>Phyllanthus tenellus</i> Roxb.	●		
460	アオイ科	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	
461		アオギリ	<i>Firmiana simplex</i> (L.) W.F.Wight	●		
462		フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i> L.	●		その他の総合対策外来種
463		ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i> L.	●	●	
464		ゼニアオイ	<i>Malva mauritiana</i> L.		●	
465	タデ科	イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i>	●	●	
466		ミスヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee	●	●	
467		オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Delarbre var. <i>lapathifolia</i>		●	
468		イヌタデ	<i>Persicaria longisetata</i> (Brujin) Kitag.	●	●	
469		ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i> (Meisn.) Nemoto	●		
470		ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross var. <i>posumbu</i>	●	●	
471		アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>	●		
472		ミノハバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross var. <i>thunbergii</i>	●	●	
473		ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> L. var. <i>aviculare</i>	●		
474		ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L. subsp. <i>pyrenaicus</i> (Pourr. ex Lapeyr.) Akeroyd	●		その他の総合対策外来種
475		アレチギンギシ	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray	●	●	
476		ナガバギンギシ	<i>Rumex crispus</i> L.	●		その他の総合対策外来種
477		ギンギシ	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	●		
478		エゾノギンギシ	<i>Rumex obtusifolius</i> L.		●	その他の総合対策外来種
479	ナデシコ科	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	●	●	
480		ハマツメクサ	<i>Sagina maxima</i> A.Gray	●		
481		ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulata</i> (Thunb.) Fenzl		●	
482		ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	●	●	
483		コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	●	●	
484		ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i> Weihe	●	●	
485		イヌコハコベ	<i>Stellaria pallida</i> (Dumort.) Crép.	●	●	
486	ヒコ科	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miq.	●	●	別名:ヒカゲイノコヅチ
487		ヒナタイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>tomentosa</i> (Honda) H.Hara	●	●	
488		シロザ	<i>Chenopodium album</i> L.	●	●	
489		ゴウシュウアリタソウ	<i>Dysphania pumilio</i> (R.Br.) Mosyakin et Clemants		●	
490	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i> L.	●	●	
491	オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i> L.	●	●	
492	ミズキ科	ミズキ	<i>Cornus controversa</i> Hemsl.	●	●	
493		ハナミズキ	<i>Cynoxylon florida</i> (L.) Raf. ex Jackson	●	●	
494		ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> Buerger ex Hance var. <i>chinensis</i> Osborn	●	●	
495		クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i> Wall.	●	●	
496		サンシュユ	<i>Cornus officinalis</i> Siebold et Zucc.	●	●	
497	アジサイ科	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	
498		アジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>macrophylla</i>	●	●	
499		ガクアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>normalis</i> (E.H.Wilson) H.Hara	●		
500		ガクウツギ	<i>Hydrangea scandens</i> (L.f.) Ser.	●		

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (9/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
501	アジサイ科	ヤマアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>serrata</i>	●		
502	モッコク科	サカキ	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	●		
503		ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●	
504		モッコク	<i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.) Bedd.	●	●	
505	カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	●	●	
506		マメガキ	<i>Diospyros lotus</i> Linn.	●	●	
507	サクラソウ科	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims	●	●	
508		ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume var. <i>japonica</i>		●	
509		ヌマトラノオ	<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	●	●	都RL: VU、植栽
510		コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●	
511	ツバキ科	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i> L.	●	●	
512		オトメツバキ	<i>Camellia rusticana</i> Honda 'Otome'	●		
513		サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.	●	●	
514		チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	●	●	
515		ヒメジャラ	<i>Stewartia monadelphæ</i> Siebold et Zucc.	●		
516	ハイノキ科	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagam. var. <i>sawafutagi</i>	●	●	
517	エゴノキ科	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonicus</i>	●	●	
518		ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i> Siebold et Zucc.	●	●	
519	マタタビ科	キウイフルーツ	<i>Actinidia chinensis</i> Planch. var. <i>deliciosa</i> (A.Cheval.) A.Cheval.	●	●	産業管理外来種
520	リョウブ科	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.		●	
521	ツツジ科	ドウダンツツジ	<i>Enkianthus perulatus</i> (Miq.) C.K.Schneid.		●	
522		アセビ	<i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. <i>japonica</i>	●	●	
523		サツキ	<i>Rhododendron indicum</i> (L.) Sweet	●	●	
524		ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>	●	●	
525		ユキグニミツバツツジ	<i>Rhododendron lagopus</i> Nakai var. <i>niphophilum</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.	●		
526		コバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i> D.Don ex G.Don	●		
527		ツツジ属の一種(アザレア)	<i>Rhododendron</i> sp.	●		栽培品種
528		セイヨウシャクナゲ	<i>Rhododendron</i> cvs.	●		
529		キリンマツツジ	<i>Rhododendron x obtusum</i> (Lindl.) Planch.		●	
530		ヒラドツツジ	<i>Rhododendron x pulchrum</i> Sweet	●	●	栽培品種: オオムラサキツツジ
531		ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i> Miq.	●		
532	アオキ科	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>borealis</i> Miyabe et Kudô	●		
533		アオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●	
534		フイリアオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. 'Variegata'	●		
535	アカネ科	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi	●		都RL: データなし
536		ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Desp.	●	●	
537		ハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> (Lf.) W.H.Lewis var. <i>hirsuta</i>	●	●	
538		ヨツノムグラ	<i>Galium trachyspermum</i> A.Gray var. <i>trachyspermum</i>	●	●	
539		クチナン	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis	●	●	
540		ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i> L.	●	●	
541		アカネ	<i>Rubia argyi</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener et D.K.Ferguson	●	●	
542		ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb.	●	●	国RL: EN、植栽
543	キョウチクトウ科	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	●	●	
544		テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai var. <i>asiaticum</i>	●	●	
545		ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i> L.	●	●	重点対策外来種
546		カモメヅルの一種	<i>Vincetoxicum</i> sp.	●		
547	ムラサキ科	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce	●	●	
548		キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Steven ex Palib.	●	●	
549	ヒルガオ科	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	●	●	
550		アイノコヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall. x <i>C. pubescens</i> Lindl.	●		
551		アオイゴケ属の一種	<i>Dichondra</i> sp.		●	
552		マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i> L.	●	●	重点対策外来種
553		アサガオ	<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth	●	●	重点対策外来種
554		マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth		●	
555	ナス科	ホオズキ	<i>Alkekengi officinarum</i> Moench var. <i>franchetii</i> (Mast.) R.J.Wang	●	●	
556		クコ	<i>Lycium chinense</i> Mill.	●	●	
557		ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i> L.	●	●	
558		アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum emulans</i> Raf.	●	●	
559		ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i> Thunb. var. <i>lyratum</i>	●	●	
560		イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i> L.	●	●	
561		タマサンゴ	<i>Solanum pseudocapsicum</i> L.	●	●	
562		ジャガイモ	<i>Solanum tuberosum</i> L.	●		
563	モクセイ科	ヒトツバタゴ	<i>Chionanthus retusus</i> Lindl. et Paxton		●	国RL: VU、植栽

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (10/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考	
564	モクセイ科	シナレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i> Lindl.	●	●		
565		チヨウセンレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i> Lindl. var. <i>koreana</i> Rehder		●		
566		セイヨウトネリコ	<i>Fraxinus excelsior</i> L.	●			
567		ヤマトアオダモ	<i>Fraxinus longicuspis</i> Siebold et Zucc. var. <i>longicuspis</i>	●	●		
568		ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>	●	●		
569		トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	●	●	重点対策外来種	
570		オオバイボタ	<i>Ligustrum ovalifolium</i> Hassk. var. <i>ovalifolium</i>		●		
571		イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc. var. <i>obtusifolium</i>	●	●		
572		キンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino	●	●		
573		ギンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i>	●			
574		ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i> (G.Don) P.S.Green	●	●		
575		ヒイラギモクセイ	<i>Osmanthus x fortunei</i> Carrière	●	●		
576		オオバコ科	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L. var. <i>asiatica</i>	●	●	
577			ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.	●	●	
578			ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i> L.		●	
579	オオカワヂシャ		<i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	●		緊急対策外来種 (特定外来生物)	
580	タチイヌフグリ		<i>Veronica arvensis</i> L.	●	●		
581	オオイヌフグリ	<i>Veronica persica</i> Poir.	●	●			
582	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.	●		国RL:NT、都RL:VU		
583	シソ科	キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	●	●		
584		コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i> (Lour.) K.Koch	●	●	都RL:DD、植栽	
585		ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●		
586		オオムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb. var. <i>luxurians</i> Rehder	●			
587		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.	●			
588		ボタンクサギ	<i>Clerodendrum bungei</i> Steud.	●	●		
589		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb. var. <i>trichotomum</i>	●	●		
590		トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze	●			
591		ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hyl.	●			
592		カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A.Gray) H.Hara	●	●		
593		ヤマハツカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô	●	●		
594		ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i> L.	●	●		
595		ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.	●	●		
596		メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i> Houtt.	●	●	都RL:VU、植栽	
597		シロネ	<i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth.	●	●	都RL:VU、植栽	
598		ヒメシロネ	<i>Lycopus maackianus</i> (Maxim. ex Herder) Makino	●	●	都RL:VU、植栽	
599		イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i> (Thunb.) C.Y.Wu et H.W.Li	●	●		
600		シソ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Benth.) W.Deane		●		
601		エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>	●			
602		ハナトラノオ	<i>Physostegia virginiana</i> (L.) Benth.		●	別名:カクトラノオ	
603	ガラニチカセージ	<i>Salvia guaranitica</i> A.St.-Hil. ex Benth.	●				
604	アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i> Thunb.	●	●			
605	イヌゴマ	<i>Stachys riederi</i> Cham. var. <i>hispidula</i> (Regel) H.Hara	●	●			
606	サギゴケ科	サギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> Makino	●			
607		トキウハゼ	<i>Mazus pumilus</i> (Burm.f.) Steenis	●	●		
608	ハエドクソウ科	ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam. var. <i>asiatica</i>	●	●		
609		ナガバハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam. f. <i>oblongifolia</i> (Koidz.) Ohwi	●			
610	キリ科	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.	●	●		
611	ハマウツボ科	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i> L. var. <i>indica</i>	●		植栽	
612	キツネノマゴ科	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>procumbens</i>	●	●		
613	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i> L.	●		その他の総合対策外来種	
614	モチノキ科	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. var. <i>crenata</i>	●	●		
615		モチノキ	<i>Ilex integra</i> Thunb. var. <i>integra</i>	●	●		
616		タラヨウ	<i>Ilex latifolia</i> Thunb.	●			
617		ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i> Miq. var. <i>pedunculosa</i>	●			
618		クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i> Thunb.	●	●		
619		ウメドモキ	<i>Ilex serrata</i> Thunb.	●	●		
620	キキョウ科	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara	●	●		
621		ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>punctata</i>	●	●		
622		キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC.		●	国RL:VU、都RL:DD 植栽	
623	キク科	マルバフジバカマ	<i>Ageratina altissima</i> (L.) R.M.King et H.Rob.	●		その他の総合対策外来種	
624		ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.	●			
625		オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.	●	●	重点対策外来種	
626		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara	●	●		

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (11/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
627	キク科	シロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>ageratoides</i>	●	●	
628		ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Soejima et Mot.Ito	●		
629		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i> Thunb.	●	●	
630		シオン属の一種	<i>Aster</i> sp.	●		
631		カントウヨメナ	<i>Aster yomena</i> (Kitam.) Honda var. <i>dentatus</i> (Kitam.) H.Hara	●		
632		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i> L.	●	●	その他の総合対策外来種
633		アイノコセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i>	●		
634		コシロメセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff	●		
635		コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	●	●	
636		ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i> L.	●	●	
637		リュウノギク	<i>Chrysanthemum makinoi</i> Matsum. et Nakai	●		
638		アリアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam.	●	●	別名:トネアザミ
639		アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.	●	●	その他の総合対策外来種
640		アザミ属の一種	<i>Cirsium</i> sp.	●		
641		セイヨウフジバカマ	<i>Conoclinium coelestinum</i>	●		
642		キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i> Cav.	●		
643		ベニバナボロギク	<i>Grassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S.Moore	●	●	
644		ヤクシノウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i> (Houtt.) Pak et Kawano	●	●	
645		アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	●	●	
646		ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> (L.) Raf. ex DC.	●	●	その他の総合対策外来種
647		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	●	●	その他の総合対策外来種
648		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i> L.	●	●	
649		ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	●	●	
650		オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.	●	●	
651		フジバカマ	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb.	●		国RL: NT、都RL: CR 植栽
652		ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) T.Kawahara et Yahara	●	●	
653		ツワブキ	<i>Farfugium japonicum</i> (L.) Kitam. var. <i>japonicum</i>	●	●	
654		ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.	●	●	
655		ウラボシコチコグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i> (Willd.) Kerguelén	●	●	
656		チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i> (Willd.) Cabrera	●		
657	ヒマワリ属の一種	<i>Helianthus</i> sp.	●			
658	クワイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.	●			
659	キツネアザミ	<i>Hemisteptia lyrata</i> (Bunge) Fisch. & C.A.Mey.	●			
660	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.	●			
661	オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.	●	●	都RL: CR、植栽	
662	ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>dentatum</i>	●	●		
663	オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burm.f.) Nakai	●			
664	イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i> A.Gray var. <i>stolonifera</i>	●			
665	アキノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L. var. <i>indica</i>	●	●		
666	ヤブタバコ	<i>Lapsanastrum humile</i> (Thunb.) Pak et K.Bremer	●	●		
667	フキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim. subsp. <i>japonicus</i>	●	●		
668	コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov var. <i>japonica</i>	●			
669	ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i> (D.Don) Anderb.	●			
670	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.	●	●		
671	コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino	●			
672	セイトカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	●	●	重点対策外来種	
673	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	●	●		
674	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	●	●		
675	シロバナタンポポ	<i>Taraxacum albidum</i> Dahlst.	●	●		
676	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	●	●	重点対策外来種	
677	アイノコセイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg. x <i>T. platycarpum</i> Dahlst.	●		重点対策外来種	
678	カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst. var. <i>platycarpum</i>	●	●		
679	サワオグルマ	<i>Tephroses pierotii</i> (Miq.) Holub	●	●	都RL: EX、植栽	
680	オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	●	●		
681	ガマズミ科	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara var. <i>sieboldiana</i>	●	●	
682		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	●	●	
683		ハクサンボク	<i>Viburnum japonicum</i> (Thunb.) Spreng.	●		
684		サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker Gawl. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel	●	●	
685		ガマズミ属の一種	<i>Viburnum</i> sp.	●		
686	スイカズラ科	ハナノツクバネウツギ	<i>Abelia x grandiflora</i> (Rovelli ex André) Rehder	●	●	
687		ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq.	●	●	
688		ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>	●		
689		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.	●	●	

資料4 国分寺市内で確認した植物の学名 (12/12)

No.	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
690	スイカズラ科	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.		●	
691		ハコネウツギ	<i>Weigela coraeensis</i> Thunb. var. <i>coraeensis</i>	●	●	
692		ニシキウツギ	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai var. <i>decora</i>	●		
693	ウコギ科	ウド	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	●	●	
694		タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	●	●	
695		メダラ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem. f. <i>canescens</i> (Siebold et Zucc.) T.Yamaz.	●		
696		カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i> (Thunb.) Makino ex H.Hara	●	●	
697		オカウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu var. <i>japonicus</i> (Franch. et Sav.) H.Ohba	●	●	
698		ヤマウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu var. <i>spinosus</i>	●		
699		ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch. var. <i>japonica</i>	●	●	
700		カナリーキヅタ	<i>Hedera canariensis</i> Willd.	●	●	
701		キヅタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	●	●	
702		ノチドメ	<i>Hydrocotyle batrachium</i> Hance var. <i>maritima</i> (Honda) Yonek.		●	
703		チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.		●	
704		ヒメチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i> Makino	●	●	
705		ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz. subsp. <i>septemlobus</i>	●	●	
706	トベラ科	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i> (Thunb.) W.T.Aiton	●	●	
707	セリ科	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	●	●	
708		アンタバ	<i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz.	●	●	
709		ミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> (L.) DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz	●	●	
710		セリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC. subsp. <i>javanica</i>	●	●	
711		ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb. var. <i>aristata</i>	●	●	
712		ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge	●	●	
713		オヤブシラミ	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	●	●	

資料5 国分寺市内で確認した鳥類の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考	
1	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>		●	国RL:DD、都RL:VU	
2			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	●	●		
3			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	●	●		
4			コガモ	<i>Anas crecca</i>	●			
5	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	●		都RL:VU	
6	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	●	●		
7			アオバト	<i>Treeron sieboldii</i>	●		都RL:NT	
8			ドバト	<i>Columba livia</i>	●	●		
9	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●			
10	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Anas cinerea</i>	●	●		
11			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	●		都RL:NT	
12	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	●		都RL:DD	
13	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	●		都RL:非分布	
14			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	●	●	都RL:VU	
15	タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	●	●	都RL:VU	
16			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	●	●	国RL:NT、都RL:VU	
17			ハイタカ属の一種	<i>Accipiter</i> sp.	●			
18			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	●		国RL:VU、都RL:CR	
19	フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia</i>		●		
20			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	●		都RL:VU	
21	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	●	●	都RL:NT	
22	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	●	●		
23			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	●	●		
24	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	●	●	都RL:VU	
25		カラス	オナガ	<i>Cyanopica cyanus</i>	●	●	都RL:NT	
26			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	●	●		
27			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	●	●		
28		シジュウカラ	ヤマガラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	●		
29				シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	●	●	
30		ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	●	●		
31		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	●	●		
32		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	●	●		
33		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	●	●		
34		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	●	●		
35		ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	●	●		
36		ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	●	●		
37			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	●	●		
38			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>		●		
39			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>	●	●		
40			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	●			
41			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	●		都RL:VU	
42			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	●	●		
43	オオルリ		<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	●		都RL:NT		
44		ヒタキ類の一種	Muscicapidae	●				
45	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	●	●			
46	セキレイ	ハクセキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	●	●		
47			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>		●		
48	アトリ	シメ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	●	●		
49			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	●	●		
50	ホオジロ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	●	●			
51	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	●	●	重点対策外来種 (特定外来生物)		
52	インコ	インコ	ワカケホンセイインコ	<i>Psittacula krameri manillensis</i>	●	●	その他の総合 対策外来種	

資料6 国分寺市内で確認した哺乳類の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	モグラ	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>	●	●	
2	コウモリ	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	●		
3	ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	●		重点対策外来種

資料7 国分寺市内で確認したは虫類の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>		●	
2		ヌマガメ	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●	●	緊急対策外来種 (条件付特定外来生物)
3		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>		●	国RL: DD、都RL: CR+EN
4	トカゲ	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		●	都RL: 留意種
5		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	●	●	都RL: VU
6		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus takydromoides</i>	●	●	都RL: VU
7		ナミヘビ	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>		●	都RL: NT
8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari</i>		●	都RL: VU

資料8 国分寺市内で確認した両生類の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	カエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		●	都RL: VU

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (1/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考	
1	カゲロウ	コカゲロウ	コカゲロウ科の一種	Beatidae sp.	●		幼虫(水生)	
2	トンボ	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>		●		
3			オツネントンボ属の一種	<i>Sympecma</i> sp.	●			
4		カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	●	●	都RL: ランク外	
5		イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	●	●		
6				アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	●		
7				イトトンボ科の一種	Coenagrionidae sp.	●		幼虫(水生)
8		ヤンマ	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope</i>	●	●		
9				クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus</i>	●		
10				ヤブヤンマ属の一種	<i>Polycanthagyna</i> sp.	●		幼虫(水生)
11				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	●		
12		サナエトンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	●		都RL: VU	
13				サナエトンボ科の一種	Gomphidae sp.	●		幼虫(水生)
14		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	●	●		
15		トンボ	アキアカネ	<i>Sympetorum frequens</i>	●	●		
16				コノシメトンボ	<i>Sympetorum baccha</i>	●	●	
17				マユタテアカネ	<i>Sympetorum eroticum</i>		●	都RL: NT
18				コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	●	●	
19				シヨウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia</i>	●	●	
20				ウスバキトンボ	<i>Pantera flavescens</i>	●	●	
21				シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum</i>	●	●	
22				オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	●	●	
23		ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	●		
24			ヤマトゴキブリ	<i>Periplaneta japonica</i>	●			
25	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>	●	●			
26	カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>	●	●		
27			コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>		●		
28			オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>	●	●		
29	シロアリ	ミノガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>	●	●		
30	ハサミムシ	マルムネハサミムシ	ハマベハサミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>	●			
31			キアシハサミムシ	<i>Euborellia plebeja</i>	●	●		
32			ヒゲジロハサミムシ	<i>Gonolabis marginalis</i>		●		
33	カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ科の一種	Nemouridae sp.	●		幼虫(水生)	
34	バッタ	コロギス	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>		●		
35		キリギリス	ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis orient</i>	●			
36				クサキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>		●	
37				クビキリギス	<i>Euconocephalus varius</i>	●		
38				ホシササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>	●	●	
39				ササキリ	<i>Conocephalus melaenus</i>	●		
40		ツユムシ	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>	●	●		
41				セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>	●	●	
42				クダマキモドキ属の一種	<i>Holocrota</i> sp.		●	
43		コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	●	●		
44			モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>	●	●		
45			ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>	●	●		
46			ツヅレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>	●	●		
47			クマズムシ	<i>Sclerogryllus punctatus</i>		●		
48		コオロギ科の一種	Gryllidae sp.	●				
49	マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	●	●			
50	ヒバリモドキ	ヤマトヒバリ	<i>Homoeoxipha obliterated</i>	●	●			
51			キンヒバリ	<i>Natula matsurai</i>	●	●		
52			クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>	●	●		
53			ウスグモスズ	<i>Amusurgus genji</i>		●		
54			ヤチスズ	<i>Pteronemobius ohmachi</i>	●	●		
55			マダラスズ	<i>Dianemobius fascipes</i>	●	●		
56			シバスズ	<i>Polionemobius furumagiensis</i>	●	●		
57	カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>	●	●			
58	アリツカコオロギ	アリツカコオロギ科の一種	Myrmecophilidae sp.		●			
59	ノミバッタ	ノミバッタ	<i>Xya japonica</i>		●			
60	ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	<i>Criotettix japonicus</i>	●				
61			ハラヒシバッタ	<i>Tetrix japonica</i>	●	●		
62	オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>	●	●			
63	バッタ	ツチイナゴ	<i>Patanga japonica</i>		●			
64			コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	●	●		
65			ショウリヨウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>	●	●		

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (2/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
66	バッタ	バッタ	ショウリヨウバッタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>	●	●	
67			ヒナバッタ	<i>Glyptothrus maritimus maritimus</i>	●	●	
68			トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>	●	●	
69			クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>	●	●	
70			イボバッタ	<i>Trilophidia annulata</i>		●	
71	ナナフシ	ナナフシ	ナナフシモドキ	<i>Baculum irregulariterdentatum</i>	●	●	
72			トビナナフシ	<i>Micadina phluctaenoides</i>		●	
73			エダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>		●	
74	チャタテムシ	ケチャタテ	ヨツモンホソチャタテ	<i>Graphopsocus cruciatus</i>		●	
75		ホソチャタテ	ホソチャタテ	<i>Stenopsocus aphidiformis</i>	●		
76			ホソチャタテ科の一種	Stenopsocidae sp.	●		
77		チャタテ	クロミヤクチャタテ	<i>Psocus kolbei</i>		●	
78			チャタテ科の一種	Psocidae sp.	●		
79		ウロコチャタテ	ウロコチャタテ科の一種	Amphientomidae sp.	●		
80		コチャタテ	コチャタテ科の一種	Trogidae sp.		●	
81	カメムシ	コガシラウンカ	アカフコガシラウンカ	<i>Deferunda rubrostigma</i>	●		
82		ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	<i>Diotrombus politus</i>		●	
83		アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	●	●	
84		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>	●	●	
85			アミガサハゴロモ	<i>Pochazia albomaculata</i>	●	●	
86			アミガサハゴロモ近似種	<i>Pochazia shantungensis</i>	●		
87			ハゴロモ科の一種	Ricaniidae sp.	●		
88		マルウンカ	クサビウンカ亜科の一種	Issinae sp.	●		
89		グンバイウンカ	ミドリグンバイウンカ	<i>Kallitaxila sinica</i>		●	
90			ヒラタグンバイウンカ	<i>Ossoides lineatus</i>	●		
91		セミ	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>		●	
92			アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	●	●	
93			ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>	●	●	
94			ミンミンゼミ	<i>Oncotympana maculaticollis</i>	●	●	
95			ニイニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	●	●	
96			ヒゲラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>	●	●	
97		アワフキムシ	ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>		●	
98		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ	<i>Eoscarta assimilis</i>		●	
99		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	●	●	
100			オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>	●	●	
101			ブチミヤクヨコバイ	<i>Drabescus nigrifemoratus</i>		●	
102			クワキヨコバイ	<i>Pagaronia guttigera</i>	●		
103			クロヒラタヨコバイ	<i>Penthimia nitida</i>	●		
104			ヒトツメヨコバイ	<i>Phlogotettix cyclop</i>	●		
105			クロスジホソサジヨコバイ	<i>Sophonia orientalis</i>	●		
106			クワキヨコバイ類の一種	Pagaronia sp.	●		
107			オビヒメヨコバイ類の一種	Naratettix sp.		●	
108			ヒメヨコバイ類の一種	Typhlocybinae sp.	●		
109		キジラミ	ヤツデキジラミ	<i>Cacopsylla fatsiae</i>	●		
110		アブラムシ	キョウチクトウアブラムシ	<i>Aphis nerii</i>	●		
111			エゴノネコシアブラムシ	<i>Ceratovacuna nekoashi</i>	●		
112			クリオオアブラムシ	<i>Lachnus tropicalis</i>	●		
113			イバラヒゲナガアブラムシ	<i>Sitobion ibarae</i>	●		
114			セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	<i>Uroleucon nigrotuberculatum</i>	●		
115			キスゲフクレアブラムシ	<i>Indomegoura indica</i>	●		
116			ケヤキヒトスジワタムシ	<i>Paracolopha morrisoni</i>	●		
117			タケノアブラムシ	<i>Melanaphis bambusae</i>	●		
118			ミカンクロアブラムシ	<i>Toxoptera citricida</i>	●		
119			ミツバウツギフクレアブラムシ	<i>Indomegoura nigrotibiae</i>	●		
120			ケクダアブラムシ亜科の一種	Greenideinae sp.	●		
121			アブラムシ科の一種	Aphididae sp.	●		
122		カタカイガラムシ	ミカンヒメワタカイガラムシ	<i>Chloropulvinaria citricola</i>	●		
123			ヒモワタカイガラムシ	<i>Takahashia japonica</i>		●	
124		ワタフキカイガラムシ	オオワラジカイガラムシ	<i>Drosicha corpulenta</i>	●		
125		サシガメ	ヨコツナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>	●	●	
126			アカサシガメ	<i>Cydnocoris russatus</i>	●		
127			アカシマサシガメ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>	●		
128			オオトビサシガメ	<i>Isyndus obscurus</i>	●		
129			シマサシガメ	<i>Sphedanolestes impressicollis</i>		●	
130			ヤニサシガメ	<i>Velinus nodipes</i>		●	

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (3/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
131	カメムシ	ゲンバウムシ	エグリゲンバイ	<i>Cochlochila conchata</i>	●	●	
132			アワダチソウゲンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>	●	●	
133			ヤブガラシゲンバイ	<i>Cysteochila chiniana</i>	●	●	
134			ヘクソカズラゲンバイ	<i>Dulinius conchatus</i>		●	
135			ナシゲンバイ	<i>Stephanitis nashi</i>		●	
136			ツツジゲンバイ	<i>Stephanitis pyrioides</i>	●	●	
137			トサカゲンバイ	<i>Stephanitis takeyai</i>	●	●	
138		カスミカメムシ	ケブカキベリナガカスミカメ	<i>Dryophilocoris miyamotoi</i>	●		
139			キアシクロホソカスミカメ	<i>Phylus miyamotoi</i>	●		
140			クヌギトビカスミカメ	<i>Psallus bagionicus</i>	●		
141			ウスモンミドリカスミカメ	<i>Apolygus lucorum</i>	●		
142			イネホソミドリカスミカメ	<i>Trigonotylus caelestialium</i>	●		
143			カスミカメムシ科の一種	Miridae sp.	●		
144		マキバサシガメ	ミナミマキバサシガメ	<i>Nabis kinbergii</i>	●	●	
145		オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>	●	●	
146		ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>	●	●	
147			ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>	●	●	
148			ニセヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius vulgaris</i>		●	
149		ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	<i>Acanthocoris sordidus</i>	●	●	
150			ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>	●		
151			ハリカメムシ	<i>Cletus schmidti</i>	●	●	
152			ホシハラヒロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>	●	●	
153			ミナミトゲヘリカメムシ	<i>Paradasynus spinosus</i>	●	●	
154			キバラヘリカメムシ	<i>Plinachtus bicoloripes</i>		●	
155		ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	<i>Liorhyssus hyalinus</i>	●		
156			ケブカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus sapporensis</i>	●		
157		イトカメムシ	イトカメムシ	<i>Yemma exilis</i>	●	●	
158		ナガカメムシ	セスジナガカメムシ	<i>Arocatus melanostoma</i>	●		
159			ヒョウタンナガカメムシ	<i>Caridops albomarginatus</i>	●	●	
160			ヒメオオメナガカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>	●		
161			サビヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera inconspicua</i>		●	
162			オオモンシロナガカメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>		●	
163			チャイロナガカメムシ	<i>Neolethaeus dallasi</i>	●		
164			ヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>	●	●	
165			スコットヒョウタンナガカメムシ	<i>Pamerana scotti</i>	●		
166			シロヘリナガカメムシ	<i>Panaorus japonicus</i>	●		
167			ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	<i>Gyndes pallicornis</i>	●		
168			オオメナガカメムシ	<i>Picocoris varius</i>	●	●	
169			ムラサキナガカメムシ	<i>Pylorgus colon</i>	●		
170			コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>	●		
171			ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax sinensis</i>	●		
172			ヒョウタンナガカメムシ類の一種	Rhyparochromidae sp.	●		
173		メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	<i>Chauliops fallax</i>	●		
174		ツノカメムシ	セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>	●	●	
175			ヒメハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma forficula</i>	●		
176			ハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma labiduroides</i>	●	●	
177			ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>	●		
178			エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>	●	●	
179		ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>	●		
180			ヒメツチカメムシ	<i>Fromundus pygmaeus</i>	●		
181			ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>		●	
182		ノコギリカメムシ	ノコギリカメムシ	<i>Megymenum gracilicorne</i>		●	
183		カメムシ	ウズラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>	●	●	
184			ウシカメムシ	<i>Alcimocoris japonensis</i>	●	●	
185			ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>		●	
186			キマダラカメムシ	<i>Erthesina fullo</i>	●	●	
187			ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>	●		
188			ムラサキシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>	●		
189			ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>	●		
190			エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>	●		
191			クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>	●	●	
192			ヨツボシカメムシ	<i>Homalogonia obtusa</i>		●	
193			チャバネアオカメムシ	<i>Plautia crossota</i>	●	●	
194			カメムシ科の一種	Pentatomidae sp.	●		

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (4/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
195	カメムシ	マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>	●	●	
196		キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>	●	●	
197		クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	<i>Urostylis annulicornis</i>	●		
198			クヌギカメムシ	<i>Urostylis westwoodi</i>	●		
199		アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>		●	都RL:NT
200			アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	●	●	
201			ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>	●	●	
202			ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>	●		
203			シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	●		
204		マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>	●		
205	アザミウマ	—	アザミウマ目の一種	<i>Thysanoptera</i> sp.		●	
206	アミメカゲロウ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	●		都RL:NT 幼虫(水生)
207		センブリ	ネグロセンブリ	<i>Sialis japonica</i>	●		都RL:VU 幼虫(水生)
208		ラクダムシ	ラクダムシ	<i>Inocellia japonica</i>	●		
209		クサカゲロウ	シロスジクサカゲロウ	<i>Apertochrysa albolineatoides</i>	●		
210			スズキクサカゲロウ	<i>Chrysoperla suzukii</i>	●		
211			カオマダラクサカゲロウ	<i>Mallada desjardinsi</i>	●		
212			アミメクサカゲロウ	<i>Apochrysa matsumurae</i>	●	●	
213			ヤマトクサカゲロウ	<i>Chrysoperla nipponensis</i>	●		
214			クサカゲロウ科の一種	<i>Chrysopidae</i> sp.	●		
215		ヒメカゲロウ	ヤマトヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>	●		
216		ウスバカゲロウ	カスリウスバカゲロウ	<i>Distoleon nigricans</i>	●		
217			ウスバカゲロウ	<i>Hagenomyia micans</i>	●	●	
218	トビケラ	ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ科の一種	<i>Goeridae</i> sp.	●		幼虫(水生)
219		カクツツトビケラ	コカクツツトビケラ属の一種	<i>Lepidostoma</i> sp.	●		幼虫(水生)
220		ケトビケラ	グマガトビケラ類の一種	<i>Gumaga</i> sp.	●		幼虫(水生)
221	チョウ	ヒゲナガガ	クロハネシロヒゲナガ	<i>Nemophora albi antennella</i>	●		
222		ミノガ	ネグロミノガ	<i>Acanthopsyche nigraplaga</i>	●		
223			チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>		●	
224			シバミノガ	<i>Nipponopsyche fuscescens</i>	●		
225		ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ	<i>Hypophrichtis conspersa</i>	●	●	
226		ニセマイコガ	シロテンクロマイコガ	<i>Atrijuglans hetaohei</i>	●		
227		ヒゲナガキバガ	キベリハイヒゲナガキバガ	<i>Homaloxestia myeloxesta</i>		●	
228		ハマキガ	アトキハマキ	<i>Archips audax</i>		●	
229			ミダレカクモンハマキ	<i>Archips fuscocupreanus</i>		●	
230			ピロードハマキ	<i>Cerace xanthocosma</i>		●	
231			ヘリオビヒメハマキ	<i>Cryptasasma marginifasciata</i>	●	●	
232			サンカクモンヒメハマキ	<i>Cydia glandicolana</i>		●	
233			チャハマキ	<i>Homona magnanima</i>	●		
234			ハマキガ科の一種	<i>Tortricidae</i> sp.	●		
235		セミヤドリガ	セミヤドリガ	<i>Epipomponia nawai</i>		●	
236		イラガ	アカイラガ	<i>Phrixolepia sericea</i>	●		
237			ヒメクロイラガ	<i>Scopelodes contracta</i>	●	●	
238		マダラガ	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i>	●		
239			シロシタホタルガ	<i>Neochalcosia remota</i>	●	●	
240			ホタルガ	<i>Pidorus atratus</i>	●	●	
241			ミノウスバ	<i>Pryeria sinica</i>	●	●	
242		セセリチョウ	ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys</i>	●	●	都RL:ランク外
243			キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus</i>	●	●	
244			イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata</i>	●	●	
245		アゲハチョウ	クロアゲハ	<i>Papilio protenor</i>	●	●	
246			ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon</i>	●		
247			ジャコウアゲハ	<i>Atrophaneura alcinous alcinous</i>	●		
248			ナミアゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	●	●	
249			カラスアゲハ	<i>Papilio bianor</i>		●	
250			アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon</i>	●	●	
251		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	●	●	
252			ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i>	●	●	
253			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>	●	●	
254		シジミチョウ	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta</i>	●		
255			ムラサキシジミ	<i>Arhopala japonica</i>	●	●	
256			ムラサキツバメ	<i>Arhopala bazalus</i>	●	●	
257			ミスイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia attilia</i>	●	●	
258			アカシジミ	<i>Japonica lutea lutea</i>		●	都RL:ランク外
259			ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata</i>		●	都RL:ランク外
260			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas</i>	●		
261			ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i>	●		
262			ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha</i>	●	●	
263			ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus</i>		●	
264			ツバメシジミ	<i>Everes argiades</i>		●	

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (5/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
265	チョウ	タテハチョウ	テングチョウ	<i>Libythea lepita</i>	●	●	
266			ツマグロヒヨウモン	<i>Argyreus hyperbius</i>	●	●	
267			コムシジ	<i>Neptis sappho</i>	●	●	
268			ホシミシジ	<i>Neptis pryri</i>		●	都RL: VU
269			キタテハ	<i>Polygonia c. c-aureum</i>	●		
270			ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas</i>		●	都RL: NT
271			ルリタテハ	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	●	●	
272			アカタテハ	<i>Vanessa i. indica</i>	●	●	
273			コムラサキ	<i>Apatura metis</i>	●	●	
274			ゴマダラチョウ	<i>Hestina japonica</i>		●	
275			アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis shirakii</i>	●	●	重点対策外来種 (特定外来生物)
276			ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>	●	●	都RL: ランク外
277			クロヒカゲ	<i>Lethe diana</i>		●	都RL: ランク外
278			サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	●	●	
279			ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama</i>	●	●	
280			クロコマチョウ	<i>Melanitis phedima</i>	●		
281			ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus</i>		●	都RL: ランク外
282			ジャノメチョウ亜科の一種	Satyrinae sp.	●		
283	トリバガ	ブドウトリバ		<i>Nippoptilia vitis</i>	●	●	
284	ツトガ	シロモンノメイガ		<i>Bocchoris inspersalis</i>		●	
285		モモノゴマダラノメイガ		<i>Conogethes punctiferalis</i>		●	
286		モンキクロノメイガ		<i>Herpetogramma luctuosalis</i>		●	
287		マメノメイガ		<i>Maruca vitrata</i>	●	●	
288		ヨスジノメイガ		<i>Pagyda quadrilineata</i>	●	●	
289		マエアカスカシノメイガ		<i>Palpita nigropunctalis</i>		●	
290		シバツトガ		<i>Parapediasia teterella</i>	●		
291		コガタシロモンノメイガ		<i>Pileocera sodalis</i>		●	
292		キムジノメイガ		<i>Circobotys aurealis</i>	●		
293		シロオビノメイガ		<i>Spoladea recurvalis</i>	●	●	
294		ノメイガ亜科の一種		Pyraustinae sp.	●		
295		ツトガ科の一種		Crambidae sp.	●		
296	メイガ	ケバリトガリメイガ		<i>Endotricha minialis</i>		●	
297		メイガ科の一種		Pyralidae sp.	●		
298	カギバガ	アカウラカギバ		<i>Hypsomadius insignis</i>	●		
299		ヤマトカギバ		<i>Nordstromia japonica</i>	●	●	
300		マユミトガリバ		<i>Neoploca arctipennis</i>	●		
301	シャクガ	オカモトゲエダシャク		<i>Apochima juglansaria</i>	●		
302		ヨモギエダシャク		<i>Ascotis selenaria cretacea</i>	●		
303		コヨツメアオシャク		<i>Comostola subtilitaria nympa</i>	●		
304		ヒロオビトンボエダシャク		<i>Cystidia truncangulata</i>	●		
305		ウスミドリナミシャク		<i>Episteira nigrilinearia nigrilinearia</i>	●		
306		チャハネフエダシャク		<i>Erannis golda</i>		●	
307		シロジマエダシャク		<i>Euryobeidia languidata</i>	●	●	
308		ナミガタエダシャク		<i>Heterarmia charon</i>		●	
309		モンキキナミシャク		<i>Idiotephria amelia</i>	●		
310		チャノウンモンエダシャク		<i>Jankowskia fuscaria fuscaria</i>	●		
311		ヒロバフエダシャク		<i>Larerannis miracula</i>	●		
312		アトジロエダシャク		<i>Pachyligia dolosa</i>	●		
313		シロトゲエダシャク		<i>Phigalia verecundaria</i>	●		
314		マエキオエダシャク		<i>Plesiomorpha flaviceps</i>	●		
315		ニセオレクギエダシャク		<i>Protoarmia faustinata</i>	●		
316		フタナミトビヒメシャク		<i>Pylargosceles steganioides</i>		●	
317		ウスキクロテンヒメシャク		<i>Scopula ignobilis</i>	●		
318		マエキヒメシャク		<i>Scopula nigropunctata imbella</i>		●	
319		ナミスジチビヒメシャク		<i>Scopula personata</i>	●		
320		コベニスジヒメシャク		<i>Timandra comptaria</i>	●		
321		ニトベエダシャク		<i>Wilemania nitobei</i>	●		
322		ウスバフユシャク類の一種		<i>Inurois</i> sp.	●		
323		ベニスジヒメシャク類の一種		<i>Timandra</i> sp.	●		
324		エダシャク亜科の一種		Ennominae sp.	●		
325		シャクガ科の一種		Geometridae sp.	●		

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (6/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
326	チョウ	カイコガ	クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>	●	●	
327		ヤママユガ	オオミズアオ	<i>Actias aliena aliena</i>	●		都RL:ランク外
328		スズメガ	ウンモンシズメ	<i>Callambulyx tatarinovii</i>		●	
329			サザナミズメ	<i>Dolbina tancrei</i>	●		
330			ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>	●	●	
331			クチバスズメ	<i>Marumba sperchius sperchius</i>	●		
332			シモフリズメ	<i>Psilogramma incretum</i>	●		
333		シャチホコガ	ホソバシャチホコ	<i>Fentonia ocypete</i>		●	
334			ツマキシヤチホコ	<i>Phalera assimilis</i>	●	●	
335			オオアオシャチホコ	<i>Syntypistis cyanea</i>		●	
336			ヒトリガ科の一種	Arctiidae sp.	●		
337		ドクガ	キアシドクガ	<i>Ivela auripes</i>	●		
338			マイマイガ	<i>Lymantria dispar</i>		●	
339			ヒメシロモンドクガ	<i>Orgyia thyellina</i>		●	
340			ドクガ科の一種	Lymantriidae sp.	●		
341		ヤガ	オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha</i>	●		
342			マダラツマキリヨトウ	<i>Callopietria repleta</i>		●	
343			コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	●	●	国RL:NT、都RL:NT
344			エゾギクキンウワバ	<i>Ctenoplusia albostrigata</i>		●	
345			オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i>	●		
346			ナミテンアツバ	<i>Hypena strigatus minna</i>	●		
347			アオアツバ	<i>Hypena subcyanea</i>		●	
348			ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>	●		
349			ウンモンクチバ	<i>Mocis annetta</i>	●		
350			オオウンモンクチバ	<i>Mocis undata</i>	●	●	
351			マダラキヨトウ	<i>Mythimna flavostigma</i>	●		
352			ヒメエグリバ	<i>Oraesia emarginata</i>	●		
353			アカバキリガ	<i>Orthosia carnipennis</i>	●		
354			シロヘリキリガ	<i>Orthosia limbata</i>	●		
355			チャイロキリガ	<i>Orthosia odiosa</i>	●		
356			スモモキリガ	<i>Anorthoa munda</i>	●		
357			アワヨトウ	<i>Mythimna separata</i>		●	
358			トビイロトラガ	<i>Sarbanissa subflava</i>		●	
359			ナンケンモン	<i>Acrionicta rumicis</i>	●		
360			キバラモクメキリガ	<i>Xylena formosa</i>	●		
361			フタガリアオイガ	<i>Xanthodes transversa</i>	●		
362			キンタツバ類の一種	<i>Hypena</i> sp.		●	
363			アツバ亜科の一種	Hypeninae sp.	●		
364			ヨトウガ亜科の一種	Hadeninae sp.	●		
365			キリガ亜科の一種	Xyleninae sp.	●		
366			タバコガ亜科の一種	Heliothidinae sp.		●	
367			ヤガ科の一種	Noctuidae sp.	●		
368	ハエ	ガガンボ	ベッコウガガンボ	<i>Ctenophora pictipennis</i>		●	
369			ホリカワクシヒゲガガンボ	<i>Ctenophora bifascipennis</i>		●	
370			キイロホソガガンボ	<i>Nephrotoma virgata</i>	●		
371			マダラガガンボ	<i>Tipula coquilletti</i>	●		
372			ガガンボ亜科の一種	Tipulinae sp.	●		
373			ガガンボ科の一種	Tipulidae sp.	●		
374		ヒメガガンボ	ヒメガガンボ科の一種	Limoniidae sp.	●		
375		ユスリカ	ユスリカ科の一種	Chironomidae sp.	●		幼虫(水生)
376		カ	ヒトスジシマカ	<i>Aedes albopictus</i>	●		
377			シマカ類の一種	<i>Aedes</i> sp.	●		
378			カ科の一種	Culicidae sp.	●		
379		ブユ	アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.	●		
380		ホソカ	ホソカ科の一種	Dixidae sp.	●		
381		ケバエ	ハグロケバエ	<i>Bibio tenebrosus</i>	●		
382			ケバエ科の一種	Bibionidae sp.		●	
383		タマバエ	エノキトガリタマバエ	<i>Celticecis japonica</i>	●	●	
384			エゴタマバエ	<i>Rhopomyia styracophila</i>	●	●	
385			アオキミタマバエ	<i>Asphondylia aucubae</i>		●	
386			イヌツゲタマバエ	<i>Asteralobia sasaki</i>	●		
387		ミズアブ	アメリカミズアブ	<i>Hermetia illucens</i>	●	●	
388			ネグロミズアブ	<i>Craspedometopon frontale</i>		●	
389		アブ	アブ属の一種	<i>Tabanus</i> sp.	●		

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (7/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
390	ハエ	ムシヒキアブ	アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>	●		
391			チャイロムシヒキ	<i>Eutolmus brevistylus</i>		●	
392			ウスグロムシヒキ	<i>Eutolmus rufibarbis</i>	●		
393			アメイロホソムシヒキ	<i>Leptogaster trimucronotata</i>	●		
394			ナミマガリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>	●		
395			ナガトミヒメムシヒキ	<i>Philonicus nagatomii</i>	●		
396		シオヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>	●	●		
397		ツリアブ	コウヤツリアブ	<i>Anthrax aygulus</i>		●	
398			クロハネツリアブ	<i>Ligyra tantalus</i>	●	●	
399		アシナガバエ	ウデゲヒメホソアシナガバエ	<i>Amblypsilopus</i> sp.		●	
400			アシナガキンバエ類の一種	<i>Dolichopus</i> sp.	●		
401		ハナアブ	ツマグロコシボソハナアブ	<i>Allobaccha apicalis</i>	●		
402			マダラコシボソハナアブ	<i>Baccha maculata</i>	●		
403			クロヒラタアブ	<i>Betasyrphus serarius</i>	●		
404			フタスジヒラタアブ	<i>Dasysyrphus bilineatus</i>	●		
405			ヘリヒラタアブ	<i>Didea alneti</i>	●		
406			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>	●	●	
407			ハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>	●		
408			フタホシヒラタアブ	<i>Eupeodes(Metasyrphus) corollae</i>	●		
409	ナミホシヒラタアブ		<i>Eupeodes(Metasyrphus) bucculatus</i>	●			
410	スズキフタモンハナアブ		<i>Ferdinandea cuprea</i>	●			
411	アシトハナアブ		<i>Helophilus ( Helophilus) eristaloideus</i>	●			
412	タカサゴハラフトハナアブ		<i>Mallota takasagoensis</i>	●			
413	ミナミヒメヒラタアブ		<i>Sphaerophoria indiana</i>	●			
414	オオフタホシヒラタアブ		<i>Syrphus ribesii</i>	●			
415	マドリヒラタアブ		<i>Eumerus japonicus</i>	●			
416	コシボソハナアブ類の一種		<i>Bacchini</i> sp.	●			
417	ハイジマハナアブ類の一種		<i>Eumerus</i> sp.	●			
418	ヒメヒラタアブ属の一種		<i>Sphaerophoria</i> sp.	●			
419	ツヤヒラタアブ属の一種	<i>Melanostoma</i> sp.	●				
420	ヒラタアブ亜科の一種	Syrphinae sp.	●				
421	ハナアブ科の一種	Syrphidae sp.	●				
422	メバエ	ムネグロメバエ	<i>Conops opimus</i>		●		
423	ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>	●			
424		マダラメマトイ亜属の一種	<i>Amiota</i> sp.	●			
425		ショウジョウバエ科の一種	Drosophilidae sp.	●	●		
426	ベッコウバエ	ベッコウバエ	<i>Neuroctena formosa</i>	●			
427	ミギワバエ	ミナミカマバエ	<i>Ochthera circularis</i>	●			
428		ミギワバエ科の一種	Ephydriidae sp.	●			
429	シマバエ	ヒラヤマシマバエ	<i>Homoneura hirayamae</i>	●			
430	トゲアシモグリバエ	カトウトゲアシモグリバエ	<i>Traginops orientalis naganensis</i>	●			
431	ヒロクチバエ	キマダラヒロクチバエ	<i>Neohemigaster</i> sp.	●			
432	ミバエ	ミツボシハマダラミバエ	<i>Proanoplomus japonicus</i>		●		
433		ムラクモハマダラミバエ	<i>Staurella nigrescens</i>	●			
434		ミスジミバエ	<i>Zeugodacus scutellatus</i>	●	●		
435		ハマダラミバエ亜科の一種	Trypetinae sp.	●			
436	ハナバエ	クロオビハナバエ	<i>Anthomyia illocata</i>		●		
437	クロバエ	ホホアカクロバエ	<i>Calliphora vicina</i>		●		
438		トウキョウキンバエ	<i>Hemipyrellia ligurriens</i>	●	●		
439		ヒロズキンバエ	<i>Lucilia sericata</i>		●		
440		ツマグロキンバエ	<i>Stomorhina obsoleta</i>	●			
441		キンバエ類の一種	<i>Lucilia</i> sp.	●			
442		クロバエ科の一種	Calliphoridae sp.	●			
443		イエバエ	イエバエ	<i>Musca domestica</i>	●		
444	イエバエ科の一種		Muscidae sp.	●			
445	ニクバエ	ニクバエ科の一種	Sarcophagidae sp.	●	●		
446	ヤドリバエ	ヨコスジオオハリバエ	<i>Tachina jakovlevi</i>		●		
447		セスジハリバエ類の一種	<i>Tachina</i> sp.	●			
448		ヤドリバエ科の一種	Tachinidae sp.	●			

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (8/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
449	コウチュウ	オサムシ	マルガタゴミムシ	<i>Carabus i. insulicola</i>	●		
450			ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>	●		
451			メダカチビカワゴミムシ	<i>Asaphidion semilucidum</i>	●	●	
452			アオオサムシ	<i>Carabus insulicola</i>		●	
453			ヨリトモナゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>	●		
454			ゴモクムシ亜科の一種	<i>Harpalinae sp.</i>	●		
455		ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cicindela kaleea yedoensis</i>	●	●	
456			ハンミョウ科の一種	<i>Cicindelidae sp.</i>	●		
457		エンマムシ	ヒメツヤエンマムシ	<i>Hister simplicisternus</i>		●	
458			コエンマムシ	<i>Margarinotus niponicus</i>	●		
459		シデムシ	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	●	●	
460		ハネカクシ	アリガタハネカクシ亜科の一種	<i>Paederinae sp.</i>	●		
461			ハネカクシ科の一種	<i>Staphylinidae sp.</i>		●	
462		クワガタムシ	コクワガタ	<i>Dorcus rectus</i>	●		
463			ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus</i>	●	●	
464			ヒラタクワガタ	<i>Serrognathus platymelus</i>		●	都RL:NT
465		センチコガネ	センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	●		
466		コガネムシ	カブトムシ	<i>Allomyrina dichotoma</i>	●	●	
467			アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa</i>	●	●	
468			ヒラタアオコガネ	<i>Anomala octiescostata</i>	●		
469			ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i>		●	
470			ヒゲフトハナムグリ	<i>Amphicoma pectinata</i>	●		都RL:ランク外
471			セマダラコガネ	<i>Blitopertha orientalis</i>	●	●	
472			アシナガコガネ	<i>Hoplia communis</i>	●		
473			ピロウドコガネ	<i>Maladera japonica</i>		●	
474			ヒメピロウドコガネ	<i>Maladera orientalis</i>	●		
475			コフキコガネ	<i>Melolontha japonica</i>	●	●	
476			コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis atripennis</i>	●	●	
477			コアオハナムグリ	<i>Oxycetonia jucunda</i>	●	●	
478			マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>	●	●	
479			シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis</i>	●	●	
480			カナブン	<i>Rhomborrhina japonica</i>	●	●	
481			クロカナブン	<i>Rhomborrhina polita</i>	●		
482			ハナムグリ類の一種	<i>Protaetia sp.</i>	●		
483		タマムシ	ヒシモンナガタムシ	<i>Agrilus discalis</i>		●	
484			ヒメアサギナガタムシ	<i>Agrilus hattorii</i>	●		
485			アサギナガタムシ	<i>Agrilus moerens</i>	●		
486			アオグロナガタムシ	<i>Agrilus viridiobscurus</i>		●	
487			ヤマトタムシ	<i>Chrysochroa f. fulgidissima</i>	●		都RL:NT
488			ムネアカチビナカボソタムシ	<i>Nalanda rutilicollis</i>	●		
489			クズノチビタムシ	<i>Trachys auricollis</i>	●	●	
490			コウゾチビタムシ	<i>Trachys broussonetiae</i>	●		
491			ナミガタチビタムシ	<i>Trachys griseofasciata</i>	●		
492			ソーンダーズチビタムシ	<i>Trachys saundersi</i>	●		
493			ヤノナミガタチビタムシ	<i>Trachys yanoi</i>	●		
494		コメツキムシ	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus</i>	●	●	
495			クシコメツキ	<i>Melanotus legatus</i>		●	
496			アカヒゲヒラタコメツキ	<i>Neopristiphorus serriifer</i>		●	
497			コハナコメツキ	<i>Paracardiophorus pullatus</i>		●	
498			コメツキムシ科の一種	<i>Elateridae sp.</i>	●		
499		コメツキダマシ	ナガコメツキダマシ	<i>Isorhipis banghaasi</i>		●	
500		ジョウカイボン	セボシジョウカイ	<i>Lycocerus vitellinus</i>	●		
501		ホタル	ムネクリイロホタル	<i>Cyphonocerus ruficollis</i>		●	
502		カツオブシムシ	ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>		●	
503		ジョウカイモドキ	ツマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>	●		
504		テントウムシ	ハラグロオオテントウ	<i>Callicaria superba</i>	●		
505			ムーアシロホシテントウ	<i>Calvia muiri</i>	●	●	
506			シロジュウシホシテントウ	<i>Calvia quatuordecimguttata</i>	●		
507			ヒメアカホシテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>		●	
508			アカホシテントウ	<i>Chilocorus rubidus</i>	●		
509			ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	●		
510			トホシテントウ	<i>Diekeana admirabilis</i>	●		
511			オオニジュウヤホシテントウ	<i>Epilachna vigintioctomaculata</i>		●	
512			ルイヨウマダラテントウ	<i>Epilachna yasutomii</i>	●		
513			ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	●	●	
514			フタホシテントウ	<i>Hyperaspis japonica</i>		●	
515			キイロテントウ	<i>Illeis koebeli</i>	●	●	

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (9/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
516	コウチュウ	テントウムシ	ダンダラテントウ	<i>Menochilus sexmaculatus</i>	●	●	
517			ヨツボシテントウ	<i>Phymatosternus lewisii</i>		●	
518			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>	●	●	
519			クビアカヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus sylvaticus</i>	●		
520			ベダリアテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>		●	
521			クロヒメテントウ	<i>Scymnus japonicus</i>		●	
522			クロスジヒメテントウ	<i>Scymnus (Scymnus) nigrosuturalis</i>	●		
523			シロホシテントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i>	●		
524			モンクチビルテントウ	<i>Platynaspidium maculosus</i>	●		
525			シロホシテントウ類の一種	<i>Vibidia</i> sp.	●		
526			ヒメテントウ類の一種	<i>Pseudoscymnus</i> sp.	●		
527		テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus</i>	●		
528		オオキノコムシ	ヒメオビオオキノコ	<i>Episcapha fortunei</i>		●	
529			ミヤマオビオオキノコ	<i>Episcapha gorhami</i>	●		
530		オオキスイムシ	ムナビロオオキスイ	<i>Helota fulviventris</i>		●	
531		ケシキスイ	キボシコオニケシキスイ	<i>Cryptarcha maculata</i>	●		
532			アカマダラケシキスイ	<i>Lasiodactylus pictus</i>	●		
533			ヨツボシケシキスイ	<i>Librodor japonicus</i>	●	●	
534			デオケシキスイ亜科の一種	Carpophilinae sp.	●		
535			ケシキスイ科の一種	Nitidulidae sp.	●		
536		アリモドキ	ホソクビアリモドキ	<i>Formicomus braminus</i>	●	●	
537			アリモドキ科の一種	Anthicidae sp.	●		
538		カミキリモドキ	アオカミキリモドキ	<i>Xanthochroa waterhousei</i>		●	
539		アカハネムシ	アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>	●		
540		ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ属の一種	<i>Anapsis</i> sp.	●		
541		ゴミムシダマシ	ハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i>	●	●	
542			ヒゲフトハムシダマシ	<i>Luprops nigricollis</i>		●	
543			ナミクチキムシ	<i>Allecula melanaria</i>	●	●	
544			トビイロクチキムシ	<i>Borboresstes cruralis</i>		●	
545			ミツノゴミムシダマシ	<i>Toxicum tricornutum</i>	●		
546			エグリゴミムシダマシ	<i>Uloma marseuli</i>	●		
547			キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus</i>	●	●	
548			セズジナガキマワリ	<i>Strongylium c. cultellatum</i>	●		
549			サトユミアシゴミムシダマシ	<i>Promethis valgipes valgipes</i>	●		
550			ナガキマワリ亜科の一種	Strongylinae sp.		●	
551		カミキリムシ	ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>		●	
552			アカアシオオアオカミキリ	<i>Chloridolum japonicum</i>	●		都RL:NT
553			フタオビミドリトラカミキリ	<i>Chlorophorus muscosus</i>		●	
554			キンケトラカミキリ	<i>Clytus auripilis</i>	●		
555			ニイジマチビカミキリ	<i>Egesina bifasciana</i>		●	
556			ナガゴマフカミキリ	<i>Mesosa longipennis</i>	●		
557			ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>	●		
558			キボシカミキリ	<i>Psacothoe hilaris</i>	●	●	
559			アドジロサビカミキリ	<i>Pterolophia zonata</i>		●	
560		ハムシ	アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchii</i>		●	
561			ハンノキハムシ	<i>Agelastica coerulea</i>	●		
562			ヘリグロテントウノミハムシ	<i>Argopistes coccinelliformis</i>	●	●	
563			ウリハムシ	<i>Aulacophora femoralis</i>	●	●	
564			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis</i>	●	●	
565			アオハネサルハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>	●		
566			ヤナギハムシ	<i>Chrysomela vigintipunctata</i>	●		都RL:EN
567			サクラサルハムシ	<i>Cleoporus lateralis</i>	●		
568			バラルリツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>	●		
569			クロボシツツハムシ	<i>Cryptocephalus signaticeps</i>	●		
570			マダラアラゲサルハムシ	<i>Demotina fasciculata</i>	●		
571			クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>	●		
572			ヤツボシハムシ	<i>Gonioctena nigroplagiata</i>	●	●	
573			クロトゲハムシ	<i>Hispellinus moerens</i>	●		
574			ヨツモンカメノコハムシ	<i>Lacoptera nepalensis</i>	●		
575			キバラルリクビボソハムシ	<i>Lema concinnipennis</i>	●	●	
576			ヤマイモハムシ	<i>Lema honorata</i>	●	●	
577			キイロクビナガハムシ	<i>Lilioceris rugata</i>	●		
578			ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>	●		
579			コマルノミハムシ	<i>Nonarthra tibialis</i>		●	
580			ブタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>	●		
581			ヤナギルリハムシ	<i>Plagioderia versicolora</i>		●	

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (10/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考
582	コウチュウ	ハムシ	サンゴジュハムシ	<i>Pyrrhalta humeralis</i>	●	●	
583			エノキハムシ	<i>Pyrrhalta tibialis</i>	●		
584			ドウガネサルハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>	●	●	
585			イチモンジカメノコハムシ	<i>Thlaspidia cribrata</i>	●	●	
586			クズクビボソハムシ	<i>Lema diversipes</i>	●		
587			カミナリハムシ類の一種	<i>Altica</i> sp.	●		
588			カサハラハムシ属の一種	<i>Demotina</i> sp.	●	●	
589			サルハムシ亜科の一種	<i>Eumolpinae</i> sp.	●		
590			ノミハムシ亜科の一種	<i>Alticinae</i> sp.	●		
591			ヒゲナガゾウムシ	エゴヒゲナガゾウムシ	<i>Exechesops leucopis</i>	●	●
592	カオジロヒゲナガゾウムシ	<i>Sphinctotropis laxus</i>		●			
593	オトシブミ	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>	●	●		
594		オトシブミ	<i>Apoderus jekelii</i>	●			
595		マルムネチョッキリ	<i>Chonostropheus chujoi</i>	●			
596		ミヤマイクビチョッキリ	<i>Deporaus nidificus</i>	●			
597		エゴツルクビオトシブミ	<i>Cycnotrachelus roelofsi</i>	●	●		
598		カシラオトシブミ	<i>Euops splendidus</i>	●	●		
599		ハイロチョッキリ	<i>Mechoris ursulus</i>	●	●		
600		アシナガオトシブミ	<i>Phialodes rufipennis</i>	●			
601	ゾウムシ	コナラシギゾウムシ	<i>Curculio dentipes</i>	●			
602		エゴシギゾウムシ	<i>Curculio styracis</i>	●			
603		コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>	●	●		
604		マツアナアキゾウムシ	<i>Hylobitelus haroldi</i>	●			
605		コカシワクチフトゾウムシ	<i>Lepidopistomodes griseoides</i>	●			
606		オジロアシナガゾウムシ	<i>Sternuchopsis trifida</i>	●			
607		ヒレルクチフトゾウムシ	<i>Pseudoeodophrys hilleri</i>	●			
608		スグリゾウムシ	<i>Pseudocneorhinus bifasciatus</i>	●	●		
609		サビヒョウタンゾウムシ	<i>Scepticus griseus</i>		●		
610		ヒゲボソゾウムシ類の一種	<i>Phyllobius</i> sp.	●			
611		ヒメゾウムシ類の一種	<i>Baridinae</i> sp.	●			
612		ゾウムシ科の一種	<i>Curculionidae</i> sp.	●			
613	ナガキクイムシ	カシノナガキクイムシ	<i>Platypus quercivorus</i>	●			
614	オサゾウムシ	トホシオサゾウムシ	<i>Aplotes roelofsi</i>		●		
615	—	小型コウチュウ類の一種	—	●			
616	ハチ	ミフシハバチ	チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i>	●	●	
617			ルリチュウレンジ	<i>Arge similis</i>	●	●	
618		ハバチ	ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i>		●	
619			セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>	●		
620			ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>		●	
621			イヌノフグリハバチ	<i>Athalia kashmirensis</i>	●		
622			カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>		●	
623			キイロハバチ	<i>Monophadnus nigriceps</i>	●		
624			チャイロハバチ	<i>Nesotaxonus fulvus</i>	●		
625		ハバチ科の一種	<i>Tenthredinidae</i> sp.	●			
626		ヒラタハバチ	ヒラタハバチ科の一種	<i>Pamphilidae</i> sp.	●		
627		ヒメバチ	ホウネンタワラチピアメバチ	<i>Charops bicolor</i>	●	●	
628			シロフオナガバチ	<i>Rhyssa persuasoria</i>	●		
629			フタスジヒメバチ類の一種	<i>Coelichneumon</i> sp.		●	
630			コンボウアメバチ亜科の一種	<i>Anomaloniinae</i> sp.	●		
631			ヒメバチ亜科の一種	<i>Ichneumoninae</i> sp.	●		
632			ヒメバチ科の一種	<i>Ichneumonidae</i> sp.	●		
633		タマバチ	クヌギハケタマバチ	<i>Neuroterus vonkuenburgi</i>	●		
634	アリバチ	アリバチ科の一種	<i>Mutillidae</i> sp.		●		
635	クモバチ	ナミヒメクモバチ	<i>Auplopus carbonarius</i>	●			
636		オオモンクモバチ	<i>Anoplius samariensis</i>		●		
637		クモバチ科の一種	<i>Pompilidae</i> sp.	●			
638	ツチバチ	ヒメハラナガツチバチ	<i>Campsomeriella annulata</i>	●	●		
639		オオハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris grossa</i>		●		
640		キンケハラナガツチバチ	<i>Campsomeris prismatica</i>	●	●		
641		キオビツチバチ	<i>Scolia oculata</i>	●	●		
642	アリ	オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>	●	●		
643		ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>	●	●		
644		アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i>	●			
645		クロナガアリ	<i>Messor aciculatus</i>		●		
646		トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>	●	●		
647		ハリフトシリアゲアリ	<i>Crematogaster (Crematogaster) matsumura</i>	●	●		
648		テラニシリアゲアリ	<i>Crematogaster (Crematogaster) teranishii</i>		●		
649	キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster (orthocrema) osakensis</i>	●	●			
650		ムネボソアリ	<i>Temnothorax congruus</i>		●		

資料9 国分寺市内で確認した昆虫類の学名 (11/11)

No.	目名	科名	種名	学名	令和5年度	平成27年度	備考	
651	ハチ	アリ	アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>	●	●		
652			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>	●	●		
653			サムライアリ	<i>Polyergus samurai</i>	●	●		
654			トビイロケアリ	<i>Lasius (Lasius) japonicus</i>	●	●		
655			ヒラアシクサアリ	<i>Lasius spathhepus</i>	●		クサアリモドキ	
656			アメイロアリ	<i>Nylanderia flavipes</i>	●	●		
657			サクラアリ	<i>Paratrechina sakurae</i>	●			
658			クロオオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) japonicus</i>	●	●		
659			ムネアカオオアリ	<i>Camponotus (Camponotus) obscuripes</i>		●		
660			ヨツボシオオアリ	<i>Camponotus (Myrmentoma) quadrinotatus</i>		●		
661			ホソウメマツオオアリ	<i>Camponotus (Myrmanblys) bishamon</i>		●		
662			ウメマツオオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>	●			
663			ケアリ属の一種	<i>Lasius sp.</i>			●	
664			スズメバチ	エントッドロバチ	<i>Orancistrocerus drewseni</i>	●		
665				スズメバチ	<i>Oreumenes decoratus</i>	●	●	
666				ナミカバドロボバチ	<i>Pararrhynchium ornatum</i>	●		
667				ムナグロチビドロバチ	<i>Stenodynerus tokyanus</i>		●	
668	セグロアシナガバチ	<i>Polistes jadvigae</i>		●	●			
669	キアシナガバチ	<i>Polistes rothneyi</i>		●	●			
670	コアシナガバチ	<i>Polistes snelleni</i>		●	●			
671	コガタスズメバチ	<i>Vespa analis</i>		●	●			
672	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>		●	●			
673	キロスズメバチ	<i>Vespa simillima</i>		●	●			
674	クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>		●	●			
675	トックリバチ属の一種	<i>Eumenes sp.</i>		●				
676	ハムシドロバチ属の一種	<i>Symmorphus sp.</i>		●				
677	ドロバチ亜科の一種	<i>Eumeninae sp.</i>		●				
678	セナガアナバチ	サトセナガアナバチ	<i>Ampulex dissector</i>	●				
679	アナバチ	サトジガバチ	<i>Ammophila sabulosa</i>	●	●			
680		ミカドジガバチ	<i>Hoplammophila aemulans</i>		●			
681	ギングチバチ	ナミツチスガリ	<i>Cerceris hortivaga hortivaga</i>		●			
682	コハナバチ	コハナバチ科の一種	<i>Halictidae sp.</i>	●				
683	ハキリバチ	ヤトガリハナバチ	<i>Coelioxys yanonis</i>	●				
684		オオハキリバチ	<i>Megachile sculpturalis</i>	●	●			
685		ヒメハキリバチ	<i>Megachile spissula</i>		●			
686		ハキリバチ科の一種	<i>Megachilidae sp.</i>	●				
687	ミツバチ	キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata</i>	●	●			
688		ダイミョウキマダラハナバチ	<i>Nomada japonica</i>	●				
689		ナシモンキマダラハナバチ	<i>Nomada pyrifer</i>	●				
690		シロスジヒゲナガハナバチ	<i>Eucera spurcatipes</i>		●			
691		トラマルハナバチ	<i>Bombus diversus</i>	●	●			
692		コマルハナバチ	<i>Bombus ardens</i>	●	●			
693		セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	●	●			
694		キマダラハナバチ属の一種	<i>Nomada sp.</i>		●			
695		ヒゲナガハナバチ属の一種	<i>Eucera sp.</i>	●				
696	—	小型ハナバチ類の一種		●				

※令和5年度の記録は水生生物調査で確認された昆虫類も含む。

資料 10 国分寺市内で確認したクモ類の学名 (1/2)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	クモ	ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>		●	
2		トタテグモ	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia typica</i>	●	●	国RL:NT、都RL:NT
3		ヒメグモ	シロカネイソウロウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>	●		
4			オナガグモ	<i>Ariamnes cylindrogaster</i>	●	●	
5			シモフリミジグモ	<i>Dipoena punctisparsa</i>		●	
6			ヒメグモ	<i>Parasteatoda japonica</i>	●	●	
7			オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidariorum</i>	●	●	
8			ハンゲツオスナキグモ	<i>Steatoda cingulata</i>	●		
9			コアカクロミジグモ	<i>Yaginumena mutilata</i>	●		
10			ミジグモ亜科の一種	<i>Hadrotarsinae</i> sp.	●		
11	コガネグモ		ハツリグモ	<i>Acusilas coccineus</i>		●	
12			ビジョオニグモ	<i>Bijoaraneus komachi</i>	●		
13		マルヅメオニグモ	<i>Araneus semilunaris</i>		●		
14		カラオニグモ	<i>Araneus tsurusakii</i>	●			
15		オニグモ	<i>Araneus ventricosus</i>	●			
16		ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichi</i>	●	●		
17		コガタコガネグモ	<i>Argiope minuta</i>	●	●		
18		ギンメッキゴミグモ	<i>Cyclosa argenteoalba</i>	●	●		
19		ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	●	●		
20		マルゴミグモ	<i>Cyclosa vallata</i>	●	●		
21		トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhlii</i>	●		都RL:DD	
22		シロスジシヨウジョウグモ	<i>Hypsosinga sanguinea</i>	●	●		
23		ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona melloteei</i>	●	●		
24		コゲチャオニグモ	<i>Neoscona punctigera</i>	●	●		
25		ヤマシロオニグモ	<i>Neoscona scylla</i>	●			
26		サツマノミダマシ	<i>Neoscona melloteei</i>	●	●		
27		ジヨロウグモ	<i>Trichonephila clavata</i>	●	●	新学名で扱う	
28		アオオニグモ属の一種	<i>Araneus</i> sp.		●		
29	アシナガグモ	オオシロカネグモ	<i>Leucauge celebesiana</i>	●	●		
30		メガネドヨウグモ	<i>Metleucauge yunohamensis</i>	●			
31		ヤサガタアシナガグモ	<i>Tetragnatha maxillosa</i>	●	●		
32		アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>	●	●		
33		ウロコアシナガグモ	<i>Tetragnatha squamata</i>	●	●		
34	サラグモ	サラグモ科の一種	<i>Linyphiidae</i> sp.	●			
35	チリグモ	ヒラタグモ	<i>Uroctea compactilis</i>		●		
36	ウズグモ	マネキグモ	<i>Miagrammopes orientalis</i>	●	●		
37		カタハリウズグモ	<i>Octonoba sybotides</i>	●	●		
38		ウズグモ科の一種	<i>Uloboridae</i> sp.	●			
39	タナグモ	クサグモ	<i>Agelena silvatica</i>		●		
40		コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>	●	●		
41		シモフリヤチグモ	<i>Iwogumoa insidiosa</i>	●			
42		クサグモ類の一種	<i>Allagelena</i> sp.	●			
43	ハグモ	ネコハグモ	<i>Dictyna felis</i>	●			
44		ハグモ科の一種	<i>Dictynidae</i> sp.		●		
45	ササグモ	ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>	●	●		
46	キシダグモ	イオウイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>	●	●		
47	コモリグモ	ウヅキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>	●	●		
48		キクヅキコモリグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i>	●			
49		カイゾクコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.		●		
50		ハリゲコモリグモ類の一種	<i>Pardosa</i> sp.	●	●		
51		コモリグモ科の一種	<i>Lycosidae</i> sp.	●			
52	カニグモ	キハダカニグモ	<i>Thomisidae</i> sp.	●			
53		ハナグモ	<i>Ebrechtella tricuspadata</i>	●	●		
54		ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>	●	●		
55		アズチグモ	<i>Thomisus labefactus</i>	●	●		
56		セマルトラフカニグモ	<i>Tmarus rimosus</i>	●			
57		ヤミイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>	●	●		
58		カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.	●	●		
59	フクログモ	フクログモ科の一種	<i>Clubionidae</i> sp.	●	●		

資料 10 国分寺市内で確認したクモ類の学名 (2/2)

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
60	クモ	ワシグモ	クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i>	●		
61			ワシグモ科の一種	Gnaphosidae sp.	●		
62		エビグモ	アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>		●	
63			シャコグモ	<i>Tibellus japonicus</i>	●	●	
64			エビグモ科の一種	Philodoromidae sp.	●	●	
65		ハエトリグモ	シラホシコゲチャハエトリ	<i>Sitticus penicillatus</i>		●	
66			ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>	●	●	
67			マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>	●	●	
68			ウデブトハエトリ	<i>Harmochirus insulanus</i>		●	
69			ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>		●	
70			ヤハズハエトリ	<i>Mendoza elongata</i>	●		
71			シラヒゲハエトリ	<i>Menemerus fulvus</i>	●	●	
72			ヤガタアリグモ	<i>Myrmarachne elongata</i>		●	
73			ヤサアリグモ	<i>Myrmarachne inermichelis</i>	●	●	
74			アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>	●	●	
75			イナズマハエトリ	<i>Pseudicius vulpes</i>		●	
76			チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>		●	
77			メガネアサヒハエトリ	<i>Phintella linea</i>	●		
78			メスジロハエトリ	<i>Phintella versicolor</i>	●	●	
79			デーニツツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>	●	●	
80			ミスジハエトリ	<i>Plexippus setipes</i>		●	
81			アオオビハエトリ	<i>Siler cupreus</i>	●	●	
82			ヤハズハエトリ属の一種	<i>Mendoza</i> sp.		●	
83			コゲチャハエトリグモ属の一種	<i>Sitticus</i> sp.		●	

資料 11 国分寺市内で確認した水生生物（昆虫類）の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	カゲロウ	コカゲロウ	コカゲロウ科の一種	Beatidae sp.	●	●	
2	トンボ	カフトンボ	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>	●		都RL:ランク外
3		イトトンボ	イトトンボ科の一種	Coenagrionidae sp.	●		
4		ヤンマ	ヤンマ科の一種	Aeshnidae sp.	●		
5		サナエトンボ	コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	●		
6			ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	●		都RL: VU
7			サナエトンボ科の一種	Gomphidae sp.	●		
8		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	●	●	
9		トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>		●	
10		カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ科の一種	Nemouridae sp.	●	●
11	カメムシ	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	●	●	
12		ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>	●	●		
13		ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>	●	●		
14		シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	●	●		
15		マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>	●		
16	アミメカゲロウ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	●	●	都RL: NT
17		センブリ	ネグロセンブリ	<i>Sialis japonica</i>	●	●	都RL: VU
18	トビケラ	ナガレトビケラ	ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nirocephala</i>		●	
19		ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ科の一種	Goeridae sp.	●	●	
20		カクツツトビケラ	カクツツトビケラ属の一種	Lepidostoma sp.	●	●	
21		エグリトビケラ	エグリトビケラ科の一種	Limnephilidae sp.		●	
22		ケトビケラ	グマガトビケラ類の一種	Gumaga sp.	●		
23		—	トビケラ目の一種	Trichoptera sp.		●	
24	ハエ	ガガンボ	マダラガガンボ	<i>Tipula coquilletti</i>	●		
25		ガガンボ科の一種	Tipulidae sp.	●	●		
26		ユスリカ	ユスリカ科の一種	Chironomidae sp.	●	●	
27		ブユ	アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.	●		
28		ブユ科の一種	Simuliidae sp.			●	
29		ホソカ	ホソカ科の一種	Dixidae sp.	●		
30		ナガレアブ	ナガレアブ科の一種	Athericidae sp.		●	

資料 12 国分寺市内で確認した水生生物（魚類）の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	●	●	
2			カワムツ	<i>Nipponocypris temminckii</i>	●		
3			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>	●	●	都RL: NT
4			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●	●	
5		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	●	●	国RL: NT、都RL: DD
6			カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i>		●	その他の 総合対策外来種
7	ダツ	メダカ	メダカ類の一種	<i>Oryzias</i> sp.	●	●	
8	スズキ	ハゼ	ジュズカケハゼ類の一種	<i>Gymnogobius</i> sp. (“Widelydistributed species”)	●	●	

資料 13 国分寺市内で確認した水生生物（その他生物類）の学名

No.	目名	科名	種名	学名	令和 5年度	平成 27年度	備考
1	ウズムシ	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>	●	●	
2	ナガミミズ	イトミミズ	イトミミズ類の一種	<i>Tubificida</i> sp.	●	●	
3		ツリミミズ	ツリミミズ科の一種	<i>Lumbricidae</i> sp.		●	
4		フトミミズ	フトミミズ科の一種	<i>Megascolecidae</i> sp.		●	
5		—	ナガミミズ目の一種	—	●	●	
6		ニナ	タニシ	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>	●	
7	カワニナ	チリメンカワニナ		<i>Semisulcospira reiniana</i>	●		
8		カワニナ		<i>Semisulcospira libertina</i>	●	●	
9	ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	<i>Aserus hirgerndorpy</i>	●	●	
10	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>	●		その他の総合対策外来種
11		—	ヨコエビ亜目の一種	<i>Hyperiopsidea</i> sp.	●	●	
12	エビ	テナガエビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	●		都RL:留意種
13		ヌカエビ		<i>Paratya improvisa</i>	●	●	都RL:留意種
14			カワリヌマエビ属の一種	<i>Neocaridina</i> ssp.	●	●	
15		アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	●	●	緊急対策外来種 (条件付特定外来生物)
16	サワガニ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	●	●	都RL:留意種	

## 国分寺市動植物調査 市民団体による拠点調査支援 資料（鳥類調査について）

### ○鳥類調査とはどんなものか？（他の分類群との違い）

- 鳥類は他の分類群に比べて（種類数）が少ない 日本に約（630）種  
※植物：約8,000種、昆虫類：約32,000種、クモ類：約1,500種
- そのための絞りがやすい ⇒ 覚えやすい
- 100種が分かるようになる頃、鳥類を見分ける力や探し方が身につく。
- ただし、（飛んでしまう）ので、種類を見分けるのは難しい  
※植物は動かず、採集もできる。

### ○定点調査とラインセンサスについて

- 定点調査：見晴らしの良い場所で一定時間留まり、鳥類（種類や個体数等）を記録する。
- ラインセンサス：一定のコースを決めて、そこに出現する鳥類を記録する。  
一般的には、時速1.5kmで歩き、調査幅は25m。
- 広い面積の範囲を調査する場合は、ラインセンサス法による。
- エックス山では（定点観察）を採用している。
- 調査条件をそろえる。（時間）、（天候）、調査者など。  
※条件が変わると、調査結果に影響が出てしまう = 調査結果を比較できない
- 地図へのプロットの意味  
プロットは（環境 や 植生）との対応関係を評価するために行う。

### ○鳴き声を聴いてみる（さえずりと地鳴きについて）

- さえずりとは（なわばりの確保）や（メスを呼ぶ）ために、  
主に（オス）が繁殖期に鳴くきれいな声。時期は（春から夏に）聞かれる。
- 地鳴きとは、（オス）も（メス）も鳴く声。
- 「（地鳴き）を制するものは、鳥見を制す！」  
※鳴き声を覚えるには、インターネットを活用しましょう。  
「日本野鳥の会」や「Bird Research」のサイトがオススメ。

### ○市民調査の意味

- 事業としての調査と比べて継続性がある
- 調査精度の問題があるが、専門家が確認することや、写真を撮影することで解決する場  
合が多い。  
※専門家が常駐している野鳥観察施設  
東京港野鳥公園、葛西臨海公園鳥類園（土日祝日）、谷津干潟自然観察センター

### ○双眼鏡の使い方

- 実地で説明します
- ※必要な方は良いものを買きましょう。知っているメーカー（1万）円以上

### ○記録の付け方

- 略記号

V : Visual(目視)、C : Coll (地鳴)、S : Song (さえずり) F : Fly (飛翔)

Ad : Adult (成鳥)、Juv : Juvenile (幼鳥)、sp. : Species (属までは分類できたとき)

- 地図への記載の練習

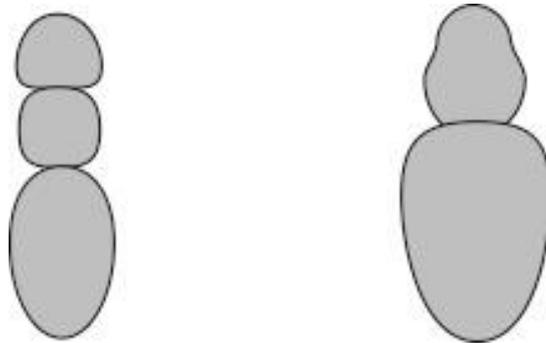
番号	種名	個体数	サイン	備考(行動・繁殖状況など)	地図
1	クイサギ	一	v	上の池	
2	アオサギ	T	v		
3	カイツブリ	一	c		
4	カワウ	F	v.fl		
5	シジュウカラ	一	v	巣材を運ぶ	
6	ツグミ sp.	一	v.c.fl	樹林内飛翔	
7	トビ	一	v.fh	上空通過	

国分寺市動植物調査  
昆虫調査のポイント ～春編～

2023年5月25日・27日

☆昆虫について

1. 昆虫やクモなど、体の部分に節のある生きもののことを〔 節足 〕動物という。
2. 現在地球上に、人間という生物は〔 1 〕種いる。そして、現在地球上で分かっている昆虫は、およそ〔 ① 〕種。  
①に入るのは？ ア. 5000 イ. 90万 ウ. 870万
3. 次の図は、昆虫とクモの身体つきです。目と足を描き足してみてください。



☆～雑木林の昆虫～ 春のチョウ類・コウチュウ類を中心に調べてみる

4. チョウやガのなかまは、ハネに〔 鱗粉 〕と呼ばれる粉がついている。幼虫はイモムシ型の姿をしており、主に〔 ② 〕を食べて育つ。  
②に入るのは？ ア. 植物の葉 イ. アブラムシ ウ. 土
5. コウチュウの成虫は前バネが固くなり背面を覆うものが多い。幼虫・さなぎ・成虫の時代を経る一生をおくり、〔 完全変態の 〕昆虫と呼ばれる。

☆記録をとる

チョウに限らず、生きものの記録は『いつ（日時）、どこで（場所・植生環境）、だれが（種類）、なに（●の葉を食べていた、など）をしていたか』をメモしておく役立つ。不明種でも、どんな植物を食べていたかなどの記録があると、のちに同定できることもある。

その生きものがいたという証拠を残すことが大事で、確実なのは採集して標本にすることだが、採集が難しい場合などは写真記録が大いに活躍する。

## 国分寺市動植物調査 昆虫調査のポイント ～春から夏編～

2023年5月15日 作成

昆虫は卵・幼虫・成虫といった、生活スタイルに変化がある生きもの。多くの昆虫が成虫となり、活発な春～夏が調べやすい（慣れてきたら、寒さをしのぎ越冬している冬も調べてみるとよい）

### ☆～春、夏～ チョウ類を中心にしらべてみる

- **見つけやすい**：昼間活動し、また身近な環境にも飛来してくるため、市街でも目にすることが多い。そのため他の昆虫にくらべると見つけやすい。
- **見分け（同定）やすい**：目視で追える大きさのものが多く、またハネの模様の特徴があり、見分けやすい。近年では市販の図鑑が充実している。インターネットも利用できる。
- **生活（生態）がわかっている**：研究が進んでおり、生息環境や、幼虫の食べものである植物との関係がわかっている。また、成虫は花の蜜を求めて飛翔しているため、植物の生育する環境から、どんなチョウが見られそうか予想をたてる、といったこともできる。

### ☆記録をとる

チョウに限らず、生きものの記録は『いつ（日時）どこで（場所・植生環境）だれが（種類）なに（●の葉を食べていた、など）をしていたか』をメモしておく役立つ。不明種でも、どんな植物を食べていたかなどの記録があると、のちに同定できることもある。

確実なのは採集して標本にするか、写真に撮る（その生きものがいたという証拠を残す）ことだが、採集が難しい場合などは写真記録が大いに活躍する。

### ☆同定資料用写真のポイント

- きれいな写真よりも、その生きものの特徴になる部分がしっかり写っているものがよい。余裕があればいろいろな方向から撮影しておく。
- その生きものがいた環境（植物そのものや、まわりの風景）と一緒に写しこんでおく、どんな環境で見つけたのか、あとで思い出しやすい。



キタテハ：ハネの表の模様注目



サトキマダラヒカゲ：ハネの裏の模様注目

## ☆秋の昆虫しらべ、鳴く虫とトンボのポイント

2023年10月23・29日

### ☆鳴く虫としてのコオロギ、キリギリス、バッタたち

1. コオロギはなぜ鳴くのだろうか？

- ア. 鳴くのがすきだから    イ. メスと出会うため    ウ. 食べものをさがすため  
答え（ イ ）

2. 鳴き声は種類によってちがうが、同じ種類でもいくつか「鳴きわけ」をするものもある。

たとえば、エンマコオロギでは「呼び鳴き」、「求愛鳴き」、「<sup>きゅうあい</sup>闘争鳴き」、〔 イ 〕といったわかりやすいレパートリーがある。

- かっこに入るのは？    ア. <sup>よる</sup>夜鳴き    イ. <sup>どうそう</sup>闘争鳴き    ウ. <sup>ねごと</sup>ねごと鳴き

3. コオロギの鳴くための<sup>きかん</sup>器官はハネ（翅）にあるが、その音を聞きとる「耳」は〔 ア 〕にある。

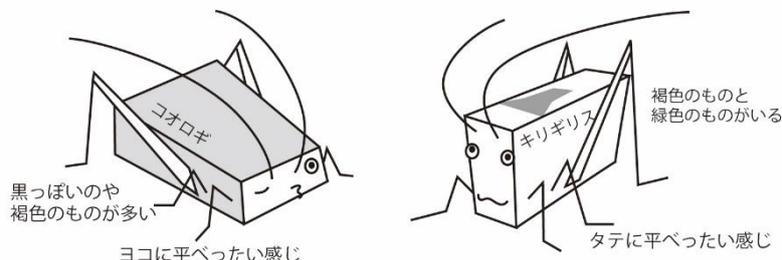
- かっこに入るのは？    ア. <sup>まえあし</sup>前脚のすね部分    イ. <sup>とうぶ</sup>頭部    ウ. <sup>きょうぶ</sup>胸部の横



エンマコオロギ

4. コオロギは「バッタ目」というグループに<sup>ぶんるい</sup>分類\*されている。特徴は、<sup>とくちょう</sup>腿節（<sup>たいせつ</sup>後ろあし）が発達しよく<sup>は</sup>跳ねること、多くの種でハネを使った発音をすることがあげられる。

#### 「コオロギ」と「キリギリス」の何となくのイメージ



※コオロギ・キリギリスは、ハネとハネを<sup>す</sup>擦りあわせて音をだすが、バッタのなかまにはハネと<sup>たいせつ</sup>腿節（<sup>うし</sup>後ろあし）の内がわを擦りあわせるものがおり、からだの横に耳がある。

### ☆秋のトンボたち

5. 秋空でよく目立つのはアキアカネ、コノシメトンボといったトンボたちで、「アカネ」というグループにわけられていますが、一般的には「赤とんぼ」と呼ばれています。その多くは秋になるとからだに〔 ア 〕色がみられるようになるのが特徴のひとつ。

かっこに入るのは？ ア. 赤 イ. 金 ウ. 緑

6. トンボの幼虫はヤゴと呼ばれ親しまれています。ヤゴは〔 ウ 〕でくらしています。

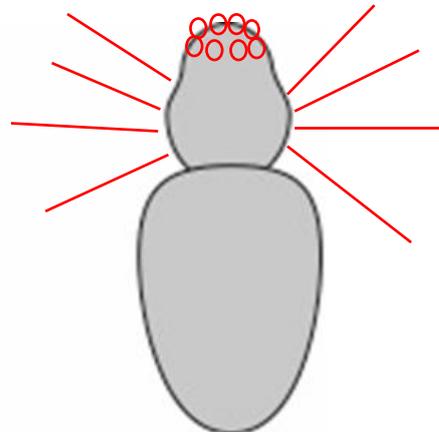
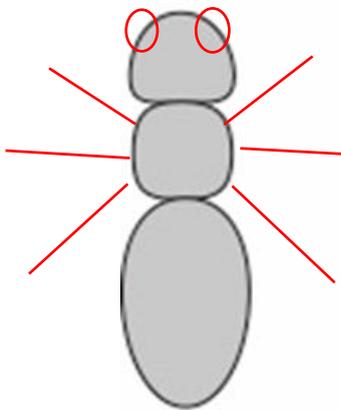
かっこに入るのは？ ア. 木のうえ イ. 土のなか ウ. 水のなか



アキアカネ幼虫（ヤゴ）  
見られるのは5～6月

### ☆小さななかまたち、昆虫とクモ

次の図は、昆虫とクモの身体つきです。目と足を描きだしてみてください。



### ☆記録をとることが大切

昆虫だけでなく、いろいろな生きものをみたとき、記録をとっておくと役立つ。『いつ（日）時）、どこで（場所・植生環境）、だれが（種類）、なにをしていたか（食べていた、休んでいた、卵を産んでいたなど）』をメモしておくとうい。

とくに鳴く虫であれば、わかりづらい鳴き声をボイスレコーダーなどで録音し、のちCDなどの音源と聞きくらべる、という方法で同定\*できることもある。

●分類：生きものを似た仲間どうしでまとめ、わかりやすく整理すること

●同定：生きものの特徴を調べて名前を特定すること

## 植物調査のポイント ～秋編～

2023年10月23日・29日

～今回お伝えしたいこと～

植物という生きものは、生活をする中で毎日必ず一度は目にするほど、私たちにとって身近な生きものです。

一方で、植物はおよそ4億7千万年前に陸地に進出してきて進化をくり返しており、その生態はとても多様です。動物類も植物の進化にあわせ、さまざまな生き方や体のカタチになるなど、植物と動物は切っても切れないつながりを持っています（特に昆虫類は4億年以上の旧知の仲）。今回の調査を通じて、国分寺の植物の多様性と、そこに棲む動物とのつながりについて感じていただければと思います。

※生物多様性とは？

さまざまな生態系（森や海、都市環境など）で、さまざまな遺伝子をもった、さまざまな種類の生きものが、関わりあいながら生きていること。多様な生きものがいることで、我々ヒトもくらしていけます。

## 1・生きものを利用するしたたかな植物列伝

- ① クスノキ：（ におい ）と（ ダニ室 ）を使って身を守る！  
※クスノキは自らの葉に害を与える（フシダニ）を（ダニ室）に閉じ込め、撃退することが最近の研究でわかってきました。
- ② クヌギやコナラはドングリを食べるゾウムシを撃退するため、（ タンニン ）をつくる。でもゾウムシたちも…。
- ③ トウネズミモチはあえて実を食べてもらうことで（ 発芽 ）できる！
- ④ オオバコはあえてヒトや動物にふまれたい。その理由は動物に（ タネを運んでもらえる ）から！

## 2・植物ふしぎ生態クイズ

Q1. アズマネザサはなぜ増える？

- 1・タネをたくさんつけて増える
- 2・クローンをたくさんつくって増える
- 3・誰かがこっそり植えている

A.           2          



アズマネザサ

Q2. ネムノキはなぜ夜に葉をとじる？

- 1・ムダに水分を失わないため
- 2・虫に食べられにくくするため
- 3・寝ることによって成長が早くなる

A. 1



ネムノキ

Q3. セイタカアワダチソウはなぜ増える？

- 1・背が高くなって光を独占<sup>どくせん</sup>できるから
- 2・種子をたくさんつくってふえる
- 3・他の植物の成長を抑える物質を出し、近くに生える植物を弱らせてふえる

A. 1, 2, 3



セイタカアワダチソウ

「植物ミニコラム ～お互いを支えあう植物たち～」

植物は動物に比べ目立って動かないため、とても静かな生きものだと思われがちです。しかし最近の研究では、虫に食べられた植物が、周辺にいる植物に虫が来たことを伝える化学物質を出し、それを受け取った周りの植物が虫に食べられないよう、防衛物質（ぼうえいぶっしつ）を出すことが分かっています。また、植物は地中で菌類と共生することで、菌類を使ってお互い栄養の受け渡しなどをすることなども分かってきました。実は植物たちは私たちの気が付かない場所でお互い支えあいながら生きていたのです。

3・ 他の生きものによく利用される植物たち

ケヤキ：樹皮で多くの生きものが冬をこす

クヌギ・コナラ：樹液に昆虫が集まる

センダン・トウネズミモチ・コムラサキ：秋～冬の野鳥の貴重な食べ物

アベリア・ヤマハギ：花にチョウがよく飛来する など

# 国分寺でよくみられる 葉っぱビッコ



クスノキ □

葉をちぎるとにおいがする



トウネズミモチ □

日にかざすと、葉みゃくがすけて見える



コナラ □

葉っぱふちはギザギザしている

葉へいはながい

手のひらのような形をしている



イロハカエデ □

葉はザラザラしている



ケヤキ □

葉っぱふちはギザギザしている



クスギ □



ヒヨドリ

ほくは 何の木の實をくわえているのかな？



エノキ □

葉はとちゅうからギザギザする

令和5年度 国分寺市動植物調査報告書（令和6年3月）

編集・発行：国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

調査・協力：株式会社 生態計画研究所